

兵庫県立 こども病院 **年報** 2009 VOL.40

兵庫県立こども病院年報

2009 VOL.40



HYOGO PREFECTURAL
KOBE CHILDREN'S HOSPITAL ANNUAL REPORT 09 VOL.40



基本理念

周産期・小児医療の総合施設として、母とこどもの高度専門医療を通じて、親と地域社会と一体になって子どもたちの健やかな成長を目指します。

基本方針

- 1 患者の権利を尊重した医療の実践
- 2 安全・安心と信頼の医療の遂行
- 3 高度に専門化されたチーム医療の推進
- 4 地域の医療・保健・福祉・教育機関との連携
- 5 親とこどもが一体となった治療の推進
- 6 こどもへの愛とまことに満ちた医療人の育成
- 7 医療ボランティアとの協調による患者サービスの向上
- 8 継続的な高度専門医療提供のための経営の効率化

(2010年7月改訂)



患者の権利

- 1 あなたはひとりの人間として尊重され、おもいやりのある医療を受ける権利があります。
- 2 あなたとご家族は、理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報を得て、治療計画に参加する権利があります。
- 3 あなたとご家族には、治療方針について同意や拒否する権利及びセカンドオピニオンを受ける権利があります。
- 4 あなたとご家族のプライバシーは守られます。

みなさまと私たちがお互いを尊重しあい、良質な医療を実現していただけるよう次のことにご協力ください。

病気について理解し、安心して医療が受けられるよう。今までの経過・病状の変化や問題について詳しく正確にお知らせください。
病院のきまりや約束ごとをお守りください。

目 次

病 院 概 要

1 兵庫県立こども病院の設立目的	1
2 沿 革	1
3 業 務 図	4
(1) 機構一覧表	4
(2) 担当医師表	5
(3) 外来診療スケジュール	6
4 職 員	7
(1) 職種別人員表	7
(2) 看護単位別看護職員等配置状況	8
5 各 種 委 員 会	9

教育研修活動

1 カンファレンス・勉強会	19
2 看 護 研 修	50
3 研修医・専攻医 指導記録	77

学 術 活 動

1 書 籍	83
2 雑 誌 発 表	84
3 口 述 発 表	94

診 療 統 計	137
---------------	-----

ボランティア部門の動き	227
-------------------	-----

一年のあゆみ	229
--------------	-----

は じ め に

兵庫県立こども病院

病院長 丸 尾 猛

当院は昭和45年に県政100周年記念事業として全国2番目の小児病院として開設され、今年創立40年を迎えます。平成6年には周産期医療センターが、平成19年には小児救急医療センターが開設され、「ハイリスク胎児とこども達を守る砦」として第3次救急医療の役割を担っています。

当院では常に50名前後の患児が人工呼吸管理下にあり、言いかえれば入院患児の5名に1人は人工呼吸器で管理されており、総合病院では想像できない別世界の臨床が動いています。特に、老朽化した本館病室に複数台の人工呼吸器が入りますと、身動きが難しい状況となり、身をかがめて精密な診療・看護に携わる病棟スタッフの情熱には頭が下がる思いです。また、平成20年度の総手術件数4400件の42%に相当する1850件は日帰り（外来）手術であり、その1200件には全身麻酔が施されています。入院に伴って患児と両親が離ればなれになるのをなくしたいとのスタッフの熱い思いと当院の専門技能の高さは小児医療施設の中でも瞠目される実績であります。高く評価されている当院の高度専門医療が、築後40年を経て老朽化した本館を舞台に平成29年の建て替え完成までの7年間維持できるか確信が持てない今、当院の将来に向けたプランを兵庫県知事のご理解を仰ぎながら現実化させていくことが、病院長としての責務であると感じています。

小児周産期の高度専門医療は、昼夜を問わず大きなマンパワーを要し、採算がとりにくい分野であります。しかし、「経営の質」と「診療の質」は車の両輪であるとの認識のもと、職員の病院運営への意識改革と力強い協力によって、平成20年度の収支損益は当院開設以来39年目にして初めてプラスに転ずることができました。小児入院医療管理料アップが大きな原動力になっていますが、この年を当院の経営改革元年ととらえ、職員一丸となって兵庫県立こども病院の底力を発揮したいと念じています。

平成21年12月には、朽ち果てた建物であった「母と子の指導教室」のリニューアルが

完成し、1Fには院外の医療関係者が利用できる共同研修室が設置され、2Fには図書室・閲覧室が整備されて、見違える姿で「研修センター」として生まれかわり、当院は地域医療支援病院の認定を得るに至りました。さらに老朽化した医師公舎を撤去しての新たな70台の駐車場整備が完了し、当院駐車場は4月からゲート管理化される予定で、長年にわたりご迷惑をおかけしてきた駐車場不足もやっと解決される見通しであります。

当院は医療施設から紹介の患者さんのみを診療対象とする第3次施設であります。今後は当院の特殊専門機能をより広くご活用いただけるよう積極的に情報発信し、従来の「待ち受ける医療」から「集まる医療」に転換していかねばと考えています。また、シアトル小児病院との姉妹連携に基づき、昨年には医師2名と看護師2名をシアトル小児病院へ4週間派遣しましたが、今年も医師2名を4週間派遣し、新生児・小児医療での世界最先端の取り組みを学び、当院へ持ち帰ってもらいました。さらに、産科領域の国際連携では、米国クリーブランド・クリニックからのプリセプターシップ・プログラムへの有り難い申し入れを受けて、5月に産科医師1名を派遣の予定で、世界最先端のハイリスク妊娠管理を学び、当院での専門診療に活かさればと願っています。若手医療者の海外派遣による国際交流促進は、若手医療者のモチベーションアップと意識改革に大きくつながっており、このような活動を通して、当院が小児周産期の高度専門医療を受けるために多くの患者さんが集まり、また小児周産期の高度専門トレーニングを受けるために多くの若き医療従事者が集まる病院となるよう務めたいと考えています。

当院では、職員一人ひとりが新しい生命の誕生と将来を担うこども達の命に関わる仕事に従事していることを自覚し、常に次元の高い危機感を持って医療者・患者間の情報を共有し、皆様に安心して信頼される医療を実践したいと考えています。本年報を通じて、兵庫県立こども病院の活動についてご理解を深めていただき、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

最後に、本年報の編纂にあたり多大なご尽力を頂いた広報委員会の池尻操子委員長、田中亮二郎副委員長ならびに長尾 洋総務部次長をはじめとしたスタッフの方々に深甚なる謝意を表します。

病 院 概 要

1. 兵庫県立こども病院の設立目的

こども病院は、小児治療が内科疾患を除いては、成人と同じ環境で診療が行われている現状と、ますます進展しつつある専門化、細分化した医学を基礎とした小児特有の検査、診断、治療を行いうる小児専門病院の設置を望む社会的要請に応えて、県政100年の記念事業の一環として、昭和45年に開設されました。これは、小児病院の業務に加え、異常児の出生予防、小児の精神保健、各科医療に伴う訓練部門等の医療行政もあわせて行う、小児メディカルセンターでもあります。

具体的には、

- (1) 近代小児医療の進歩、在り方に則し、小児疾患の診断と治療に関する高度に専門化、細分化した機能を総合的に発揮できること。
- (2) 小児に関する医療相談機関であること。
- (3) 小児の保健衛生に関する行政分野に対して、あらゆる面で協力機関であること。
- (4) 小児医療従事者の育成研修期間であること。

などであります。

平成6年10月には、ハイリスク母子の救命を図ることを目的とし、ハイリスク母子の24時間体制受け入れ、妊産婦、胎児、新生児の管理を連続かつ一体的に行うことのできる周産期医療センターをオープンしました。

また、平成14年10月より県下の第3次小児救急の拠点として救急医療室を開設し、その後、平成19年10月に、機能を一層充実させた小児救急医療センターを新たにオープンしました。

2. 沿革

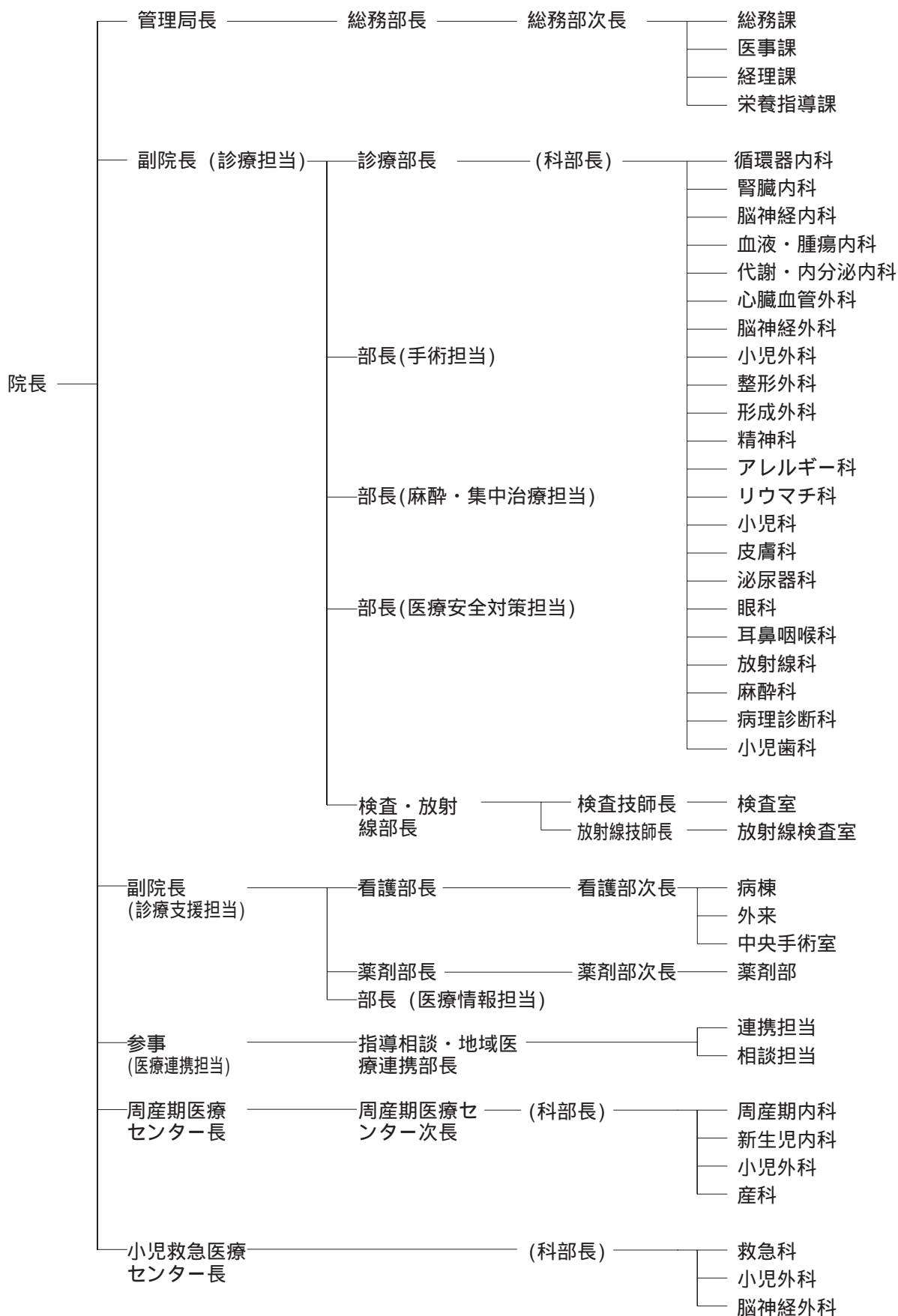
- | | | |
|-------|-------------|---|
| (1) 名 | 称 | 兵庫県立こども病院 |
| (2) 開 | 設 | 昭和45年4月1日(現管理者 丸尾 猛) |
| (3) 所 | 在 | 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1 TEL 078-732-6961(代表) |
| (4) 診 | 療 | 科目 |
| | | 精神科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、代謝・内分泌内科、周産期内科、新生児内科、整形外科、形成外科、脳神経外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、心臓血管外科、産科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、小児歯科 |
| (5) 病 | 床 | 数 |
| | | 一般290床(稼働266床) |
| (6) 沿 | 革 | |
| | 昭和45年4月1日 | 病院開設(管理者 平田 美穂) |
| | 昭和45年4月30日 | 病院本館完成 |
| | 昭和45年5月8日 | 診療開始 |
| | 昭和45年7月23日 | 基準寝具実施(寝第295号) |
| | 昭和45年9月17日 | 基準給食実施(食第307号) 基準看護実施(看第130号) |
| | 昭和46年12月28日 | 母と子の指導教室完成 現在は母と子の教室と呼称 |
| | 昭和47年2月1日 | 基準看護一般特類変更承認(険第98号) |
| | 昭和47年12月1日 | 基準看護精神特類変更承認(険第219号) |

昭和49年10月1日	基準看護一般特二類変更承認(険第108号) 基準看護精神特一類変更承認(険第108号)
昭和50年4月1日	管理者変更受理(管理者 児嶋 喜八郎)
昭和54年3月31日	全館防災設備工事完成
昭和54年8月2日	日本脳神経外科学会認定医制度による指定訓練場所として認定される
昭和55年4月1日	昭和55年3月26日 兵庫県条例第11号 兵庫県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例により診療科目改正、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科を追加
昭和56年5月5日	シアトル小児整形外科病院医療センターとの間に姉妹病院提携
昭和56年10月7日	日本外科学会認定医制度による指定訓練場所として認定される
昭和56年10月12日	日本麻酔学会認定医制度による指導病院として認定される
昭和56年12月6日	日本胸部外科学会認定医認定制度による指定訓練場所として認定される
昭和57年4月1日	日本小児外科学会認定医制度による認定医育成施設として認定される
昭和58年4月1日	日本病理学会認定病理医制度による認定病院として認定される
昭和58年4月11日	日本整形外科学会認定医制度研修施設として認定される
昭和58年10月1日	日本眼科学会専門医制度による研修施設として認定される
昭和60年3月18日	プリンセス・マーガレット小児病院との間に姉妹提携
昭和60年3月28日	日帰り手術棟完成
昭和60年4月3日	日本形成外科学会認定医研修施設として認定される
昭和60年4月15日	日帰り手術棟手術開始
昭和61年3月31日	日本小児科学会認定医制度による研修施設として認定される
昭和61年4月1日	管理者変更受理(管理者 玉木 健雄)
昭和61年4月1日	日本泌尿器科学会専門医教育施設として認定される
昭和61年10月1日	日本医学放射線学会専門医制度規定による修練機関として認定される
昭和62年1月22日	自家発電設備改良工事完成
平成元年2月1日	外国医師臨床習練制度による研修施設として認定される
平成3年5月1日	基準看護一般特三類(一部)変更承認(険第220号)
平成4年4月1日	基準看護一般特三類(260床に)変更承認(険第363号) 医事会計システムの電算化開始、医療業務・事務当直・警備の全面委託開始
平成4年5月9日	週40時間制試行
平成4年5月18日	病床数260床に変更承認(精神病棟廃止)
平成4年7月6日	病床数290床に変更承認(兵庫県指令医第1-67号)
平成4年7月29日	周産期医療センター安全祈願祭
平成4年11月7日	週40時間制本格実施
平成5年4月1日	管理者変更受理(管理者 竹峰 久雄)
平成6年7月20日	周産期医療センター定礎式
平成6年9月1日	管理者変更受理(管理者 小川 恭一)
平成6年9月30日	ドクターズカー購入
平成6年9月30日	周産期医療センター完成
平成6年10月1日	行政組織規則の改正(兵庫県規則第66号)により、周産期医療センターを設置

平成 6 年10月 3 日	周産期医療センター開設記念式典
平成 6 年10月 4 日	周産期医療センター診療開始
平成 7 年 1 月17日	阪神・淡路大震災
平成 7 年 9 月 1 日	本館改修工事に着手
平成 8 年 4 月 1 日	日本産科婦人科学会認定医制度による卒後研修指導施設として指定される
平成10年 6 月30日	本館改修工事完了
平成11年 4 月 2 日	管理者変更受理 (管理者 山本 節)
平成12年 3 月 1 日	総合周産期母子総合医療センターとして指定される
平成12年 4 月24日	慢性疾患児家族宿泊施設 (ファミリーハウス)を開設
平成13年10月10日	駐車場立体化工事に着手
平成14年 2 月28日	立体駐車場完成
平成14年 4 月 1 日	臨床研修病院指定 (厚生労働省発医政第0401006)
平成14年 4 月 1 日	地方公営企業法の財務適用から全部適用に移行
平成14年10月15日	第 3 次小児救急開設 (稼働病床260床)
平成15年 4 月 2 日	管理者変更 (管理者 中村 肇)
平成15年10月30日	臨床研修病院指定 (厚生労働省医政発第1030005号-511,519,526,533)
平成15年11月28日	臨床研修病院指定 (厚生労働省医政発第1128007号-330)
平成16年 3 月22日	(財) 日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(ver.3.1)
平成16年 4 月 1 日	アレルギー科追加
平成18年 4 月 1 日	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設として認定される
平成18年 4 月 1 日	日本気管食道科学会専門医研修施設 (咽喉系) として認定される
平成19年10月 1 日	小児救急医療センターを開設 (稼働病床266床)
平成20年 4 月 1 日	管理者変更 (管理者 丸尾 猛)
平成21年 4 月 1 日	医療法施行令の改正に伴う診療科目標榜名変更
平成21年 7 月 3 日	(財) 日本医療機能評価機構による病院機能評価認定 (ver.5.0)
平成21年12月16日	地域医療支援病院の名称使用承認

3. 業 務 図

(1) 機構一覽表 (2009.12.31現在)



(2) 担当医師表 (2009.12.31現在)

- | | |
|-----------------|---|
| (1) 小 児 科 | 宅見晃子、山口善道、山崎武美 (非常勤) |
| (2) 新生児内科 | 中尾秀人、芳本誠司、溝淵雅巳、上田雅章、坂井仁美、秋田大輔 |
| (3) 脳神経内科 | 永瀬裕朗 |
| (4) 循環器内科 | 城戸佐知子、田中克敏、富永健太、藤田秀樹、齋木宏文 |
| (5) 腎臓内科 | 田中亮二郎 |
| (6) 代謝・内分泌内科 | 郷司克己 |
| (7) 血液・腫瘍内科 | 小阪嘉之、川崎圭一郎、竹田洋樹 |
| (8) 救 急 科 | 上谷良行、長谷川大一郎、福原信一、尾崎佳代、丸山あずさ、
中岸保夫、佐治洋介、神田杏子、奥野美佐子 |
| (9) アレルギー・リウマチ科 | 三好麻里、笠井和子 |
| (10) 小 児 外 科 | 西島栄治、横井暁子、尾藤祐子、中尾真、荒井洋志、岡本光正 |
| (11) 心臓血管外科 | 大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、松久弘典、井上武、河村朱美 |
| (12) 脳神経外科 | 長嶋達也、河村淳史、山元一樹 |
| (13) 形成外科 | 大山知樹、小野田素大 |
| (14) 整形外科 | 薩摩眞一、小林大介 |
| (15) 泌尿器科 | 杉多良文、中川賀清、高木志寿子、久松英治 |
| (16) 耳鼻咽喉科 | 大津雅秀、坂本浩一 (加古川医療センター兼務) |
| (17) 眼 科 | 山本節 (名誉院長)、野村耕治、福村美帆 |
| (18) 精 神 科 | 前田宏章 |
| (19) 小 児 歯 科 | 曾根由美子 |
| (20) 産 科 | 船越徹、佐本崇 (周産期内科)、喜吉賢二、田中達也、高松祐幸、
笹原淳、佐々木紘子、牧志綾、(丸尾猛) |
| (21) 放射線科 | 赤坂好宣 |
| (22) 麻 醉 科 | 黒崎明子、香川哲郎、鈴木毅、高辻小枝子、大西広泰、池島典之、
鹿原史寿子、野々村智子 |
| (23) 病理診断科 | 吉田牧子 |
| (24) フェロー・専攻医 | 藤田杏子、佐藤有美、小川禎治、下岡武史、米倉圭二、奥野啓介、
岩谷壮太、安部信吾、中川拓、猪俣慶、田中裕也、制野勇介、
亀井直哉、山下達也、下川佑子、田中聡、中島絵梨花、田村彰広、
浅野貴大、澤野英樹、妹尾絵美 (小児科)
田村亮、田浦康明、前田健一 (小児外科)
門脇輔 (心臓血管外科)
堀達雄 (脳神経外科)
北村奈都子 (形成外科)
衣笠真紀、布居理沙 (整形外科)
別所宣洋 (眼科)
板橋健太郎、田中大輔 (放射線科)
上北郁男、阪本なおみ、浅野真依子、岡田雅子、大井まゆ、萩原千恵
(麻酔科) |

(3) 外来診療スケジュール (平成21年12月1日)

科名	曜日	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	総合診療	笠井	各担当医	上谷	各担当医	中岸	各担当医	1・3週 宅見 山崎	2・4週 各担当医	佐治	各担当医
	リウマチ・アレルギー 予防接種	三好		三好					三好		
	脳神経	永瀬			丸山			永瀬 丸山 児玉			
	循環器	田中(敏)	城戸	田中(敏)	田中(敏)	城戸	齋木	城戸 田中(敏)	城戸	藤田(秀)	藤田(秀)
	腎臓	1・3・5週 神田	3週 田中(亮)	田中(亮)		田中(亮)					田中(亮)
	代謝内分泌		1・2・4週 郷司			郷司		郷司		尾崎	
	新生児				上田(雅) 秋田 芳本		中尾(秀) 溝淵 坂井		中尾(秀) 芳本 溝淵		坂井 上田(雅) 秋田
	血液	小阪	1・3週 川崎 2・4週 長谷川(大) 5週 竹田		小阪					小阪	小阪
	一般 特殊外来	中尾(真)	中尾(真)	荒井		尾藤	尾藤	西島	西島		横井
外科	心臓		大嶋 松久				大嶋 松久 圓尾				大嶋 松久
	脳神経		山元				長嶋			河村(淳)	河村(淳)
	形成			大山 小野田 言語療法				大山 小野田 西本 言語療法			
	整形		薩摩 小林	薩摩 衣笠	小林 衣笠 (1週側湾外来)	薩摩 小林					二分脊椎
	放射線科										副島
眼科	野村 福村 別所			野村 福村 別所	野村 福村 別所			野村 福村 別所	野村 福村 別所		
泌尿器科	久松		杉多 中川 高木 久松	杉多 中川 高木 久松		高木		杉多 中川 高木 久松	中川 高木 久松	二分脊椎	
耳鼻咽喉科	大津	1週・2週 補聴器	阪本	3週・4週 補聴器			大津			阪本	
		言語聴覚	言語聴覚	言語聴覚	言語聴覚	言語聴覚	言語聴覚	言語聴覚	言語聴覚	言語聴覚	言語聴覚
歯科	曾根	曾根	曾根	曾根			曾根	曾根	曾根	曾根	
精神科	長谷川 (弘)	前田			前田	前田				前田 松川	前田
A D H D 外来			前田	前田							
卒煙外来						永瀬					
発達行動						永瀬					
産科	船越 佐本	超音波 検査	高松 牧志	超音波 外来	佐本 田中(達)	超音波 検査	喜吉 笹原	超音波 外来	船越 佐々木	超音波 検査	

兵庫県立こども病院

〒654-0081
TEL 078-732-6961

神戸市須磨区高倉台1-1-1
FAX 078-732-6980 (地域医療連携室)

印は新患受付曜日となります。

4. 職 員

(1) 職種別人員表 (2009.12.31現在)

職 種 別		現 員 [人]
事 務 職		17
技 能 職	医 師 ・ 歯 科 医 師	77(38)
	薬 劑 師	11
	診 療 放 射 線 技 師	13
	臨 床 検 査 技 師	17(1)
	栄 養 士	2
	看 護 師	408(53)
	視 能 訓 練 士	3
	心 理 判 定 員	2(1)
	精 神 保 健 福 祉 相 談 員	1
	保 育 士	7(1)
	保 健 師	1(1)
	電 気 技 師	1
	言 語 聴 覚 士	2
	臨 床 工 学 技 士	2(1)
	理 学 療 法 士	1
	小 計	548(102)
技 能 労 務 職	電 話 交 換 員	1
	機 関 員	5
	調 理 員	12(1)
	小 計	18(1)
合 計		583(103)

注1 「医師・歯科医師」の現員数は、非常勤医師、研修医師を除く。

2 () 外書きは、臨時的任用職員

(2) 看護單位別看護職員等配置狀況

看護單位	產科	NICU	GCU	ICU	HCU	救急	一般外科	循環器 主体A	循環器 主体B	内外科 混合A	内外科 混合B	血液 主体	中央 手術室	外来	看護部	休暇	合計
稼働病床数	32	15	35	8	20	10	24	24	24	24	24	26					266
看護師定数	40	40	32	34	32	40	25	27	27	18	25	27	32	13	3		415
看護師現員数	42	40	32	36	32	40	25	27	27	25	24	27	33	13	3	40	466
内 訊	助産師	1													2		25
	看護師	39	32	36	32	40	25	27	27	25	25	27	32	13	1	40	441
	(男性)			1	2	5	1	1	2		1		4			2	19
合計	42	40	32	36	32	40	25	27	27	25	24	27	32	13	3	40	466
保育士							1	1	1		1	1					5
看護助手															1		1
補助業務 (業者委託)	1	1	1	1	1		1	1	1	1							9

5. 各種委員会

(1)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
総括マネージャー	院 長	平日毎日11時	院長室	10	前日のヒヤリハット事例

(2)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
感染対策委員会 平成20年度 第9回	中尾 秀人	1月9日	研修室A B	16	細菌分離状況(定例) 抗MRSA薬使用状況(定例) ICT活動状況報告(定例) 抗MRSA薬使用の届出の徹底について 新型インフルエンザ対応マニュアルについて
第10回	中尾 秀人	2月13日	研修室A B	12	定例報告(、 、) 環境感染学会参加について インフルエンザ発症同室者の予防薬の費用負担について 病院機能評価で指摘された点について
第11回	中尾 秀人	3月13日	研修室A B	11	定例報告(、 、) 職員の感染予防の取り組みについて 第24回日本環境感染学会、発表内容について
第12回	中尾 秀人	4月10日	研修室A B	14	定例報告(、 、) 抗菌薬使用に関する院内指針の作成について 職員の麻疹および水痘ワクチンに関する提案 NICU職員の結核発生に関する報告
平成21年度 第1回	中尾 秀人	5月8日	研修室A B	17	定例報告(、 、) 流行性感染症の抗体検査及びワクチン接種について
第2回	中尾 秀人	6月12日	研修室A B	14	定例報告(、 、) 流行性感染症の抗体検査及びワクチン接種について 血液培養陽性時の報告について
第3回	中尾 秀人	7月10日	応接室	12	定例報告(、 、) 流行性感染症の抗体検査及びワクチン接種について 速乾性擦り込み式手指消毒剤の変更について 抗菌薬使用ガイドラインを感染対策マニュアルに追加 新型インフルエンザの対策について
第4回	中尾 秀人	8月14日	研修室A B	13	定例報告(、 、) 新型インフルエンザの対応について(食器の取り扱い)

第5回	中尾 秀人	9月11日	研修室A B	13	定例報告（ 、 、 ） 新型インフルエンザの入院、対応状況について 新型インフルエンザの院内取り決めについて 新型インフルエンザの保健所への報告義務について
第6回	中尾 秀人	10月9日	研修室A B	12	定例報告（ 、 、 ） 新型インフルエンザワクチン接種の運用について アウトブレイク発生時の対応マニュアルについて
第7回	中尾 秀人	11月13日	研修室A B	12	定例報告（ 、 、 ） 新型インフルエンザワクチン接種について 陰圧装置の設置（P I C U、産科病棟）について
第8回	中尾 秀人	12月11日	研修室A B	12	定例報告（ 、 、 ） アクア水の供給中止について

(3)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
倫 理 委 員 会	上谷 良行	7月2日 10:00~	応接室	7	1. 先天性巨大結腸症の親子例に対する遺伝子解析 2. 小児がんにおける染色体異常・遺伝子異常に関する研究 3. ダウン症候群に発症した小児急性骨髄性白血病に対するリスク別多剤併用化学療法の後期第 相臨床試験（A M L - D05）
倫 理 委 員 会	上谷 良行	10月26日 10:00~	応接室	8	1. 頭蓋内ジャーミノーマ（低/中間リスク肺細胞腫瘍）に対する化学療法プロトコル 2. 頭蓋内ジャーミノーマ（高肺細胞腫瘍）に対する強化化学療法プロトコル 3. 小児慢性記期慢性骨髄性白血病に対する多施設共同観察研究 4. 臨床試験不参加の神経芽腫患者の中央診断および臨床情報集積と腫瘍検体保存に関する研究

(4)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
機 種 選 定 委 員 会	管理局長	不定期	会議室	8	200万円以上の医療機械の選定

(5)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
診 療 材 料 委 員 会	西 島 栄 治	年 4 回 (6、9、12、2月)	研修室 A B	12	1. 新規診療材料採用申請の審議 2. J I T Sシステムデータを基にした診療材料変更提案の審議

(6)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
平成20年度 第 4 回栄養給食委員会 第10回 N S T 部会合同 会議	西 島 栄 治	1 月 22 日	研修室 A B	12	1. 食事箋の様式変更について 2. 産科病棟クリスマスバイキング食の実施結果報告について 3. 産科病棟選択メニュー食の実施について 4. N S T 活動について
平成20年度 第 5 回栄養給食委員会 第11回 N S T 部会合同 会議	西 島 栄 治	2 月 26 日	研修室 A B	9	1. 適時適温給食の実施について 2. 産科病棟選択メニュー食の実施結果について 3. 栄養給食管理システム更新の進捗状況について 4. N S T 活動について
平成20年度 第 6 回栄養給食委員会 第12回 N S T 部会合同 会議	西 島 栄 治	3 月 26 日	研修室 C	11	1. 新食事箋への移行について 2. 産科病棟ホワイトデーデザートバイキング食について (報告) 3. 適時給食について 4. 今年度の出来事と来年度の予定について 5. N S T 活動について
平成21年度 第 1 回栄養給食委員会 第 1 回 N S T 部会合同 会議	西 島 栄 治	5 月 28 日	研修室 A B	13	1. 適時適温実施について 2. 平成21年度栄養指導課における検討事項について 3. 平成20年度ひやりハット集計結果について 4. N S T 活動について
平成21年度 第 2 回栄養給食委員会 第 2 回 N S T 部会合同 会議	西 島 栄 治	6 月 25 日	研修室 A B	12	1. 適時適温実施について (報告) 2. 当院ホームページ・入院案内の改正について 3. 食事アレルギー患者様の食事調査票兼確認書の変更について 4. N S T 活動について
平成21年度 第 3 回栄養給食委員会 第 4 回 N S T 部会合同 会議	西 島 栄 治	8 月 27 日	研修室 A B	10	1. 各県立病院の食事オーダーリングの現状について 2. 食事アレルギー患者様の食事調査票兼確認書の聞き取りについて 3. 選択メニュー食の実施について 4. N S T 活動について

平成21年度 第4回栄養給食委員会 第5回NST部会合同 会議	西島 栄治	9月24日	研修室A B	9	1. 全国のこども病院の食事オーダリング の現状について 2. 8月30日間食のアイスクリーム異味異 臭の一件について(中間報告) 3. NST活動について
平成21年度 第5回栄養給食委員会 第6回NST部会合同 会議	西島 栄治	10月22日	研修室A B	10	1. 8月30日間食のアイスクリーム異味異 臭の件について(報告) 2. 10月分ヒヤリハット等について 3. NST活動について
平成21年度 第6回栄養給食委員会 第7回NST部会合同 会議	西島 栄治	11月26日	研修室A B	8	1. 当課クリスマス関連イベントについて 2. NST活動について
平成21年度 第7回栄養給食委員会 第8回NST部会合同 会議	西島 栄治	12月24日	研修室A B	12	1. 年未年始の献立等について 2. NST活動について

(7)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
輸血療法委員会 平成20年度 第3回	小阪 嘉之	3月17日	7F会議室	17	1. 輸血用血液処方箋の改訂について ・副作用報告欄、緊急度欄を追加 ・レイアウトの変更 2. その他 ・廃棄率の推移 ・「輸血療法の実施に関する指針」の一 部改正点について ・新生児病棟分割製剤の取り扱いにつ いて承認
平成21年度 第1回	小阪 嘉之	6月16日	7F会議室	16	1. 血液製剤管理室以外の部署での製剤管 理について 2. 輸血用血液処方箋の改訂の確認 3. 国内における新型インフルエンザの発 生に伴う輸血用血液製剤の適正使用のお 願い
平成21年度 第2回	小阪 嘉之	11月5日	応接室	16	1. 製剤使用状況(廃棄率) 2. 輸血ヒヤリハット事例の紹介 3. 輸血用血液処方箋改訂に伴う各種マニ ュアルの改訂について 4. 血液製剤管理室以外の部署での製剤管 理方法の徹底について 5. 緊急時の輸血対応について
ワーキング会議		11月16日	検査技師室	11	1. 緊急輸血における血液製剤払い出し方 法の見直しについて

平成21年度 第3回	小阪 嘉之	12月7日	応接室	12	1. 輸血用血液処方箋改訂に伴う各種マニュアルの改訂について 2. 緊急輸血における血液製剤払い出し方法について
---------------	-------	-------	-----	----	---

(8)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
薬 事 委 員 会 第1回	上谷 良行	3月5日	研修室C	13	1. 採用医薬品 2. 採用中止医薬品 3. 薬剤情報提供
第2回	上谷 良行	7月2日	研修室C	12	1. 採用医薬品 2. 採用中止医薬品 3. 薬剤情報提供
第3回	上谷 良行	11月5日	研修室C	11	1. 採用医薬品 2. 採用中止医薬品 3. 薬剤情報提供

(9)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
治 験 審 査 委 員 会	中尾 秀人	2月27日	応接室	8	現在進行中の治験8課題の継続について審議また治験審査委員会の手順書、委員会名簿及び会議の記録の概要の公表についても審議した
治 験 審 査 委 員 会	中尾 秀人	4月24日	応接室	6	SME3110の製造販売後臨床試験の実施の適否について審議、また現在進行中の治験7課題の継続についても審議した。さらに公表する治験審査委員会の会議の記録の概要についても審議した
治 験 審 査 委 員 会	中尾 秀人	6月25日	応接室	7	A9451162試験の実施の適否について審議、また現在進行中の治験6課題の継続についても審議した
治 験 審 査 委 員 会	中尾 秀人	8月27日	応接室	7	現在進行中の治験6課題の継続について審議した
治 験 審 査 委 員 会	中尾 秀人	10月21日	応接室	6	A9451165試験及び小児てんかん患者を対象としたTRI476の第 / 相試験の実施の適否について審議、また現在進行中の治験6課題の継続についても審議した
治 験 審 査 委 員 会	中尾 秀人	12月16日	応接室	8	現在進行中の治験7課題の継続について審議した

(10) 医療事故防止対策委員会

名 称	委員長	開催日時	議 題
第 1 回	長嶋 達也	2009. 4 .20	1 リスクマネジメント部会報告 (3 月分)
第 2 回	長嶋 達也	2009. 5 .11	1 リスクマネジメント部会報告 (4 月分)
第 3 回	長嶋 達也	2009. 6 .15	1 リスクマネジメント部会報告 (5 月分)
第 4 回	長嶋 達也	2009. 7 .22	1 リスクマネジメント部会報告 (6 月分)
第 5 回	長嶋 達也	2009. 9 .18	1 リスクマネジメント部会報告 (7 - 8 月分)
第 6 回	長嶋 達也	2009.11. 2	1 リスクマネジメント部会報告 (9 - 10 月分) 2 事故報告
第 7 回	長嶋 達也	2009.12.21	1 リスクマネジメント部会報告 (11月分)
第 8 回	長嶋 達也	2010. 2 .15	1 リスクマネジメント部会報告 (12 - 1 月分) 2 事故報告
第 9 回	長嶋 達也	2010. 3 . 5	事故報告
第10回	長嶋 達也	2010. 3 .15	1 リスクマネジメント部会報告 (2 月分) 2 事故報告

(11)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
リスクマネジメント部会 平成20年度 第10回	長嶋 達也	1 月 8 日	研修室 A B	21名	1. 各部署12月ヒヤリハット報告
第11回	長嶋 達也	2 月12日	研修室 A B	20名	1. 各部署 1 月ヒヤリハット報告 2. 医療安全研修会について
第12回	長嶋 達也	3 月11日	研修室 A B	22名	1. 各部署 2 月ヒヤリハット報告
リスクマネジメント部会 平成21年度 第 1 回	長嶋 達也	4 月14日	研修室 A B	22名	1. 各部署 3 月ヒヤリハット報告
第 2 回	長嶋 達也	5 月12日	研修室 A B	21名	1. 各部署 4 月ヒヤリハット報告 2. 平成20年度の重点取り組み項目について
第 3 回	長嶋 達也	6 月 9 日	研修室 A B	23名	1. 各部署 5 月ヒヤリハット報告
第 4 回	長嶋 達也	7 月14日	研修室 A B	20名	1. 各部署 6 月ヒヤリハット報告

第5回	長嶋 達也	8月11日	研修室A B	21名	1. 各部署7月ヒヤリハット報告 2. 県立病院 医療安全研修会の開催について
第6回	長嶋 達也	9月15日	研修室A B	15名	1. 各部署8月ヒヤリハット報告 2. 神戸市医師会勤務医部会 病院法務セミナー報告
第7回	長嶋 達也	10月13日	研修室A B	21名	1. 各部署9月ヒヤリハット報告 2. 厚労省よりの通達について
第8回	長嶋 達也	11月10日	研修室A B	22名	1. 各部署10月ヒヤリハット報告 2. 医療安全研修会開催について
第9回	長嶋 達也	12月8日	研修室A B	22名	1. 各部署11月ヒヤリハット報告 2. 医療安全研修会報告

(12)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
第8回	池尻 操子	2月10日	研修室C	9名	広報誌「げんきカエル」25号スケジュール と役割分担 原稿依頼先決定
第9回	池尻 操子	3月5日	7F会議室	6名	25号原稿確認・レイアウト
広報委員会 平成21年度 第1回	池尻 操子	5月18日	7F会議室	9名	平成21年度計画 1. 広報誌「げんきカエル」発行4回 2. ホームページ更新・英語版 3. 年報発行 2007・2008
第2回	池尻 操子	6月8日	7F会議室	7名	広報誌「げんきカエル」26号スケジュール と役割分担 原稿依頼先決定
第3回	池尻 操子	8月12日	研修室A B	5名	広報誌「げんきカエル」27号スケジュール と役割分担 原稿依頼先決定
第4回	池尻 操子	9月16日	持ち回り	8名	広報誌「げんきカエル」27号原稿確認・レ イアウト
第5回	池尻 操子	11月16日	研修室A B	8名	広報誌「げんきカエル」28号スケジュール と役割分担 原稿依頼先決定 ホームページの更新と英語版更新について 2009年報原稿依頼時期について
第6回	池尻 操子	12月3日	研修室A B	8名	28号原稿確認・レイアウト

(13)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
化学療法レジメン委員会	小阪 嘉之	5月28日	会議室1	9	1. 使用中の化学療法レジメンの承認、周知 2. 腫瘍プロトコルシステムへのレジメン登録及び確認について
化学療法レジメン委員会	小阪 嘉之	10月2日	会議室1	9	1. 新規及び変更化学療法レジメンについて 2. 血液腫瘍科の外来診療枠の変更について

(14)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
I T 化 推 進 委 員 会 第1回	小阪 嘉之	7月1日	研修室C	15	1. I T 化 推 進 委 員 会 の 立 場 ・ 位 置 付 け 2. 検査部検査オーダーリングについて 3. 放射線部検査オーダーリング・P A C S について
I T 化 推 進 委 員 会 第2回	小阪 嘉之	7月31日	応接室	14	1. 検査部検査オーダーリングについて 2. 放射線部検査オーダーリング・P A C S について 3. 給食オーダーリングについて
I T 化 推 進 委 員 会 第3回	小阪 嘉之	8月27日	研修室C	16	1. 検査部検査オーダーリングについて 2. 放射線部検査オーダーリング・P A C S について 3. 給食オーダーリングについて 4. 薬剤部オーダーリングについて
I T 化 推 進 委 員 会 第4回	小阪 嘉之	9月24日	研修室C	16	1. 検査部検査オーダーリングについて 2. 放射線部検査オーダーリング・P A C S について 3. 給食オーダーリングについて 4. 薬剤部オーダーリングについて 5. 診療支援システムのセキュリティーに ついて
I T 化 推 進 委 員 会 第5回	小阪 嘉之	11月4日	研修室C	13	1. 検査部検査オーダーリングについて 2. 放射線部検査オーダーリング・P A C S について 3. 診療支援システムのセキュリティーに ついて

I T 化 推 進 委 員 会 第 6 回	小 阪 嘉 之	12月 2 日	研 修 室 C	18	1. 放射線部検査オーダーリング・PACS について 2. 各部門システムの進捗状況について 検査部 : 検査用紙のプリントアウト について 放射線部 : X線TV・エコー・画像管 理のオーダーシステム変更について 薬剤部 : システム不具合について (報告)
--------------------------	---------	---------	---------	----	--

(15)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
外来運営委員会 第 1 回	上 谷 良 行	5 月 26 日	研 修 室 A B	10	外来予約枠の見直し、再来受付機の問題
外来運営委員会 第 2 回	上 谷 良 行	7 月 7 日	研 修 室 A B	9	外来予約枠の見直し、食物負荷試験の実施
外来運営委員会 第 3 回	上 谷 良 行	9 月 10 日	研 修 室 C	10	外来予約枠の見直し、拡大
外来運営委員会 第 4 回	上 谷 良 行	12月 23 日	研 修 室 C	10	外来予約枠の見直し (泌尿器科、小児外科)、 放射線外来診療体制の検討

(16)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
放 射 線 安 全 委 員 会	郷 司 克 己	1 月 30 日	研 修 室 C	8	1. 平成20年度放射線業務従事者管理状況 について 2. 平成20年度第 2 回放射線安全研修会、 開催について

(17) 放射線安全委員会活動記録

名 称	開催日時	場 所	出席者数	議 題
平成20年度 第 2 回 放射線障害予防規定による教育及び 訓練	3 月 3 日	研 修 室 A B	42	障害防止法令・予防規定 R I の安全取扱い 放射線発生装置の安全取扱い 人体への影響 M R I の危険性
平成21年度 第 1 回 放射線障害予防規定による教育及び 訓練	4 月 15 日	研 修 室 A B	47	放射線被ばくについて 放射線の人体への影響 M R I 検査と安全について

(18) 医療の質向上委員会

名 称	委員長	開催日時	議 題
第 1 回	長嶋 達也	2009. 9 .29	臨床指標の選定
第 2 回	長嶋 達也	2009. 12. 15	臨床指標のとりまとめ

教育研修活動

1. カンファレンス・勉強会

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/6 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	Rh不適合溶血性黄疸 交換輸血	小川 慎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/6 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	2009年ルーチン総括	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/8 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	MD 双胎, TTTS, 腸穿孔, PDA clipping	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/8 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	ROP, 説明文	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/13 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	断熱シート研究 (1/3) : 背景, 対象と方法	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/15 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	MD 論文 (1/2) : 緒言, 症例	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/15 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	2008年感染対策総括	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/20 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	2008年感染対策総括	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/20 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	正期産児のIL-6	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/22 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	DWIの適応	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/22 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	高乳酸血症, ビルビン酸脱水素酵素異常症 (PDHC異常) 疑い	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/22 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	不整脈論文 (1/3) : 緒言, 対象と方法	小川 慎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/27 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	地方会: Kenny-Caffey 症候群	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/27 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	CDH 論文 (1/2) : 緒言, 症例	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/29 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	18トリソミー	中島絵梨花
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/29 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	出生後アイト投与	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/1/29 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	地方会: 羊水過少に伴う肺低形成	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/3 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	2008年新生児科統計	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/3 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	一児に心筋肥厚を認めたMD 双胎	上羽由希子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/5 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	MD 論文 (2/2) : 考察	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/5 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	MCDK2例	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/10 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	断熱シート研究 (2/3) : 結果, 図表	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/12 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	IDM	中島絵梨花
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/12 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	家族性滲出性硝子体網膜症, PDA, 風車翼状手, 頸骨形成不全	小川 慎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/17 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	巨大頭蓋内腫瘍, 30週	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/17 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	論文 (1/2) : 緒言, 症例 PPRM による肺低形成, 重症 CLD, PHの管理	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/19 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	22週 高血糖	上羽由希子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/19 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児: TAF の検討	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/24 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	先天性胆道拡張症	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/24 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	DLS, PPHN, PDA clipping	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/25 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児: 新生児発作の連続脳波記録	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/25 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児: 成熟児のIL-6	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/26 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	未熟児懇話会予演会: 胸郭低形成, 肺低形成, 巨大リンパ管腫	中島絵梨花
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/2/26 午後4:00~5:30	NICUカンファレンスルーム	14	不整脈論文 (2/3) : 結果, 図表, 考察	小川 慎治

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/2 月 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児：MCDK35例	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/2 月 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児：TAFの検討 5例	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/3 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児：超早産児の尿中ステロイドホルモンの変化	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/3 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児：出生後ステロイド	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/4 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児：超早産児における生後早期のPDA clippingの安全性	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/4 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	周産期新生児：CDH	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/5 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	非典型的TTTSの出生前経過の検討	上羽由希子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/5 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	論文：症例提示，図表 Jarcho-levin 症候群 椎肋骨異形成の一例	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/10 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	院内症例検討会 予演会 MCDKのまとめ	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/10 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	近畿小児科：新生児不整脈	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/12 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	未熟児懇話会予演会：胸郭低形成，肺低形成，巨大リンパ管腫	中島益梨花
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/12 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	断熱一ト研究 (3/3)：考察	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/17 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	DT 品胎 PDAclipping	中島益梨花
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/17 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	論文 (3/3)：考察 Jarcho-levin 症候群 胸椎肋骨異形成の一例	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/18 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	Potter sequence	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/19 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	論文 (2/2)：考察 症例 PPRMによる肺低形成，重症CLD,PHの管理	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/19 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	非典型的TTTSの出生前経過の検討	上羽由希子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/24 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	CDH 論文 (2/2)：考察	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/24 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	不整脈論文 (3/3)：考察	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/26 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	14	RhD 不適合による溶血，予防的 クロブリン投与	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/3/31 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	6	スタッフミーティング	
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/4/2 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	ルーチン総括	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/4/7 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	20週以前のPPROM，羊水過少，肺低形成症，先天性敗血症	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/4/7 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	13トリソミー 胎児水腫 無尿	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/4/9 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	新生児仮死の一例	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/4/14 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	小児科学会：ROP 発症率の低下とその要因	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/4/14 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	小児科学会：両児ともPDA 閉鎖術を行ったTTTS例	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/4/16 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	地方会：	山下達也
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/4/16 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	地方会：	猪俣 慶

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/6/30 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	レバチオ	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/2 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	周産期新生児：周産期ストレスとIL-6	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/2 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	空腸閉鎖 MD 双胎一児 IUFDの生存超低出生体重児	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/7 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	超早産児の生後早期の体温管理、ノーベルバール症例	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/7 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	周産期新生児：PNSの現状と問題点	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/9 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	周産期新生児：新生児発作に対するaEEG	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/9 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	人工呼吸管理を要した軟骨無形成の一例	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/16 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	退院後に慢性硬膜下血腫を来した18トリソミーの一例	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/16 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	右側先天性横隔膜ヘルニア	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/21 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	難治性新生児けいれん	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/23 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	研究総括	田中 聡
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/23 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児：超早産児における出生時フェリチン値と胎盤病理所見の関係	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/28 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児：出生前ステロイド	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/28 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児：超早産児における早発型敗血症の臨床像の検討	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/7/30 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児：LatePreterm児の呼吸障害を出生時IL-6値で予測できるか	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/4 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	胎児母体間輸血症候群 心不全	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/4 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児	田中 聡
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/6 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児：超早産児のLLSにおける気管内吸引液の分析	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/6 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児：出生体重600g以下のSGA児に対する予防的INDO少量持続投与	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/7 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児：超早産児の出生時フェリチンと胎盤病理	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/7 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児新生児：Kenny-Caffey syndromeの一例	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/11 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	先天性白皮症	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/11 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	LLS PDAclipping ELBWI	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/13 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	MMI内服母体から出生した臍帯ヘルニアの一例	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/13 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	2008年胎盤病理のまとめ	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/18 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	重症仮死の超出生体重児、CLD,NEC	田中 聡
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/18 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	MD双胎のselectiveIUGRの一例	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/20 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	両側CCAM	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/25 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	2009研究計画（出生前ステロイドと生後早期の血圧）	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/8/27 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	超早産児の保温	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/1 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	CAM、FIRSにおけるサイトカインと新生児合併症の検討	猪俣 慶

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/3 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	MD 双胎の病態分析	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/3 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	地方会：MRI 拡散強調画像で典型的な画像所見を呈した重唱新生児低血糖の一例	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/8 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	28週 CLD に伴う PH に対するシルデナフィル早期投与	田中 聡
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/10 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	新生児仮死における超急性期 MRI 所見	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/15 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	無症候性低血糖 早産児	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/15 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児懇話会：CLD に伴う PH に対するシルデナフィル早期投与	田中 聡
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	シルデナフィルの投与	田中 聡
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	胎盤の亜急性炎症を呈した症例のまとめ	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/24 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	滑脳症 Comelia de Lange?	下川 祐子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/9/29 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	超急性期 DWIMRI で異常を呈した重症新生児仮死	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/1 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	新生児の人工呼吸管理	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/6 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	23週 壊死性腸炎 腸穿孔	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/8 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	胎便性腹膜炎	下川 祐子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/8 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	小児科学会：MD 双胎の selective FGR のまとめ	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/13 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	小児科学会：DD 双胎の予後	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/13 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	小児科学会：サーファクタント補充を要した Late pre term 児の背景	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/15 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	新生児仮死の超急性期 MRI	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/15 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	IGFBP-3の可能性	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/20 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	羊水差を認め、経過良好であった MD 双胎	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/22 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	食道裂孔ヘルニア 小胃症	亀井 直哉
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/27 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	吐血、下血、貧血、ミルクアレルギー疑い	下川 祐子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/27 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	胎盤早期剥離の児の予後	田中 聡
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/29 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	T T T S、著明な心筋肥厚	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/29 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	D C H、軽症CLD、CT所見あり	妹尾 絵美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/10/30 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	18トリソミー、triple shunt, PA banding 術前に心不全で死亡 5ヶ月	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/5 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	空腸閉鎖、十二指腸狭窄	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/5 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	偽性低アルドステロン症、筋緊張低下	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/10 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	APS：Effect of HC Therapy on sLLS	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/10 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	気管内吸引に伴う肺虚脱	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/12 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	腹壁破裂、サイロ形成、Sutureless Closure	亀井 直哉
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/12 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	新生児仮死に対する硫酸マグネシウム投与	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/17 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児新生児：Kenny Caffey syndrome の一例	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/17 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児新生児：フェリチン値と胎盤病理	浅野 貴大

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/18 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児新生児：超早産児の早発型敗血症	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/18 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児新生児：ANSの抗炎症作用	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/19 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児新生児：CLD児のRA-SAT	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/19 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児新生児：IL-6による胎盤炎症の推測	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/24 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児新生児：LLSのTAF分析	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/24 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児新生児：SGA児のPDAに対するINDO投与	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/26 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	近畿小児科学会：偽性低アルドステロン症，筋緊張低下	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/11/26 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	近畿小児科学会：早産児の遅発型敗血症	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/3 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	Campomelic dysplasia	妹尾 絵美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/3 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	インフルエンザ母体より出生のELBWI	下川 祐子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/8 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	早期にLLSを呈した超早産双胎	亀井 直哉
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/8 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	2010 ASPR：新生児仮死児における超急性期MRI	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/10 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	Infant flow SIPAP	猪俣 慶
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/10 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	未熟児懇話会：偽性低アルドステロン血症	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/15 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	2010年研究計画	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/15 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	2010年研究計画	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/16 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	2010年研究計画	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	2010年研究計画	浅野 貴大
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	兵庫県地方会：ミルクアレルギ-の一例	下川 祐子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/22 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	フェンタニルの適応と投与方法	亀井 直哉
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/22 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	2010年研究計画	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/24 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	2010年研究計画・総括	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2009/12/24 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	超早産，巨大，仙尾部奇形腫(Altman4型)	下川 祐子

名称	日時	場所	参加者
産科モーニングカンファレンス	毎朝 8 : 40 ~ 9 : 05	産科病棟詰め所	産科医師、看護師
周産期カンファレンス	毎月曜 16 : 30 ~ 16 : 55 (月が休日の場合は火)	産科外来指導室	産科・新生児科・小児外科・病理科医師、 看護師、検査技師、薬剤師
抄読会	毎金曜 8 : 20 ~ 8 : 40	産科病棟医師控え室	産科医師
ウィークエンドカンファレンス	毎金曜 16 : 00 ~ 16 : 25 (金が休日の場合は木)	産科病棟詰め所	産科医師、看護師、検査技師、薬剤部
MRIカンファレンス	奇数月最終週木か金の 17 : 00 ~	放射線科読影室	産科、放射線科医師、放射線技師
症例検討会	偶数月最終週月の 17 : 00 ~	産科外来指導室	産科医師

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ	担当
research conference	救急集中治療科、腎臓内科	2009/04/07	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12		田中 亮二郎
research conference	救急集中治療科、代謝内分泌科	2009/04/09	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	ターナー症候群	奥野 美佐子
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/04/14	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	TLS	竹田 洋樹
protocol update	救急集中治療科、リウマチアレルギー科	2009/04/15	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	川崎病 ⁷ 、トコル	中岸 保夫
protocol update	救急集中治療科	2009/04/15	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	敗血症 ⁷ 、トコル	安部 信吾
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/04/21	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	血液疾患における血小板輸血のトリガー 値と血小板濃厚液の適正使用基準	長谷川 大一郎
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/04/21	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	血小板輸血	長谷川 大一郎
protocol update	救急集中治療科、代謝内分泌科	2009/04/22	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	糖尿病 sick day の対応	米倉 圭二
protocol update	救急集中治療科	2009/04/23	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	頭部外傷	澤田 杏子
protocol update	救急集中治療科、脳神経内科	2009/04/23	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	細菌性髄膜炎	丸山 あずさ
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/04/28	小児救急医療センター カンファレンスルーム	10	ITP	川崎 圭一郎
protocol update	救急集中治療科	2009/04/30	小児救急医療センター カンファレンスルーム	16	敗血症	安部 信吾
protocol update	救急集中治療科、代謝内分泌科	2009/04/30	小児救急医療センター カンファレンスルーム	16	糖尿病性ケトアシドーシス	奥野 美佐子
protocol update	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/05/07	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	TLS	竹田 洋樹
journal club	救急集中治療科	2009/05/12	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	死亡原因が不明の乳幼児の対応	澤田 杏子
journal club	救急集中治療科	2009/05/12	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	乳幼児死亡	藤田 杏子
research conference	救急集中治療科、リウマチアレルギー科	2009/05/14	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13		田中裕也/安部信吾
journal club	救急集中治療科、リウマチアレルギー科	2009/05/19	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	MAS	三好 麻里
journal club	救急集中治療科、リウマチアレルギー科	2009/05/19	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	MAS	三好 麻里
protocol update	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/05/21	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	ITP	川崎 圭一郎
protocol update	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/05/21	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	血小板輸血	長谷川 大一郎
journal club	救急集中治療科、脳神経内科	2009/06/02	小児救急医療センター カンファレンスルーム	11	熱性痙攣の慢性管理	永瀬 裕朗
research conference	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/06/04	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12		

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ	担当
journal club	救急集中治療科、腎臓内科	2009/06/09	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	低 K 血症	下岡 武史
protocol update	救急集中治療科	2009/06/11	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	乳幼児死亡の対応	藤田 杏子
journal club	救急集中治療科、腎臓内科	2009/06/16	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	急性腎不全	神田 杏子
journal club	救急集中治療科、リウマチアレルギー科	2009/06/23	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	川崎病	中岸 保夫
protocol update	救急集中治療科	2009/09/14	小児救急医療センター カンファレンスルーム	18	骨折の対応	衣笠 真紀
case report	救急集中治療科、脳神経内科	2009/09/29	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	ステロイドパルスが奏功した小児の脱 髄性疾患の一例	大橋 秀基
research conference	救急集中治療科、脳神経内科	2009/10/01	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	インフルエンザ脳症ガイドラインの検 討	永瀬 裕朗
protocol update	救急集中治療科、脳神経内科	2009/10/08	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	熱性痙攣	永瀬 裕朗
protocol update	救急集中治療科、脳神経内科	2009/10/12	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	脳低温療法	佐治 洋介
journal club	救急集中治療科	2009/10/13	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	プロカルシトニン	岩谷 壮太
protocol update	救急集中治療科、腎臓内科	2009/10/13	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	高 K 血症	下岡 武史
protocol update	救急集中治療科、リウマチアレルギー科	2009/10/15	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	川崎病	中岸 保夫
protocol update	救急集中治療科、腎臓内科	2009/10/15	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	急性腎不全	神田 杏子
journal club	救急集中治療科、脳神経内科	2009/10/20	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	連続脳波モニタリング	丸山あずさ
protocol update	救急集中治療科	2009/10/22	小児救急医療センター カンファレンスルーム	11	熱傷	安部 信吾
journal club	救急集中治療科、リウマチアレルギー科	2009/10/27	小児救急医療センター カンファレンスルーム	10	TEN, SUS	田中 裕也
case report	救急集中治療科、リウマチアレルギー科	2009/10/29	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	TEN	藤本 陽介
journal club	救急集中治療科	2009/11/02	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12		中川 拓
research conference	救急集中治療科、腎臓内科	2009/11/05	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	腎 リサーチカンファレンス	神田 杏子
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/11/10	小児救急医療センター カンファレンスルーム	16	抗真菌薬	小阪 嘉之
case report	救急集中治療科	2009/11/10	小児救急医療センター カンファレンスルーム	16	外傷性顔面神経麻痺	大森 翔子
journal club	救急集中治療科、代謝内分泌科	2009/11/17	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	カルシウム異常	尾崎 佳代
protocol update	救急集中治療科、脳神経内科	2009/11/19	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	連続脳波モニタリング	丸山 あずさ

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ	担当
protocol update	救急集中治療科、リウマチアレルギーク	2009/11/19	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	TEN/SJS	田中 裕也
journal club	救急集中治療科	2009/12/01	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	外傷初療	福原 信一
research conference	救急集中治療科、リウマチアレルギーク	2009/12/03	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	リウマチアレルギーク	田中 裕也
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/12/08	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	赤血球輸血	長谷川 大一郎
protocol update	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/12/10	小児救急医療センター カンファレンスルーム	16	カンジダ真菌症の治療	小阪 嘉之
protocol update	救急集中治療科、脳神経内科	2009/12/10	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	脳性麻痺患者の筋緊張亢進に対する 薬剤	中川 拓
journal club	救急集中治療科、腎臓内科	2009/12/15	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	エンドトキシン吸着療法	田中 亮二郎
protocol update	救急集中治療科、代謝内分泌科	2009/12/17	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	カルシウム代謝異常	尾崎 佳代
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2009/12/22	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	ITP	川崎 圭一郎
case report	救急集中治療科	2009/12/24	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	短腸症候群	石田 潤
journal club	救急集中治療科、代謝内分泌科	2010/01/05	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	高アンモニア血症	奥野 美佐子
research conference	救急集中治療科、脳神経内科	2010/01/07	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	連続脳波モニタリング	丸山 あずさ
research conference	救急集中治療科、脳神経内科	2010/01/07	小児救急医療センター カンファレンスルーム	14	連続脳波モニタリング	丸山 あずさ
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2010/01/12	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	DIC	笠井 和子
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2010/01/14	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	赤血球輸血の適応と使用指針	長谷川 大一郎
protocol update	救急集中治療科、血液腫瘍科	2010/01/14	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	赤血球輸血	長谷川 大一郎
journal club	救急集中治療科	2010/01/19	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	精巣捻転	山口 善道
protocol update	救急集中治療科、腎臓内科	2010/01/21	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	エンドトキシン吸着	田中 亮二郎
protocol update	救急集中治療科、血液腫瘍科	2010/01/21	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	ITP	川崎 圭一郎
journal club	救急集中治療科、代謝内分泌科	2010/01/26	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	DM sick day	米倉 圭二
protocol update	救急集中治療科	2010/01/28	小児救急医療センター カンファレンスルーム	11	外傷初療	福原 信一
journal club	救急集中治療科、血液腫瘍科	2010/02/02	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	TLS	竹田 洋樹
case report	救急集中治療科、脳神経内科	2010/02/04	小児救急医療センター カンファレンスルーム	11	PNSE	心石 裕子

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ	担当
journal club	救急集中治療科	2010/02/09	小児救急医療センター カンファレンスルーム	10	急性細気管支炎	奥野 啓介
protocol update	救急集中治療科、血液腫瘍科	2010/02/15	小児救急医療センター カンファレンスルーム	10	DIC	笠井 和子
case report	救急集中治療科	2010/02/25	小児救急医療センター カンファレンスルーム	12	3カ月の頭部外傷	蒲田 悦子
protocol update	救急集中治療科	2010/03/04	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	急性陰嚢症	山口 善道
protocol update	救急集中治療科、脳神経内科	2010/03/11	小児救急医療センター カンファレンスルーム	11	重症心身障害児の筋緊張亢進に対する薬剤	中川 拓
protocol update	救急集中治療科	2010/03/16	小児救急医療センター カンファレンスルーム	10	プロカルシトニン	岩谷 壮太
case report	救急集中治療科	2010/03/18	小児救急医療センター カンファレンスルーム	10	小児鈍性肝損傷の1例	尾崎 貴洋
protocol update	救急集中治療科、血液腫瘍科	2010/03/18	小児救急医療センター カンファレンスルーム	11	TLS	竹田 洋樹
protocol update	救急集中治療科	2010/03/26	小児救急医療センター カンファレンスルーム	13	乳幼児死亡症例の対応	藤田 杏子
protocol update	救急集中治療科、代謝内分泌科	2010/03/26	小児救急医療センター カンファレンスルーム	15	高アンモニア血症	奥野 美佐子
research conference	救急集中治療科	2010/03/29	小児救急医療センター カンファレンスルーム	10	症例報告	伊賀 真紀子

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	1月7日 16:30~17:30	研修室C	血液腫瘍科4名、放射線科3名、外科7名、病理1名、脳外科4名、代謝内分泌科1名、耳鼻科2名	1) 脳胚細胞腫瘍 (13歳男) 2) 右耳LCH (0歳女) 3) 左副腎皮質癌 (0歳男) 4) 視床毛様膠腫 (7歳女) 5) 胸部神経芽腫 (10歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理、眼科	1月14日 18:30~19:30	研修室A B	血液腫瘍科4名、放射線科3名、外科6名、脳外科3名、病理1名、眼科3名	1) 右網膜芽腫 (1歳女) 2) 胸部神経芽腫 (10歳男) 3) 両側腎芽腫 (1歳女) 4) 両側網膜芽腫 (1歳男) 5) 右網膜芽腫 (2歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理、眼科	1月28日 18:15~19:00	研修室C	血液腫瘍科4名、放射線科3名、外科7名、眼科1名、病理1名	1) 両側網膜芽腫 (1歳男) 2) 胸部神経芽腫 (11歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、眼科、病理	2月4日 16:30~17:45	研修室A B	血液腫瘍科2名、放射線科1名、外科5名、脳外科4名、眼科3名、病理1名	1) 脊髄多発腫瘍 (12歳女) 2) 神経芽細胞腫 (1歳女) 3) 肝芽腫 (2歳男) 4) 右網膜芽腫 (2歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	2月10日 17:30~18:45	研修室C	血液腫瘍科3名、放射線科4名、外科5名、脳外科4名、病理1名	1) 肝芽腫 (2歳男) 2) 肝芽腫 (15歳16歳女) 3) 後縦隔腫瘍 (3歳女) 4) 左小脳腫瘍 (2ヶ月女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、眼科、内分泌科、病理	2月18日	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科4名、脳外科3名、内分泌科1名、病理1名	1) 右副腎腫瘍 (6ヶ月男) 2) 腹部腫瘍 (2歳男) 3) 頭蓋骨LCH (3歳女) 4) 左前額部腫瘍 (2歳女) 5) 側頭葉腫瘍 (9歳男) 6) 多発性脊髄腫瘍 (12歳女) 7) 右眼球腫瘍 (6歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、病理	2月25日	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科4名、脳外科4名、病理1名	1) 側頭葉腫瘍 (9歳男) 2) 視神経路視床下部神経膠腫 (5歳女) 3) 右半球大脳腫瘍 (9歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	3月4日 16:30~17:00	研修室A B	血液腫瘍科5名、放射線科1名、外科4名、脳外科2名、病理1名	1) 腹部腫瘍 (2歳男) 2) 視神経路視床下部神経膠腫 (5歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、内分泌科、病理	3月18日 16:30~17:30	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科4名、外科8名、内分泌科3名、病理1名	1) 右副腎腫瘍 (0歳男) 2) 腹腔内腫瘍 (5歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	3月25日 18:30~19:00	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科4名、外科8名、脳外科4名、病理1名	1) 多発性脊髄腫瘍 (12歳女) 2) 縦隔神経芽腫 (14歳男) 3) 肝芽腫 (16歳女) 4) 左副腎腫瘍 (1歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	4月1日 17:30~18:00	研修室A B	血液腫瘍科5名、放射線科4名、外科8名、病理1名	1) 神経芽細胞腫 (1歳女) 2) 肝芽腫 (2歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、病理	4月15日 16:30~17:00	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、病理1名	1) 脳胚細胞腫瘍 (13歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、眼科、病理	4月22日 16:30~17:00	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科4名、外科8名、眼科3名、病理1名	1) 右網膜芽細胞腫 (6歳女) 2) 左副腎神経芽腫 (2歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、病理	4月28日 17:30~18:20	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科1名、脳外科2名、病理1名	1) 小脳腫瘍 (6歳女) 2) 鞍上部腫瘍 (13歳男)

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、形成外科、病理	5月13日 16:30~17:00	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科4名、外科8名、脳外科3名、病理1名、形成外科3名	1) 下顎歯肉腫瘍 (3ヶ月) 2) タグラス高腫瘍 (1ヶ月) 3) 左腎腫瘍 (1歳男) 4) 左大脳半球脳実質内腫瘍 (6歳)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	5月20日 16:30~17:00	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科4名、外科3名、病理1名	1) 神経芽細胞腫 (2歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、病理	5月22日 14:00~14:20	放射線科読影室	血液腫瘍科5名、放射線科1名、脳外科2名、病理1名	1) 脳胚細胞腫瘍再発 (14歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、眼科、内分泌科、病理	5月27日 17:30~18:30	研修室C	血液腫瘍科4名、放射線科4名、外科4名、脳外科3名、眼科3名、内分泌科2名、病理1名	1) 脳胚細胞腫瘍 (13歳男) 2) 脊髄上衣腫 (12歳女) 3) 右網膜芽細胞腫 (6歳女) 4) 膀胱横紋筋肉腫 (2歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	6月4日 17:30~19:00	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科3名、外科4名、病理1名	1) 卵巣嚢腫 (1歳女) 2) 左腎腫瘍・胆道閉鎖症術後 (1歳男) 3) 右副腎神経芽腫 (5歳女) 4) 仙尾部腫瘍 (5ヶ月女) 5) 左頸部腫瘍 (13歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、眼科、病理	6月11日 16:30~17:00	研修室C	血液腫瘍科6名、放科2名、外科4名、脳外科1名、眼科3名、病理1名	1) 後腹膜腫瘍 (2歳男) 2) 左視神経膠腫 (2歳男)
外科カンファレンス	外科、放射線科、病理	6月9日 8:00~9:00	外科カンファレンス ルーム	外科7名、放射線科3名、病理1名	
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	6月17日 16:30~17:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科2名、外科7名、病理1名	1) 前縦隔腫瘍 (12歳女) 2) 後腹膜腫瘍 (2歳男) 3) 右肺下葉嚢胞性病変 (3歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放科、脳外科、病理	6月24日 17:30~18:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放科3名、脳外科3名、病理1名	1) 松果体部腫瘍 (12歳男) 2) 脳胚細胞腫瘍再発 (14歳女) 3) 右網膜芽細胞腫 (6歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	7月1日 17:00~18:00	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、外科3名、脳外科4名、病理1名	1) 腹部腫瘍 (2歳男) 2) 右後頭葉腫瘍 (0歳8ヶ月男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	7月9日 16:30~17:00 18:00~18:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科2名、外科3名、脳外科4名、病理1名	1) 右後頭葉上衣腫 (0歳8ヶ月男) 2) 右胸壁腫瘍 (1歳5ヶ月女) 3) 後縦隔腫瘍 (0歳6ヶ月女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	7月15日 16:30~17:50	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科2名、外科4名、脳外科4名、整形外科1名、病理1名	1) 後縦隔腫瘍 (0歳6ヶ月女) 2) 脳腫瘍 (7歳女) 3) 後縦隔腫瘍 (3歳女) 4) 神経芽細胞腫 (5歳男) 5) 松上部脳腫瘍 (13歳男) 6) 松果体部腫瘍 (12歳男) 7) 左大脳半球脳実質内腫瘍 (6歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、整形外科、救急科、病理	7月23日 18:30~19:20	研修室A B	血液腫瘍科6名、放射線科3名、外科4名、救急科3名、整形外科1名、病理1名	1) 後縦隔腫瘍 (0歳6ヶ月女) 2) 左大腿骨遠位部腫瘍 (6歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、整形外科、病理	7月29日 16:30~17:20	研修室A B	血液腫瘍科6名、放射線科1名、整形外科1名、病理1名	1) 左大腿骨腫瘍 (4歳男) 2) 脳混合胚細胞腫瘍 (13歳男)

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	8月5日 17:30~18:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、外科3名、脳外科2名、病理1名	1) 後縦隔腫瘍 (3歳女) 2) 肝芽腫 (16歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、耳鼻科、泌尿器科、病理	8月12日 17:30~18:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、外科4名、脳外科2名、耳鼻科1名、泌尿器科1名、病理1名	1) 膀胱横紋筋肉腫 2) 後腹膜腫瘍 (1ヶ月男) 3) 左頸部腫瘍 (1歳女) 4) 左視神経膠腫 (6歳)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、泌尿器科、病理	8月19日 17:30~18:30	研修室C	血液腫瘍科7名、放射線科4名、外科4名、脳外科3名、泌尿器科4名、病理1名	1) 膀胱腫瘍 (2歳男) 2) 左腎腫瘍 (0歳男) 3) 左頸部腫瘍 (1歳女) 4) 脊髄腫瘍 (13歳女) 5) 脳腫瘍 (9歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、耳鼻科、病理	8月26日 17:30~18:00	研修室C	血液腫瘍科7名、放射線科4名、脳外科4名、耳鼻科1名、病理1名	1) 右耳介後部腫瘍 (1歳女) 2) 上衣腫 (0歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、眼科、形成外科、病理	9月2日 17:30~18:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科3名、眼科3名、形成外科1名、病理1名	1) 左下顎部腫瘍 (3歳) 2) 右網膜芽細胞腫 (6歳女) 3) 傍膀胱横紋筋肉腫 (0歳5ヶ月男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	9月9日 17:30~18:00	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、外科3名、脳外科5名、病理1名	1) 左腎腫瘍 (0歳10ヶ月男) 2) 脊髄腫瘍 (12歳女児)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、形成外科、病理	9月16日 17:30~18:30	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科5名、外科5名、脳外科4名、形成外科1名、病理1名	1) 後縦隔神経芽腫 (0歳2ヶ月男) 2) 頭蓋内胚細胞腫瘍 (14歳男) 3) 視神経膠腫 (9歳女) 4) 左下顎部腫脹 (3歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、泌尿器科、脳外科、病理	9月24日 18:30~19:20	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、泌尿器科3名、脳外科2名、病理1名	1) 左精巣腫瘍 (0歳8ヶ月男) 2) 側頭葉腫瘍 (9歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	9月30日 18:30~19:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、外科6名、脳外科4名、病理1名	1) 左腎腫瘍・胆道閉鎖症術後 (1歳男) 2) 右副腎腫瘍 (0歳1ヶ月男児) 3) 頭蓋内胚細胞腫瘍再発 (14歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	10月7日 17:30~18:00	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、外科4名、脳外科3名、病理1名	1) 左眼窩内腫瘍 (6歳) 2) 左下顎部腫瘍 (0歳2ヶ月) 3) 右腎嚢胞性腫瘍 (1歳)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、救急科、脳外科、病理	10月14日 17:30~18:10	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科5名、救急科2名、脳外科2名、病理1名	1) 小脳腫瘍 (3歳男) 2) 側頭葉腫瘍 (9歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、泌尿器科、病理	10月21日 1:30~18:00	研修室C	血液腫瘍科7名、放射線科4名、外科4名、脳外科3名、泌尿器科3名、病理1名	1) 右耳下部腫瘍 (2ヶ月児) 2) 右小脳腫瘍 (7歳女) 3) 小脳髄芽腫 (6歳女) 4) 右腎嚢胞性腫瘍 (1歳)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理、救急科	11月4日 17:30~18:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科4名、外科6名、脳外科3名、病理1名、救急科1名	1) 右嚢胞性腎腫瘍 (1歳男) 2) 胸部神経芽腫 (11歳男) 3) 延髄腫瘍 (4歳女) 4) 鞍上部脳腫瘍 (13歳男) 5) 小脳腫瘍 (0歳女)

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	11月11日 17:30～18:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科5名、外科5名、脳外科1名、病理1名	1) 縦隔腫瘍 (0歳10ヶ月女) 2) 左下腹部腹壁腫瘍 (1歳9ヶ月女) 3) 後腹膜腫瘍 (2ヶ月) 4) 神経膠芽腫 (3歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	11月18日 17:30～18:00	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科5名、外科2名、病理1名	1) 縦隔腫瘍 (12歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、内分泌科、脳外科、病理	11月25日 18:30～19:30	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科5名、内分泌科1名、脳外科4名、病理1名	1) 脊髄腫瘍 (4歳女) 2) 左半球神経膠芽腫 (7歳男) 3) 頭蓋内胚細胞腫瘍 (14歳男) 4) 大脳神経膠芽腫 (3歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	12月2日 17:30～18:00	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科5名、外科4名、病理1名	1) 腹腔内腫瘍 (0歳11ヶ月) 2) 後腹膜腫瘍 (0歳2ヶ月男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、形成外科、内分泌科、病理	12月9日 17:30～18:00	研修室C	血液腫瘍科6名、放射線科5名、形成外科1名、内分泌科1名、病理1名	1) 乳児血管腫の疑い (1歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、小児科、病理	12月16日 17:30～18:00	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科5名、外科2名、病理1名	1) 小腸腫瘍 (4歳男児) 2) 多発骨病変 (15歳女児)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、眼科、病理	12月24日 18:00～18:30	研修室C	血液腫瘍科5名、放射線科5名、眼科3名、病理1名	1) 左網膜芽細胞腫 (1歳11ヶ月男)

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ
麻酔科カンファレンス	麻酔科	通年、毎日午前 8 時40分から 9 時	手術室内 麻酔医室	8 -14名	毎日の麻酔症例について 検討、情報交換を行う
麻酔科抄読会	麻酔科	隔週月曜、午前 8 時40分から 9 時	手術室内 麻酔医室	8 -14名	英文雑誌から麻酔関連論 文の紹介
麻酔科・心臓外科合同 カンファレンス	麻酔科・ 心臓外科	通年、毎日午前 7 時55分から 8 時 10分	ICU	10名程度	当日の心臓外科症例につ いてのカンファレンス

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009. 9 .30 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	心臓血管外科カンファレ ンス開催宣言	
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.10. 7 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	HLHS 治療方針、 国内他施設の方針調査	圓尾文子
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.10.21 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	胸部外科学会総会報告会	大嶋、 松久、 井上、 河村
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.10.28 水 午前8:30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	MortalityandMobidity; 滝本蒼空	井上武
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.11. 4 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	施設見学報告 神奈川こども	松久弘典
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.11.11 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	MortalityandMobidity; HLHS Norwood	河村朱美
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.11.18 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	施設見学報告 長野こども	井上武
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.12. 2 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	開心術後 MRSA 感染対策	松久弘典
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.12. 9 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	小児開心術後ステロイド 補充療法	門脇輔
心臓血管外科カンファ レンス	心臓血管 外科	2009.12.16 水 午前 8 :30 ~ 9 :00	本館 4 階 カ ンファレンス ルーム	6	小児開心術後乳び胸	門脇輔

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
臨床病理検討会 (CPC)	血液腫瘍 科, 病理	平成21年 5 月22日 (金) 午後 5 時30分 ~ 6 時30分	研修室 A B	32名	急性骨髄性白血病	長谷川・ 吉田

勉強会

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	テーマ	担当
勉強会	産科	1月21日	17:30~18:30	産科保健指導室	看護師 27	乳房ケアについて	前田チーム
1年目勉強会	産科	4月20日	17:30~18:30	産科保健指導室	看護師 12	NSTについて	杉原・岸野
1年目勉強会	産科	6月26日	17:30~18:30	分娩室2	看護師 17	エコーの見方	喜吉医師
勉強会	産科	8月26日	17:30~18:30	産科保健指導室	看護師 25	ベビーの蘇生について	伊達
勉強会	産科	9月28日	17:30~18:30	産科保健指導室	看護師 30	帝王切開前後の管理について	佐木医師
1年目勉強会	産科	11月25日	17:30~18:30	産科保健指導室	看護師 20	PIH病態について	牧志医師
1年目勉強会	産科	12月4日	17:30~18:30	分娩室3	看護師 12	経膈分娩間接介助について	杉原・岸野
勉強会	NICU	1月31日	17:30~18:30	新生児カンファレンスルーム	看護師 19	IAA, CoA	循環器チーム
勉強会	NICU・GCU	2月9日	17:30~18:30	研修室AB	看護師 39	災害対策	勉強会係
1年目勉強会	NICU	2月26日	17:30~18:30	新生児カンファレンスルーム	看護師 15	大切にしたい看護	1年目看護師
勉強会	NICU	3月9日	17:30~18:30	研修室AB	看護師 21	救急蘇生シミュレーション	救急蘇生グループ
2年目勉強会	NICU	3月10日	17:30~18:30	新生児カンファレンスルーム	看護師 8	事例検討	2年目看護師
勉強会	NICU・GCU	3月16日	17:30~19:00	研修室AB	看護師 40	成果発表会	勉強会係
1年目勉強会	NICU	3月31日	17:30~19:00	新生児カンファレンスルーム	看護師 16	TTTS児の看護	1年目看護師
勉強会	NICU・GCU	5月18日	17:40~18:40	研修室AB	看護師・医師 22	Let's enjoy neonatal care	勉強会係
1年目勉強会	NICU	6月15日	17:30~18:30	新生児カンファレンスルーム	看護師 14	ファミリーケア・危機理論	1年目看護師
勉強会	NICU・GCU	7月13日	17:30~18:30	研修室AB	看護師 42	在宅支援について	勉強会係
勉強会	NICU	8月13日	17:30~18:30	研修室AB	看護師・医師 13	超早産児の出生後処置	救急蘇生グループ
勉強会	NICU	8月17日	17:30~18:30	研修室AB	看護師・医師 24	超早産児の出生後処置	救急蘇生グループ

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	テーマ	担当
1年目勉強会	NICU	8月31日	17:30~18:30	新生児カンファレンスルーム	看護師 10	入院受け	プリセプター
勉強会	NICU	9月8日	17:30~18:30	新生児カンファレンスルーム	看護師 10	輸液について	安全係
1年目勉強会	NICU	9月24日	17:30~18:30	NICU個室	看護師 9	低酸素に陥らせないケア	プリセプター
勉強会	NICU・GCU	9月28日	17:30~18:30	研修室A B	看護師 30	摂食	勉強会係
1年目勉強会	NICU	10月8日	17:30~18:30	新生児カンファレンスルーム	看護師 7	摂食	プリセプター
1・2年目勉強会	NICU	11月12日	17:30~19:00	新生児カンファレンスルーム	看護師 14	入院受け、事例検討	プリセプター
勉強会	NICU・GCU	11月18日	17:30~18:30	研修室A B	看護師 36	新生児学会予行演習	勉強会係
勉強会	NICU	12月8日	17:30~19:00	研修室A B	看護師 22	デバイスロップメンタルケア・ストレス反応	Cチーム
勉強会	NICU	12月11日	17:30~19:00	研修室A B	看護師 31	デバイスロップメンタルケア・音環境	Cチーム
勉強会	NICU	12月24日	17:30~19:00	新生児カンファレンスルーム	看護師 15	事例検討	勉強会係
1年目勉強会	GCU	7月10日	17:30~18:30	研修室A B	看護師 18	第1回1年目救急蘇生	プリセプター
勉強会	GCU	10月6日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 15	直母指導について	栗・砂川・牛谷・竹田
勉強会	GCU	11月28日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 16	二プル調節の必要な時の看護	竹田
勉強会	GCU	12月17日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 19	入院受け時のフィジカルアセスメント	永野
ラダー2勉強会	GCU	5月25日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 14	染色体異常、先天性心疾患のある児の看護	山邊
勉強会	GCU	6月26日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 20	食道閉鎖症術後、GERのある児の看護	山崎あ
勉強会	GCU	8月24日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 14	フロア-四徴症児の看護について	牛谷
勉強会	GCU	9月15日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 18	呼吸器離脱に向けた看護	彼末
勉強会	GCU	11月17日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 10	新生児メレナの患児の看護	掛川
勉強会	GCU	12月8日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 15	捕食機能獲得期にある児の成長発達を促す看護について	笠作
勉強会	GCU	12月16日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 18	食堂閉鎖A型の児の看護	栗
勉強会	GCU	7月17日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 19	救急蘇生	高木・橋本・上野

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	担当	名称
勉強会	GCU	8月4日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 15	救急蘇生7月17日と同じ内容	高木・橋本・上野
勉強会	GCU	10月2日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 14	災害(停電)	伊賀・田丸・石原
勉強会	GCU	10月23日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 15	災害(停電)10月2日と同じ内容	伊賀・田丸・石原
勉強会	GCU	8月27日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 15	接遇について	杉森・伊賀・砂川
勉強会	GCU	9月9日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 15	接遇について 8月27日と同じ内容	中津・山邊・石原・永野
勉強会	GCU	6月18日	17:30~18:30	カンファレンス室	看護師 16	2年目・異動者対象救急蘇生	植山・上野
勉強会	ICU	1月8日	17:30~18:30	研修室C	看護師 17	ICUにおける感染管理、治療の実際	丸尾医師・感染係
勉強会	ICU	1月27日	17:30~19:10	研修室C	看護師 21	救急蘇生：急変時の受持ち・メンバーの役割行動が理解でき実践できる	田路・西川・尾崎・井上・村川
勉強会	ICU	2月23日	17:30~19:00	研修室C	看護師 20	背景要因分析：指示受けについて	安全係
勉強会	ICU	5月18日	17:30~19:00	研修室C	看護師・ME 26	呼吸器の原理と看護	西川・器材係
勉強会	ICU	5月27日	17:30~18:30	研修室AB	看護師 18	救急蘇生：ICU2年目看護師が急変患者の受持ちができる	安全係
勉強会	ICU	6月24日	17:30~18:30	研修室AB	看護師 20	背景要因分析について	安全係
勉強会	ICU	7月10日	17:30~19:00	研修室C	看護師 22	用手換気について	Aチーム
勉強会	ICU	7月22日	17:30~18:30	7階会議室	看護師 14	スタグ・ドプ・リコ・ジョシとICUにおけるMRSA管理	感染係
勉強会	ICU	8月28日	17:45~19:00	7階会議室	看護師 16	看護記録の徹底と質の保障	記録係
勉強会	ICU	9月9日	17:45~19:00	4Fカンファレンスルーム	看護師・医師 28	小児心臓外科手術と心臓の解剖	西澤・前島
勉強会	ICU	9月24日	17:30~18:45	ICU Hベット	看護師・医師 21	救急蘇生：急変時の受持ち・メンバーの役割行動が理解でき実践できる	田路・森行・笠木・村川
勉強会	ICU	9月29日	17:45~18:45	研修室C	看護師・医師 25	術後水分管理・抗生剤使用の実際	西澤・前島
勉強会	ICU	10月29日	17:40~19:15	研修室C	看護師 15	事例検討	看護ケア係
勉強会	ICU	11月10日	17:30~18:30	研修室C	看護師 20	体験型摂食勉強会	Dチーム
勉強会	ICU	11月13日	17:40~19:05	研修室C	看護師 20	看護倫理	井上扶美・前島
勉強会	ICU	12月11日	18:05~18:40	研修室C	看護師・医師 23	循環作動薬について	西澤・前島

名称	主催部署	開催日	時間	会場	場所	参加者人数	担当	名称
勉強会	HCU	5月27日	17:40~18:00	業者対応室		看護師	摂食について	森本看護師
勉強会	HCU	6月25日	17:30~18:30	研修室C		看護師	多合指、口唇・口蓋裂について	小野田医師
勉強会	HCU	7月27日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		看護師	スクイジングについて	長束看護師
勉強会	HCU	8月2日間	17:30~18:00	病棟		看護師	中央無線モニターの取り扱い	業者担当者
勉強会	HCU	8月	17:30~18:30	救急カンファレンス室		看護師	移植前処置について	奥野医師
勉強会	HCU	9月	17:30~18:30	カンファレンスルーム		看護師	緊急時の看護	大中看護師
勉強会	HCU	10月	17:30~18:30	研修室C		看護師	輸血・移植後血液型について	奥野医師
勉強会	HCU	11月	17:30~18:30	研修室C		看護師	GVDHについて	岩谷医師
シミュレーション	HCU	5月	17:30~18:30	病棟		看護師	救急シミュレーション(新人)	勉強会係
シミュレーション	HCU	9月	17:30~18:30	病棟		看護師	救急シミュレーション	勉強会係
シミュレーション	HCU	1月	17:30~18:30	病棟		看護師	救急シミュレーション(新人)	勉強会係
勉強会	一般外科主体	6月9日	17:30~18:30	研修室C		看護師	プレパレーション	本田
勉強会	一般外科主体	7月1・2日	17:30~18:30	病棟		看護師	吸入器の使用・管理、JITS 臨時請求方法	器材係
勉強会	一般外科主体	8月17日	17:30~18:30	研修室C		看護師	家族と立案する看護計画	記録係
勉強会	一般外科主体	10月16日	17:30~18:30	研修室C		看護師	ヒルジユスプリング病の看護	中尾(外科)医師
勉強会	一般外科主体	9月26~28日	17:30~18:30	病棟		看護師	手洗い	業務・感染係
勉強会	一般外科主体	11月12日	17:30~18:30	研修室C		看護師	家族看護	犬山(兵庫県立看護大学院生)
勉強会	一般外科主体	10月	17:30~18:30	4F面談室		看護師	背景要因分析	安全係
勉強会	一般外科主体	2月4日	17:30~18:30	病棟		看護師	防災シミュレーション	防災係
勉強会	一般外科主体	2月10日	17:30~18:30	研修センター		看護師、栄養士	栄養アセスメントシートの活用方法、摂食	摂食係
勉強会	循環器A病棟	7月5日	17:30~18:30	4F会議室		看護師	KYTについて	南さ
勉強会	循環器A病棟	8月20日	17:30~18:31	5F会議室		看護師	BU Tについて	竹村
勉強会	循環器A病棟	10月10日	17:30~18:32	5F食堂		看護師	CV管理について	濱谷
勉強会	循環器A病棟	1月13日	17:30~18:33	5F食堂		看護師	気管切開部の褥そうケアについて	竹村
勉強会	循環器A病棟	2月25日	17:30~18:34	5F食堂		看護師	TOFの病態整理について	松岡・濱谷
勉強会	循環器B病棟	4月28日	8:30~12:30	5F食堂		看護師	BL Sについて、薬剤安全確認について	石本
勉強会	循環器B病棟	7月6日	18:00~20:00	5F食堂		看護師	人工呼吸器についての基礎知識	吉武、石本
勉強会	循環器B病棟	7月28日	8:30~12:30	会議室1		看護師	ASD、VSD、TOFの血行動態、看護について	中野、小林

名称	主催部署	開催日	時間	会場	場所	参加者人数	担当	名称
勉強会	循環器B病棟	8月24日	17:45~19:30	研修室C		13	救急蘇生時のそれぞれの役割について	平井, 佐野, 古川
勉強会	循環器B病棟	8月27日	17:45~18:45	研修室C		6	血行動態、術後の看護、治療について	松木, 小林
勉強会	循環器B病棟	9月17日	17:45~18:46	病棟食堂		6	リーダースhipについて	補佐
勉強会	循環器B病棟	9月30日, 10月7日	18:20~19:45	研修室C		5	ドレーン挿入中の看護について	松島, 伊達, 大原
勉強会	循環器B病棟	10月29日	18:00~19:15	会議室1		4	PDA、姑息術(BT)の血行動態、看護について	平井, 楠本, 松浦
勉強会	循環器B病棟	11月25日	18:05~19:05	4階カンファレンス室		12	KYT(危険予知トレーニング)について	病棟安全係
勉強会	循環器B病棟	11月27日	18:00~19:30	研修室C		15	救急蘇生時のそれぞれの役割について	石本, 難波, 森松
勉強会	循環器B病棟	12月24日	17:30~18:45	研修室C		4	心電図の正常波形と不整脈について	藤原, 大原
勉強会	循環器A B病棟	1月28日	18:00~19:30	会議室1		10	摂食の総論について	摂食委員
勉強会	循環器B病棟	1月31日	17:45~18:45	会議室1		5	新生児の特徴から必要な看護について	赤尾, 小林
勉強会	混合A病棟	5月	17:30~18:50	7階		15	乳幼児の安全を守るためのポイント	榎本
勉強会	混合A病棟	6月30日	17:40~18:50	7階		8	乳幼児各期の成長発達のポイント 栄養について	上田
勉強会	混合A病棟	7月30日	17:35~18:45	面談室		13	乳幼児の睡眠 排泄 清潔の援助の特徴	竹田
勉強会	混合A病棟	8月7日	17:40~18:50	7階		16	創外固定器装着中のリハビリについて	PT 中田
勉強会	混合A病棟	8月24日	17:30~18:45	7階		10	脳腫瘍について	Dr 河村
勉強会	混合A病棟	9月26日	17:45~18:50	7階		15	口蓋裂 看護のポイント	坂上
勉強会	混合A病棟	10月18日	17:40~18:45	面談室		12	乳幼児の呼吸管理の特殊性について	岡村
勉強会	混合A病棟	11月17日	17:30~18:40	7階		15	最近の麻酔 小児麻酔を中心に	Dr 村田
勉強会	混合A病棟	12月17日	17:40~18:10	7階		19	小児の感染症について	坂上
ケーススタディ	混合B病棟	1月7日	17:30~18:30	第1会議室		14	2年目ケーススタディ	教育委員
勉強会	混合B病棟	1月23日	17:30~18:30	第1会議室		17	倫理について	看護長補佐
勉強会	混合B病棟	3月31日	17:30~18:30	第1会議室		15	ネフローゼ治療について	Bチーム
勉強会	外来、混合A B	4月17日	17:30~18:30	研修室A B		15	糖尿病指導について	北原, 二星
勉強会	混合B病棟	6月18日	17:30~18:45	病棟		15	救急蘇生の基本	勉強会係
勉強会	混合B病棟	6月30日	17:30~18:30	第1会議室		13	家族理解について	二星
勉強会	混合B病棟	8月19日	17:30~18:30	第1会議室		14	リスク感性について	安全係
勉強会	混合B病棟	9月29日	17:30~18:30	4階会議室		13	背景要因分析	安全係

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	担当	名称
勉強会	混合B病棟	10月16日	17:30~19:00	病棟、4A病棟	看護師 20	挿管勉強会	教育委員
勉強会	混合B病棟	11月24日	17:30~18:20	4階会議室	看護師 14	接遇について	接遇係
勉強会	混合B病棟	11月26日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 23	オーラルケアについて	補佐
勉強会	混合B病棟	12月3日	17:30~18:20	第1会議室	看護師 10	看護記録について	記録係
勉強会	混合B病棟	12月10日	17:30~18:20	病棟	看護師 10	感染予防と環境整備	感染係
勉強会	外来、混合AB	12月18日	17:30~18:20	研修室AB	看護師 28	長期療養を支えることについて	北原、二星
勉強会	血液主体病棟	6月24日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 15	災害パッケージ	塚本Ns・澤Ns
勉強会	血液主体病棟	7月28日	17:30~18:10	第1会議室	看護師 12	造血幹細胞移植	後藤Ns
勉強会	血液主体病棟	7月29日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 11	口内炎について	前Ns
勉強会	血液主体病棟	8月6日	17:30~18:20	第1会議室	看護師 10	復学支援	Cチーム
勉強会	血液主体病棟	8月10日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 8	復学支援	Cチーム
勉強会	血液主体病棟	8月21日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 9	復学支援	Cチーム
勉強会	血液主体病棟	8月20日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 15	悪心・嘔吐	谷垣Ns
勉強会	血液主体病棟	9月17日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 13	痙攣の看護	小林Ns
勉強会	血液主体病棟	11月19日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 10	がん性疼痛のアセスメント	立花Ns
勉強会	血液主体病棟	12月4日	17:30~18:30	第1会議室	看護師 10	脳腫瘍について	山元Dr
勉強会	血液主体病棟	12月28日	17:30~18:20	第1会議室	看護師 10	拒薬に対する関わり	相原Ns
勉強会	手術室	7月16日	17:30~18:00	日帰り手術室	看護師 27	日帰りのプレパレーションの変更について	中山
勉強会	手術室	8月28日	17:00~18:00	リカバリー	看護師 18	滅菌・ステラッドに関する基礎知識	時吉、藤澤
勉強会	手術室	9月16日	17:30~18:30	7室	看護師 20	腎位について	小野、合田、中村
勉強会	手術室	11月25日	17:15~18:15	1室	看護師 19	腹腔鏡ポートとリガーシユアの取り扱い	那須、榎原、伊藤、松中
勉強会	手術室	2月3日	17:30~18:30	7室	看護師・医師 24	スウェンソンの体位について	合田、川崎
勉強会	手術室	2月5日	17:00~18:15	休憩室	看護師 19	お母さんの不安に寄り添う看護を考える	穂満、本田、原田、講師：喜吉医師
勉強会	外来	1月23日	16:45~17:15	外来点滴室	看護師 11	外来でのトリアージについて	中田
勉強会	外来	2月27日	17:00~18:00	外来点滴室	看護師 11	シアトル小児病院の外来体制について	東
勉強会	外来	5月27日	16:30~17:20	外来点滴室	看護師 7	糖尿病患者の足ケア調査結果	鎌田
勉強会	外来	6月26日	16:45~17:15	外来点滴室	看護師 7	透析と気管切開をしている患者の外来看護	泊
勉強会	外来	7月31日	16:30~17:20	ギブス室	看護師 8	小児在宅ケア研究会参加報告	北條
勉強会	外来	8月28日	16:30~17:30	ギブス室	看護師 7	外来看護記録について	泊

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	担当	名称
勉強会	外来	9月25日	16:35~17:10	外来点滴室	看護師 8	新型インフルエンザの対応	中田
勉強会	外来	10月28日	16:40~17:10	外来点滴室	看護師 7	KYT危険予知トレーニング	東
勉強会	外来	11月27日	16:40~17:40	外来点滴室	看護師 8	家族看護、救急蘇生の研修報告	小澤、東
勉強会	外来	12月16日	16:40~17:20	外来点滴室	看護師 8	外来ブリパレーションについて	北條、東
糖尿病合同カンファレンス	外来・混合A B 病棟	2月6日	17:30~18:30	研修室A B	43	インスリン注射指導の実際	細川医師
糖尿病合同カンファレンス	外来・混合A B 病棟	4月17日	17:30~18:30	研修室A B	42	糖尿病指導について	郷司医師
糖尿病合同カンファレンス	外来・混合A B 病棟	6月19日	17:30~18:30	研修室A B	28	当院糖尿病患者の足調査結果	鎌田
糖尿病合同カンファレンス	外来・混合A B 病棟	8月21日	17:30~18:30	研修室A B	39	インスリン使用患者の指導ポイント	辻本薬剤部 次長
糖尿病合同カンファレンス	外来・混合A B 病棟	10月16日	17:30~18:30	研修室A B	32	食事指導のポイント	谷口栄養士
糖尿病合同カンファレンス	外来・混合A B 病棟	12月18日	17:30~18:30	研修室A B	28	長期療養を支えることについて	二星
PALS 勉強会	救急医療センター	6月3日	17:45~18:45	救急初療室	看護師 30	CPA シミュレーション	
PALS 勉強会	救急医療センター	6月17日	17:45~18:45	救急初療室	看護師 30	熱傷シミュレーション	
PALS 勉強会	救急医療センター	7月1日	17:45~18:45	救急初療室	看護師 29	交通外傷シミュレーション	
PALS 勉強会	救急医療センター	7月15日	17:45~18:45	救急初療室	看護師 30	熱中症シミュレーション	
PALS 勉強会	救急医療センター	9月2日	17:45~18:45	救急初療室	看護師 9	頭部外傷シミュレーション	
PALS 勉強会	救急医療センター	10月7日	17:45~18:45	救急初療室	看護師 18	緊急気管穿刺シミュレーション	
PALS 勉強会	救急医療センター	10月20日	17:45~18:45	救急初療室	看護師 23	交通外傷シミュレーション	
PALS 勉強会	救急医療センター	11月18日	17:45~18:45	救急初療室	33	PCPS 勉強会	
PALS 勉強会	救急医療センター	12月9日	17:45~18:45	研修室A B	45	PCPS 勉強会	
勉強会	救急医療センター	7月	17:45~18:45	救急初療室	看護師	画像診断勉強会	
勉強会	救急医療センター	6月	17:45~18:45	救急初療室	看護師 9	HFO 換気 (R100) 勉強会基礎編	
勉強会	救急医療センター	7月	17:45~18:45	救急初療室	看護師 16	HFO 換気 (R101) 勉強会応用編	
勉強会	救急医療センター	8月	17:45~18:45	救急初療室	看護師 5	BENNETT840呼吸器勉強会	
勉強会	救急医療センター	7月30日	17:45~18:45	研修室A B	看護師 22	心臓カテーテル勉強会	
勉強会	救急医療センター	9月30日	17:45~18:45	研修室A B	看護師 6	心臓カテーテル勉強会2	

名 称	主催部署	日 時		場所	参加人数	テーマ
薬剤部勉強会	薬剤部	1月14日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 産科 「産科帝王切開における喘息患者の症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	1月14日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	部内勉強会 循環器科 「肺高血圧症について」
薬剤部勉強会	薬剤部	1月21日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 血液腫瘍科 「ベサノイド脱カプセル症例の服薬指導」
薬剤部勉強会	薬剤部	1月28日	午前8:45~9:00	薬剤部	9	症例報告会 腎臓内科 「プログラフ内服(腎移植)の症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	2月3日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	製品勉強会 ラミクタール錠
薬剤部勉強会	薬剤部	2月4日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 眼科 「眼科服薬指導について」
薬剤部勉強会	薬剤部	2月5日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	部内勉強会 循環器科 「開心術後管理について」
薬剤部勉強会	薬剤部	2月18日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 産科 「混合性結合組織病患者の鎮痛剤使用について」
薬剤部勉強会	薬剤部	2月25日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 治験 「A D/H Dとアトモキセチンについて」
薬剤部勉強会	薬剤部	3月4日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 血液腫瘍科 「Ewing 肉腫再々発例に I R E C を施行した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	3月4日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	部内勉強会 腎臓内科 「ネフローゼ症候群の薬物療法」
薬剤部勉強会	薬剤部	3月11日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「小児におけるタケプロン OD 錠服用方法に関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	3月18日	午前8:45~9:00	薬剤部	9	症例報告会 産科 「リトドリン錠の服薬コンプライアンスに関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	5月27日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	製品勉強会 ロイナーゼ注
薬剤部勉強会	薬剤部	6月3日	午後5:30~6:30	薬剤部	8	部内勉強会 血液腫瘍科 「抗がん剤の副作用」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月10日	午前8:45~9:00	薬剤部	9	症例報告会 血液腫瘍科 「シクロスポリン内服中の外泊後に脱水により腎障害をきたした症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月17日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 腎臓内科 「ネオールによる歯肉肥厚について」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月24日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 産科 「リビオドールウルトラフルイドの胎児への影響について」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月24日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	部内勉強会 腎臓内科 「ネフローゼ症候群の治療について」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月1日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「経皮的心房中隔欠損閉鎖術後の頭痛予防にチクロピジンを使用した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月8日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 血液腫瘍科 「カルセドを使用した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月9日	午後5:45~7:15	薬剤部	10	製品勉強会 テモダールCap
薬剤部勉強会	薬剤部	7月15日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 腎臓内科 「初発ネフローゼ症候群患者へのネオールについての服薬指導」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月15日	午後5:30~6:30	薬剤部	8	部内勉強会 産科 「産科での使用薬剤について(切迫流産、早産)」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月22日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 産科 「母体ファロー患者への服薬指導」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月22日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	製品勉強会 バリキサ錠

名 称	主催部署	日 時		場所	参加人数	テーマ
薬剤部勉強会	薬剤部	7月29日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 血液腫瘍科 「胆道閉鎖症を伴ったウィルムス腫瘍患児の化学療法」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月30日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	製品勉強会 ヒューマトローベン3
薬剤部勉強会	薬剤部	8月5日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 循環器科 「乳児におけるタンボコールの服用時間について」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月6日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	製品勉強会 エラブレース注
薬剤部勉強会	薬剤部	8月12日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 産科 「マグセント注投与中の患者からの質問について」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月12日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	部内勉強会 循環器科 「動脈管について」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月19日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「アスピリンアレルギーの祖母をもつ患児への薬剤管理指導」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月26日	午前8:45~9:00	薬剤部	9	症例報告会 血液腫瘍科 「味覚障害を伴った患児への服薬指導」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月26日	午後5:30~6:30	薬剤部	8	部内勉強会 「保険診療について」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月2日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 産科 「HTLV-1の母子感染予防目的にカバサルを使用した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月2日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	製品勉強会 ストラテラ Cap
薬剤部勉強会	薬剤部	9月8日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	製品勉強会 ガバベンチン
薬剤部勉強会	薬剤部	9月9日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 腎臓内科 「紫斑病性腎炎について」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月16日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 血液腫瘍科 「グレープフルーツと相互作用のある薬剤への血液腫瘍科での取り組み」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月16日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	部内勉強会 血液腫瘍科 「小児専門病院における服薬指導」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月30日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 産科 「硫酸マグネシウムの長期使用における胎児への影響」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月7日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 血液腫瘍科 「ロイナーゼにより高TG血症を起こした症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月7日	午後5:30~6:30	薬剤部	7	部内勉強会 腎臓内科 「IgA 腎症について」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月14日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 眼科 「眼科薬剤管理指導業務について」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月21日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「心臓手術後の乳び胸に対するサンドスタチンの使用について」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月28日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「心臓手術後の薬剤管理指導について」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月29日	午後5:30~6:30	薬剤部	8	部内勉強会 産科 「胎盤の働きとその異常による病態」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月4日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 腎臓内科 「透析患者に抗生剤投与中に出血を呈した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月11日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 産科 「胃部不快感の強い妊婦にファモチジン錠を投与した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月18日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 産科 「双胎間輸血症候群におけるFLPのため転院した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月18日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	部内勉強会 循環器科 「感染性心内膜炎について」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月25日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 血液腫瘍科 「リツキシマブの副作用～infusion reactionを中心に～」

名 称	主催部署	日 時		場 所	参加人数	テ ー マ
薬剤部勉強会	薬剤部	11月25日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	11	部内勉強会 「兵庫県病院薬剤師会 輸液勉強会報告会」
薬剤部勉強会	薬剤部	12月 2 日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	10	症例報告会 循環器科 「経皮的心房中隔欠損閉鎖術後のプラビックスの使用について」
薬剤部勉強会	薬剤部	12月16日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	10	症例報告会 循環器科 「人工弁置換後の血栓弁に対する血栓溶解療法について」
薬剤部勉強会	薬剤部	12月16日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	10	製品勉強会 パルミコート吸入液、吸入器具について
薬剤部勉強会	薬剤部	12月17日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	10	部内勉強会 「病院勤務薬剤師に関係する主な法令について」

検査放射線部勉強会

部内研修会

主催部署	日時	場所	テーマ	担当
検査・放射線部 (検査部門)	3月18日	検査技師室	緊急検査時におけるC B C測定	幸福
検査・放射線部 (検査部門)	6月18日	検査技師室	不規則性抗体スクリーニングの有用性	三村
検査・放射線部 (検査部門)	7月2日	検査技師室	平成20年度検査部リスクマネジメントについて	芳賀
検査・放射線部 (検査部門)	7月16日	検査技師室	ISO15189について	林
検査・放射線部 (検査部門)	8月6日	検査技師室	胎児循環について	上田
検査・放射線部 (検査部門)	8月20日	検査技師室	輸血シリーズ ver. 1 血液製剤基礎知識	藤中
検査・放射線部 (検査部門)	9月3日	検査技師室	自動分析機(東芝120FR)について	中右
検査・放射線部 (検査部門)	9月17日	検査技師室	手洗いについて(新しい製剤伝票について)	末道 (幸福)
検査・放射線部 (検査部門)	10月1日	検査技師室	双胎妊娠について	小寺
検査・放射線部 (検査部門)	10月15日	検査技師室	輸血シリーズ ver. 2 輸血管理システム B T D について	八尾
検査・放射線部 (検査部門)	11月5日	検査技師室	小児腫瘍について	吉田 医師
検査・放射線部 (検査部門)	11月19日	検査技師室	N S T 活動について	石川
検査・放射線部 (検査部門)	12月3日	検査技師室	生理検査小委員会研修会の報告	四元
検査・放射線部 (検査部門)	12月17日	検査技師室	輸血シリーズ ver. 3 緊急時の輸血対応について	八木

実習生の受け入れ

主催部署	日時	場所
神戸常磐大学短期大学部 衛生技術科 3年生	8月24日～10月16日	1名
神戸大学医学部 保健学科 検査技術科学専攻 4年生	11月10日～11月27日	2名

栄養指導課 教育研修活動

院内研修会

実施日	内 容	担 当
5月18日	新型インフルエンザ発生時の対応について	尾 崎 孝 秋
6月5日	アレルギー食の対応について	川 脇 恵
6月23日	執務姿勢の確立と綱紀粛正について	尾 崎 孝 秋
6月26日	加熱調理食品への注意喚起について	川 脇 恵
7月1日	適時適温給食に伴う温冷配膳車の運用について 温冷配膳車の冷却用ドレン排水について	尾 崎 孝 秋
8月16日	家族が新型インフルエンザに感染した場合の留意事項について	尾 崎 孝 秋
9月8日 ～9日	平成21年度 栄養指導課ひやりはっと研修会	川 脇 恵
9月23日	新型インフルエンザに係る院内取り決めについて	尾 崎 孝 秋
10月6日	「ラクトアイス」苦味事案の報告概要について 冷凍冷蔵庫等の取扱について	尾 崎 孝 秋 "
10月14日 ～16日	ハートメッセージ（職員駐車場等）について ひやりハット報告（異物の混入）について 配膳下膳等の時間について	尾 崎 孝 秋 川 脇 恵 尾 崎 孝 秋
11月27日	執務姿勢の確立と綱紀粛正について	尾 崎 孝 秋
12月16日	イベント・バイキング食について 年末年始の献立等について	川 脇 恵

N S T 勉強会

テ - マ	担 当	開催日時	場 所	出席者数
脂肪乳剤のメリット・注意点と使い方	(株)大塚製薬工場 菅 葉子 氏	平成21年 1月20日	研修室 A B	36名
T N T 講習から幼児期の栄養管理 ～ワークシートを使った模擬症例検討～	薬剤部次長 辻本 勉 氏	平成21年 2月24日	研修室 A B	29名
みんなの栄養～N S T 発表会～ ＜特別講演＞ 「下痢を考える～近くて遠い問題」 ＜一般演題＞ 食拒否が形成された児の経口摂取確立までの症例報告ほか 5 例	武庫川女子大学教授 雨海 照祥 氏 森本洋子・小林輝美・ 松木麻子・辻本勉・ 脇田真季・谷口章子	平成21年 3月27日	研修室 A B	53名
経腸栄養 V S . N P O	アボットジャパン(株) 武川 一紀 氏	平成21年 8月25日	研修室 A B	47名
微量元素とその代謝	株式会社大塚製薬工場 福島 幸子 氏	平成21年11月 5 日	研修室 A B	60名
小児病院N S T の目指すもの ～全国調査と神奈川県立こども医療センターの取り組みから～	神奈川県立こども医療センター アレルギー科 高増 哲也 医長	平成21年12月18日	研修室 C	19名

N S T 症例検討会

名称	開催日時	場 所	内 容
平成20年度 第10回N S T 症例検討会	平成21年 1 月22日	研修室 A B	1月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会のお知らせ その他
平成20年度 第11回N S T 症例検討会	平成21年 2 月26日	研修室 A B	2月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会 その他
平成20年度 第12回N S T 症例検討会	平成21年 3 月26日	研修室 A B	3月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会通知 平成20年度N S T 活動のまとめと平成21年度の課題 その他
平成21年度 第 1 回N S T 症例検討会	平成21年 5 月28日	研修室 A B	4, 5月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会通知 平成21年度の課題 その他
平成21年度 第 2 回N S T 症例検討会	平成21年 6 月25日	研修室 A B	6月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会通知 ミニレクチャー「小児の栄養管理」 その他
平成21年度 第 3 回N S T 症例検討会	平成21年 7 月23日	研修室 A B	7月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会 その他
平成21年度 第 4 回N S T 症例検討会	平成21年 8 月27日	研修室 A B	8月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会のお知らせ その他
平成21年度 第 5 回N S T 症例検討会	平成21年 9 月24日	研修室 A B	9月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 その他
平成21年度 第 6 回N S T 症例検討会	平成21年10月22日	研修室 A B	10月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会 その他
平成21年度 第 7 回N S T 症例検討会	平成21年11月26日	研修室 A B	11月のN S T 活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 N S T 勉強会 その他

平成21年度 第8回NST症例検討会	平成21年12月24日	研修室A B	12月のNST活動報告 アセスメント・プランニングシートに基づいた症例報告 NST勉強会 その他
-----------------------	-------------	--------	---

2. 看護研修

看護部の理念

命を守り、育てることに努力し、安心と満足が得られる看護の提供に努めます。

看護部方針

こどもの権利を守り、患者・家族の思いを尊重した看護を提供します。

看護の質の向上を目指し、安全と安心に繋がる看護を提供します。

患者を中心としたチーム医療の調整役として、主体的に行動します。

真の優しさと逞しさを備えた人間性を養い、自己研鑽に努めます。

平成20年度看護部目標

1. 安全で確実な看護の提供を行う
 - 1) 看護実践能力の向上
 - 2) 医療事故防止
 - 3) 感染防止
 - 4) 患者サービスの向上
2. 他部門との連携を図り、チーム医療を推進する
 - 1) カンファレンスの充実
 - 2) 患者・家族の医療への参加
 - 3) 退院支援
3. 病院機能評価受審に向けて取り組む
4. 経営感覚を醸成する
 - 1) 病床利用率の向上
 - 2) 5S (整理・整頓・清潔・清掃・躰) の推進
 - 3) ムダ、ムラ、ムリの排除

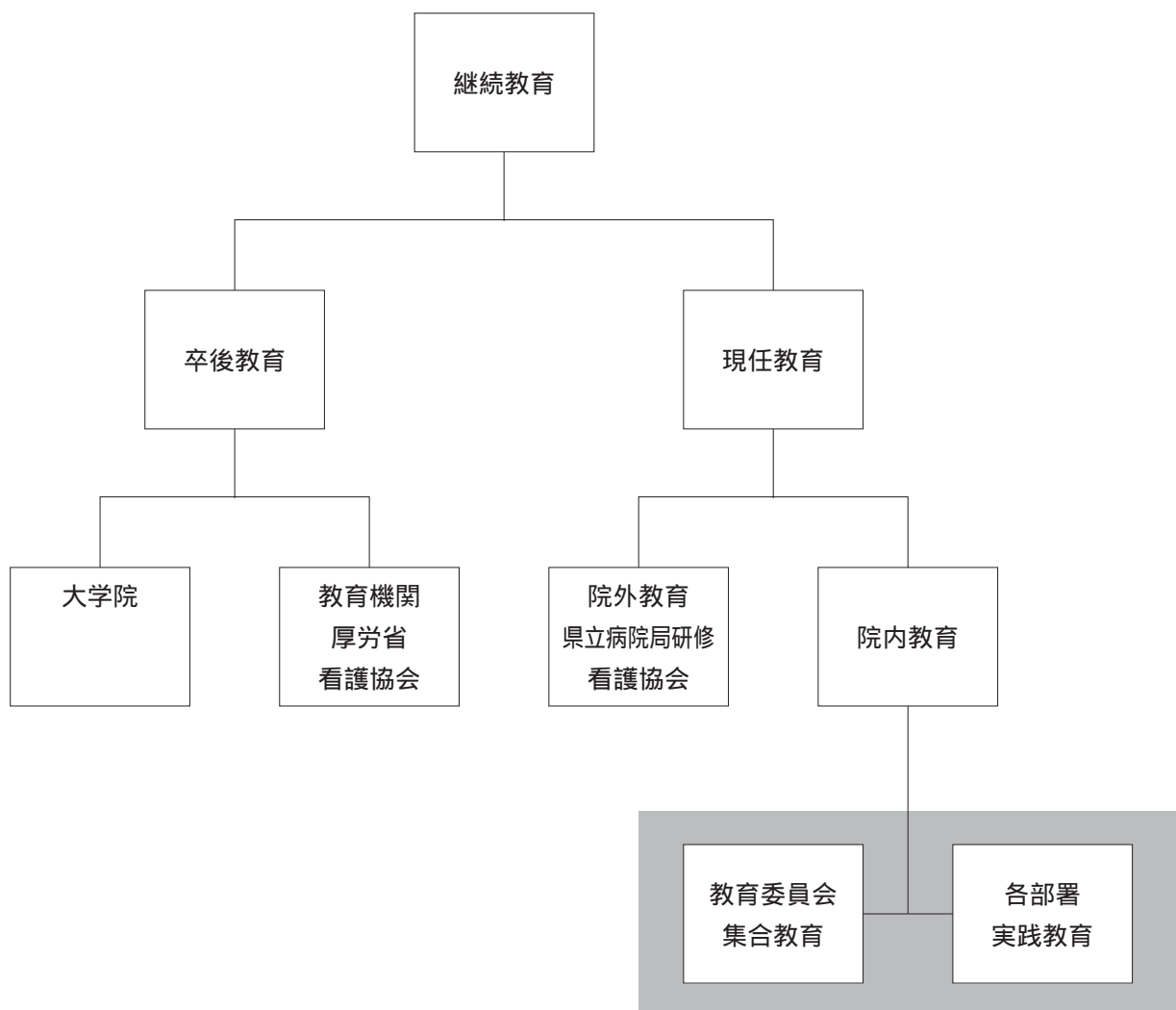
こども病院教育理念

病院・看護部の理念をふまえ、高度専門的医療に対応し質の高い看護が提供できる豊かな人間性を備えた看護師を育成する

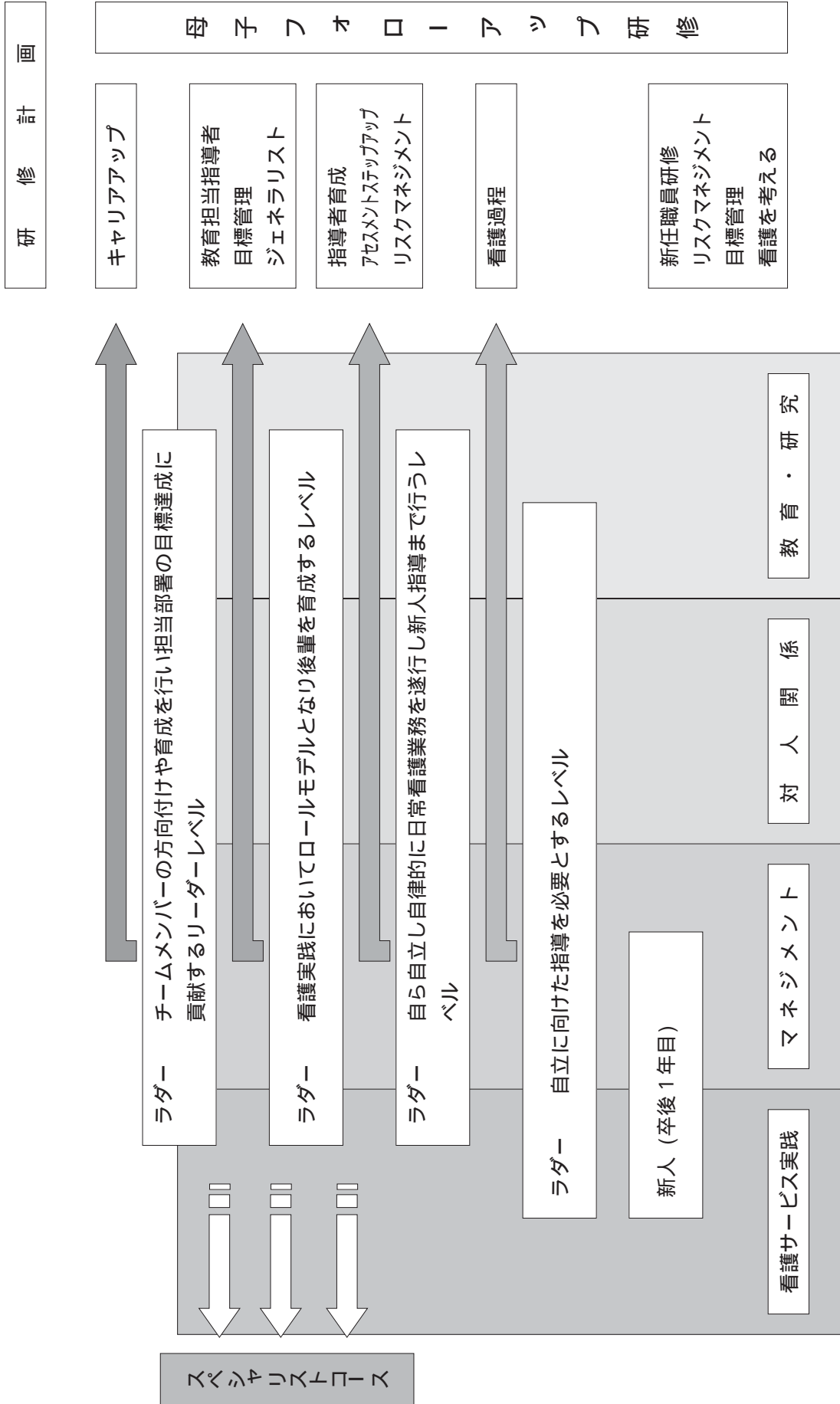
こども病院教育方針

1. 高度専門的な母子看護の知識・技術をもち、エビデンスに基づいた看護実践ができる看護師の育成
2. こどもの権利を守り、患者家族の思いを尊重できる看護師の育成
3. チーム医療の調整役として行動できる看護師の育成
4. 研究的視点で看護実践の改善がはかれる看護師の育成

こども病院継続教育の位置づけ



小児ジェネラリストの実践家として役割を認識し行動できる



平成21年度新規採用者・転勤者オリエンテーション実施表

2009. 4. 7

月 日	オリエンテーションの内容	時 間	研修方法	講 師	担当者・備考	場 所
4月1日 (水曜日)	挨拶・点呼 オリエンテーションの進め方、 資料配布、 夜間タクシーの利用について、食事 カードの配布、 辞令交付に当たっての注意事項	9:00～9:10 正規・転入 13:30～ 年間・単年22条	講義	看護部次長 (藤久保)	看護部	研修室A B
4月2日 (木曜日)	オリエンテーション、事務連絡 幹部紹介 こども病院看護師に期待すること 新規採用者看護職員自己紹介 看護部、看護長紹介 看護部の理念と役割 看護師に期待すること 社会人としての自立 こども病院看護師のあるべき姿 看護部組織と委員会 看護師の業務規定と法的責任 個人情報保護について 指導相談・地域医療連携部との連携 昼休憩 小児医療における各部門の役割 放射線科、薬剤部、研究部、 総務部 (医事課、栄養指導課) 総務部紹介 各種手続きについて、転居届け など総務関係の書類の記載 三井住友銀行から説明 休憩 県職員としてのこころ構え 県立病院のあり方、こども病院の 役割 病院組織図、各委員会の紹介 事務連絡	8:30～9:00 9:00～9:05 9:05～9:30 9:30～10:20 10:20～10:45 10:45～11:30 11:30～12:15 12:15～12:45 12:45～13:45 13:45～14:30 14:30～15:30 15:30～15:45 15:45～16:45 16:45～17:00	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	幹部職員 丸尾院長 各看護長 平山看護部長 平山看護部長 池原指導相談・ 地域連携部長 看護部次長 (藤久保) 総務課員 (野口) 船曳総務部長 教育担当	教育委員1名 (深江) 教育担当看護長	研修室A B 研修生 43名
4月3日 (金曜日)	オリエンテーション、事務連絡 看護協会・さつき会・ボランティア紹介 看護提供方式 スタンダードプリコーションと小児 の感染症 子どもの権利と看護倫理 休憩 互助会保険 所属部署発表 ユニフォーム配布 休息 病院案内 (病棟・外来) 更衣 ロッカー案内 写真撮影 各部署へ案内挨拶 オリエンテーション終了	8:30～8:40 8:40～9:10 9:10～9:40 9:40～11:40 11:40～13:00 13:00～14:00 14:00～14:10 14:10～14:30 14:30～14:45 14:45～16:15 16:15～17:00 17:00～	講義 講義 講義 講義 講義 講義 説明 発表 講義 講義 講義	看護部次長 (藤久保) 看護長補佐 (中西) 感染対策委員 (鳴滝) 清水小児救急 認定看護師 互助会担当者 平山看護部長 看護長 (藤田・谷本・ 下雅意・細川) NICU・GCU・OP室 看護長迎え 各看護長迎え	教育委員1名 (後藤) 教育担当看護長	研修室A B 研修生 43名

	新人・既卒	新人・既卒	新人・既卒	新人・既卒	新人・既卒
研修コース	新人・既卒	新人・既卒	新人・既卒	新人・既卒	新人・既卒
研修会名	フォロー研修 こどもの特徴と看護	フォロー研修 記録	フォロー研修 安全	フォロー研修 救急蘇生・呼吸管理基礎	
研修月日	4月10日(金)	4月17日(金)	4月28日(火)	5月19日(火)	
研修時間	13:00~17:15	13:00~17:15	13:30~17:15	8:30~17:15	
研修のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの特徴と必要な看護がわかる 2. 就職後1週間の思いを共有し今後の意欲へつなげる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. こども病院における看護記録がわかる 2. 就職後2週間の思いを共有し今後の意欲へつなげる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 療養環境の安全性について考えられる 2. 当院の事故発生時の対応方法が分かる 3. つらさや楽しさを共有し、今後の意欲へつなげる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児呼吸管理の基礎がわかる 2. 蘇生場面における一次蘇生、二次蘇生の内容がわかり行動できる 3. 就職後2ヶ月の思いを共有し今後の意欲へつなげる 	
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの成長発達がわかる 2. 入院している子どもの療養環境がわかる 3. 1週間の自分の学びを語るこことが出来る 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 記録の必要性を理解する 2. 看護記録の方法がわかる 3. 2週間の自分の学び、変化について語るこことが出来る 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な安全確認行動の必要性がわかり、自分の役割が認識できる 2. 療養環境の危険に気づき、報告できる 3. ヒヤリハット報告の必要性がわかり、記入方法がわかる 4. 3週間の自己の学び、変化について語るこことが出来る 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児呼吸管理の基礎知識を学ぶ。 2. 蘇生場面における基本的技術が実施できる 3. 一次蘇生(BLS)の内容がわかり実施できる 4. 2次蘇生における新人の役割がわかり実施できる 5. 2ヶ月間の自分の成長を認めるところができる 	
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの特徴と看護についての講義 2. 院内探検(30分)(グループごと) 3. GW 新人と既卒をわけておこなう。思いの共有 4. 技術チェック(1時間)「バイタルサイン、身体計測」 5. GW 新人と既卒をわけておこなう 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 記録方法の実際 2. 技術チェック(1時間)「ベッドメーカーキング」「抱っこ」「ミルクの飲ませ方」 3. GW 新人と既卒をわけておこなう 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 療養環境と安全性についての講義 2. 各期のこどもの特徴を踏まえた療養環境 3. ヒヤリハット報告書の書き方 4. 技術チェック「安全確認」 5. GW 新人と既卒をわけておこなう 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児呼吸管理の基礎についての講義 2. 小児の救急蘇生についての講義 3. 救急蘇生シミュレーションと実技 4. 講義まとめ 質問形式での再確認をおこなう 5. GW 新人と既卒をわけておこなう 	
研修方法	講義 GW 演習	講義 GW 演習	講義 GW 演習 事後課題	講義 GW 演習	
学習者	新規採用看護職員 34名	新規採用看護職員 39名	新規採用看護職員 40名	新規採用看護職員 32名 一般聴講者 8名	
院内外講師	井上 CNS	斉藤看護長	教育委員	清水認定看護師	
教育委員の職務	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(小林 土井 泊)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(小林 土井 泊)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(泊 小林 斉藤 藤田 土井)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(小林 藤田 斉藤 土井 泊)	
研修場所	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B	

研修コース	新人・既卒	新人・既卒	新人・既卒	新人	新人
研修会名	フォロー研修 家族看護	フォロー研修 看護必要度、DPC、小児麻酔	フォロー研修 看護必要度、DPC、小児麻酔	アセスメント<基礎>	看護を考える
研修月日	6月23日(火)	7月28日(火)	7月28日(火)	11月17日(火)	平成22年2月2日(火)
研修時間	8:30~12:30	13:30~17:15	13:30~17:15	8:30~17:15	13:30~17:15
研修のねらい	1. 小児看護における家族看護の必要性がわかる 2. 家族のおかれている状況が理解できる 3. 就職後3ヶ月の思いを共有し今後の意欲へつなげる	1. 看護必要度について理解し入力できる 2. DPCについて理解し入力できる 3. 小児麻酔が理解できる 4. 就職後4ヶ月の思いを共有し今後の意欲へつなげる 5. 6カ月後の達成可能な課題を明確に出来る	1. 看護必要度基礎知識と入力方法について学ぶ 2. DPC基礎知識と入力方法について学ぶ 3. 周手術期、麻酔をつけることでの看護がわかる 4. 4ヶ月間の自分の成長を認めることが出来る 5. 各部署の新人到達目標に沿って自己の課題を具体的にすることが出来る	1. 看護過程の展開を学び、日々の実践に活かすことができる 2. 就職後7ヶ月の思いを共有し今後の意欲へつなげる	1. 看護実践について振り返り、次のステップへの目標を明確にし、小児専門病院で求められている看護師像を理解する
研修目標	1. 家族看護の基礎知識を学ぶ 2. 入院治療を要すること、家族の心理がわかる 3. 家族とコミュニケーションをとることが出来る 4. 3ヶ月間の自分の成長を認めることが出来る	1. 看護必要度基礎知識と入力方法について学ぶ 2. DPC基礎知識と入力方法について学ぶ 3. 周手術期、麻酔をつけることでの看護がわかる 4. 4ヶ月間の自分の成長を認めることが出来る 5. 各部署の新人到達目標に沿って自己の課題を具体的にすることが出来る	1. 看護必要度、DPCについての講義 2. 看護必要度、DPCの各項目内容について学ぶ 3. 小児麻酔についての講義 4. 麻酔についての基礎知識を学ぶ 5. GW 新人と既卒をわけおこなう 6. 今後の自己の課題を明確にする	1. 看護過程における看護理論の位置づけが理解できる 2. 問題解決思考型での看護過程を理解する 3. 指導を受けながら提示事例のアセスメントができ、患者の問題点を抽出し、計画立案について理解できる 4. 7ヶ月の自分の成長を認めることができる	1. 日々の看護実践の根拠を言葉にして話すことが出来る 2. 6ヶ月間でできたこと、出来なかった事の理由を整理することができる 3. 小児専門病院の看護師として求められる事を理解し、次年度の課題を明確にする 4. 自分の大切にしたい看護、今後の自己の課題を明確にできる
研修内容	1. 家族看護についての講義 2. 家族看護におけるアセスメントの視点について学ぶ 3. よりよいコミュニケーションについて学ぶ 4. GW 新人と既卒をわけおこなう 5. 今後の自己の課題を明確にする	1. 看護必要度、DPCについての講義 2. 看護必要度、DPCの各項目内容について学ぶ 3. 小児麻酔についての講義 4. 麻酔についての基礎知識を学ぶ 5. GW 新人と既卒をわけおこなう 6. 今後の自己の課題を明確にする	1. 事例を用いて看護過程を展開する 2. 小児看護に必要な看護理論を理解する 3. 自分が大切にしたい看護を明確にする 4. 今後の自己の課題を明確にする (ケーススタディー)	1. 事例を用いて看護過程を展開する 2. 小児看護に必要な看護理論を理解する 3. 自分が大切にしたい看護を明確にする 4. 今後の自己の課題を明確にする (ケーススタディー)	1. 6ヶ月間の成果を発表する 2. 実践事例を検討する 3. 次年度の目標を設定する
研修方法	事前課題 講義 ロールプレイ GW	講義 GW	講義 GW 事後課題 自部署で事例を通して看護過程を展開する	講義 GW 事後課題 自部署で事例を通して看護過程を展開する	事前課題 発表 GW 事後課題
学習者	新規採用看護職員 40名	新規採用看護職員 40名	新規採用看護職員 40名	新規採用看護職員 19名	新規採用看護職員 14名 欠席 1名
院内外講師	教育委員	檜垣次長	檜垣次長	二星プレ CNS	教育委員
教育委員の職務	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(泊 小林 藤田 斉藤 土井)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(小林 斉藤 土井 泊 藤田)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(藤田 土井 泊 斉藤)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(土井 藤田 泊 小林)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(斉藤 土井 藤田 泊 小林)
研修場所	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B	研修室 AB

研修コース名	ラダー1	ラダー1	ラダー1
研修会名	アセスメントステップアップ	発表	アセスメントステップアップ
研修月日	6月2日(火)	9月1日(火)	8月4日(火)
研修時間	8:30~17:15	13:30~17:15	8:30~17:15
研修のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根拠に基づいた看護ケアを自立して実践できる能力を養う 2. 問題指向型の思考(クリティカルシンキング)の大切さが分かる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己のアセスメントを振り返り他者の考えや意見を聴く事で、更なるアセスメント能力の向上を目指す 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根拠に基づいた看護ケアを自立して実践できる能力を養う 2. 問題指向型の思考(クリティカルシンキング)の大切さが分かる
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学的根拠に基づいた看護判断が出来る(判断を理論的に説明できる) 2. 個別性(疾患・発達など)を考えた看護計画の立案ができる 3. 知識と経験、判断を活かして看護ケアの展開ができる 4. 看護実践の妥当性を評価し、次の看護ケアプランへと発展させる方法がわかる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の考えを正確に言葉で伝えることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学的根拠に基づいた看護判断が出来る(判断を理論的に説明できる) 2. 個別性(疾患・発達など)を考えた看護計画の立案ができる 3. 知識と経験、判断を活かして看護ケアの展開ができる 4. 看護実践の妥当性を評価し、次の看護ケアプランへと発展させる方法がわかる
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程についての講義 2. ヘンダーソンの14項目、関連図について学ぶ 3. クリティカルシンキングについて学ぶ 4. 個別性を考えた計画を立案する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関連図を用いて発表する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程についての講義 2. ヘンダーソンの14項目、関連図について学ぶ 3. クリティカルシンキングについて学ぶ 4. 個別性を考えた計画を立案する
研修方法	講義 事後課題：発表会前に病棟内で1事例発表	発表会 事後課題：研修後に1事例以上アセスメントし12月中に自部署で発表	講義 事後課題：発表会前に病棟内で1事例発表
学習者	ラダー 対象者 21名	ラダー 対象者 21名	ラダー 対象者 23名
院内外講師	教育委員	教育委員	教育委員
教育委員の職務	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(皿) 教育委員(菊池 和久 後藤 中村)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(皿) 教育副委員長(武川) 教育委員(菊池 和久 後藤 中村)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(皿) 教育副委員長(武川) 教育委員(後藤 菊池 和久 中村)
研修場所	研修室A B	研修室A B	研修室A B

研修コース名	ラダー1	ラダー1
研修会名	発表	看護観
研修月日	12月1日(火)	2月16日(火)
研修時間	13:30~17:15	13:30~17:15
研修のねらい	1. 自己のアセスメントを振り返り他者の考えや意見を聴く事で、更なるアセスメント能力の向上を目指す	1. 自分の大切にしたい看護を明文化することで考えを整理することができる
研修目標	1. 自分の考えを正確に言葉で伝えることができる	1. 自分の考えを伝えることができる 2. より効果的に伝達する為の方法が選択できる
研修内容	1. 関連図を用いて発表する	
研修方法	発表会 事後課題：研修後に1事例以上アセスメントし3月中に自部署で発表	発表会
学習者	ラダー 対象者 23名	ラダー 対象者
院内外講師	教育委員	教育委員
教育委員の職務	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(後藤 菊池 和田 和久 中村)	教育担当看護次長 教育委員長、教育副委員長 教育委員
研修場所	研修室A B	研修室A B

研修コース名	ラダー2	ラダー2	ラダー2	ラダー2・3・4
研修会名	後輩育成	看護研究<基礎>	既卒教育担当者研修	
研修月日	平成22年1月19日(火)	6月16日(火)	6月23日(火)	
研修時間	8:30~12:30	8:30~12:30	13:30~17:15	
研修のねらい	後輩指導の役割を理解し、主体的に後輩指導に臨める。	看護研究の基本的知識を学び、研究に能動的に参加できる	既卒者が困っていることと、教育担当者が困っていることの齟齬合わせを行い、組織への適応を支援する	
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床現場におけるOJTとOFFJTについて学ぶ。 2. 後輩指導の役割について理解し、日々の業務の中で意識して関わる事ができる。 3. 後輩への教育的関わりの方的な方法について学び実践できる。 4. 後輩指導について求められる姿勢について考えられ実践できる。 5. ブリセブターシップを理解できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究を行う手順が理解できる 2. 研修の種類や分析方法について理解できる 3. 日々の実践において研究的視点をもつことができる 4. 共同研究者として研究に参加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な価値観や看護観を承認しあう 2. 既卒者が期待し望む仕事、教育スタイルを理解し、組織が期待することの齟齬合わせができる 3. 大人の学びを支援する方法を考え実践できる 	
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人教育システムについての講義 2. 後輩指導に必要な姿勢とスキルを学ぶ 3. 自分自身に必要な知識や指導技術を考える 事後課題：様式5 後輩・新人指導に対する具体策を立案する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究についての講義 2. 研究計画書の書き方、看護研究のプロセスについて学ぶ 3. 研究に参加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既卒看護師の育成、定着に向けての講義 2. 教えるから共に育つについての講義 3. 既卒者の悩みや思いの情報を提供する 4. 臨床実践現場で困っていることを共有する 5. 今後の指導方法を考える 	
研修方法	講義 GW 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 GW	
学習者	ラダー 対象者 30名	ラダー 対象者 34名	既卒教育担当者 26名	
院内外講師	本看護護師	井上 CNS	藤久保次長	
教育委員の執務者	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(四) 教育副委員長(武川) 教育委員(伊丹 牧野 竹田 栗津)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(四) 教育副委員長(武川) 教育委員(栗津 伊丹 牧野 竹田)	教育担当看護次長(藤久保) 教育副委員長(武川) 教育委員(土井 泊 小林 斉藤 藤田)	
研修場所	研修室A B	研修室A B	研修室A B	

研修コース名	ラダー3	ラダー3
研修会名	看護研究	看護研究
研修月日	12月22日(火)	平成22年3月2日(火)
研修時間	8:30~12:30	8:30~12:30
研修のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床実践の質を上げるための研究に率先して取り組むことができる 2. 小児専門病院の看護師として看護の質を高めるために、自己の果たすべき役割について行動計画が立案できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床実践の質を上げるための研究に率先して取り組むことができる 2. 小児専門病院の看護師として看護の質を高めるために、自己の果たすべき役割について行動計画が立案できる
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の実践を研究の視点から検証できる 2. 小児専門病院の看護師として看護の質を高めるために、看護研究に取り組む 3. 研究のまとめ方やデータ分析について理解する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究計画書が作成できる 2. 看護実践場面に研究の成果を応用できる 3. 次年度、院内または院外で研究の成果を発表できる
研修内容	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題
学習者	ラダー 対象者 20名	ラダー 対象者 20名
院内外講師	院内講師；井上 CNS	院内講師；井上 CNS
教育委員の職務	教育担当看護次長 (藤久保) 教育委員長 (夙) 教育副委員長 (武川) 教育委員 (牧野 伊丹 粟津 竹田)	教育担当看護次長 教育委員長、教育副委員長 教育委員
研修場所	研修室A B	研修室A B

研修コース名	ラダー3・4	ラダー3・4
研修会名	家族看護	平成20年度目標管理発表会
研修月日	11月25日(水)	12月22日(火)
研修時間	13:30~17:15	13:30~17:15
研修のねらい	家族看護の理論を理解し、活用できる。	マイプランの成果を自己の成長につなげることができる。
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族看護の理論を活用できる。 2. 事例を通して家族看護が展開できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. マイプランの成果を発表することで、達成感や組織のプラスの変化を感じることができる。 2. 取り組みの成果を共有できる。
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族看護についての講義 2. 理論の活用について学ぶ 3. 事例を通して理論を学ぶ 	1. マイプランの成果を効果的に発表する
研修方法	講義 CW 事後課題	発表会
学習者	ラダー・24名 欠席者 1名	ラダー・9名
院内外講師	院内講師：井上 CNS	
教育委員の職務	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長「武川」 教育委員(中村 後藤 菊池 和久)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(岡) 教育副委員長(武川) 教育委員(中村 後藤 菊池 和久)
研修場所	研修室A B	研修室A B

研修コース名		ジェネラリスト研修	
ねらい：小児専門看護師として、役割モデルとなり、こども病棟の看護の質を高める			
目 標：1. 患者・家族の人權を尊重した看護実践ができる 2. 小児看護領域の専門性を高め、こども(個)に適した看護方法を創工夫できる 3. 実践場面でリーダーシップが発揮できる			
研修会名	変革理論 (1回目)	グループマネジメントとチーム医療 (2回目)	リスクマネジメント (3回目)
研修日時	7月21日 (火) 8:30~12:30	8月25日 (火) 8:30~17:15	9月15日 (火) 8:30~17:15
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 小児専門病棟の看護師としての役割を理解する 変革理論を理解し、変革推進者の役割行動が理解できる 	<ol style="list-style-type: none"> 小児専門病棟におけるチーム医療について理解し、看護においてリーダーシップがとれる こどもの権利を理解し、アドボケーターとしての役割を考え、実践できる チームの一員として患者・家族と共に看護ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 看護師の法的責任について理解を深め、患者が安心して医療を受ける環境づくりができる リスクマネジメントに関する知識を持ち、自ら問題提起し、解決への提案ができる
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 小児専門病棟の看護師としての役割を理解する 小児専門病棟看護師として期待されている役割が分かり、目標を明らかにすることができる 小児専門病棟における役割モデルの概念化ができる 変革理論の概要を理解する 変革の必要性および変革過程を効果的に行う方法について理解できる 	<ol style="list-style-type: none"> グループダイナミクスとグループマネジメントを理解し、チーム医療における看護師の役割を果たせる こどもの権利を理解し、家族が機能を果たすことができようように看護実践において、よき支援者になれる アドボケーターとしての役割について考えられる 小児看護における患者の意思決定の選択肢と予測される結果を明確にできる 家族もチームの一員としてとらえ、患者・家族の意思決定を支えることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 看護業務規定・法的責任について理解する 所属病棟のリスク要因が明確にできる リスクに応じた問題分析方法が選択でき解決策が導き出せる 問題解決に向け、リーダーシップを発揮し、病棟のリスク改善に向けた推進者になれる
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> ジェネラリスト研修についての講義 変革理論についての講義 効果的なGWについて学ぶ ファシリテーターの役割について学ぶ プレゼンテーションスキルについて学ぶ 	<ol style="list-style-type: none"> グループマネジメントとリーダーシップについての講義 チーム医療についての講義 チーム医療について学び、チーム年齢に応じたリーダーシップを考える こどもの権利と倫理原則について学ぶ アドボケーターの役割を考える 体感トレーニングを通してチームワークを学ぶ 	<ol style="list-style-type: none"> 県立病院における医療訴訟の現状について知る 看護業務規定や法的責任について学ぶ 事例を用いて背景要因分析を行う
研修方法	講義 GW 事後課題	講義 体感トレーニング GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題
学習者	ジェネラリスト研修生 13名	ジェネラリスト研修生 13名	ジェネラリスト研修生 13名
院内外講師	院内講師： 夙看護長	院内講師： 平山看護部長 清水小児専門看護師	院内講師： 河野看護長
教育委員の職務	教育担当看護長 (藤久保) 教育委員長 (夙) 教育副委員長 (伊丹 栗津 牧野 竹田)	教育担当看護長 (藤久保) 教育委員長 (夙) 教育副委員長 (武川) 教育委員 (栗津 伊丹 牧野 竹田)	教育担当看護長 (藤久保) 教育委員長 (夙) 教育副委員長 (武川) 教育委員 (伊丹 栗津 竹田 牧野)
研修場所	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B

ジェネラリスト研修	
研修コース名	
研修会名	平成20年度研修生成果発表
研修日時	2月16日(火) 時間外
研修のねらい	ジェネラリストとして取り組んだ研究を発表し、今後の自己の役割行動を再確認できる
研修目標	1. 研究発表を行い、達成感や組織の変革を実感できる 2. 取り組みの成果を共有できる
研修内容	
研修方法	発表会
学習者	ジェネラリスト研修生 8名
院内外講師	院外講師：訪問看護師 院内講師：池尻部長 春名看護長
教育委員の職務	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(武川) 教育副委員長(伊丹 栗津 牧野 竹田)
研修場所	研修室 A B

教育担当指導者研修					
研修コース名	ねらい：教育に関する組織の教育理念や教育目標を理解するとともに、教育に必要な知識・技術を習得させ、ラダー、看護師等に対し効果的な教育ができる人材を育成する				
研修会名	臨床指導者研修	組織分析・ファシリテーター	教育計画の修正と実施	計画の評価と次年度計画立案	
研修日時	8月25日(火)～27日(木) 8:30～17:00	9月29日(火) 13:30～17:15	10月27日(火) 13:30～17:15	平成22年1月26日(火) 13:30～17:15	
研修のねらい	継続教育を行う組織的な取り組みを知り、指導者の役割を認識するとともに、指導知識・技術を深める	継続教育を行う組織的な取り組みを理解する 2. 教育担当者の役割を認識できる 3. 具体的な指導知識・技術を自己の中で考えられる	1. ラダー、対する現場における実践的な教育指導案を考える 2. 指導案を用いて、実践的な指導が実施できる	教育プログラムの評価を行うとともに、ラダーの指導方法について確立できる	
研修目標	1. 継続教育の組織的取り組みを理解する 2. 教育担当者の役割を認識できる 3. 具体的な指導知識・技術を自己の中で考えられる	1. 所属における継続教育に関する現状分析と課題が抽出できる 2. ラダーに対する教育プログラムの立案ができる	1. 所属におけるラダー、に関する現状分析と課題の抽出 2. 各部署におけるラダー、への継続教育プログラムの立案(3月までの)	1. 指導案を用いておこなった結果を評価し、問題点について意見交換ができる 2. 指導案の修正ができる 3. 指導方法を確認しながら、実践への取り組みができる	
研修内容	1. 教育プログラムの概要 2. 教育支援の方法 3. 指導者の役割 4. 指導の実際を考えたスキル(組織分析、ファシリテーター) 5. モチベーションコントロール			1. 指導案の評価 2. 指導案の修正 3. 指導方法の確認・実践への具体的な取り組みの明確化 4. 来年度のラダーの教育計画立案	
研修方法	講義 GW 事前課題 事後課題	講義 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	
学習者	部署の教育担当者(教育委員、看護長補佐を含む)18名	部署の教育担当者(教育委員、看護長補佐を含む)18名	部署の教育担当者(教育委員、看護長補佐を含む)18名	部署の教育担当者(教育委員、看護長補佐を含む)18名	
院内外講師	平山看護部長 濱田小児専門看護師	CNS	CNS	井上 CNS	
教育委員の職務	兵庫県病院局主催臨床指導者研修	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(田) 教育副委員長(武川) 教育委員(中村 和久)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(田) 教育副委員長(武川) 教育委員(池 和久 中村 菊)	教育担当看護次長(藤久保) 教育委員長(田) 教育副委員長(武川) 教育委員(菊池 和久 田 中村)	
研修場所	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B	

母子フォローアップ研修

看護に活かすアセスメント

ねらい

- 1 理論や根拠に基づいたアセスメント及び実践ができる
- 2 行った看護ケア（実践）を適切に評価できる
- 3 個別性のあるアセスメントができる

学習者：全スタッフ

開催：4回/年 1時間/回（17：30～18：30）

研修日	研修名	参加者	講師	担当者	場所
6月27日	成長発達のアセスメント	66名	井上 CNS	教育委員 (中村)	研修室 A B
8月28日	急変時のアセスメント（急変の前兆の捉え方と対応）	59名	清水小児救急看護認定看護師	教育委員 (牧野・伊丹)	研修室 A B
10月23日	創傷のアセスメントとケア	44名	鎌田皮膚排泄ケア認定看護師	教育委員 (泊)	研修室 A B
12月15日	新生児ケアの基本（胎外生活への生理的適応）	74名	伊達新生児集中ケア認定看護師	教育委員 (土井・後藤)	研修室 A B

平成21年度看護実践報告会

【目的】日常の看護実践を科学的に分析し、結果を意味づけ、成果として発表する。

看護実践の成果を共有することにより小児専門病院としての看護の質の向上を図る。

日 時：平成22年2月20日（土） 13：00～17：00

運営担当：藤澤・坂本

所 属 名	研 究 テ ー マ	研究メンバー
血液主体病棟	学童期患者のセルフケア能力を高めるための取り組み 日常生活支援のパンフレットを作成して	塚本 直美 後藤 恵美 藤本 恵子 光本 望 立花 千佳 小林 輝美 松本 祥江 上坂 ひとみ
混合A病棟	創外固定器装着患者の入院期間短縮による課題への取り組み 多職種との連携を図り退院に向けた援助の見直し	田中 彩子 山岡 凡子 上田 美鈴 文字 智子 細川 員巳
混合B病棟	看護師・保育士の協働した介入方法の検討	栗林 祐季 歌枕 真子 橋口 ゆかり 前原 由紀 岩崎 真弓 藤田 真理子
循環器A病棟	先天性心疾患をもつ児に行うマッサージが及ぼす母の対児感情の変化	濱谷 有希子 和田 真理子 池田 依子 岸本 明子 千治松 靖子 橋本 かへで 二星 淳吾（混合B）
循環器B病棟	学童期における慢性心不全患者のセルフケア能力向上に向けた取り組み	大原 三代子 森松 舞 刈谷 友紀 開保津 直美 谷本 江利子
一般外科病棟	重症心身障害児の術後疼痛コントロール 痛みを予測した鎮痛を目指して	和久 望美 本田 真也 茨木 美鶴 宮武 みよ子 岡野 恭子 田原 エリカ 岩崎 真弓 齋藤 富美代
救急医療センター	自閉症児とその家族に対する看護の検討 極度の偏食により低栄養をきたした症例を通して	浅井 桃子 森本 佳世 河野 早苗 清水 称喜 河野 恵
HCU	造血幹細胞移植に伴う臀部の皮膚トラブル予防についての取り組み	深江 登志子 高澤 道子 山口 智子 鈴木 真美 岡野 愛 武田 志乃 武川 元美
ICU	ICU長期入室中の患児に対する成長発達の支援としての遊びの検討	井上 裕美子 山本 康代 村川喜美代 西村美喜子 下雅意 つるえ
NICU	NICUにおける在宅療養に向けた取り組み 気管切開に対する家族の意思決定に向けての支援	深田 美重子 坂田 亜樹 森田 佳奈恵 鳴滝 由佳 柳川瀬 涼子 竹井 朋子 菟野 朱美
GCU	哺乳行動に応じた乳首選択に関するフローチャート作成	砂川 恭子 高木 のぶ子 石原 佳代子 山崎 歩美 内海 祐子 凧 真貴子
産科病棟	母子同室を実施後退院した母子の地域連携に関する考察 診療情報提供書と育児支援等連絡票の分析より	杉友 ユリ 中西 亜希子 檜田 隆子
中央手術室	開心術における材料のキット化の効果	本田 千奈美 高橋 紫 藤原 真樹 高本 求 中山 佳代 片山 恵理 坂本 郁子 中吉 あけみ
外来	型糖尿病患者の療養支援 糖尿病合同カンファレンスと患者指導パンフレット作成から患者指導を考える	泊 菊子 大西 美樹 春名 真巳子

委員会名	テ ー マ	発 表 者
看護長会	呼吸管理における看護師の役割拡大 気管切開児の呼吸器離脱に向けた看護の確立	齋藤 富美代

平成21年度 看護協会主催研修会等参加実績

研 修 会	開催月日	救急	産科	NICU	GCU	HCU	ICU	手術室	血液	混合	学童	循環A	循環B	一般外科	外来	看護部	ME	合計
新人ナースのための医療事故防止	8月25日			赤沼 景子					谷垣 春華	吉村 知子 北川 一美				小林 真実				3
コミュニケーションと人間関係	11月13～14日			熊谷 千穂								松岡 真織						4
看護過程	1月29日			坂田 亜樹				藤原 由香				渡辺 旭代						3
今日から始める感染防止	7月15日			谷口 茜				井口 由衣		田中 彩子	小林 牧			高見依里子				5
生き生きとした職場活性のためのコーチング	7月16日				植山 真紀			尾崎 由衣				荒井 奈央	松木 麻子					2
看護に活かす栄養管理の基礎	7月24日																	3
実践事例から考える家族看護	9月18～19日	西木 紫磨	西澤 有美	山本 栄														3
スタッフナースとして取り組む医療事故防止	10月23日				要 登志美	小川 直美												2
看護職のストレスマネジメント	11月10日						松岡 富子	片山 恵理		藤原 千草								3
看護記録	10月18日					鎌田 直美							大原三代子	袁代 裕美				3
パワーアップ研修	10月6日						鎌田 梓		塚本 直美 松本 梓江	田中 彩子								4
臨地実習	12月3～4日	湯村佳奈子										東谷 直子						2
看護必要度	9月25～26日	佐藤由紀子							江藤 公代	伊藤 宏美								3
主体性を引き出すファシリテーター	7月17～18日													茨木 美鈴				1
臨床における看護論理	8月6～7日	大北 正子							澤 明美					西埜 里美				3
摂食・嚥下障害をもつ患者の看護	8月7～8日						伊丹 照美											1
チームで取り組む褥創対策	1月22日													阿野 恭子				1
ナーシングアドボカシーと看護のイメージアップ	7月30日						豆崎 紀子	川崎 さみ					吉武 慎治					3
看護ケア・S管理の基本	9月10日	森野 エミ			富田まゆみ			高橋 紫				村上 知也			泊 菊子			5
管理者が行うストレスマネジメント	12月7日			竹井 朋子			西澤由美子	藤澤 由										3
看護管理者のための公開講座	11月24日				武川 元美						藤田真理子	橋本かへで	谷本江利子	齋藤富美代	春名真巳子			6
臨床と看護学校との連携	10月2日																	1
統計学の基礎	9月16日			深田美重子										田原工リカ				2
終末期医療とこれからの課題	10月9～10日								田中亜希子 小林 輝美									2
災害医療と看護基礎編	1月15～16日			段野 由里														1
合計		4	2	8	3	3	5	8	7	6	2	6	5	8	2			69
看護管理ファーストレベル	6月22日～7月31日							阪本 郁子										1
看護管理ファーストレベル	10月26日～12月3日											堀場 里美						1
看護管理セカンドレベル	8月26日～10月16日				凧 真貴子			時吉あけみ										2
看護管理サードレベル	11月2日～12月18日															藤久保真季		1

研 修 会	開催月日	救急	産科	NICU	GCU	HCU	ICU	手術室	血液	混合	学童	循環A	循環B	一般外科	外来	看護部	ME	合計
実習指導者講習	8月17日～10月20日													小林久美子				1
周産期医療研修会	11月17～20日			藤原 洋美														1
医療安全管理者養成講習会	7月27～29日 8月3～6日											藤田真理子						1
リスクマネージャー対象者講習会	10月15日									上坂ひとみ		藤田真理子						2
看護学生・新人看護師の指導者のための研修	10日間							井上 扶美				藤田真理子			齋藤富美代			2
看護必要度院内指導者研修	5月30日												奥田 早苗					1
ホスピタルブレイスパシヤリスト研修	9月7日～10月19日																	1
10 IC 研修	10月31日～11月1日、 11月7～8日																	1
ME 技術講習会	7月4日																中村 智裕	1
子育て支援	12月8～10日									中村 直子							横山 真司	1
医療保育学会研修会	1月10～11日											坂東 泰江						1
合 計				1	1			3		2		5	1	1	1	1	2	18

患者と自分を守る手術看護	7月16～17日							三好 真一										1
看護の質を高める看護記録	11月7～8日					吉田知可子	山下 美希		杉山真由美		三宅 典子							4
看護に生かすクリティカルパス	11月25～26日												谷本江利子					1
合 計						1	1	1	1		1		1					6

平成21年度 学会等参加者

学 会 名	開催月日	救急	産科	NICU	GCU	HCU	ICU	手術室	血液	混合	学童	循環A	循環B	一般外科	外来	看護部	ME	合計
日本小児循環器学会	7月15～17日												谷本江利子					1
日本小児看護学会	11月18～19日						永野 愛弓					東谷 直子						2
日本小児救急医療学会	6月19～20日	森本 佳代 浅井 桃子																2
日本小児ストーム・排泄管理研究会	4月25日						田路久美子								鎌田 直子			2
近畿小児ストーム・排泄管理研究会	12月22日			山本 陽子											鎌田 直子			2
小児看護（日本看護学術集会）	9月25～26日							高橋 紫										1
日本小児がん学会	11月27日～29日								中尾 裕美									1
日本新生児学会	7月12～14日			(松本京子)	林 瑠美子													2
近畿地区看護研究会	12月9日									伊藤 美子 文字 智代 岡村 智代								2
兵庫県看護協会実践発表会	2月13日		杉原 礼美 末廣 真由美															2
看護協会西部支部実践発表会	2月27日						中尾 裕美 上坂ひとみ											2
日本医療保育学会	6月6～7日						中村 直子				坂東 泰江 奥田 早苗 森松 舞馬場 夕紀				2			4
合 計		2	2	2	1		2	1	4	2	1	2	2	1	2			23

看護部

看護学生

看護学校名	実習名	実習生数	実習期間	実習病棟
兵庫県立大学 看護学部	総合看護	20名	平成21年 6月1日～6月25日	血液主体、混合A、混合B 循環器A、循環器B 一般外科
兵庫県立大学 看護学部	生涯健康看護実習	18名	7月6日～23日	血液主体、混合A、混合B 循環器A、循環器B 一般外科
	生涯健康看護実習	26名	10月5日～22日	血液主体、混合A、混合B 循環器A、循環器B 一般外科、産科
兵庫県立大学 看護学部	インパクト実習	8名	8月4日～6日	混合A、循環器B
兵庫県立大学 看護学部	総合看護技術実習	33名	12月8日～19日	血液主体、混合A、混合B 循環器A、循環器B 一般外科
兵庫県立大学 看護学部	出会い実習	18名	平成22年 2月1日～11日	血液主体、混合A、混合B 循環器A、循環器B 一般外科
兵庫県立 総合衛生学院 看護学科定時制	産科看護実習	6名×3G 4名×4G 2名×1G 計36名	6月4日・5日 6月22日・23日 7月9日・10日 8月27日・28日 9月17日・18日 10月1日・2日 11月5日・6日	産科
兵庫県立 総合衛生学院 助産学科	新生児看護実習	4名×3G 3名×1G 計15名	9月28日～30日 10月7日～9日 1月20日～22日 1月26日～28日	GCU
近大姫路大学	こども看護実習	4名×6G 3名×1G 計27名	6月15日～26日 6月30日～7月9日 9月28日～10月8日 10月26日～11月5日 11月10日～19日	HCU 循環器A 循環器B 混合B

看護部ボランティア

活動実績

ボランティアグループ	活動内容	活動時間
協会ボランティア (神戸生活指導研究会 病院ボランティア)	カルテのセット組・お絞リタオル作成・ 外来患者の案内・玩具の片付け 外来・病棟での患者の遊び相手	毎週月・金曜日10:30~15:00 活動者数:22名
病院ボランティア (こども病院で募集)	外来・病棟での患者の遊び相手・玩具の 片付け・外来患者の案内 縫製作業 など	月~金曜日 1~3回/週 活動者数:14名

ボランティアグループ	内容	開催日	担当者
協会ボランティア (神戸生活指導研究会 病院ボランティア)	交流会 (29名)	1月27日	桧垣 美香子 細川 員巳 齋藤 富美代 上坂 ひとみ 武川 元美
	健康診断 (14名)	1月20日・27日	
	インフルエンザ予防接種	11月25・26・27日	
病院ボランティア	交流会 (22名)	1月20日	
	健康診断 (8名)	1月20日	
	インフルエンザ予防接種	11月25・26・27日	
	ボランティア募集・受付	6月~8月	
	説明会・研修会・健康診断	9月25日・11月16日	
健康診断担当医師:佐本 崇 母性内科部長			

ボランティアグループ	内容	開催日	開催場所
飯田 美奈子 氏 (声楽家)	コンサート	3月26日	研修室 A B
時田 直也 氏 (声楽家)	コンサート	8月19日	研修室 A B
神戸大学児童文化研究会	人形劇	9月2日 15:00~15:45	研修室 A B
ジャスパー瀧口 氏 桐田 伸一 氏	マジック	11月30日 15:00~15:45	研修室 A B
神戸ハーバーライオンズク ラブ	クリスマス会	12月9日 15:00~16:00	周産期センター ロビー
神戸女子大学	クリスマス会	12月15日 15:00~15:45	研修室 A B

看護長補佐会 <活動回数；12回>

<活動目的>

患者や家族が安心と満足を得られるよう看護長補佐としての役割を遂行し、看護の質の向上を図る

<目標>

1. 病院としての課題達成に向けての取り組みを率先して実行できる
2. 看護師として責任ある行動が主体的に取れるようスタッフの育成を行う

<活動内容>

1. グループ活動

1) 患者参画型看護計画グループ

患者・家族とともに立案する患者参画型看護計画（入院時初期記計画書）の作成

2) プレパレーショングループ

プレパレーションガイドラインの作成と導入

3) 倫理グループ

倫理問題を考えるシステムの構築（「倫理の日」の導入）

まんがで解る「看護者の倫理綱領」こども病院バージョンの作成

（滋賀県看護協会作成の許可を得て改変）

4) 業務改善グループ

スタッフの意見をくみ上げ、業務改善につなげるシステムの構築

「さわやか意見箱」の設置

2. 各部署及び全体の年間固定チームナーシング実践評価

3. その他

1) 看護実践報告会の企画運営（平成22年2月20日）

2) 看護部目標管理発表会の企画運営（平成22年2月26日）

3) ふれあい看護体験の企画運営（平成21年7月28日）

教育委員会 <活動回数；12回>

<活動目的>

1. さまざまな教育背景を持つ看護職員に対して、当院で看護を行っていくために必要な知識・技術の修得や態度を育成し、より質の高い看護ケアを提供できるように看護師個々を支援する。
2. 看護部の理念や目標を達成するために、看護師継続看護について企画・運営・評価を通して看護師個々の成長を図ることができるよう活動する。
3. 看護部における集合教育は、現場における日々の教育支援につながることや動機付けが主たるねらいであるから、現場における教育との関連性・継続性を図ることができるよう運営する。

< 目標 >

1. アセスメント、実践能力向上のための集合研修を企画、開催する
2. 集合教育とOJTとの連動性・継続性をはかる
3. 院内研修の評価修正を行う
4. 教育委員の企画、指導力の更なる向上を目指す

< 活動内容 >

1. 新規採用者オリエンテーションの企画・運営（平成21年4月1日～3日）
2. 集合教育の企画・運営
 - 1) 新 人 : 8回/年
 - 2) ラダー : 5回/年
 - 3) ラダー : 3回/年
 - 4) ラダー : 2回/年
 - 5) ラダー・ : 1回/年
 - 6) ジェネラリスト研修:ラダー 対象 5回/年
 - 7) 教育担当指導者研修:ラダー・ 対象 3回/年
 - 8) 母子フォローアップ研修（4回）全看護師対象 時間外研修
フィジカルアセスメント

安全対策委員会 < 活動回数 ; 11回 >

< 活動目的 >

1. 看護事故防止対策の立案と監査システムの確立、定期的監査の実施、指導を行う
2. ヒヤリハット・事件事例の分析、評価を行い安全策を検討する
3. 必要なら業務委員会と連携を図り看護基準・手順の変更をする
4. 年間のデータ分析とまとめ

< 目標 >

1. 確認不足、思い込みによるヒヤリハット・事故をなくす対策を検討する
2. ヒヤリハット、事件事例の分析・安全策を検討する
3. ミスに繋がりそうな状況の改善を検討する

< 活動内容 >

以下の2つのグループで活動を行なった。広報に関しては両チームで担当した

1. 誤薬の防止：全病棟のWチェック方法を見直し、病棟の特徴に合わせた対策の周知と実施
キャンペーンにおいてWチェックの方法を再確認した
2. 患者間違い防止：ネームバンドを用いての患者確認行動の周知・手順の見直し
ネームバンドを使用する意味の再確認と手順に準じた使用ができる
ように周知
3. 広報：現場取材とタイムリーな情報提供、広報活動を行なう
2か月に1回の新聞発行を行なった

業務手順委員会 <活動回数；11回>

<活動目的>

看護業務を見直し、当院で必要な看護基準・手順を作成し、安全で安楽な標準化したケアを提供する

<目標>

1. 看護手順の基本に沿って、タイムリーに手順の修正及び新規作成ができる
2. 監査を実施することで、手順が遵守できているか確認すると共に問題点を明らかにする
3. 業務の手引きの修正ができる
4. 全病棟で使用できる患者支援パンフレットが作成できる
5. こども病院における緩和ケアについて指針となるマニュアルが作成できる

<活動内容>

1. 看護手順については、基本に沿って10項目の見直しを行った
2. 経管栄養法について安全行動を中心に手順の遵守ができているか監査を実施した
3. 新たに「業務の手引き」に停電や水漏れなどトラブル時の対応について追加作成した薬剤・検査・放射線のオーダリング開始に伴う業務の手順の変更について検討した
4. 各病棟で作成している患者支援パンフレットのフォーマットを整備し内容の統一を行った
5. 他施設の資料や文献検索を行いながら「緩和ケアマニュアル」を完成した

感染対策委員会 <活動回数；11回>

<活動目的>

1. 院内感染対策委員会と連携し、感染防止を推進する
2. 院内感染防止対策の見直しと監査システムの確立、定期的な監査の実施と指導を行う

<目標>

1. 院内感染マニュアルの周知とスタンダードプリコーションの教育を行う
2. 感染データ集計、血流サーベイランス、環境監査、ICTとの協議等により感染防止を図る

<活動内容>

1. 各部署の感染状況を報告し、ICTメンバーと感染防止対策を検討した
2. 血流サーベイランスを2回（7，10月）実施、感染率を出し、結果を部署にフィードバックした
感染防止のためにCVポートの清潔操作の監査を6，9月に実施した
3. 環境感染監査を2回（8，9月と11，12月）実施し結果を部署にフィードバックし、環境監査ニュースを2回発行し傾向と対策を啓蒙した
4. 職員対象の感染対策研修会の看護部門担当を企画、実施した
5. 「リンクナースファイル」を評価、修正して教育に活用した

看護記録委員会 <活動回数；11回>

<活動目的>

1. 看護記録の監査の実施
2. クリニカルパスの作成とバリエーション評価

<目標>

1. 定期的・継続的な監査実施により、看護記録の質が保持される
2. 治療の効率化の実現と患者・家族に明確な診療情報を提供できるように、パスの見直しができる

<活動内容>

1. 新看護記録の監査ツールの作成を行った
2. 上記のツールをもとに、新看護記録の機械的監査を9月・11月に実施した
3. 実施結果より看護記録要項の修正を行った
4. グラフィックシート・イエローシート・5号用紙・看護計画の機械的監査を年4回実施した
5. 看護計画と看護記録の連動に関する監査（選択的質的監査）を毎月各病棟で実施した
6. 看護計画と看護記録が連動した記載モデルを作成した
7. 質的監査ツールに基づいた監査を8月と11月に実施した
8. 監査結果より改善点を明らかにし、ポスター作成など行い、啓蒙活動を行った
9. クリニカルパスの監査を2回実施した
10. 現在あるすべてのクリニカルパス（医療者用・家族用）を診療部と見直しを行った
11. 医療者用クリニカルパスの様式をワードからエクセルに変更した
12. 家族用クリニカルパスの内容・表現方法の検討を行い、エクセルでのフォーマットを作成した。一部エクセルに修正した
13. クリニカルパスの作成状況の一覧を修正した
14. 10～12月にクリニカルパスの適用率の調査を行った
15. 新生児のグラフィックシート・フローチャート、産科の妊産婦背景表・分娩記録用紙、手術室の術中記録用紙（開心術）の修正にあたり、検討を行った
16. 手術室の日帰りパスの作成にあたり、検討を行った
17. 記録に関する問題点や困っていることの検討を通し、看護記録のあり方について話し合いを行った

臨床指導者会 <活動回数；6回>

<活動目的>

1. 臨床指導者の育成を図り、看護教育の質の向上を図る。
2. 看護教育について理解を深め、実習指導に必要な知識、技術を習得し効果的な実習指導ができる。
3. 看護学校との連携をはかるために、連絡会議を持つ。

<目標>

1. 患者様を優先した安全で有効な実習を行える環境が提供できる。
2. 学生指導を通して指導スキルの向上、自己成長ができる。
3. 各部署全体で指導スキルの向上ができるような教育的かわりができる。

<活動内容>

1. 実習の打ち合わせ、実習後評価、実習に関する学校との意見交換、事例検討を実施した
2. 指導スキルの向上、自己成長をはかるため、ミニ勉強会や、伝達講習、教員による講義などを計画的に実施した
3. 指導者が戸惑うことなく看護技術実習が提供できるよう「看護技術実習実施基準」の作成を行った
4. 新規で実習を受け入れる部署では、実習要項や手順の作成に取り組んだ
5. 臨床実習指導要領の見直しを行った

領域別看護ケア向上委員会 呼吸障害ケア部会 <活動回数；11回>

<活動目的>

1. 看護師の専門的な実践能力を向上し患者のQOLを高める
2. 個別の看護師が有する専門的な知識・技術を他の看護師（チーム）に還元できる
3. 委員はスタッフに必要とされる領域の看護を自主的に学習し、責任ある実践ができるように看護師を動機づける

<目標>

呼吸ケアの実践と教育において、現場に即した支援を行う

1. 安全で確実な呼吸ケア実践を支援する
2. 呼吸ケアの実践や教育に役立つ資料を充実する

<活動内容>

1. 呼吸ケア関連のヒアリハット対策
部会での共有・対策検討（毎月）、病棟訪問活動（3回）、安全啓蒙の新聞作成（3回）
2. 事例検討、関連情報の共有
 - 1) 事例検討：3例実施、呼吸理学療法やケア（吸引）について（一部PTと連携）
 - 2) 学会・研修報告：参加報告（学会1例）

3. 院内ME、PTとの連携
 - ME：関連機器や物品の管理について部会時間内で検討（9回）
（呼吸関連物品管理方法の改善、酸素関係交換間隔統一、呼吸器待機方法の提示など）
 - PT：呼吸理学療法に関連した事例検討（2回）
4. 勉強会の企画・開催
 - 7回実施（院内ME、PT、地域連携室、各業者と連携）、
平均参加人数43名
 - テーマ：各種呼吸器の管理、トラブルシューティング、呼吸理学療法、など
5. 研修や各病棟での救急蘇生や呼吸ケアに関する勉強会支援（sim研修への参加）
6. 関連マニュアルの整備、呼吸ケア指導方法の検討
 - 1) 呼吸療法マニュアルの一部修正、改訂（手順と記載のものを「看護手順」へ）
 - 2) 呼吸ケア関連の看護手順作成（酸素療法6項目＋呼吸療法マニュアルより5項目）
 - 3) 補足教材の検討（気管内吸引の動画を各病棟に配布）
 - 4) 各病棟の活動紹介（2回実施、呼吸ケア技術チェック・ケアマップの活用について）
7. 在宅療法指導マニュアルの作成
 - 1) 気管切開（マニュアル作成）
 - 2) HOT（マニュアル作成）
 - 3) LTV（作成中）

領域別看護ケア向上委員会 摂食ケア部会 <活動回数；11回>

<活動目的>

摂食障害における専門知識を習得し、ケアの質向上を図る

<目標>

1. 症例検討を通して、患者のさらなる摂食面を中心とした看護ケア向上を図る
2. 摂食委員及び各病棟スタッフの摂食ケア能力の向上に努める

<活動内容>

1. 毎月各病棟から出される摂食問題の症例検討を行い、検討結果を患者の看護計画・ケアに反映し、評価も行っていく
2. 部会員対象とした摂食に必要な知識・技術の習得を勉強会や症例検討を通じて行う
3. 毎月栄養指導課と連携し、栄養面や調理方法、より良い食事の提供が行えるよう協議する
4. NSTと連携し、摂食機能に問題のある症例に関しては、積極的に介入していく
また、NSTラウンド時には参加していく
5. 摂食ケアに関連したマニュアルの見直しを行う

<目標>

1. WOC部会委員のW・O・Cそれぞれの知識技術の習得
2. スタッフのWOCケア知識と技術の向上
3. 院内のWOCケアの向上

<活動内容>

1. 毎月、各部署から出されるWOCケア対象症例を検討し、検討結果を関連部署に還元する
2. 各委員が所属部署でWOCケア向上のための活動を行い、毎月委員会で活動内容を発表する
3. 各委員がW・O・Cそれぞれの知識・技術の習得をチェックリストを活用し行う
4. 院内勉強会を開催し、スタッフのW・O・Cケアの知識・技術の向上を図る
 - (ア)褥瘡発生状況とリスクアセスメント
 - (イ)褥瘡予防、予防具の体験
 - (ウ)ストーマケア 基礎知識の確認と演習
5. 院内のWOCケアの改良
 - CV挿入患児のスキンケア 気管切開手術直後の褥瘡予防
 - WOCケア情報をスタッフに伝達する（広報） 褥瘡対策用紙を正しく記入できる

3. 研修医・専攻医 指導記録

研修医：北村 奈都子

研修科：形成外科

研修期間：2009年4月1日～2009年12月31日

指導医：西本 聡、大山 知樹、小野田 素大

症 例	症例数 258	
	執刀 30	助手 228
新鮮熱傷	1	2
顔面骨骨折		2
顔面軟部組織損傷		1
口唇裂		16
口蓋裂	1	9
手足の先天異常	6	28
手足の外傷		7
その他の先天異常	13	71
母斑・血管腫・良性腫瘍	8	78
悪性腫瘍およびそれに関連する再建		
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	1	14
褥瘡・難治性潰瘍		
美容外科		
その他		

研 修 医：布居理沙

研 修 科：整形外科

研修期間（予定含む）；2009年4月1日～2010年3月31日

指 導 医：薩摩 真一、小林 大介

主な症例	執刀	助手
ソルター骨盤骨きり術	0	5
先天股脱観血の整復術	0	3
大腿骨骨きり術	0	5
骨延長術	0	14
腫瘍性疾患	2	3
足部矯正	16	14
側湾症など脊椎疾患	0	10
骨折	12	5
抜釘など	19	22
骨頭すべり	2	4

脳神経外科 専攻医指導記録

専攻医：石井 大嗣

研修期間：2008年10月1日～2009年3月31日

指導医：長嶋 達也、河村 淳史、山元 一樹

症 例	執刀	第1助手	第2助手
脳腫瘍摘出術		9	
動脈瘤・脳動静脈奇形ほか			
開頭脳内血腫			
バイパス手術		4	
急性硬膜外血腫		2	
急性硬膜下血腫			
硬膜下血腫・水腫		2	
頭蓋・脳奇形		11	
脊椎・脊髄奇形		3	
水頭症脳室シャント		23	
神経内視鏡手術		4	
脊椎・脊髄腫瘍		4	
脊髄空洞症		0	
その他		15	
合計		77	0

専攻医：中井 友昭

研修期間：2009年4月1日～2009年9月31日

指導医：長嶋 達也、河村 淳史、山元 一樹

症 例	執刀	第1助手	第2助手
脳腫瘍摘出術		13	
経蝶形骨洞手術		0	
動脈瘤・脳動静脈奇形ほか		1	
開頭脳内血腫	1	1	
バイパス手術		2	
急性硬膜外血腫	1	0	
急性硬膜下血腫		1	
硬膜下血腫・水腫		2	
頭蓋・脳奇形		9	
脊椎・脊髄奇形		9	
水頭症脳室シャント	5	12	
水頭症神経内視鏡手術		1	
脊椎・脊髄腫瘍		2	
脊髄空洞症		0	
その他	5	5	
合計	12	58	0

専攻医：堀 達雄

研修期間：2009年10月1日～2010年3月31日（1月31日現在）

指導医：長嶋 達也、河村 淳史、山元 一樹

症 例	執刀	第1助手	第2助手
脳腫瘍摘出術		11	
動脈瘤・脳動静脈奇形		0	
開頭脳内血腫		0	
バイパス手術		1	
急性硬膜外血腫		0	
急性硬膜下血腫		2	
外減圧開頭		0	
硬膜下血腫・水腫			
頭蓋・脳奇形		9	
脊椎・脊髄奇形		11	
水頭症脳室シャント		11	
水頭症内視鏡手術		0	
脊椎・脊髄腫瘍		3	
脊髄空洞症		2	
その他		7	
合計		57	0

専攻医：田中 大輔
 研修科：放射線科
 研修期間：2009.4.1.～2010.3.31
 指導医：赤坂 好宣

読影件数	C T : 764	M R I : 624	R I : 62	透視検査 : 30	超音波検査 : 953
------	-----------	-------------	----------	-----------	-------------

専攻医：板橋健太郎
 研修科：放射線科
 研修期間：2008.7.1.～2010.3.31
 指導医：赤坂 好宣

読影件数	C T : 1199	M R I : 787	R I : 327	透視検査 : 201	超音波検査 : 1780
------	------------	-------------	-----------	------------	--------------

専攻医：下川 祐子
 研修科：放射線科
 研修期間：2009.1.1.～2009.5.31
 指導医：赤坂 好宣

読影件数	C T : 324	M R I : 76	R I : 26	透視検査 : 24	超音波検査 : 324
------	-----------	------------	----------	-----------	-------------

専攻医：田村 彰広
 研修科：放射線科
 研修期間：2009.7.1.～2009.9.30
 指導医：赤坂 好宣

読影件数	C T : 152	M R I : 128	R I : 5	透視検査 : 24	超音波検査 : 229
------	-----------	-------------	---------	-----------	-------------

専攻医：中島絵梨花
 研修科：放射線科
 研修期間：2009.10.1.～2009.12.31
 指導医：赤坂 好宣

読影件数	C T : 42	M R I : 21	透視検査 : 9	超音波検査 : 125
------	----------	------------	----------	-------------

報 道

テーマ	所属科	発表者名	報道媒体	報道年月日
舌小帯短縮症	耳鼻咽喉科	阪本浩一	朝日新聞	2009.1.25

1. 書籍

テーマ	所属科	発表者名	単著・共著の別	編者名	書籍名	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
小児のO脚	整形外科	薩摩真一	共著	山口徹、北原光夫、福井次矢 編	今日の治療指針 2009年版	799	799	医学書院	2009年
骨盤骨切り術 (Salter 手術)	整形外科	薩摩真一	共著	藤井敏男 編	整形外科 Knack & Pitfalls 「小児整形外科の要点と盲点」	134	136	文光堂	2009年
足部手術（二分脊椎）	整形外科	薩摩真一	共著	藤井敏男 編	整形外科 Knack & Pitfalls 「小児整形外科の要点と盲点」	354	355	文光堂	2009年
外陰部の異常	泌尿器科	杉多良文	共著	藤澤正人、三宅秀明	若い医師のための泌尿器科学	157	184	(株) ベクトル・コア	2009年 5 月 10日
腎性尿崩症	代謝内分 泌科	郷司克己	共著	日本小児内分沁学会	小児内分沁学	254	258	診断と治療社	2009年 12月
GnRH 非依存性思春期 早発症	代謝内分 泌科	郷司克己	共著	日本小児内分沁学会	小児内分沁学	275	280	診断と治療社	2009年 12月
緑内障による頭痛	眼科	野村耕治	共著	五十嵐 隆	小児科臨床ピクルス12 小児の頭痛 診かた治しかた	176	177	中山書店	2009年
臍帯脱出	産科	船越 徹	共著	江口勝人	必携ハイリスク妊娠の 診療を極める	282	286	永井書店	2009年 8 月
正中頸嚢胞	耳鼻科	阪本浩一	共著	小児耳鼻咽喉科学会	小児耳鼻咽喉科治療指針	326	330	金原出版	Wednesday, May 20, 2009
右心バイパス 両方向性グレン手術 ¹⁾	心臓血 管外科	大嶋義博	共著	四津良平、坂本喜三郎	CIRCULATION VISUAL BEST 「心 臓血管外科テクニク：先天性 心疾患編」	216	218	メデイカ出 版	2009年 4 月
右心バイパス ³⁾ Fontan 手術 ¹⁾ ・心外 導管による TPC 法-B GS 後-	心臓血 管外科	大嶋義博	共著	四津良平、坂本喜三郎	CIRCULATION VISUAL BEST 「心 臓血管外科テクニク：先天性 心疾患編」	220	222	メデイカ出 版	2009年 4 月
小児の褥瘡の治療・ ケア	看護部	鎌田直子	共著	宮地良樹、溝上祐子	褥瘡治療・ケアトータルガイド	239	246	株式会社照 林社	2009年 4 月

2. 雑誌発表表

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻	第号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
小児在宅支援に必要な社会資源の活用と地域医療連携	指導相談・地域医療連携部	長岡 美佐	小児看護	32	1	22	27	へるす出版	2009年1月
フローアアップミルクにいつから変えたらいいですか？	指導相談・地域医療連携部	宅見 晃子	周産期医学	39	増刊号	692	694	東京医学社	2009年11月
離乳食の開始時期の目安は何ですか？	指導相談・地域医療連携部	宅見 晃子	周産期医学	39	増刊号	700	702	東京医学社	2009年11月
機嫌は良いのですが、ミルクを急に飲まなくなっていましたか？	指導相談・地域医療連携部	宅見 晃子	周産期医学	39	増刊号	697	702	東京医学社	2009年11月
先天性眼窩疾患	眼科	山本 節	J O H N S	25	8	1155	1158	東京医学社	2009年8月
小児麻酔におけるリスクマネジメント「術前評価」	麻酔科	香川哲郎、鈴木 毅、高辻小枝子、大西広泰、池島典之	日本臨床麻酔学会雑誌	29	3	250	257	日本臨床麻酔学会	2009年3月
両側口唇裂におけるManchester法術後変形に対する修正術	形成外科	大山知樹、吉村友希、大崎陽子、細川 互	形成外科	Vol.52	No.1	79	85		2009年
The development of placenta increta following pelvic transcatheter artery embolization for postpartum hemorrhage	産科	Kitao K, Makihara N, Morita H, Yamasaki M, Matsuoka S, Ohara N, Maruo T	Clin Exp Obst & Gyn	36	1	53	54	I.R.O.G. CANADA Inc.	2009年
Suppression of progesterone production by stresscopin/urocortin 3 in cultured human granulosa-lutein cells	産科	Yata A, Nakabayashi K, Wakahashi S, Maruo N, Ohara N, Maruo T	Hum Reprod	24	7	1748	1753	Oxford University Press	July, 2009
Editorial: Progesterone, thyroid hormone and relaxin in the regulation of the invasive potential of extravillous trophoblasts in early placental development	産科	Maruo T	Gynendo News (ISGE Website Journal)		39			International Society of Gynecological Endocrinology	December, 2009
子宮筋腫をめぐる最近の話題	産科	丸尾 猛、小原範之	産婦人科治療	99	1	1	9	永井書店	2009年7月

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
乳児頸部腫瘍の1例	兵庫県立こども病院放射線部・放射線検査・血液病理科2、腫瘍科2、耳鼻咽喉科3、放射線科4	吉田牧子1、林耕平2、竹田洋樹2、長谷川大一郎2、川崎圭一郎2、小坂嘉之2、大津雅秀3、阪本浩一3、赤坂好宣4、山口善道4	小児がん	第46巻 第2号	235	235	日本小児がん学会	2009年5月30日
小児整形外科疾患に対する治療戦略	整形外科	薩摩真一	静岡整形外科医学雑誌	2 1	52	57	静岡整形外科医会	2009年
2歳未満で発症した関節型 JIA の 2 例	整形外科	浜村清香、小林大介、薩摩真一	近畿小児整形外科21	21	35	38	近畿小児整形外科	2009年
特発性股関節軟骨融解症の1例	整形外科	浜村清香、小林大介、薩摩真一	近畿小児整形外科21	21	5	9	近畿小児整形外科	2009年
糖尿病療養指導アイテム おくすり手帳・薬剤情報提供書など薬剤に関するアイテム	薬剤部	辻本 勉	糖尿病ケア	16 3	29	33	M C メディカ出版	2009年3月
明日の指導に加えたい 糖尿病のくすりのはなし	薬剤部	辻本 勉	糖尿病ケア	16 4	77	79	M C メディカ出版	2009年4月
泌尿器画像診断 UPDATE-泌尿器系先天奇形	放射線科	赤坂好宣 (こども病院)	臨床画像11月増刊号	25 11	110	118	メジカルビュー	2009年11月
今月の症例 画像診断: Currarino triad	放射線科	赤坂好宣 (こども病院、主著者) 板橋健太郎 (こども病院) 山口善道 (こども病院)、小田切邦雄 (横浜青葉台クリニック)	小児科臨床	62 3	377	380	日本小児医事出版	2009年3月
生殖器 帯下を主訴とした思にみられた単純写真異常像	泌尿器科	乃美昌司、杉多良文	小児科臨床	第61巻 増刊	711	715	日本小児医事出版社	2008年4月1日
経腰的手術が行われた異所性尿管瘤の臨床的検討	泌尿器科	乃美昌司、久松英治、高木志寿子、杉多良文	日本小児泌尿器科学会雑誌	第16巻 第2号	183	187	日本小児泌尿器科学会	2008年6月1日
非触知精巣に対する腹腔鏡検査と精巣固定術の臨床的検討	泌尿器科	乃美昌司、久松英治、高木志寿子、杉多良文	日本小児泌尿器科学会雑誌	第16巻 第2号	200	203	日本小児泌尿器科学会	2008年6月1日

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
EBMに基づく停留精巣診療	泌尿器科	杉多良文、 久松英治	臨床泌尿器科	第62巻 第10号	743	749	医学書院	2008年 9月1日
小児尿失禁の手術	泌尿器科	杉多良文、 久松英治	臨床泌尿器科	第62巻 第13号	1033	1041	医学書院	2008年 12月1日
腎癭の適応と術式	泌尿器科	杉多良文、 久松英治、 中川賀清	小児外科	第41巻 第2号	173	176	東京医学社	2009年 2月25日
知っておきたい！子どもの疾患・ケア 第6回おちんちんが小さいとき（埋没陰莖、 ミクロペニス）	泌尿器科	高木志寿子、 久松英治、 中川賀清、 杉多良文	泌尿器ケア	第14巻 第6号	85	89	メデイカ出版	2009年 6月10日
小児泌尿器科手術 異所 開口尿管摘除術	泌尿器科	高木志寿子、 久松英治、 中川賀清、 杉多良文	臨床泌尿器科	第63巻 第8号	581	585	医学書院	2009年 7月20日
小児包茎の保存的治療と手術治療	泌尿器科	杉多良文、 高木志寿子、 中川賀清、 久松英治	Urology View	第7巻 第4号	92	98	メジカルビュー社	2009年 8月1日
A new technique of concealed penis repair	泌尿器科	Yoshifumi Sugita, Katsuhiko Ueoka, Shizuko Takagi, Eiji Hisamatsu, Kaoru Yoshino, Saburo Tamikaze	Journal of Urology	第182巻 第4号 補	1751	1754	American Urological Association	2009年 8月18日
乳幼児原発性膀胱尿管逆流症	泌尿器科	杉多良文、 久松英治、 高木志寿子、 中川賀清	小児外科	第41巻 第10号	1054	1057	東京医学社	2009年 10月25日
小児尿道形成術後尿道狭窄に対する修復術	泌尿器科	杉多良文	排尿障害プラクティ ス	第17巻 第4号	298	304	メデイカルビュー 社	2009年 12月20日
Potter 症候群（シークエンス）	新生児	岩谷壮太、 中尾秀人	小児科診療	2009年 増刊号	486	486	診断と治療社	2009年 4月15日
新生児10代表疾患：その治療と看護 胎便吸引症候群・新生児遷延性肺高血圧	新生児	岩谷壮太、 中尾秀人	Neonatal Care	22	333	341	メデイカ出版	2009年4月

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻	第号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
血清インスリン様成長因子 - 1 値と未熟網膜症の関連性	新生児	溝淵雅巳、坂井仁美、上田雅章、芳本誠司、中尾秀人	日本周産期新生児医学雑誌	45	3	775	779	日本周産期新生児医学学会	2009年8月
在胎24週以下の超早産児に対するテカダームTM皮膚貼付は高ナトリウム血症を減少させる	新生児	溝淵雅巳、柄川剛、秋田大輔、吉田加奈、坂井仁美、上田雅章、吉形真由美、芳本誠司、中尾秀人	日本未熟児新生児学会雑誌	21	2	43	49	日本未熟児新生児学会	2009年6月
アルミ蒸着ポリエチレン断熱シートによる超早産児の出生時低体温の予防	新生児	山口由美、溝淵雅巳、田淵和宏、岩谷壮太、坂井仁美、上田雅章、吉形真由美、芳本誠司、中尾秀人	日本周産期新生児医学雑誌	45	4	1333	1338	日本周産期新生児医学学会	2009年12月
超早産児に対する出生後ステロイド投与の現状と問題点	新生児	溝淵雅巳、中尾秀人	日本周産期新生児医学雑誌	45	4	1282	1285	日本周産期新生児医学学会	2009年12月
Gonadotropin-independent precocious puberty associated with a somatic activating mutation of the LH receptor gene: detection of a mutation present in only a small fraction of cells from testicular tissue using wild-type blocking polymerase chain reaction and laser-capture microdissection	代謝内分泌科	Goji K, Teraoka Y, Hosokawa Y, Okuno M, Ozaki K, Yoshida M, Matsuo M.	Endocrine	35	3	397	401	Humana Press	2009年3月12日
Campomelic dysplasia	代謝内分泌科	郷司克己	小児の症候群 (小児科診療2009年増刊号)	72	増刊号	459	459	診断と治療社	2009年4月15日
視覚発達管理からみた小児眼内レンズ挿入術の適応	眼科	野村耕治	眼科臨床紀要	2	4	342	350	眼科臨床紀要会	2009年4月
下斜筋過動を伴うV型外斜視に対する下斜筋切離術の治療効果	眼科	永井隆史、辰巳康子、藤岡美幸、野村耕治	眼科臨床紀要	2	2	165	169	眼科臨床紀要会	2009年2月
最近の網膜症の発症および治療状況	眼科	野村耕治	臨床眼科	63	2	130	136	医学書院	2009年2月
未熟児網膜症発症の背景	眼科	野村耕治	あたらしい眼科	26	4	435	440	メデイカル葵	2009年4月

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻第号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
特集 眼科における先天異常2. 水晶体疾患	眼科	野村耕治	眼科	51	747	754	金原出版	2009年6月
当院における IUGR の分娩誘導	産科、国立 病院機構神 戸医療 センター1)、 京都市医連 中央病院2)、 若宮病院3)、 島根県立中 央病院4)、 久保みずき レディース クリニック 5)	菅吉賢二、船越 徹、 上田大介1)、藁谷深洋子2)、 齋木美恵3)、上田敏子4)、 石原尚徳5)、佐本 崇、 大橋正伸3)	産婦人科の進歩	61	106	108	近畿産科婦人科学会	2009年5月
Increased chymase-positive mast cells in chil- dren with crescentic glomerulonephritis.	Division of Pediatric Nephrology	Togawa H, Nakanishi K, Shima Y, Obana M, Sako M, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N.	Pediatric Nephrology	24	1071	1075	Springer	2009年
Acute renal failure due to obstructive uric acid stones associated with acute gastroenteritis.	Division of Pediatric Nephrology	Fujita T, Shimooka T, Teraoka Y, Sugita Y, Kaito H, Iijima K, Matsuo M, Nozu K, Tanaka R	Pediatric Nephrology	24	2467	2469	Springer	2009年
生体腎移植後にサイトメガロウイルス・EB ウイルス・BK ウイルスの混合感染を認めた 1例	腎臓内科	下岡武史、寺岡由恵、 藤田晃生、田中亮二郎、 服部元史、今留謙一	日本小児腎不全学会 誌	29	145	145	日本小児腎不全学会	2009年
小児脳神経外科疾患の救急	脳神経外科	長嶋達也	小児神経学の進歩 第37集	37	50	62	日本小児神経学会	2008年
神経外傷の診断と治療	脳神経外科	長嶋達也	日本小児神経外科学 会専門医研修セミナー テキスト				日本小児神経外科学 会	2009年

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
治療の実施に関する研究 (I D E C - C 2 B 8)	腎臓内科	田中亮二郎	厚生労働科学研究(医療技術実用化総合研究事業:治療推進研究)研究事業平成20年度総括・分担研究報告書		161	161	日本医師会	2009年
小児の頭部外傷 虐待による乳幼児の頭部外傷を中心に	脳神経外科	長嶋達也	北九州小児救急セミナーテキスト				北九州小児救急研究会	2009年
二分脊椎	脳神経外科	長嶋達也	こどもケアー	4	15	23	日総研	2010年2月
出生の影響によるバイタルサインを整える技術	N I C U	伊達尚美	ネオネイタルケア	第22巻	30	36	メディカ出版	2009年
NICUにおけるファミリーケア - 家族のはじめを支える看護	N I C U	伊達尚美	ナーシング・トゥデイ	第24巻	6	8	日本看護協会出版社	2009年
斜視の手術を受ける幼児後期の子供に対する母親のかかわりのプロセス	ICU	井上扶美	日本小児看護学会誌	第18巻	1	8	日本小児看護学会	2009年
心臓手術と術後管理：フロア	ICU	前島 郁	ハートナーシング	第22巻	8	9	メディカ出版	2009年
心臓手術と術後管理：ジャータン手術	ICU	西澤由美子	ハートナーシング	第22巻	8	9	メディカ出版	2009年
心臓手術と術後管理：フォンタン手術	ICU	伊丹照美	ハートナーシング	第22巻	8	9	メディカ出版	2009年
専門看護師教育課程を専攻する大学院生の訪問看護における小児看護演習の事例報告	混合B病棟	二星淳吾	日本小児看護学会誌	第18巻	40	45	日本小児看護学会	2009年
二分脊椎の看護上の問題点	外来	鎌田直子	小児外科	第41巻	736	739	東京医学社	2009年7月
重症患児を巡るチーム医療；小児救急における看取り	小児救急医療センター	清水称喜	小児看護6月臨時増刊号	第32巻	981	988	へるす出版	2009年6月10日
小児救急で捉えたアセスメント	小児救急医療センター	本多綾子	看護実践の科学11月号	第34巻	24	29	看護の科学社	2009年11月1日
小児持続性咳嗽の原因と治療：小児持続性咳嗽に対する耳鼻咽喉科医の対応	耳鼻科	阪本浩一	小児耳鼻咽喉科	30	200	205	小児耳鼻咽喉科学会	2009年12月1日
牛乳はいつから飲ませていいですか	総合診療科	上谷良行	周産期医学	39	695	696	東京医学社	2009年11月
早産児で生まれたのですが、離乳食はいつから始めたらいいですか？	総合診療科	上谷良行	周産期医学	39	703	704	東京医学社	2009年11月

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
超低出生体重児の予後の変遷	総合診療科	上谷良行	周産期医学	39	1301	1305	東京医学社	2009年10月
周産期医療の現状	総合診療科	上谷良行	チャイルドヘルス	12	620	624	診断と治療社	2009年9月
2005年出生の超低出生体重児3歳時予後の全国調査の実施	総合診療科	上谷良行	平成20年度藤村班総括・分担研究報告書		83	86	厚生労働科学研究	2009年3月
重症慢性肺疾患を合併した2000年出生超低出生体重児の6歳時予後	総合診療科	上谷良行	平成20年度田村班研究報告書		29	35	厚生労働科学研究	2009年3月
Esophageal atresia: prognostic classification revisited.	Department of Pediatric Surgery	Okamoto T, Takamizawa S, Arai H, Bitoh Y, Nakao M, Yokoi A, Nishijima E	Surgery	145	675	681	Mosby	2009 Jun
Congenital tracheal stenosis: the prognostic significance of associated cardiovascular anomalies	Department of Pediatric Surgery	Okamoto T, Nishijima E, Maruo A, Yokoi A, Takamizawa S, Satoh S, Oshima Y	Journal of Pediatric Surgery	44	325	328	Elsevier	2009 Feb
The preliminary study of modified Swenson procedure in Hirschsprung disease	Department of Pediatric Surgery	Yokoi A, Satoh S, Takamizawa S, Muraji T, Tsugawa C, Nishijima E	Journal of Pediatric Surgery	44	1560	1563	Elsevier	2009 Aug
初診時切除不能肝芽腫7例の臨床的検討	外科1) 血液腫瘍科2) 病理検査室3)	岡本竜弥1)、西島栄治1)、 田浦康明1)、高野洋一1)、 岡本光正1)、中尾真1)、 荒井洋志1)、尾藤祐子1)、 横井暁子1)、竹田洋樹2)、 長谷川大一郎2)、 川崎圭一郎2)、小阪嘉之2)、 吉田牧子3)	小児がん	46	190	194	(NPO)小児がん学会	2009年5月

テ-マ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
小児外科疾患術後患者の長期予後 成人期における諸問題 食道閉鎖症	外科	横井暁子、西島栄治	日本外科学会雑誌	110	179	183	(社) 日本外科学会	2009年7月
小児外科手術手技 創意と工夫 横隔膜ヘルニアのバッチ閉鎖における工夫	外科	横井暁子、西島栄治	小児外科	41	280	283	(株) 東京医学社	2009年3月
知っているようで知らない、これら疾患の違い 気管狭窄症と気管軟化症	外科	西島栄治	小児外科	41	327	332	(株) 東京医学社	2009年4月
小児外科手術手技 創意と工夫 心臓脱に対する多期手術での救命例	外科1) 心臓外科2)	尾藤祐子1)、佐藤志以樹1)、大嶋義博2)、井上武2)、西島栄治1)	小児外科	41	215	219	(株) 東京医学社	2009年3月
持続脳波モニタリング下での集中管理によって予後良好であった「特異な脳炎・脳症後てんかんの一群」の男児例	脳神経内科	丸山あずさ、永瀬裕朗	小児科臨床	62	475	480		2009年
【小児の症候群】 神経・精神 hemorrhagic shock encephalopathy 症候群(HSES)	脳神経内科	丸山あずさ	小児科診療	72	140			2009年
「虐待が疑われる乳幼児頭部外傷 (Abusive head trauma in infants and young children,AHT)」の診断・治療・予防の手引き	脳神経内科	中村 肇、長嶋達也、奥山真紀子、永瀬裕朗	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費18指-4「発達期に発生する外因性脳障害の診断・治療・予防のための実証的研究とガイドライン作成」18~20年度 総括研究報告書 ガイドライン資料					2009年

テ - マ	所 属 科	発 表 者 名	書 籍 名	第 卷 号	開 始 頁	終 了 頁	発 行 元	発 行 年 月
2 歳未満の虐待が疑われる頭部外傷の臨床的特徴	脳神経内科	青木一憲、澤田杏子、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行、中村 肇	日本小児科学会雑誌	113	1814	1819		2009年
小児孤立性僧帽弁閉鎖不全の臨床経過	循環器科	齋木宏文	日本小児科学会誌	113	1671	1676	日本小児科学会	2009年11月
Congenital tracheal stenosis: the prognostic significance of associated cardiovascular anomalies and the optimal timing of surgical treatment.	小児外科、 心臓血管外科	Okamoto T, Nishijima E, Maruo A, Yokoi A, Takamizawa S, Satoh S, Oshima Y.	J Pediatr Surg	44	325	328	Saunders	2009年2月
Single-stage repair of aortopulmonary window with interrupted aortic arch by transection of the aorta and direct reconstruction	心臓血管外科	Masahiro Yoshida, Masahiro Yamaguchi, Yoshihiro Oshima, Shigeteru Oka, Tomonori Higuma, Yutaka Okita	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	138	781	783	Mosby	2009年9月
Modified Primary Sutureless Repair of Total Anomalous Pulmonary Venous Connection in Heterotaxy	心臓血管外科	Yoshihiro Oshima, Masahiro Yoshida, Ayako Maruo, Chikashi Shimazu, Tomonori Higuma and Takeshi Inoue	Ann Thorac Surg	88	1348	1350	Elsevier Science	2009年10月
心臓脱に対する多期手術での救命例	小児外科、 心臓血管外科	尾藤祐子、佐藤志以樹、大嶋義博、井上 武、西島栄治	小児外科	41	215	219	東京医学社	2009年5月

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	第号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
こんにちは最前線	栄養指導課・NST	栄養指導課 山口章子、川脇 恵、 脇田真季、三橋祥子、 瀧川沙也加、 梶原彰子、雨海照祥	臨床栄養	114	1	90	93	イシヤク出版	2009. 1 月号
乳児における予後推定栄養指数 (PNI) の意義に関する検討 - 心臓手術患児の場合 -	栄養指導課	川脇 恵 山口章子、美緒、 松岡真季、和子 高岸 照祥	臨床栄養 臨時増刊	114	6	621	626	日本外科代 謝 栄養学会	2009. 4 月号
小児におけるアウトカム指標としての予後推定栄養指数 - 小児におけるPNIの意義 -	栄養指導課	山口章子、恵、 川脇 照祥	臨床栄養 臨時増刊	114	6	720	724	医歯薬出版 株式会社	2009. 5 月号
高濃度調製乳とその有効性	栄養指導課	山口章子、恵、 川脇 照祥	臨床栄養 臨時増刊	114	6	720	724	医歯薬出版 株式会社	2009. 5 月号
みんなが学ぶNST勉強会「臨場感のある実践的な内容でディスカッションも活発に」	脳神経内科、小児外科、 薬剤部、混合病棟、 栄養指導課、副院長	永瀬裕朗、中尾 真、 上野陽介、橋口ゆかり、 山口章子、西島栄治	臨床栄養	115	2	166	171	医歯薬出版 株式会社	2009. 8 月号
人間栄養学から見た食育について	栄養指導課	山口章子、奥村仙示、 佐久間理英、牛田ふみ、 原田満智子	臨床病理	57	8	797	805	克誠堂出版	2009. 8 月号

3. 口 述 発 表 表

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
難治性の全身型JIAに対するトシリズマブ療法によるステロイド薬中止の可能性について	リウマチ・アレルギー科	中岸保夫	第8回	小児免疫・アレルギー研究会	大阪市	2009. 2. 7
難治性の全身型JIAに対するトシリズマブ療法について	リウマチ・アレルギー科	中岸保夫	第30回	神戸免疫・膠原病懇話会	神戸市	2009. 2. 21
炎症反応が上昇しない関節型JIAの1例	リウマチ・アレルギー科	中岸保夫	第12回	近畿小児リウマチ・膠原病研究会	大阪市	2009. 4. 4
難治性の全身型若年性特発性関節炎に対するトシリズマブ療法による、ステロイド薬の中止の可能性について	リウマチ・アレルギー科	中岸保夫	第53回	日本リウマチ学会 総会・学術集会ワークショップ	東京都	2009. 4. 23
トシリズマブ投与中に感染症を反復した全身型若年性特発性関節炎の1例	リウマチ・アレルギー科	安部信吾	第53回	日本リウマチ学会 総会・学術集会	東京都	2009. 4. 23
トシリズマブの投与を肺炎のため延期中にマクロファージ活性化症候群を発症した全身型若年性特発性関節炎の1症例	リウマチ・アレルギー科	三好麻里	第53回	日本リウマチ学会 総会・学術集会	東京都	2009. 4. 23
卵白特異的IgE抗体価class 6であった乳児に対する早期食物負荷試験の結果	リウマチ・アレルギー科	田中裕也	第21回	日本アレルギー学会春季臨床大会	岐阜県	2009. 6. 5
気管支喘息症例における気道過敏性と胃食道逆流との関連	リウマチ・アレルギー科	安部信吾	第21回	日本アレルギー学会春季臨床大会	岐阜県	2009. 6. 6
喘息致死性発作の治療	リウマチ・アレルギー科	三好麻里	第23回	日本小児救急医学会	熊本県	2009. 6. 19

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
食物アレルギーの診断と治療	リウマチ・アレルギー科	三好麻里		佐用郡医師会	佐用郡	2009. 5. 15
食物負荷試験中にアナフィラキシーショックを呈し工 ピペンで救命した1例	リウマチ・アレルギー科	安部信吾	第248回	日本小児科学会兵 庫県地方会	姫路市	2009. 9. 26
トシリズマブ投与中に感染症を反復した全身型若年性 特発性関節炎の1例	リウマチ・アレルギー科	中岸保夫	第248回	日本小児科学会兵 庫県地方会	姫路市	2009. 9. 26
SAPHO 症候群の11歳女児例	リウマチ・アレルギー科	田中裕也	第19回	日本小児リウマチ 学会	京都市	2009.10. 3
重症貧血で集中治療を要した全身性エリテマトーデス の男児例	リウマチ・アレルギー科	安部信吾	第19回	日本小児リウマチ 学会	京都市	2009.10. 3
関節炎の出現までに日数を要した全身型若年性特発性 関節炎の4例	リウマチ・アレルギー科	三好麻里	第19回	日本小児リウマチ 学会	京都市	2009.10. 3
トシリズマブ投与中に JIA が再燃した場合の対応方法	リウマチ・アレルギー科	中岸保夫	第19回	日本小児リウマチ 学会	京都市	2009.10. 3
難治性喘鳴を呈した気道異物の1例	リウマチ・アレルギー科	田中裕也	第59回	日本アレルギー学 会秋季学術大会	秋田市	2009.10.29
難治性肺炎、喘息と診断されていた気道異物症例の検 討	リウマチ・アレルギー科	田中裕也	第46回	日本小児アレルギー 学会	福岡市	2009.12. 5
デンバー 講習会	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子		社会人学び直し講 座	島根県浜田 市	2009年2月15日
デンバー 講習会	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子		社会人学び直し講 座	島根県松江 市	2009年3月20日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
デンバー 講習会	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子		社会人学び直し講座	島根県出雲市	2009年3月21日
こどもの心を知る	指導相談・地域医療 連携部	宮崎美知恵		動物愛護監視員 (狂犬病予防員) 研修会	神戸市	2009年8月24日
医療機関における地域連携について	指導相談・地域医療 連携部	長岡美佐		神戸市子育て支援 研修	神戸市	2009年10月5日
デンバー 講習会	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子		デンバー 判定技 術養成講習会	大阪市	2009年10月29日
小児白内障手術の術後管理	眼科	山本 節、黒坂大二郎、 東 範行、磯部真理子、 初川嘉一	第32回	日本眼科手術学会	神戸市	2009年1月24日
視力障害者の推移	眼科	山本 節	第24回	須磨医師会学術集 談会	神戸市	3月14日
神戸大病院における院内移植コーディネーターの位置づけ	眼科	渡邊和誉、川嶋隆久、 小川直美、西山 優、 原 麻由美、本位田麻里、 藤原亮子、吉谷麻衣、 山本 節、荒川創一	第8回	日本組織移植学会	東京都	8月29日
小児眼内レンズの安全性を求めて	眼科	山本 節、永本敏三、 野村耕治、仁科幸子	第63回	日本臨床眼科学会	福岡	10月10日
乳幼児症例の角膜厚について	眼科	山本 節、野村耕治、 マイケル寺岡	第63回	日本臨床眼科学会	福岡	10月10日
小児の弱視	眼科	山本 節		秋田県眼科医会市 民講座	秋田	10月18日
目の健康	眼科	山本 節		神戸市医師会講座	神戸	10月22日
小児眼科	眼科	山本 節		神戸視能訓練学科	神戸	11月4日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Total cavopulmonary connection 手術後の分離肺換気の麻酔経験	麻酔科	間嶋 望、鈴木 毅、宮崎弘行、黒崎明子、香川哲郎	第56回	日本麻酔科学会	神戸	2009. 5 .23
歯ブラシが口腔内に刺さった状態で麻酔を導入し抜去を行った1歳児症例	麻酔科	北村裕亮、香川哲郎、村田 洋、鈴木 毅、高辻小枝子	第56回	日本麻酔科学会	神戸	2009. 5 .23
小児麻酔研修、指導体制	麻酔科	鈴木康之、秦 恒彦、深津 修、香川哲郎	第56回	日本麻酔科学会	神戸	2009. 5 .23
喉頭気管食道裂の麻酔経験	麻酔科	野々村智子、香川哲郎、鈴木 毅、黒崎明子、鹿原史寿子、池島典之、大西広康	第15回	日本小児麻酔学会	松本	2009. 9 .26
舌弁切離術の気道管理	麻酔科	黒崎明子、鈴木 毅、香川哲郎、浅野真依子、大井まゆ	第15回	日本小児麻酔学会	松本	2009. 9 .25
小児の心臓MRI検査に対する全身麻酔の工夫	麻酔科	間嶋 望、香川哲郎、鈴木 毅、大西広泰、池島典之	第15回	日本小児麻酔学会	松本	2009. 9 .26
小児におけるラリンジアマスク使用の基本と実際	麻酔科	香川哲郎		日本麻酔科学会関西 西地方会マンスリー	大阪	2009. 11 .14
非対称な両側不全唇裂の治療	形成外科	小野田素大、大山知樹、北村奈都子	第92回	日本形成外科科学会 関西支部学術集会	大阪	2009/ 6 /20
両側口唇裂術後における一期的横軸型 vermilion flap による thin lip の修正	形成外科	大山知樹、小野田素大、北村奈都子	第27回	日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会	東京	2009/11/19
早期解除手術をおこなった手指先天性絞扼輪症候群の一例	形成外科	北村奈都子、大山知樹、小野田素大	第93回	日本形成外科科学会 関西支部学術集会	兵庫	2009/12/ 5
Uterine surgeries by operative hysteroscopy	産科	Maruo T, Takeuchi K	2009	International Operative Workshop	Bayreuth, Germany	July 30 - August 2, 2009
会頭講演：声なき声を聴き、姿なきを視るの姿勢で	産科	丸尾 猛	第13回	日本医療保育学会	神戸	2009年 9月5日～6日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Modern strategies for managing postpartum hemorrhage	産科	Yamasaki M, Maruo T	The 11th	Korea-Japan Joint Conference	Seoul, Korea	25-Sep-09
Symposium on Progesterone and Progestins in Pregnancy: Effects of progesterone on apoptosis in the human extravillous trophoblasts	産科	Maruo T, Liu J, Matsuo H	The 19th	FIGO World Congress of Gynecology and Obstetrics	Cape Town, South Africa	October 4 - 9, 2009
Translational research with progesterone receptor modulator motivated by the use of levonorgestrel-releasing intrauterine system	産科	Maruo T, Ohara N, Yoshida S, Nakabayashi K, Xu Q, Chen W, Yamada H	2009	International Symposium on Contraceptive Research and Development : Present and Future	New York, USA	October 20-21, 2009
我が国および国際共同による臨床研究推進のあり方について	産科	丸尾 猛	2009	医療人GP「先進的CRESPによる臨床研究教育の改革」臨床研究推進のためのシンポジウム	神戸	2009年12月19日
巨大腹部腫瘍の1例	兵庫県立こども病院 検査・放射線部病 理室1)、外科2)、血 液腫瘍科3)、放射線 科4)	吉田牧子1)、荒井洋志2)、 田浦康明2)、横井暁子2)、 尾藤祐子2)、中尾 真2)、 岡本竜弥2)、岡本光正2)、 西島栄治2)、川崎圭一郎3)、 林 耕平3)、竹田洋樹3)、 長谷川大一郎3)、 小阪嘉之3)、赤坂好宣4)、 山口善道4)、下川祐子4)、 板橋健太郎4)	第61回	関西小児病理研究会	大阪市	2009年 4月11日 (土)

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
進行神経芽細胞腫の1例	兵庫県立こども病院 病理1、西神戸医療センター 病理科2、神戸市立医療センター 中央市民病院臨床病理科3	吉田牧子1、橋本公夫2、 今井幸弘3	第98回	日本病理学会総会	京都市	2009年 5月1日(木)
心臓腫瘍	兵庫県立こども病院 検査・放射線部 病理室	吉田牧子	2009年	小児腫瘍組織分類 委員会症例検討会	東京都	2009年 9月4日(金)
先天性両側肺病変の1剖検例	兵庫県立こども病院 病理1)、産科2)	吉田牧子1)、高松祐幸2)、 笹原 淳2)	第62回	関西小児病理研究 会	大阪市	2009年 12月26日(土)
大腿骨延長中に股関節脱臼をきたした PFFD の1例	整形外科	竹内正史、薩摩真一、 小林大介、藤井 貴	2009	第43回近畿小児整 形外科懇話会	大阪	2009. 2. 14
Larsen syndrome に合併した頸椎後彎変形の1例	整形外科	山本潤哉、宇野耕吉、 薩摩真一 他	2009	第43回近畿小児整 形外科懇話会	大阪	2009. 2. 14
当院における創外固定を用いた治療における合併症	整形外科	小林大介、薩摩真一、 竹内正史	2009	第22回日本創外固 定・骨延長学会	京都	2009. 3. 6 - 7
四肢痛を主訴とする小児のプライマリケア (いわゆる 成長痛を含む)	整形外科	薩摩真一、小林大介、 竹内正史、浜村清香	2009	第82回日本整形外 科学会	福岡	2009. 5. 14-17
Ponset i 法におけるアキレス腱皮下切腱の適応	整形外科	薩摩真一、小林大介、 衣笠真紀、布居理沙	2009	第34回日本足の外 科学会	東京	2009. 6. 19-20

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
最終的に距骨摘出術を余儀なくされた二分脊椎症性内反足の1例	整形外科	布居理沙、薩摩真一、小林大介、衣笠真紀	2009	第26回日本二分脊椎研究会	東京	2009. 7. 4
先天性垂直距骨に対する新しい治療法の経験	整形外科	布居理沙、薩摩真一、小林大介、衣笠真紀	2009	第44回近畿小児整形外科懇話会	大阪	2009. 8. 8
過剰肢を有した1例	整形外科	衣笠真紀、薩摩真一、小林大介、布居理沙	2009	第44回近畿小児整形外科懇話会	大阪	2009. 8. 8
既治療例からみた小児化膿性股関節炎の検討	整形外科	衣笠真紀、薩摩真一、小林大介、布居理沙	2009	第113回中部日本整形外科災害外科学会	神戸	2009.10. 2 - 3
先天性内反足に対する Ponseti 法の初期治療成績 -Ponseti 法導入前の治療群と比較して-	整形外科	薩摩真一、小林大介、衣笠真紀、布居理沙	2009	第20回日本小児整形外科学会	松山	2009.12. 4 - 5
遺残亜脱臼に対する Salter 骨盤骨切り術の長期成績	整形外科	小林大介、薩摩真一、衣笠真紀、布居理沙	2009	第20回日本小児整形外科学会	松山	2009.12. 4 - 5
小児における結核性骨髓炎の治療成績	整形外科	衣笠真紀、薩摩真一、小林大介、布居理沙	2009	第20回日本小児整形外科学会	松山	2009.12. 4 - 5
当院における先天性垂直距骨の治療成績と新しい治療法の試み	整形外科	布居理沙、薩摩真一、小林大介、衣笠真紀	2009	第20回日本小児整形外科学会	松山	2009.12. 4 - 5
先天性足部変形の診断と治療	整形外科	薩摩真一	2009	第2回日本足の外科学会教育研修会	東京	2009. 6. 21
小児足部疾患の診断と治療	整形外科	薩摩真一	2009	第14回近畿足の外科症例検討会	大阪	2009. 8. 22
The management for congenital foot deformities	整形外科	薩摩真一	2009	Indian Foot and Ankle Society Conference 2009	インド	2009. 9. 5
治験コーデイネーターから見た医師主導治験の現状と問題点 - 企業治験と比較して -	薬剤部	三谷仁美	7	兵庫県立病院学会	神戸	2009. 8. 29

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
わずか0.1mgのビタミンKがワーファリンの効果 を減弱させる	薬剤部	辻本 勉	31	日本臨床栄養学会	神戸	2009. 9 .18
小児専門病院における血液腫瘍科病棟での薬剤指導	薬剤部	上田里恵	47	日本癌治療学会	横浜	2009.10.23
L-asparaginaseによりGrade 4の高トリグリセ リド血症をおこした1症例	薬剤部	汐谷 恵	19	日本医療薬学会	長崎	2009.10.25
小児静脈栄養におけるビタミンの投与量の現状	薬剤部	井上量代	31	日本病院薬剤師会 近畿学術大会	京都	2010. 1 .30
小児TPNにおけるビタミンの投与量は適正に行われて いるか	薬剤部	辻本 勉	25	日本静脈経腸栄養 学会	千葉	2010. 2 .25
当院におけるTPN処方実態調査～薬剤師の立場から～	薬剤部	上野陽介	25	日本静脈経腸栄養 学会	千葉	2010. 2 .25
小児期発症難治性ネフローゼ症候群とリツキシマブ療 法について	薬剤部	藤永仁美	平成21年	兵庫県病院薬剤師 会DI委員会	神戸	2009. 7 .17
高齢者へのインスリン指導の良否が血糖コントロール を決定する	薬剤部	辻本 勉	平成21年	姫路糖尿病懇話会	姫路	2009. 9 .19
小児専門病院における服薬指導	薬剤部	上田里恵	28	神戸薬科大学リカ レントセミナー	神戸	2009.11. 1
輸液の基礎	薬剤部	辻本 勉	平成21年	兵庫県病院薬剤師 会西神戸支部臨床 栄養研究会	神戸	2009.11.12
濃厚流動食投与による銅欠乏症～亜鉛による銅欠乏症 の1例～	薬剤部	辻本 勉	平成21年	Central播 州肝疾患懇話会	姫路	2009.11.28
濃厚流動食と銅欠乏症・胃ろう栄養中に発症した亜鉛 投与による銅欠乏症・	薬剤部	辻本 勉	29	兵庫臨床栄養研究 会	神戸	2009.12.12
抗血小板抗体出現により管理に難渋し同種骨髄移植を 計画した血小板無力症の1例	血液腫瘍科	竹田洋樹、林 耕平、 長谷川大一郎、 川崎圭一郎、柏木浩和、 富山佳昭、小阪嘉之	第42回	神戸血液病研究会	神戸	2009年2月28日
緊急放射線照射を要した頭蓋内胚細胞性腫瘍の2例	血液腫瘍科	伊富貴雄太、林 耕平、 竹田洋樹、長谷川大一郎、 川崎圭一郎、小阪嘉之	第31回	近畿小児がん研究 会	大阪	2009年3月14日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
リコモジュリンが奏功した小児血液疾患の2例	血液腫瘍科	長谷川大一郎、竹田洋樹、 岩谷壮太、川崎圭一郎、 小阪嘉之		DIC 研究会	神戸	2009年6月26日
長期間のITIにより徐々に抗体価が低下したインヒビ ター保有血友病Aの1例	血液腫瘍科	竹田洋樹、岩谷壮太、 長谷川大一郎、 川崎圭一郎、小阪嘉之		血友病研究会	大阪	2009年6月27日
小児造血器疾患に対する同種造血幹細胞移植において 移植後リンパ球絶対数は強力な予後因子である	血液腫瘍科	制野勇介、長谷川大一郎、 林 耕平、岩谷壮太、 竹田洋樹、川崎圭一郎、 柳沢振一郎、小阪嘉之	第43回	神戸血液病研究会	神戸	2009年9月5日
ガストリン放出ペプチド前駆体 (pro-GRP) の異常高 値を認めた前縦隔原発年長児神経芽腫の1例	血液腫瘍科	川崎圭一郎、岩谷壮太、 竹田洋樹、長谷川大一郎、 小阪嘉之、荒井洋志、 横井暁子、赤坂好宣、 吉田牧子	第55回	小児がんカンファ レンス	大阪	2009年10月10日
小児専門病院における血液腫瘍科病棟での薬剤指導	血液腫瘍科	上田里恵(薬剤部)、 汐谷 恵、辻本 勉、 田中雅子、沖野隆明、 川崎紀子、小澤一美、 大西美樹、川崎圭一郎、 小阪嘉之	第47回	日本癌治療学会	盛岡	2009年 10月22日-24日
Absolute lymphocyte count after allo-HSCT pre- dicts survival in patients with hematologic dis- order	血液腫瘍科	Hasegawa D, Hayashi K, Iwatani S, Takeda H, Kawasaki K, Yanagisawa S, Kosaka Y	第71回	日本血液学会	京都	2009年 10月23日-25日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
治療中 MLL 遺伝子再構成が出現したにもかかわらず長期寛解を維持している ALL 男児例での融合遺伝子解析	血液腫瘍科	森 健、長谷川大一郎、 早川 晶、川崎圭一郎、 下竹敦哉、大坪裕美、 石森真吾、豊嶋大作、 久保川育子、光田好寛、 竹島泰宏、小阪嘉之、 松尾雅文	第71回	日本血液学会	京都	2009年 10月23日 -25日
本邦の Diamond-Blackfan 貧血患者におけるリポゾームタンパク遺伝子の変異	血液腫瘍科	今野友貴、丹代 諭、 徐 剛、土岐 力、 工藤 耕、照井君典、 大賀正一、小島勢二、 長谷川大一郎、青木由貴、 金井理恵、今井 剛、 本郷輝明、朴 明子、 柳澤 龍、伊藤悦郎	第71回	日本血液学会	京都	2009年 10月23日 -25日
Outcome of refractory Langerhans cell histiocytosis with hematopoietic stem cell transplantation	血液腫瘍科	Kudo K, Ohga S, Morimoto A, Ishida Y, Suzuki N, Hasegawa D, Nagatoshi Y, Kato S, Ishii E.	第71回	日本血液学会	京都	2009年 10月23日 -25日
血液浄化を含めた集学的治療を行った新生児期発症血球貪食性リンパ組織球症の 1 例	血液腫瘍科	制野勇介(救急集中治療科)、 福原信一、尾迫貴章、 三好麻里、上谷良行、 川崎圭一郎、小阪嘉之、 田中亮二郎	第37回	日本救急医学会	盛岡	2009年 10月29日 -31日
血友病ガイドラインについて	血液腫瘍科	小阪嘉之	第 6 回	兵庫県小児血液懇話会	神戸	2009年11月20日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
仙尾部奇形腫切除後に同部位より卵黄嚢腫瘍の局所発生を認めた2例の検討	血液腫瘍科	荒井洋志、西島栄治、横井暁子、中尾 真、尾藤祐子、岡本光正、田浦康明、田村 亮、前田健一、小阪嘉之、竹田洋樹、赤坂好宣、吉田牧子	第25回	小児がん学会	東京	2009年 11月27日-29日
開腹生検後に呼吸不全をきたし減量手術を要した膀胱原発横紋筋肉腫の2例	血液腫瘍科	横井暁子、荒井洋志、西島栄治、竹田洋樹、川崎圭一郎、小阪嘉之、吉田牧子、赤坂好宣	第25回	小児がん学会	東京	2009年 11月27日-29日
インヒビター陽性血友病Aに対して2回目の免疫寛容療法(ITI)を施行している1例	血液腫瘍科	竹田洋樹、澤野英樹、岩谷壮太、長谷川大一郎、川崎圭一郎、小阪嘉之	第51回	小児血液学会	東京	2009年 11月27日-29日
ガストリン放出ペプチド前駆体(pro-GRP)の異常高値を認めた前縦隔原発年長児神経芽腫の1例	血液腫瘍科	川崎圭一郎、岩谷壮太、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之、荒井洋志、横井暁子、赤坂好宣、吉田牧子	第25回	小児がん学会	東京	2009年 11月27日-29日
当院におけるTEPA/L-PAMを用いたPBSCTを施行した脳腫瘍における後方視的検討	血液腫瘍科	澤野英樹、岩谷壮太、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、山元一樹、河村淳史、長嶋達也	第25回	小児がん学会	東京	2009年 11月27日-29日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
術前に多発転移を認めるもメシル酸イマチニブ治療で術後9ヶ月病変安定(SD)を得られている小児GISTの一例	血液腫瘍科	岡本光正、長谷川大一郎、 小阪嘉之、吉田牧子、 横井耕子、尾藤祐子、 荒井洋志、中尾真、 田浦康明、田村亮、 前田健一、西島栄治	第25回	小児がん学会	東京	2009年 11月27日-29日
Major-BCR/ABLおよびminor-BCR/ABLの共発現が認められた急性リンパ性白血病の一例	血液腫瘍科	岩谷壮太、長谷川大一郎、 竹田洋樹、川崎圭一郎、 中町祐司、河野誠司、 小阪嘉之	第51回	小児血液学会	東京	2009年 11月27日-29日
ミトタンによるアジュバント療法を施行した副腎皮質癌の一例	血液腫瘍科	興野啓介、上山潤一、 佐野仁志、吳彰、 西川健一、神崎晋、 畑田智子、清水法男、 竹谷健	第25回	小児がん学会	東京	2009年 11月27日-29日
MLL-ENL遺伝子再構成を有するT細胞型急性リンパ性白血病の一例	血液腫瘍科	佐野仁志、興野啓介、 上山潤一、吳彰、 西川健一、神崎晋	第51回	小児血液学会	東京	2009年 11月27日-29日
インヒビター陽性血友病Aに対して2回目の免疫寛容療法(ITI)を施行している1例	血液腫瘍科	竹田洋樹、岩谷壮太、 長谷川大一郎、 川崎圭一郎、小阪嘉之	第2回	バクスター血友病 ミニカンファレンス	神戸	2009年12月5日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
Mutations in Ribosomal Protein Genes of Diamond-Blackfan Anemia Patients in Japan	血液腫瘍科	Yuki Konno, Tsutomu Toki, Satoru Tandai, Gang Xu, Kiminori Terui, Shouichi Ohga, Seiji Kojima, Ryu Yanagisawa, Kenichi Koike, Daiichiro Hasegawa, Yoshiyuki Kosaka, Rie Kanei, Tsuyoshi Imai, Teruaki Hongo, Myoung-Ja Park, Arata Watanabe, and Etsuro Ito	第51回	Annual meeting of American Society of Hematology	ニユーオー ンス	2009/12/5 - 8日
小児泌尿器先天奇形	放射線科	赤坂好宣	第31回	東京泌尿器放射線 勉強会	東京	2009/1/16
胎児のMRI -体幹部を中心に-	放射線科	赤坂好宣	第40回	Radiology UPDATE 学術講演会	東京	2009/3/14
5歳で発症し、早期に診断し寛解へ導くことができた 小児Crohn病の1例	放射線科	板橋健太郎、毎原敏郎	第112回	日本小児科学会学 術集会	奈良	2009/4/19
小児膠芽腫のMRI	放射線科	田中大輔、赤坂好宣、 板橋健太郎、西山章次	第42回	兵庫県磁気共鳴医 学研究会	神戸	2009/6/11
小児星細胞系脳腫瘍の画像診断	放射線科	赤坂好宣、田中大輔、 板橋健太郎、山口善道、 西山章次、長嶋達也、 吉田牧子	第45回	日本小児放射線学 会	香川	2009/6/26

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
脊髄圧迫により発症した dumbbell 腫瘍の 2 例	放射線科	板橋健太郎、赤坂好宣、田中大輔、山口善道、西山章次	第45回	日本小児放射線学会	香川	2009/6/27
研修医セミナー：外傷 1.小児	放射線科	赤坂好宣	45回	日本医学放射線学会秋季臨床大会	和歌山	2009/10/31
小児症例：頭部	放射線科	赤坂好宣、田中大輔、板橋健太郎、西山章次	第40回	神戸放射線医学術交流会	神戸	2009/11/10
A case of bilateral abdominoscrotal hydroceles that had no communication with the peritoneum	泌尿器科	Eiji Hisamatsu, Shizuko Takagi, Masashi Nomi, Yoshifumi Sugita	第 8 回	8th meeting of Japanese and Korean Society of Pediatric Urologists	横浜市	2008年 3 月 8 日
Total urogenital mobilization(TUM)を施行した総排泄腔遺残症例の検討	泌尿器科	久松英治、高木志寿子、乃美昌司、杉多良文	第96回	日本泌尿器科学会総会	横浜市	2008年 4 月25日
原発性膀胱尿管逆流症に対する Cohen 法の治療成績	泌尿器科	高木志寿子、久松英治、乃美昌司、杉多良文	第96回	日本泌尿器科学会総会	横浜市	2008年 4 月25日
8-0 polyglactin 910(VICRYL)丸針を用いた尿道下裂修復術	泌尿器科	杉多良文、久松英治	第45回	日本小児外科学会学術集会	筑波市	2008年 5 月28日
腹腔との交通を認めなかった両側 Abdominoscrotal hydrocele の 1 例	泌尿器科	久松英治、杉多良文	第45回	日本小児外科学会学術集会	筑波市	2008年 5 月30日
8-0 polyglactin 910(VICRYL)丸針を用いた尿道下裂修復術	泌尿器科	杉多良文、高木志寿子、久松英治	第17回	日本小児泌尿器科学会総会	高松市	2008年 7 月17日
当科で行っている腎盂形成術	泌尿器科	杉多良文、久松英治、高木志寿子	第17回	日本小児泌尿器科学会総会	高松市	2008年 7 月18日
当科における小児精巣腫瘍の臨床的検討	泌尿器科	久松英治、高木志寿子、杉多良文	第17回	日本小児泌尿器科学会総会	高松市	2008年 7 月18日
日帰り手術による尿道下裂術後尿道皮膚瘻閉鎖術の治療成績	泌尿器科	高木志寿子、久松英治、杉多良文	第17回	日本小児泌尿器科学会総会	高松市	2008年 7 月18日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
An easier way to correct webbed penis	泌尿器科	Yoshifumi Suigta, Katsuhiko Ueoka, Shizuko Takagi, Eiji Hisamatsu, Kaoru Yoshino, Saburo Tanikaze	2008	American Academy of Pediatrics, Section on Urology	Boston, USA	2008年10月10日
Is long-term postoperative follow-up necessary for patients with primary vesicoureteral reflux?	泌尿器科	Eiji Hisamatsu, Shizuko Takagi, Yoshifumi Sugita, Kaoru Yoshino, Saburo Tanikaze	第10回	10th meeting of Asia Pacific Association of Pediatric Urologists	Honolulu	2008年12月1日
A case of persistent vaginal discharge after nephrectomy for ectopic ureter	泌尿器科	Shizuko Takagi, Eiji Hisamatsu, Yoshikiyo Nakagawa, Yoshifumi Sugita	第9回	The9th Meeting of the Korean and Japanese Society of Pediatric Urologists	Seoul Korea	2009年2月21日
Parenteral Testosterone Therapy prior to Hypospadias Surgery using Preputial Skin Graft in Microphallic Children	泌尿器科	Yoshikiyo Nakagawa, Eiji Hisamatsu, Shizuko Takagi, Yoshifumi Sugita	第9回	The9th Meeting of the Korean and Japanese Society of Pediatric Urologists	Seoul, Korea	2009年2月21日
卒後教育プログラム 性分化異常症の診断と治療	泌尿器科	杉多良文	第97回	日本泌尿器科学会 総会	岡山市	2009年4月16日
上部尿路ドレナージを施行せずに腎盂形成術を行った23症例の臨床的検討	泌尿器科	高木志寿子、久松英治、 中川賢清、杉多良文	第97回	日本泌尿器科学会 総会	岡山市	2009年4月17日
手術が施行された原発性膀胱尿管逆流症患者の長期観察の必要性に関する検討	泌尿器科	久松英治、高木志寿子、 杉多良文	第97回	日本泌尿器科学会 総会	岡山市	2009年4月18日
術前テストステロン療法を用いた尿道下裂手術症例の検討	泌尿器科	中川賢清、久松英治、 杉多良文	第46回	日本小児外科学会 学術集会	大阪市	2009年6月3日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
確定診断に難渋した異所開口尿管の1例	泌尿器科	中川賀清、久松英治、高木志寿子、杉多良文	第45回	日本小児放射線学会	高松市	2009年6月26日
矮小陰莖の尿道下裂に対する術前ステロイド療法 の検討	泌尿器科	中川賀清、久松英治、高木志寿子、杉多良文	第18回	日本小児泌尿器科学会総会	淡路市	2009年10月1日
ミューラー管遺残症候群に伴わない交叉性精巣転位の兄弟例	泌尿器科	久松英治、高木志寿子、中川賀清、杉多良文	第18回	日本小児泌尿器科学会総会	淡路市	2009年10月1日
Byars flap を利用した包皮形成術	泌尿器科	杉多良文、久松英治、高木志寿子、中川賀清	第18回	日本小児泌尿器科学会総会	淡路市	2009年10月1日
嚢胞性病変を伴った多重尿管の2例	泌尿器科	高木志寿子、久松英治、中川賀清、杉多良文	第18回	日本小児泌尿器科学会総会	淡路市	2009年10月2日
Efficacy of Resection of the Urethral Plate and Lateral Complete Dissection of the Distal Corpus Spongiosum in Hypospadias Repair	泌尿器科	Yoshikiyo Nakagawa, Eiji Hisamatsu, Shizuko Takagi, Yoshifumi Sugita	第11回	Asia Pacific Association of Pediatric Urology Meeting	Manila, Philippines	2009年11月25日
長期羊水流出に伴う重症肺低形成を来した超早産児の2例	新生児科	沖田 空	第247回	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎	2009. 2. 7
四肢短縮を伴う先天性副甲状腺機能低下症の1例	新生児科	浅野貴大	第247回	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎	2009. 2. 7
新生児蘇生法普及事業の概要	新生児科	中尾秀人	平成20年度	周産期医療事例検討会	神戸	2009. 3. 14
当周産期医療センターにおける胎児期・新生児期の不整脈の検討	新生児科	小川禎治	第22回	近畿小児科学会	西宮	2009. 3. 15
難治性の PPHN を呈した肺低形成・胸郭異形成・巨大胸部嚢胞性腫瘍の1例	新生児科	中島絵梨花	第247回	未熟児新生児懇話会	神戸	2009. 3. 19
当院における未熟児網膜症の発症率の低下とその要因	新生児科	溝淵雅巳	第112回	日本小児科学会	奈良	2009. 4. 17
生後早期に両児とも動脈管閉鎖術を施行し救命できた超早産重症双胎間輸血症候群例	新生児科	芳本誠司	第112回	日本小児科学会	奈良	2009. 4. 17

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
N-terminal Pro Brain Natriuretic Peptide (NT-proBNP) as A Marker for Cardiac Dysfunction due to Twin-twin Transfusion Syndrome in Monozygotic Twins	新生児科	坂井仁美	2009	PAS annual meeting	Baltimore, USA	2009. 5. 2
Postnatal Interleukin-6 Levels and Placental Pathology in Extremely Low Gestational Age Infants	新生児科	上田雅章	2009	PAS annual meeting	Baltimore, USA	2009. 5. 2
胎児期に診断された多嚢胞性異形成腎35例の周産期臨床像および予後の検討	新生児科	浅野貴大	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 13
胎内診断から重度の肺低形成が予測された右側先天性横隔膜ヘルニアの2例	新生児科	田淵和宏	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 13
人工呼吸管理中の超早産児における気管内吸引液による病態解析	新生児科	岩谷壮太	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 13
生後1週間未満での超早産児に対する動脈管閉鎖術の適応と合併症	新生児科	芳本誠司	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 14
超早産児に対する出生後ステロイド投与の現状と問題点	新生児科	溝淵雅巳	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 14
超早産児の尿中ステロイドホルモン値の変化 第1報：経時的変化と異常高値症例の検討	新生児科	吉形真由美	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 14
超早産児の尿中ステロイドホルモン値の変化 第2報：ステロイド投与の影響	新生児科	吉形真由美	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 14
新生児発作における連続脳波記録の経験	新生児科	坂井仁美	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 14
late preterm 児において、血清 IL-6 値で呼吸障害の進展を予測できるか？	新生児科	上田雅章	第45回	日本周産期新生児医学会	名古屋	2009. 7. 14
重症慢性肺疾患3型児の肺高血圧症の経過と管理	新生児科	田中 聡	第249回	未熟児新生児懇話会	神戸	2009. 9. 17
MRI 拡散強調画像で典型的な画像所見を呈した重症新生児低血糖の一例	新生児科	猪俣 慶	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009. 9. 26
胎便性イレウスに対して穿孔前腸瘻造設を行った重症子宮内胎児発育遅延児	新生児科	山下達也	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009. 9. 26

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
心房粗動停止後に多源性心房頻拍を呈した非免疫性胎児水腫の一例	新生児科	小川禎治	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009. 9 .26
超早産児における出生時フェリチン値と胎盤病理所見(DCH, CAM)の関連性	新生児科	浅野貴大	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009.11.29-12. 1
四肢短縮を伴う先天性副甲状腺機能低下症の一例	新生児科	田村彰広	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009.11.29-12. 1
超早産児における早発型敗血症の臨床像の検討	新生児科	猪俣 慶	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009.11.29-12. 1
超早産児における出生前ステロイド投与の児に対する抗炎症作用の検討	新生児科	秋田大輔	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009.11.29-12. 1
血清 IL-6値による胎盤炎症所見の推測	新生児科	上田雅章	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009.11.29-12. 1
CLD児の修正36週における Room Air 下での SpO2値の検討 Room Air Saturation(RA-SAT)は CLD の客観的指標となるか?	新生児科	坂井仁美	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009.11.29-12. 1
出生体重600g以下の SGA 児に対する予防的インドメサシン少量持続投与	新生児科	芳本誠司	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009.11.29-12. 1
超早産児の Leaky Lung Syndrome における気管内吸引液の分析	新生児科	溝淵雅巳	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009.11.29-12. 1
ターナー症候群における大動脈弁上拡張の評価	代謝内分泌科	奥野美佐子、米倉圭二、尾崎佳代、郷司克己、城戸佐知子、赤坂好宣、橋村宏美	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	神戸	2009/ 9 /26
ターナー症候群における心大血管合併症の胸部 MRI 評価	代謝内分泌科	奥野美佐子、米倉圭二、尾崎佳代、郷司克己、城戸佐知子、赤坂好宣、橋村宏美	第43回	日本小児内分科学会	宇都宮	2009/10/ 2
ナンセンス変異 p.Arg2152Term を認めた Sotos 症候群の母子例	代謝内分泌科	米倉圭二、奥野美佐子、尾崎佳代、郷司克己、松尾雅文	第43回	日本小児内分科学会	宇都宮	2009/10/ 3

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
「I.I.輝度の劣化に関する血管造影部会としての基本指針」の作成	放射線部	関尾直士	第7回	県立病院学会	神戸市	H21.8.29
分解能補正を組み込んだOSEM法の有用性の検討について	放射線部	藤井康司	第7回	県立病院学会	神戸市	H21.8.29
MRI検査におけるアメニティ	放射線部	北住一哉	第48回	全国自治体病院学会	川崎市	H21.11.13
分解能補正を組み込んだOSEM法の有用性の検討について	放射線部	藤井康司	第48回	全国自治体病院学会	川崎市	H21.11.13
顎裂部骨移植時に外科的中間顎整復を行った両側性口唇口蓋裂患者の臨床的検討	小児歯科・形成外科	曾根由美子、大山知樹	第33回	日本口蓋裂学会	東京	2009年 5月28、29日
歯槽部裂傷後、止血困難にて歯科受診した症例	小児歯科・血液腫瘍科	曾根由美子、小阪嘉之	第5回	阪神へモフイリア研究会	大阪	2009年6月13日
小児眼科のトピック3題：アイパッチの功罪、小児IOLの適応、未熟児管理の変化とROP	眼科	野村耕治	第17回	大阪市眼科研究会	大阪	2009.1.31
小児視力測定の理論的背景	眼科	野村耕治	第21回	日本小児眼科学会講習会	大阪	2009.6.6
乳児内斜視の術後外斜視移行について	眼科	福村美帆	第65回	日本弱視斜視学会総会	大阪	2009.6.5
出生直後より片眼の牛眼を呈した神経線維腫症の2例	眼科	河村真美	第34回	日本小児眼科学会総会	大阪	2009.6.5
インストラクションコース：小児IOLの適応 小児IOL手術の合併症を少なくするために	眼科	野村耕治	第63回	日本臨床眼科学会総会	福岡	2009.10.10
MD 双胎 TTTS stage IV に対して FLP 後、受血児は胎児死亡し供血児は右心不全になった一例	産科、循環器科(1)、聖隷浜松病院産婦人科(2)	喜吉賢二、笹原淳、牧志綾、高松祐孝、田中達也、佐本崇、船越徹、齋木宏文(1)、城戸佐知子(1)、石井佳介(2)、村越毅(2)	第15回	日本胎児心臓病研究会学術集会	さいたま市	2009年 2月13-14日
平成19年兵庫県周産期医療システム母体紹介・搬送情報提供書集計結果について	産科	船越 徹	平成20年度	家族計画・母体保護法指導者講習会伝達講習会	姫路市	2009年2月22日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
平成19年兵庫県周産期医療システム母体紹介・搬送情報提供書集計結果について	産科	船越 徹	平成20年度	家族計画・母体保護法指導者講習会伝達講習会	神戸市	2009年2月28日
平成19年兵庫県周産期医療システム母体紹介・搬送情報提供書集計結果について	産科	船越 徹	平成20年度	家族計画・母体保護法指導者講習会伝達講習会	尼崎市	2009年3月7日
出生前に診断された心臓腫瘍の6例	産科	牧志 綾、佐本 崇、田中達也、菅原 淳、高松祐幸、船越 徹	第61回	日本産科婦人科学会学術集会	京都市	2009年4月3-5日
最近経験した胎児脳腫瘍の3例	産科、久保みずきレディースクリニック1)	高松祐幸、牧志 綾、菅原 淳、田中達也、菅原 淳、菅原尚徳1)、高松祐幸、船越 徹	第61回	日本産科婦人科学会学術集会	京都市	2009年4月3-5日
当院における品胎妊娠の管理	産科	田中達也、牧志 綾、佐々木紘子、菅原 淳、高松祐幸、菅原 淳、高松祐幸、菅原 淳、船越 徹	第103回	兵庫県立こども病院症例検討会	神戸市	2009年5月14日
当院における品胎妊娠の管理	産科	田中達也、牧志 綾、佐々木紘子、菅原 淳、高松祐幸、菅原 淳、高松祐幸、菅原 淳、船越 徹	第83回	兵庫県産科婦人科学会学術集会	神戸市	2009年6月7日
新生児心肺蘇生法ガイドラインについて	産科	船越 徹	第83回	兵庫県産科婦人科学会学術集会	神戸市	2009年6月7日
当院における品胎妊娠の管理	産科	田中達也、牧志 綾、佐々木紘子、菅原 淳、高松祐幸、菅原 淳、高松祐幸、菅原 淳、船越 徹	第120回	近畿産科婦人科学会学術集会	神戸市	2009年6月27-28日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
当院における“超緊急帝王切開”について	産科	菅原 淳、佐々木 紘子、 牧志 綾、田中 達也、 喜吉 賢二、高松 祐幸、 船越 徹	第120回	近畿産科婦人科学 会 学術集会	神戸市	2009年 6月27-28日
当院における胎児不整脈の産科的管理方法	産科	喜吉 賢二、牧志 綾、 佐々木 紘子、菅原 淳、 田中 達也、高松 祐幸、 佐本 崇、船越 徹	第45回	日本周産期・新生 児医学会学術集会	名古屋	2009年 7月12-14日
当院の硫酸マグネシウム使用法における 切迫早産治療効果	産科	船越 徹、牧志 綾、 佐々木 紘子、菅原 淳、 田中 達也、高松 祐幸、 佐本 崇、喜吉 賢二	第45回	日本周産期・新生 児医学会学術集会	名古屋	2009年 7月12-14日
過去5年間における当院で扱った常位胎盤早期剥離 47症例の検討	産科	高松 祐幸、牧志 綾、 佐々木 紘子、菅原 淳、 田中 達也、喜吉 賢二、 佐本 崇、船越 徹	第45回	日本周産期・新生 児医学会学術集会	名古屋	2009年 7月12-14日
当院における左側先天性横隔膜ヘルニアの臨床的検討	産科	菅原 淳、牧志 綾、 佐々木 紘子、田中 達也、 高松 祐幸、喜吉 賢二、 佐本 崇、船越 徹	第45回	日本周産期・新生 児医学会学術集会	名古屋	2009年 7月12-14日
当科における超緊急帝王切開術 全32例の報告	産科	佐々木 紘子、牧志 綾、 菅原 淳、田中 達也、 高松 祐幸、喜吉 賢二、 佐本 崇、船越 徹	平成21年度	位育会臨床セミナー	神戸市	2009年 8月23日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
当院で扱った常位胎盤早期剥離53例の検討	産科	高松祐幸、牧志綾、佐々木紘子、笹原淳、田中達也、喜吉賢二、佐本崇、船越徹	第121回	近畿産科婦人科学会学術集会	神戸市	2009年11月1日
低ナトリウム血症を合併した妊娠高血圧症候群 (PIH)・子宮内胎児発育遅延 (FGR) 妊娠の一例	産科	佐々木紘子、喜吉賢二、牧志綾、笹原淳、田中達也、高松祐幸、佐本崇、船越徹	第121回	近畿産科婦人科学会学術集会	神戸市	2009年11月1日
職場における妊産婦の健康管理と産業医等産業保険スタッフ等の役割	産科	船越徹	平成21年度	母性健康管理研究会	神戸市	2009年12月3日
産科医療の基礎知識と現状について	産科	船越徹	平成21年度	神戸地裁「専門訴訟事件等の特殊事件のための研究」	神戸市	2009年12月21日
不明熱・腎機能障害を主訴に来院した TINU 症候群の1例	腎臓内科	下岡武史、田中亮二郎	第39回	第39回近畿小児腎臓病研究会	大阪	2009年3月28日
A case with sustained fever and renal dysfunction in tubulointerstitial nephritis and uveitis syndrome	Pediatric Nephrology	Takeshi Shimooka, Ryojiro Tanaka	7 th	Korea-Japan The 7th Pediatric Nephrology Seminar	Suwon	2009年4月4日
当院での腎血管性高血圧の治療と短期成績	循環器科・腎臓内科	藤田秀樹、寺野和宏、田中敏克、城戸佐知子、田中亮二郎	第112回	第112回日本小児科学会	奈良	平成21年4月17-19日
腎炎の発症、進展機序と治療 IgA 腎症を中心に	腎臓内科	田中亮二郎		鳥取県東部小児腎臓フォーラム	鳥取	2009年4月11日
重症小児 IgA 腎症における治療後 IgA 沈着消失の臨床病理学的意義	和歌山県立医科大学小児科、神戸大学小児科、兵庫県立こども病院 腎臓内科、北海道大学 小児科	島友子、中西浩一、戸川寛子、尾鼻美奈、吉川徳茂、野津寛大、飯島一誠、田中亮二郎、佐々木聡	第52回	第52回日本腎臓学会学術集会	横浜	平成21年6月3日-5日
重症小児 IgA 腎症における治療反応性規定因子	和歌山県立医科大学小児科、神戸大学小児科、兵庫県立こども病院 腎臓内科、北海道大学 小児科	島友子、中西浩一、戸川寛子、尾鼻美奈、吉川徳茂、野津寛大、飯島一誠、田中亮二郎、佐々木聡	第44回	第44回日本小児腎臓病学会	東京	平成21年6月26日、27日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
携帯型自動血圧測定を用いた腎血管性高血圧患児の管理	腎臓内科、循環器科	下岡武史、藤田秀樹、田中亮二郎	第44回	第44回日本小児腎臓病学会	東京	平成21年6月26日、27日
腎移植後単状分筋性糸球体硬化症 (FSGS) 再発高リスク小児例に対する腎移植前予防的治療の試み	東京女子医科大学 腎臓小児科、泌尿器科、兵庫県立こども病院 腎臓内科、神戸大学 小児科、徳島大学 小児科、日本医科大学 小児科	藤井寛、近本祐子、石塚喜世伸、梶保祐子、倉山良太、藤木拓磨、秋岡祐子、服部元史、石田英樹、田邊一成、田中亮二郎、野津寛大、清水真樹、美祥二、黒田奈緒	第44回	第44回日本小児腎臓病学会	東京	平成21年6月26日、27日
ネフローゼ症候群の発症機序と診断、治療	腎臓内科	田中亮二郎		神戸中央小児腎臓学フォーラム	神戸	2009年7月3日
重症型 IgA 腎症にてカクテル療法中にステロイド依存性ネフローゼ症候群を発生した 1 症例	腎臓内科	神田杏子、下岡武史、田中亮二郎	第13回	第13回兵庫県腎臓疾患治療懇話会	神戸	2009年7月17日
携帯型自動血圧計を用いた腎血管性高血圧患児の管理	腎臓内科	神田杏子、下岡武史、田中亮二郎	第16回	第16回小児高血圧研究会	神戸	2009年9月5日
HUS 発症後に遷延性の意識障害及び脳硬塞を呈した 1 例	腎臓内科	下岡武史、神田杏子、田中亮二郎	第31回	第31回日本小児腎不全学会	新潟	2009年10月8日、9日
重症型 IgA 腎症にてカクテル療法中にステロイド依存性ネフローゼ症候群を発生した 1 症例	腎臓内科	神田杏子、下岡武史、田中亮二郎	第39回	第39回日本腎臓学会西部学術大会	和歌山	2009年10月16日、17日
治療に難渋しているステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の 1 例	腎臓内科	下岡武史、神田杏子、田中亮二郎	第40回	第40回近畿小児腎臓病研究会	大阪	2009年11月21日
新生児発症鞍上部くも膜嚢胞を内視鏡で治療した1例	脳神経外科	石井大嗣、山元一樹、河村淳史、長嶋達也	第57回第69回	日本脳神経外科学会近畿支部学術集会・近畿脳腫瘍研究会	大阪	2009/4/4
テモゾロמיד・放射線治療が功を奏した2歳神経膠芽腫の1例	脳神経外科	河村淳史、長嶋達也、山元一樹	第37回	小児神経外科学会	大阪	2009/6/4
小児中枢神経腫瘍の集学的治療における脳神経外科医の役割	脳神経外科	長嶋達也、山元一樹、河村淳史、中井友昭	第37回	日本小児神経外科学会	大阪	2009/6/4

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
単一シャントシステムによる新生児・乳児期水頭症の治療	脳神経外科	山元一樹、長嶋達也、河村淳史	第37回	日本小児神経外科学会	大阪	2009/6/4
頭痛がおこったら	脳神経外科	長嶋達也	第351回	神戸市健康づくりセンター健康ライブラザ「土曜健康科学セミナー」	神戸	2009/6/27
虐待による乳幼児頭部外傷	脳神経外科	長嶋達也	第1回	北九州小児救急ワークショップ、日本虐待医学研究会	北九州	2009/8/2
当院での脊髄腫瘍修復術	脳神経外科	山元一樹、中井友昭、河村淳史、長嶋達也	第60回	近畿脊髄外科研究会	大阪	2009/9/5
小児頭部外傷	脳神経外科	堀達雄、山元一樹、長嶋達也	第113回	こども病院症例検討会	神戸	2009/10/8
虐待による乳幼児頭部外傷について	脳神経外科	長嶋達也	特別講演	香川小児保健協会研究会	高松	2009/11/1
重症頭蓋顔面奇形に対する集学的治療	脳神経外科	長嶋達也、山元一樹、河村淳史、中井友昭	第68回	日本脳神経外科学会総会	東京	2009/11/15
小児神経膠芽腫に対するテモゾロマイドの使用経験	脳神経外科	河村淳史、長嶋達也、山元一樹	第68回	日本脳神経外科学会総会	東京	2009/11/15
虐待による小児頭部外傷	脳神経外科	山元一樹、河村淳史、長嶋達也	第68回	日本脳神経外科学会総会	東京	2009年11月15日
小児悪性脳腫瘍に対する集学的治療：外科的治療の異議	脳神経外科	長嶋達也	第25回	日本小児がん学会教育講演	千葉	2009年11月27日
段階的内視鏡手術により治療したシャント不全の1例	脳神経外科	山元一樹、河村淳史、長嶋達也	第27回	日本こども病院神経外科医会	東京	2009年11月28日
耳鼻咽喉科外来における慢性咳嗽患者の鑑別診断	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第21回	日本喉頭科学会	前橋	2009/3/27
耳鼻科の救急処置	耳鼻咽喉科	阪本浩一	平成21年度	加古川市民フォーラム	加古川	2009/4/11

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
小児難聴の評価における骨導 ASSR の有用性と問題点	耳鼻咽喉科	阪本浩一、大津雅秀、柴切圭子	第110回	日本耳鼻咽喉科学会	東京	2009/5/14
一側性 auditory neuropathy と考えられた小児の2例	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第71回	日本耳鼻咽喉科臨床学会	旭川	2009/7/2
シンポジウム：小児持続性咳嗽の原因と治療：小児持続性咳嗽に対する耳鼻咽喉科医の対応	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第4回	日本小児耳鼻咽喉科学会	名古屋	2009/6/29
慢性咳嗽に関する後鼻漏の影響－喉頭アレルギー、アレルギー性鼻炎との関連を中心に	耳鼻咽喉科	阪本浩一	2009年	喉頭アレルギーフォーラム	名古屋	2009/8/8
ワークショップ：耳鼻咽喉科疾患をもつ子供への適切な漢方治療：小児慢性扁桃炎に対する小建中湯の効果	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第25回	日本耳鼻咽喉科漢方研究会	東京	2009/9/26
乳幼児中等度難聴における ASSR の有用性と問題点	耳鼻咽喉科	阪本浩一、大津雅秀、柴切圭子	第54回	日本聴覚医学会	横浜	2009/10/22
後鼻漏は慢性咳嗽の重要な原因となりうるか？	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第7回	東播耳鼻科研究会	加古川	2009/10/26
耳鼻咽喉科外来における慢性咳嗽患者の原因と治療	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第11回	日本咳嗽研究会	名古屋	2009/11/14
耳鼻咽喉科外来における慢性咳嗽患者の原因と治療	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第1回	三重気道疾患研究会	津	2009/11/19
こども病院耳鼻咽喉科における補聴器外来の現状と課題	耳鼻咽喉科	柴切圭子、住友亜佐子、阪本浩一、大津雅秀	第7回	兵庫県立病院学会	神戸	2009/8/29
頭部外傷患者に対する頭部CTの検討	救急集中治療科	藤田杏子、中川 拓、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第23回	日本小児救急医学会	熊本	2009年6月19日
上気道閉塞性疾患症例における気管チューブサイズの選択	救急集中治療科	安部信吾、青木一憲、三好麻里、上谷良行	第23回	日本小児救急医学会	熊本	2009年6月20日
倫理に関する医師の意識調査－国際比較共同アンケート調査から	総合診療科	船戸正久、上谷良行ほか	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009年11月29日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
倫理に関する医師の意識調査－国際共同比較アンケート調査報告(1)	総合診療科	林 時伸、上谷良行ほか	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009年11月30日
倫理に関する医師の意識調査－国際共同比較アンケート調査報告(2)	総合診療科	関 和男、上谷良行ほか	第54回	日本未熟児新生児学会	横浜	2009年11月30日
緊急手術が施行されたイレウス症例のCT所見に関する検討	救急集中治療科	山口善道、板橋健太郎、赤坂好宣、三好麻里、上谷良行、横井暁子、西島栄治	第247回	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎	2009年2月7日
HHV-6による痙攣重積型脳症と薬剤過敏症候群の1例	救急集中治療科	谷中好子、三舛信一郎、井上真太郎、佐々木香織、上谷良行、三好麻里、中岸保夫、田村彰広、永瀬裕朗	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009年9月26日
ターナー症候群における大動脈弁上拡張の評価	救急集中治療科	興野美佐子、米倉圭二、尾崎佳代、郷司克己、城戸佐知子、赤坂好宣、橋村宏美	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009年9月26日
食物負荷試験中にアナフィラキシーショックを呈し工ピペンで救命しえた1例	救急集中治療科	安部信吾、田中裕也、中岸保夫、三好麻里、上谷良行	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009年9月26日
トシリズマ投与中に感染症を反復した全身型若年性特発性関節炎の1例	救急集中治療科	中岸保夫、田中裕也、安部信吾、笠井和子、三好麻里	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009年9月26日
兵庫県における小児救急に関する保護者意識調査	救急集中治療科	日野利治、上谷良行ほか	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009年9月26日
2008年保護者小児救急意識調査における自由記載意見	救急集中治療科	日野利治、上谷良行ほか	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009年9月26日
連続脳波モニタリングでてんかん重責状態が明らかとなった急性脳症疑いの1例	救急集中治療科、脳神経内科	永瀬裕明、丸山あずさ、澤田杏子、中川 拓、佐治洋介、上谷良行	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009年9月26日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
小児救急におけるトリアージ	救急集中治療科	福原信一、上谷良行	平成21年度	近畿ブロック医療 技術研修会	神戸	2009年11月14日
虐待の診断と対応	救急集中治療科	中川 拓、上谷良行	平成21年度	近畿ブロック医療 技術研修会	神戸	2009年11月14日
BLS, PALS の基本と実際	救急集中治療科	上谷良行、福原信一、 中川 拓、田中 聡	平成21年度	近畿ブロック医療 技術研修会	神戸	2009年11月14日
迅速な心肺機能評価	救急集中治療科	上谷良行	平成20年度	小児救急アドバン スト研修会	神戸	2009年2月8日
迅速な心肺機能評価	救急集中治療科	上谷良行	平成21年度	小児救急アドバン スト研修会	神戸	2009年10月25日
両側 Wilms 腫瘍の一例	外科1) 血液腫瘍科2) 放射線科3) 病理検 査室4)	横井暁子1)、川崎圭一部2)、 田浦康明1)、岡本光正1)、 岡本竜弥1)、荒井洋志1)、 尾藤祐子1)、中尾 真1)、 赤坂好宣3)、吉田牧子4)、 小阪嘉之2)、西島栄治1)	第31回	近畿小児がん学会	大阪	3月14日
先天性気管狭窄症に対する治療経験	外科	横井暁子、岡本竜弥、 田浦康明、岡本光正、 荒井洋志、尾藤祐子、 中尾 真、西島栄治	第46回 (2009年)	日本小児外科学会 学術総会	大阪	6月1日-3日
両側水腎、水尿汗症合併直腸膀胱脱瘻の一例	外科1) 泌尿器科2)	横井暁子1)、前田健一1)、 田村 亮1)、田浦康明1)、 岡本光正1)、荒井洋志1)、 尾藤祐子1)、中尾 真1)、 杉多良文2)、西島栄治1)	第25回 (2009年)	秋季シンポジウム	鹿児島	2009年10月31日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
開腹生検後に呼吸不全を来たし、減量手術を要した膀胱原発巨大横紋筋肉腫の2例	外科1) 血液腫瘍科2) 病理検査室3) 放射線科4)	横井暁子1)、荒井洋志1)、西島栄治1)、竹田洋樹2)、川崎圭一郎2)、小坂嘉之2)、吉田敦子3)、赤坂好宣4)	第25回	小児がん学会	千葉県浦安市	11月27日
当院小児救急医療センターを受診した外傷患者に対する小児外科医の関わり	外科	中尾 真、田浦康明、岡本光正、岡本竜弥、荒井洋志、尾藤祐子、横井暁子、西島栄治	46回	日本小児外科学会 学術総会	大阪	平成21年 6月1～3日
喉頭気管食道裂に対する前方アプローチによる隔壁形成術の経験	外科	中尾 真、前田健一、田村 亮、田浦康明、岡本光正、荒井洋志、尾藤祐子、横井暁子、西島栄治	29回	日本小児内視鏡外科・手術手技研究会	鹿児島	平成21年 10月29～30日
left and right type slide tracheoplasty for re-pair for complex forms of long segment tracheal stenoses -our two experiences	Department of Pediatric Surgery	Yuko Bitoh, Eiji Nishijima, Akiko Yokoi, Chikara Tsugawa	42nd (2009)	Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons	Hong Kong	10-14 May, 2009
先天性気管狭窄症に対するスライド気管形成術の術式の工夫：左右型スライド気管形成と大動脈吊り上げ術の付加	小児外科	尾藤祐子、西島栄治、横井暁子、中尾 真、荒井洋志、岡本竜弥、岡本光正、田浦康明	第46回 (2009年)	日本小児外科学会 学術集会	大阪市	2009年 6月1-3日
繰り返す卵巣嚢腫を伴う高位鎖肛（直腸膨脹）の一例	小児外科	尾藤祐子、西島栄治、横井暁子、中尾 真、荒井洋志、岡本光正、田浦康明、前田健一	第25回 (2009年)	日本小児外科学会 秋季シンポジウム	鹿児島市	2009年10月31日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
治療に難渋している A 型食道閉鎖症術後吻合部狭窄の 1 例	小児外科	荒井洋志、田浦康明、岡本光正、岡本竜弥、尾藤祐子、横井暁子、西島栄治	第61回	小児外科わからん会	大阪府 大阪市	2009年3月7日
長期在宅中心静脈栄養施行中の腸管機能不全患児における消化管出血	小児外科	荒井洋志、田浦康明、岡本光正、岡本竜弥、尾藤祐子、横井暁子、西島栄治	第46回	日本小児外科学会 総会	大阪府 大阪市	2009年 6月1日～3日
仙尾部奇形腫切除後に同部位より卵黄嚢腫瘍の局所発生を認めた 2 例の検討	小児外科	荒井洋志、西島栄治、横井暁子、中尾 真、尾藤祐子、岡本光正、田浦康明、田村 亮、前田健一、小阪嘉之、竹田洋樹、赤坂好宣、吉田牧子	第25回	日本小児がん学会	千葉県 浦安市	2009年 11月27日～29日
特異な経過を呈し診断に苦慮した cyst 型胆道閉鎖症の 1 例	小児外科	荒井洋志、西島栄治、横井暁子、中尾 真、尾藤祐子、岡本光正、田浦康明、田村 亮、前田健一	第36回	日本胆道閉鎖症研究会 学術集会	神奈川県 横浜市	2009年12月12日
Successful surgical management of congenital subglottic stenosis in infants and children	Department of Surgery, Kobe Children's Hospital	Mitsumasa Okamoto, Eiji Nishijima, Akiko Yokoi, Makoto Nakao, Yuko Bitoh, Hiroshi Arai, Chikara Tsugawa	2009	42nd Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons	Hong Kong	10-14 May, 2009

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
レティナで気管切開孔を温存して喉頭気管形成術を施行した声門下腔狭窄症例の検討	兵庫県立こども病院 外科	岡本光正、西島栄治、 横井暁子、中尾真、 尾藤祐子、荒井洋志、 岡本竜弥、田浦康明	2009	第46回日本小児外 科学会学術集会	大阪	2009年 6 / 1 - 3
左肺葉外肺分画症と左下葉にCCAMを認めた1例～両 病変の成因の考察～	兵庫県立こども病院 外科1)、同病理部2)	岡本光正1)、西島栄治1)、 横井暁子1)、中尾真1)、 尾藤祐子1)、荒井洋志1)、 田浦康明1)、田村亮1)、 前田健一1)、吉田牧子2)	2009	第20回小児呼吸器 外科研究会	高崎	2009年 10/17
術前に多発転移を認めるもメシル酸イマチニブ治療で 術後9か月間の病変安定(SD)を得られている小児胃 GISTの1例	兵庫県立こども病院 外科1)、同血液腫 瘍科2)、同病理部3)	岡本光正1)、 長谷川大一郎2)、西島栄治1)、 小阪薫之2)、西島栄治1)、 横井暁子1)、中尾真1)、 尾藤祐子1)、荒井洋志1)、 田浦康明1)、田村亮1)、 前田健一1)、吉田牧子3)	2009	第25回日本小児が ん学会	浦安	2009年 11/27-29
それぞれ異なる発症様式を呈した Duplication cyst 3例の報告	外科	田村亮、前田健一、 田浦康明、岡本光正、 荒井洋志、尾藤祐子、 中尾真、横井暁子 西島栄治	45回	日本小児外科学会 近畿地方会	神戸	2009年 8月29日
当院における難治性気胸の2症例	外科	田村亮、前田健一、 田浦康明、岡本光正、 荒井洋志、尾藤祐子、 中尾真、横井暁子、 西島栄治	13回	日本気胸・嚢胞性 肺疾患学会	大阪	2009年 9月11日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
2年前に他院で施行された噴門形成術のWrapping周囲に液体貯留、経腸栄養も無理！ どうしたらいいですか？	外科	田村 亮、前田健一、 田浦康明、岡本光正、 荒井洋志、尾藤祐子、 中尾 真、横井暁子、 西島栄治	62回	小児外科わからん 会	大阪	2009年10月10日
手術にSILS法を併用した重複腸管の1例	小児外科	前田健一、田村 亮、 田浦康明、岡本光正、 荒井洋志、尾藤祐子、 中尾 真、横井暁子、 西島栄治	第45回	日本小児外科学会 近畿地方会	神戸	2009/ 8 /29
気管切開術施行後に喉頭気管分離術を施行した17症例の検討	小児外科	前田健一、田村 亮、 田浦康明、岡本光正、 荒井洋志、尾藤祐子、 中尾 真、横井暁子、 西島栄治	第20回	小児呼吸器外科研 究会	高崎	2009年10月17日
両側Wilms腫瘍の2例	小児外科	田浦康明、横井暁子、 中尾 真、尾藤祐子、 荒井洋志、岡本竜弥、 岡本光正、長谷川大一郎、 川崎圭一郎、小阪嘉之、 吉田牧子、佐藤志以樹、 早川 晶、前田耕作、 西島栄治	2009年度、第46回	日本小児外科学会 学術集会	大阪	2009年 6月1日、 2日、3日
孤発性消化管重複症の1例	小児外科	田浦康明、横井暁子、 中尾 真、尾藤祐子、 荒井洋志、岡本光正、 田村 亮、前田健一、 西島栄治	2009年度、第45回	日本小児外科学会 近畿地方会	神戸	2009年 8月29日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
頭部外傷患者に対する頭部CTの検討	脳神経内科	藤田杏子、中川 拓、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第23回	日本小児救急医学会		2009年 6月19、20日
複雑型熱性痙攣で発症する急性脳炎・脳症の臨床的治療開始基準の提案	脳神経内科	中川 拓、青木一憲、澤田杏子、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗	第51回	日本小児神経学会 総会	米子	2009年 5月28-30日
小児頭部外傷患者におけるNICE頭部外傷ガイドラインの有用性	脳神経内科	澤田杏子、中川 拓、青木一憲、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗	第51回	日本小児神経学会 総会	米子	2009年 5月28-30日
連続脳波モニタリングでてんかん重積状態が明らかとなった急性脳症疑いの1例	脳神経内科	永瀬裕朗、藤田杏子、中川 拓、佐治洋介、丸山あずさ、上谷良行	第248回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2009/ 9 /26
Is Acquired Neurological Damage Predictable in Early Phase of Complex Febrile Seizures of Children?	脳神経内科	Kazunori Aoki, Taku Nakagawa, Kyoko Sawada, Yohsuke Saji, Azusa Maruyama, Hiroaki Nagase, Hajime Nakamura.		Pediatric Academic Societies' Annual Meeting	Baltimore	May 2 - 5 2009
barbiturate comaにより発作寛解に至った乳児悪性焦点移動性部分発作の一例	脳神経内科	澤田杏子、中川 拓、丸山あずさ、永瀬裕朗	第58回	兵庫県小児てんかん研究会	神戸	2009/ 3 / 9
小児神経集中治療における連続脳波モニタリングの試み	脳神経内科	丸山あずさ、澤田杏子、中川 拓、佐治洋介、永瀬裕朗	第57回	兵庫県神経疾患懇話会	神戸	2009/ 4 / 4
特に注意深い経過観察を必要とした先天性心疾患患者の妊娠・分娩	循環器科	城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、富永健太、齋木宏文	第11回	日本成人先天性心疾患研究会	岡山	2009年 1月10-11日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
モヤモヤ病を合併した心房中隔欠損の1例	循環器科	田中敏克、富永健太、齋木宏文、藤田秀樹、城戸佐知子	第11回	日本成人先天性心疾患研究会	岡山	2009年 1月10-11日
Amplatzer septal occluder 留置における左房側デバイスの右房への逸脱に関する検討	循環器科	田中敏克、佐藤有美、加地倫子、富永健太、齋木宏文、藤田秀樹、城戸佐知子	第20回	日本小児インターベンション研究会	東京	2009年 1月16-17日
ブタ心膜一弁付パッチ (MVP) 狭窄に対するカテーテル治療は有効か	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、鄭 輝男	第20回	日本小児インターベンション研究会	東京	2009年 1月16-17日
The Management of Kawasaki Disease ~ current topics in Japan ~	循環器科	齋木宏文		Seattle Children's Hospital Heart Center Division Conference	Seattle	2009年2月10日
Amplatzer septal occluder (ASO) を用いた ASD 閉鎖術 - 1年間の総括 -	循環器科	田中敏克、加地倫子、佐藤有美、富永健太、齋木宏文、藤田秀樹、城戸佐知子	第247回	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎	2009年2月7日
Eisenmenger 化の後に見つかった心室中隔欠損の1例	循環器科	浅野貴大、加地倫子、佐藤有美、富永健太、齋木宏文、藤田秀樹、田中敏克、城戸佐知子	第247回	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎	2009年2月7日
胎児期より2:1房室ブロック (AVB) を認め、心筋緻密化障害の合併が疑われた先天性 QT 延長症候群 (LQTS) の1例	循環器科	加地倫子、齋木宏文、佐藤有美、富永健太、藤田秀樹、田中敏克、城戸佐知子	第23回	日本小児循環器学会近畿中四国地方会	大阪	2009年2月21日
ペースメーカー植込み術 (PMI) 後にブロックが改善した先天性高度房室ブロックの1例	循環器科	田中敏克、富永健太、齋木宏文、藤田秀樹、城戸佐知子	第23回	日本小児循環器学会近畿中四国地方会	大阪	2009年2月21日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
胎児徐脈を合併した先天性心血管構造異常の臨床経過	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、富永健太、大嶋義博、島津親志、大嶋義博、日隈智憲、井上武、鄭輝男	第23回	日本小児循環器学会 近畿中四国地方会	大阪	2009年2月21日
両側肺動脈絞扼術後に心嚢液貯留を認めた症例の検討	循環器科	佐藤有美、加地倫子、富永健太、齋木宏文、藤田秀樹、田中敏克、城戸佐知子、大嶋義博、島津親志、大嶋義博、日隈智憲、井上武	第23回	日本小児循環器学会 近畿中四国地方会	大阪	2009年2月21日
当院での腎血管性高血圧の治療と短期成績	循環器科	藤田秀樹、田中亮二郎、齋木宏文、田中敏克、城戸佐知子	第112回	日本小児科学会 術集会	奈良	2009年17 - 19日
先天性心疾患術後ペースメーカー治療の心壁運動への影響	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、鄭輝男	第112回	日本小児科学会 術集会	奈良	2009年17 - 19日
内胸動脈(ITA)由来の体肺側副動脈に対するフォントン手術時ITA結紮術	循環器科	田中敏克、富永健太、齋木宏文、藤田秀樹、城戸佐知子、大嶋義博	第45回	日本小児循環器学会 術集会	神戸	2009年 7月15 - 17日
乳幼児の狭窄性病変に対する small size stent 留置の有用性	循環器科	田中敏克、富永健太、齋木宏文、藤田秀樹、城戸佐知子	第45回	日本小児循環器学会 術集会	神戸	2009年 7月15 - 17日
小児期先天性大動脈狭窄(AS)に対する治療と経皮的動脈弁形成術	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、富永健太、大嶋義博、島津親志、鄭輝男	第45回	日本小児循環器学会 術集会	神戸	2009年 7月15 - 17日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
出生前診断した high risk 先天性心疾患に対する初期対応	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、佐藤有美、鄭 輝男	第45回	日本小児循環器学会学術集会	神戸	2009年 7月15 - 17日
先天性心血管疾患に伴う気管・気管支軟化症	循環器科	佐藤有美、田中敏克、城戸佐知子、藤田秀樹、富永健太、齋木宏文、小川禎治、大嶋義博	第45回	日本小児循環器学会学術集会	神戸	2009年 7月15 - 17日
当院における Fontan 型手術後患者の長期予後	循環器科	城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、齋木宏文、富永健太、佐藤有美、加地倫子、大嶋義博	第45回	日本小児循環器学会学術集会	神戸	2009年 7月15 - 17日
Fontan 型手術後患者の睡眠時無呼吸症候群	循環器科	城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、齋木宏文、富永健太、佐藤有美、加地倫子	第45回	日本小児循環器学会学術集会	神戸	2009年 7月15 - 17日
単心室修復を施行した不均等心室における至適ペーシング部位選択の試み	循環器科	齋木宏文、亀井直哉、小川禎治、佐藤有美、富永健太、藤田秀樹、田中敏克、城戸佐知子	第29回	日本小児循環器動態研究会学術集会	久留米	2009年10月10日
小児科領域における肺高血圧症(講演)	循環器科	城戸佐知子	第 5 回	兵庫肺高血圧フォーラム	神戸	2009年10月16日
肺分画症に対しコイル塞栓術を施行した Scimitar 症候群の 1 乳児例	循環器科	佐藤有美、田中敏克、城戸佐知子、藤田秀樹、富永健太、齋木宏文、小川禎治	第17回	小児循環器病カンファレンス	京都	2009年11月28日
成長期・思春期に自律神経失調症様の症状を呈した重症心疾患の 2 例	循環器科	城戸佐知子	第 3 回	先天性心疾患心理研究会	千葉	2009年12月12日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
心疾患患者の運動と呼吸 (講演)	循環器科	城戸佐知子		心臓病の子どもを守る会 兵庫県支部 神戸市難病医療相談会	豊岡	2009年11月8日
カテーテル治療の最前線 (講演)	循環器科	田中敏克		心臓病の子どもを守る会 兵庫県支部 神戸市難病医療相談会	神戸	2009年12月6日
学童期に発見された単純大動脈縮窄の2例	心臓血管外科	大嶋義博、日隈智憲、 圓尾文子、島津親志、 井上武	247	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎	2009. 2. 7
Surgical Results After Mitral Valve Replacement in Children: Predictors of reoperation due to Outgrowth of the valve	心臓血管外科	T Inoue, Y Oshima, A Maruo, C Shimazu, T Higuma	17	Asian society for Cardiovascular and thoracic Surgery	Taipei	2009. 3. 5 - 8
Case Report: Modified primary sutureless repair of TAPVC in a 1,600 g neonate with heterotaxy	心臓血管外科	Yoshihiro Oshima		Mt. Fuji Network Forum	静岡	2009. 3. 20
女性心臓血管外科医の実際の方法論と今後に望むこと	心臓血管外科	圓尾文子	109	日本外科学会	福岡	2009. 4. 2 - 4
右心バイパス適応例に対する房室弁形成の中期遠隔成績 - Fontan手術前の介入例を中心に	心臓血管外科	大嶋義博、圓尾文子、 島津親志、日隈智憲、 井上武、吉田昌弘	39	日本心臓血管外科学会総会	富山	2009. 4. 22
MAPCAを合併した心室修復適応症例に対する治療戦略と成績	心臓血管外科	井上武、大嶋義博、 圓尾文子、島津親志、 日隈智憲	39	日本心臓血管外科学会学術集会	富山	2009. 4. 22-24
Freestyle弁を用いた右室流出路再建術症例の術後成績からみた肺動脈弁置換術適応基準	心臓血管外科	日隈智憲、大嶋義博、 圓尾文子、島津親志、 井上武、山口眞弘	39	日本心臓血管外科学会総会	富山	2009. 4. 24
左内頸動脈狭窄、中大脳動脈閉塞を合併した大動脈縮窄、弓部～下行大動脈瘤の幼児手術症例	心臓血管外科	井上武、大嶋義博、 圓尾文子、島津親志、 日隈智憲、門脇 輔	52	関西胸部外科学会学術集会	岡山	2009. 6. 4 - 5

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Atrioventricular valve repair during Fontan palliation	心臓血管外科	Oshima Y, Yoshida M, Maruo A, Shimazu C, Higuma T, Inoue T	5	World Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery	Cairns, Australia	2009. 6 .23
Management of pulmonary artery sling associated with tracheal stenosis or intracardiac anomalies	心臓血管外科	Oshima Y, Yamaguchi M, Nishijima E	5	World Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery	Cairns, Australia	2009. 6 .24
Predictors of Redo Mitral Valve Replacement due to Outgrowth of the Valve in Children	心臓血管外科	T Inoue, Y Oshima, A Maruo, C Shimazu, T Higuma	5	World Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery	Cairns, Australia	2009. 6 .21-26
総肺静脈還流異常症の工夫 無脾症候群、単心室、下心臓型総肺静脈還流異常症を伴った低出生体重児に対する primary sutureless 法の1例	心臓血管外科	大嶋義博	9	小児心臓手術手技研究会	神戸	2009. 7 .15
術式別にみた Fontan 術後遠隔期における問題	心臓血管外科	大嶋義博、吉田昌弘、團尾文子、島津親志、日隈智憲、井上 武、高橋宏明、田中敏克、城戸佐知子、山口真弘	45	日本小児循環器学会総会	神戸	2009. 7 .16
重症小児心疾患に対する補助循環の検討	心臓血管外科	井上 武、大嶋義博、團尾文子、島津親志、日隈智憲	45	日本小児循環器学会	神戸	2009. 7 .15-16
0.1mm PTFE シート製 2 弁付きパッチによる右室流出路再建	心臓血管外科	松久弘典、大嶋義博、團尾文子、島津親志、井上 武、高橋宏明、門脇 輔	62	日本胸部外科学会定期学術集会	横浜	2009.10.13
自己心膜パッチを用いた小児僧帽弁形成術の中期遠隔成績	心臓血管外科	大嶋義博、團尾文子、島津親志、井上 武、高橋宏明、山口真弘	62	日本胸部外科学会定期学術集会	横浜	2009.10.14

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
肺動脈弁閉鎖不全、狭窄に対する肺動脈弁置換の適応基準	心臓血管外科	井上 武、大嶋義博、 圓尾文子、島津親志、 高橋宏明、門脇 輔、 山口眞弘	62	日本胸部外科学会 定期学術集会	横浜	2009.10.11-14
両側肺動脈絞扼後の臨床経過の検討	心臓血管外科	河村朱美、大嶋義博、 圓尾文子、島津親志、 高橋宏明、門脇 輔	62	日本胸部外科学会 定期学術集会	横浜	2009.10.11-14
最近経験した Yasui 手術の 2 例-VSD 形態による治療戦略の見直し-	心臓血管外科	圓尾文子	48	神戸心臓外科研究会	神戸	2009.11.4
大動脈弁閉鎖不全症を合併した肺動脈閉鎖-心室中隔欠損症に対し、Rastelli 手術・Aortic sinus plication を施行した一例	心臓血管外科	門脇 輔、大嶋義博、 圓尾文子、島津親志、 井上 武、高橋宏明	17	小児循環器カンファ レンス	京都	2009.11.28
もっと知りたい心臓手術 右室流出路の再建	心臓血管外科	大嶋義博		神戸市難病医療相 談会	神戸	2009.6.28
重症新生児仮死の急性期における体温管理基準の検討	N I C U	伊達尚美、深田美重子、 菟野朱美	平成21年度	周産期事例検討会	神戸	2009年3月14日
アルミ蒸着ポリエチレン断熱シートによる超早产児の出生時低体温の予防-手術室からNICUへの搬送による体温喪失リスクに着目して	N I C U	伊達尚美、藤原真弓、 竹井朋子、菟野朱美	第19回	日本新生児看護学 会	横浜	2009年 11月19~20日
気管分泌液と初回保菌の関連性の検討 - 気管分泌量のスコアシートを活用して	N I C U	松本京子、井谷洋美、 伊達尚美、菟野朱美	第19回	日本新生児看護学 会	横浜	2009年 11月19~20日
子どもに合わせた安全な酸素離脱への取り組み	ICU	林瑠美子	第19回	日本新生児看護学 会	横浜	2009年11月29日
血管内留置針の圧迫による褥瘡発生予防への取り組み ~マイクロフォームの使用~	ICU	田路久美子	第23回	日本小児ストーマ 排泄管理研究会	旭川市	2009年4月25日
小児 ICU における用手換気教育プログラム導入による効果	ICU	永野愛弓	第19回	日本小児看護学会	札幌市	2009年 7月18~19日
胸部心臓脱乳の行動制限緩和への看護実践	循環器 A 病棟	林 京子、東谷 直子	第19回	日本小児看護学会	札幌市	2009年 7月18~19日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
看護体制の変更後の1年間の取り組み～人工呼吸器装着患者増床と学習支援の充実にむけて～	混合A病棟	上田美鈴	平成21年度	県立病院学会	神戸市	2009年8月29日
学童期の入院患児に対する学習継続への援助	混合A病棟	伊藤宏美	平成21年度	近畿地区看護研究会	奈良県奈良市	2009年12月9日
致死性骨異形成症をもつ幼児の家族への看護・出生時からの家族への看護援助を振り返って。	混合B	藤原亜希子	第7回	兵庫県立病院学会	神戸市	2009年8月29日
腎生検を受ける患児へのブレパレション	混合B	栗林佑季	第31回	日本小児腎不全学会	新潟県	2009年10月8～9日
先天性心疾患を有する乳児の交感神経亢進症状への看護介入	混合B	二星淳吾	第45回	日本小児循環器学会	神戸市	2009年7月15～18日
二分脊椎症患者の排便管理	看護部	鎌田直子	H21年度	二分脊椎症協会兵庫県支部医療勉強会	神戸市	2009年4月12日
間欠的自己導尿の実際	看護部	鎌田直子	第15回	日本小児ストーマ・排泄管理セミナー	旭川市	2009年4月24日
血管内留置針の圧迫による褥瘡発生予防への取り組み～マイクログフォームの使用～	看護部	田路久美子、鎌田直子	第23回	日本小児ストーマ・排泄管理研究会	旭川市	2009年4月25日
当院における糖尿病患者の足の実態調査	看護部	鎌田直子	第23回	日本小児ストーマ・排泄管理研究会	旭川市	2009年4月25日
皮膚・排泄ケア概論 対象論小児	看護部	鎌田直子	H21年度	兵庫県看護協会皮膚排泄ケア認定看護師研修	神戸市	2009年6月3日
ストーマケア各論 小児ストーマケア	看護部	鎌田直子	H21年度	兵庫県看護協会皮膚排泄ケア認定看護師研修	神戸市	2009年6月12日
創傷ケア各論 低出生体重児の皮膚ケア	看護部	鎌田直子	H21年度	兵庫県看護協会皮膚排泄ケア認定看護師研修	神戸市	2009年6月12日
小児ストーマケア	看護部	鎌田直子	H21年度	白鳳短期大学皮膚排泄ケア認定看護師研修	奈良県王寺町	2009年6月26日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
失禁ケア各論 小児の失禁ケア	看護部	鎌田直子	H21年度	兵庫県看護協会皮膚排泄ケア認定看護師研修	神戸市	2009年7月15日
二分脊椎排泄勉強会	看護部	鎌田直子	H21年度	二分脊椎症患者会フウランの会	姫路市	2009年8月22日
小児ストーマケア	看護部	鎌田直子	H21年度	関西ストーマケア講習会	西宮市	2009年8月23日
当院排泄外来における逆行性洗腸療法	看護部	鎌田直子	H21年度	近畿小児ストーマ・排泄・創傷研究会	大阪市	2009年12月12日
超低出生体重児のストーマケア	看護部	山本陽子、鎌田直子	H21年度	近畿小児ストーマ・排泄・創傷研究会	大阪市	2009年12月12日
小児ストーマケア	看護部	鎌田直子	H21年度	北越ストーマケア講習会	富山市	2009年3月27日
「子どもの頑張る力を引き出す関わり」	救急医療センター	清水称喜	H21年度	北海道小児外来勉強会	札幌市	2009年5月19日
「第一報 当センターにおける家族への危機介入・家族への継続的な危機介入を目指した取り組み-」	救急医療センター	森本佳代	第23回	日本小児救急医学学会学術集会	熊本県	2009年6月19日
「第二報 当センターにおける家族への危機介入・子どもの死を目指した母親の予期悲嘆へのサポート」	救急医療センター	浅井桃子	第23回	日本小児救急医学学会学術集会	熊本県	2009年6月20日
「第一報 当センターにおける家族への危機介入・家族への継続的な危機介入を目指した取り組み-」	救急医療センター	森本佳代	H21年度	兵庫県病院学会	神戸市	2009年8月29日
「第二報 当センターにおける家族への危機介入・子どもの死を目指した母親の予期悲嘆へのサポート」	救急医療センター	浅井桃子	H21年度	兵庫県病院学会	神戸市	2009年8月29日
クリティカルケア看護各領域における専門性について	救急医療センター	清水称喜	第5回	日本クリティカルケア看護学会学術集会	大阪市	2009年7月11日
「救急外来における発達に応じたコミュニケーション技術」「小児の熱傷の看護」	救急医療センター	清水称喜	H21年度	日本看護協会看護研修学校講義	清瀬市（東京）	2009年8月2日
「小児救急看護」	救急医療センター	清水称喜	H21年度	大阪看護協会救急看護認定学課	大阪市	2009年9月9日
「小児プレバレーション」	救急医療センター	清水称喜	H21年度	徳島県看護協会	徳島県	2009年10月30日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
「ブレバレーションは時間がなくてもできるのか？」	救急医療センター	清水称喜	H21年度	大阪母子保健総合医療センター	大阪府	2009年11月10日
「小児救急看護・子どもの頑張る力を引き出す関わり」	救急医療センター	清水称喜	H21年度	島根県看護協会	島根県	2009年12月14日
危機的状況における母体の看護	産科	岸野早希	平成21年度	兵庫県周産期医療研修会	神戸市	2009年12月19日
パライアの母に養育されている男児のブレセラピー	指導相談・地域医療連携部	藤井美有	20年度	神戸臨床心理士勉強会	神戸市	2009年1月10日
感応性精神病疑いの母子の検討	指導相談・地域医療連携部	藤井美有	20年度	こども思春期勉強会	神戸市	2009年1月21日
こども病院での心理臨床	指導相談・地域医療連携部	藤井美有	20年度第2回	兵庫県臨床心理士会 医療保健領域専門研修会	神戸市	2009年3月29日
発達障害について	指導相談・地域医療連携部	宅見晃子	21年度第3回	三木ハートケア研究会	三木市	2009年9月17日
心臓外科手術後の乳児における経時的栄養評価	栄養指導課 (武庫川女子大学大学院)	谷口章子、川脇 恵、脇田真季、松岡美緒、三橋祥子、桑原彰子、滝川沙也加、雨海照祥	第12回	日本病態栄養学会 年次学術集会	京都市	21. 1. 10~1. 11
高濃度人工乳による先天性心疾患乳児への栄養サポートの安全性と効果 の判定	栄養指導課 (武庫川女子大学大学院)	谷口章子、松岡美緒、雨海照祥	第46回	日本外科学会 年次学術集会	東京都	21. 7. 9~7. 10
アウトカム判定ツールとしての小児PNIの意義・心臓手術を受けた乳児の検討から	栄養指導課 (武庫川女子大学大学院)	谷口章子、松岡美緒、雨海照祥	第46回	日本外科学会 年次学術集会	東京都	21. 7. 9~7. 10
31st ESPEN Congress (The European Society for clinical Nutrition and Metabolism)	EFFECT OF HIGH DENSITY FORMULA ON GROWTH AND SAFETY IN CONGENITAL HEART DISEASE INFANTS	A Taniguchi, T amagai . C Toda. Y Nakai. Y Miyamoto	第31回	ヨーロッパ臨床栄養学協会	オーストリア・ウィーン	21. 8. 29~9. 1
31st ESPEN Congress	NUTRITIONAL INDEX AS CLINICAL OUTCOME INDICATOR IN CHILDHOOD - INFANTS WITH	A Taniguchi. M Matsuoka.T amagai .	第31回	ヨーロッパ臨床栄養学協会	オーストリア・ウィーン	21. 8. 29~9. 1

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
31st ESPEN Congress	NUTRITIONAL INTERVENTION BY SCREENING HAS A BETTER CLINICAL OUTCOME THAN BY CONSULTATION - FROM CLINICAL EXPERIENCE OF CHILDREN'S	M Wakita, A Taniguchi, T amagai	第31回	ヨーロッパ臨床栄養代謝学会学術集会	オーストリ ア・ウィー ン	21. 8. 29~9. 1

学 術 活 動

診 療 統 計

1. 外来患者数

(1) 年齢別・診療科別患者数

平成21年1月～12月分

診療科	区 分		乳 児		幼 児		学 童		思春期	その他	新規患者		再診患者		
	未熟児	新生児	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			患者数	科別構成比(%)	患者数	科別構成比(%)	
小 児 科	総合診療科	0	9	53	51	86	63	43	52	32	11	400	4.1	1,712	2.2
	新生児内科	345	341	34	1	2	1	1	0	0	0	725	7.4	3,474	4.4
	脳神経内科	0	0	20	18	39	40	33	29	17	5	201	2.1	2,282	2.9
	循環器内科	1	72	165	41	68	92	52	25	38	13	567	5.8	7,036	9.0
	腎臓内科	0	2	12	10	15	50	30	27	52	12	210	2.2	2,485	3.2
	代謝内分泌科	0	10	23	6	29	33	29	26	20	18	194	2.0	4,483	5.7
	血液内科	0	1	12	6	18	13	11	9	8	20	98	1.0	3,499	4.5
	卒 煙	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0	0.0
	発達行動	0	0	0	1	4	21	12	7	0	1	46	0.5	149	0.2
	救急科	0	28	112	128	316	254	196	134	83	45	1,296	13.3	1,214	1.5
アレルギー内科	0	0	16	30	38	34	15	13	8	1	155	1.6	2,543	3.2	
小 計	346	463	447	292	615	601	422	322	259	126	3,893	39.9	28,877	36.8	
外 科	一般外科	0	16	145	84	193	181	111	46	32	12	820	8.4	5,546	7.1
	心臓血管外科	0	1	4	0	5	1	0	1	1	1	14	0.1	1,462	1.9
	脳神経外科	0	15	101	37	60	37	34	25	12	4	325	3.3	3,555	4.5
	形成外科	0	33	220	78	107	80	48	18	11	7	602	6.2	3,841	4.9
	整形外科	0	35	198	67	180	137	100	78	64	3	862	8.8	4,584	5.9
小 計	0	100	668	266	545	436	293	168	120	27	2,623	26.9	18,988	24.3	
そ の 他	眼 科	0	10	62	68	135	220	135	52	16	6	704	7.2	9,478	12.1
	精神科	0	0	0	0	8	34	39	40	34	17	172	1.8	3,161	4.0
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	0	15	179	114	211	174	115	96	19	12	935	9.6	5,275	6.7
	耳鼻咽喉科	0	9	80	38	81	176	114	41	8	2	549	5.6	4,468	5.7
	産 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	719	719	7.4	3,882	5.0
	放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	10	0.0
	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	978	1.2
小 計	0	34	321	220	435	604	403	229	77	756	3,079	31.6	27,252	34.8	
歯 科	0	5	4	8	31	47	38	14	2	4	153	1.6	3,216	4.1	
合計患者数	346	602	1,440	786	1,626	1,688	1,156	733	458	913	9,748	100.0	78,333	100.0	
区分別構成比	3.5	6.2	14.8	8.1	16.7	17.3	11.9	7.5	4.7	9.4	100.0				

(2) 地域別新規患者数

区 分	患者数	構成比(%)
神 戸 市	5,236	53.7
阪 神 南	638	39.4
阪 神 北	458	
東 播 磨	1,252	
北 播 磨	471	
中 播 磨	321	
西 播 磨	147	
但 馬	156	
丹 波	147	
淡 路	246	
近 畿	344	
県 外 他	332	
合 計	9,748	100.0

(3) 費用別新規患者数

区 分	件 数	割合 (%)
保 険	2,558	26.2
諸 法	656	6.7
自 費	531	5.4
そ の 他	6,003	61.6
合 計	9,748	100.0

(注) 保険と公費併用の場合、各々公費欄に計上した。

2. 退院患者数 (21年1月～12月)

(1) 診療科別退院患者

区分	退院総数		在院日数		転				帰			解		剖		
	男	女	計	延	平均	治療	軽快	不変	事故	死	48時間	その他	精率%		粗率%	体数
総合診療科	325	245	570	4,045	7.1		551	8		3	8	1.4	1.9			
新生児科	430	336	766	21,092	27.5		747	2		5	10	1.3	2.0	(1)	6.7	
脳神経内科	37	60	97	1,760	18.1		96	1								
循環器科	166	132	298	4,561	15.3		252	38			8	2.7	2.7	(1)	12.5	
腎臓内科	58	46	104	1,543	14.8		101	3								
代謝内分科	29	20	49	492	10.0		49									
血液腫瘍科	369	229	598	10,437	17.5		560	29			7	1.2	1.2			
アレルギー内科	31	24	55	619	11.3		54	1								
遺伝内科			0		0.0											
(内科小計)	(1,445)	(1,092)	(2,537)	(44,549)	17.6	(0)	(2,410)	(82)	(0)	(8)	(33)	1.3	1.6	(2)	4.9	
一般外科	339	290	629	7,665	12.2		579	48								
心臓血管外科	57	76	133	3,250	24.4		130									
脳神経外科	131	99	230	3,448	15.0		217	12			5	2.2	2.2			
形成外科	141	118	259	2,244	8.7		259				1	0.4	0.4			
眼科	212	220	432	1,942	4.5		425	3								
整形外科	126	115	241	3,198	13.3		235	6								
泌尿器科	225	54	279	1,542	5.5		273	6								
耳鼻咽喉科	53	37	90	742	8.2		89	1								
皮膚科			0		0.0											
精神神経科			0		0.0											
歯科			0		0.0											
産科		646	646	11,382	17.6		452	192								
合計	2,729	2,747	5,476	79,982	14.6	0	5,069	350	0	8	39	0.7	0.9	(2)	4.3	

(死亡退院で剖検2人)

(胎内死亡で剖検7人)

(2) 地域別退院診療録数

地域	患者数	%
東灘	214	3.9
東灘	115	2.1
中央	111	2.0
北	250	4.6
兵庫	86	1.6
長田	132	2.4
須磨	436	8.0
垂水	565	10.3
西	575	10.5
(小計)	2,484	45.4
阪神南	387	7.1
阪神北	255	4.7
東播磨	786	14.4
北播磨	270	4.9
中播磨	261	4.8
西播磨	108	2.0
但馬	166	3.0
丹波	95	1.7
淡路	156	2.8
(小計)	2,484	45.4
大阪	134	2.4
他近畿	108	2.0
県外	266	4.9
(小計)	508	9.2
合計	5,476	100.0

3. 死亡病名一覧 (21年1月～12月まで)

病名	新患計	未熟児	新生児	乳児		幼児		学童		思春期	その他
				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
血球貧食症候群	1			1							
肺高血圧、18トリソミー	1			1							
致死性不整脈、全前脳胞症	1					1					
肺低形成、腎無形成	1	1									
早産児、致死性不整脈	4	3	1								
早産児、呼吸不全	1	1									
総動脈幹遺残症	1		1								
心不全、脳性マヒ	1								1		
致死性不整脈、敗血症	1					1					
脳室内出血、肺高血圧症	1	1									
不完全型房室中隔欠損症	1			1							
慢性肺疾患	1			1							
肺低形成症、骨形成不全	1	1									
緑膿菌性敗血症、超早産児	1	1									
網膜芽細胞腫	1					1					
肺化膿症、緑膿菌性肺炎	1		1								
致死性不整脈、急性腎不全	1					1					
肺動脈狭窄	1										1
脳腫瘍	3					1			2		
左心低形成症候群	2			1			1				
致死性不整脈、急性心筋炎	1					1					
脳出血、単心房、単心室	1			1							
ピアソン病、敗血症	1						1				
致死性不整脈、心不全	1			1							
心内膜床欠損、左室流出路狭窄	1										1
大動脈弓離断症	1					1					
左副腎神経細胞腫	1					1					
インフルエンザ脳症	1							1			
多臓器不全	1										1
肝芽腫	1					1					
肺出血、肺動脈閉鎖	1						1				
呼吸不全、肺低形成	1	1									
急性硬膜下血腫	1						1				
急性呼吸不全、細菌性肺炎	1					1					
急性リンパ性白血病	1					1					
来院時心肺停止	2			1		1					
単心房症	1		1								
悪性縦隔腫瘍	1				1						
神経膠芽腫	1					1					
単心室、単心房、無脾症候群	1									1	
	0										
	0										
	0										
	0										
合計	47	9	4	8	1	13	4	1	3	1	3

4. 総合診療科

総合診療科は専門各科における診療になじまない紹介患者への対応、院内各科からの相談、セカンドオピニオンの相談に応じることなどを行っている。発達障害や感染症を中心とした、よくある病気の応用編というような様々な問題を抱えた症例が数多く紹介されてくる。

担当スタッフは2名になっている。また、研修医や専攻医の研修の受け皿となり、研修計画の立案や実際の研修を担当し、コーディネートすることも重要な役割である。

入院患者は小児救急医療センターからの転科症例を主に担当している。多くが基礎疾患を持った児の合併症、特に感染症である。

今後は総合診療科として独自のアイデンティティーをもって診療に当たれるようになることを目指したいと考えている。

外来担当スタッフ：上谷良行、福原信一、宅見晃子、山崎武美（阪神北広域こども急病センター）、
笠井和子、神田杏子、中岸保夫、尾崎佳代

小児救急医療センター開設後は救急センター退院患者のフォローを午後の総合診療科外来で実施し、主として専攻医が担当している。

5. 救急集中治療科

1. 診療活動

平成19年10月1日より開設した小児救急医療センターも2年が経過し、少しずつ運営も軌道に乗ってきた。平成14年10月に県下における小児3次救急の拠点として救急医療室が設置されて以来当院では小児救急医療特に三次救急医療に特化して取り組んでいる。

平成21年5月に神戸で新型インフルエンザの患者が発生して以来、インフルエンザへの対応で右往左往した一年であったが、幸いこの救急医療センターが本館と分離しており、感染用の陰圧室も整備していたために、救急センターを防波堤として本館へはインフルエンザ患者を入れない方針で対処し、大きな混乱なく経過することができた。感染対応のための患者入口も別に備えていたことも大きな利点であった。何よりもよかったのは一般の患者に当院はインフルエンザから守るべき病院であり、自由に受診できるものではないことが周知されていて、初診で直接受診される方がほとんどなかった点である。もちろん重症のインフルエンザ肺炎や脳症といった患者は積極的に受け入れた。

本年は救急医の取扱患者数が年間2545人で昨年より40人程度増加している。最重症に分類したいわゆる救命救急に相当する患者数は昨年の175件から226件と大幅に増加している。事故による件数はほぼ変化がないが、疾病による入院が大幅に増加している。これは地域における二次病院からの紹介がほとんどであり、本来の機能を果たしていると考えられる。

最近では頭部外傷で紹介されるケースが常に年間250例程度あるが、本年は腫瘍性疾患が71例と昨年度の1.5倍に増加している。いかに緊急度の高い腫瘍性疾患が多いかを如実に表している。

小児救急医療センターが小児三次救急医療を着実に実施できるためには、これまで以上に院内各科、各部署の協力と連携が必要である。今後とも一段階飛躍した救急医療を提供できるように努力したい。

2. スタッフ

救急集中治療科：上谷良行、長谷川大一郎、尾崎佳代、丸山あずさ、福原信一、山口善道、
中岸保夫、佐治洋介、神田杏子、奥野美佐子

兼任：三好麻里（部長・免疫アレルギー科）、田中亮二郎（腎臓内科）、永瀬裕朗（脳神経内科）

川崎圭一郎（血液腫瘍科）、竹田洋樹（血液腫瘍科）、笠井和子（免疫アレルギー科）

フェロー：尾迫貴章（平成21年4月～9月30日）

専攻医：藤田杏子（平成21年1月～3月）

青木一憲（平成21年1月）

制野勇介（平成21年4月～6月）

中川 拓（平成21年1月～）

山下達也（平成21年7月～9月）

田中 聡（平成21年10月～12月）

澤野英樹（平成21年7月～9月）

初期研修医：

大森翔子	県立尼崎病院	9月～11月	救急集中治療科
青木大地	県立塚口病院	4月～6月	救急集中治療科
趙有季	県立塚口病院	7月～9月	救急集中治療科
心石裕子	県立淡路病院	9月～12月	救急集中治療科、選択科目ローテート
伊富貴雄太	県立がんセンター	1月	救急集中治療科
田尻晋也	県立がんセンター	5月～7月	救急集中治療科
上羽由希子	県立西宮病院	1月～3月	救急集中治療科
白川裕	県立加古川病院	1月～3月	救急集中治療科、血液腫瘍科
森上聡子	姫路循環器病センター	6月～8月	救急集中治療科
石田潤	神戸百年記念病院	12月	救急集中治療科
吉原正宣	神戸百年記念病院	5月	救急集中治療科
中川夏季	神戸百年記念病院	7月	救急集中治療科
宇佐美綾	神戸赤十字病院	3月	救急集中治療科
田中潤	神戸赤十字病院	7月	救急集中治療科
長澤智	神戸赤十字病院	8月	救急集中治療科
時政雄平	神戸赤十字病院	5月	救急集中治療科
大橋秀基	神戸赤十字病院	9月	救急集中治療科
藤本陽介	神戸赤十字病院	11月	救急集中治療科

小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科など外科系各科は on call で back up 体制をとっている。

兵庫県立こども病院 小児救急医療センター 統計 2009年1月～12月
 【1】 救急医療センター 来院患者 全体統計

2009年	外来のみ						本館入院						救急センター入院						小計						合計			
	時間内			時間外			時間内			時間外			時間内			時間外			時間内			時間外						
	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診				
救急集中治療科Dr 外来診察	147	397	255	749	8	45	14	76	(7)	(40)	(10)	(52)	121	184	247	248	37	17	276	663	516	1090	2545					
小計	544	1004	53	90	305	495	54	939	1606	763																		
小児外科	0	13	1	38	2	11	0	6	2							11	0	6	2	24	1	44	71	3308				
脳外科	1	12	0	7	3	11	0	1	3	11	0	1	4	23	0	8	35	763										
泌尿器科	1	4	2	24	0	4	0	2	0	4	0	2	1	8	2	26	37							763				
形成外科	1	11	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	1	18	31	763										
その他	0	12	3	15	1	3	1	2	1	3	1	2	1	15	4	17	37							763				
心外・循環器科	4	34	1	14	4	11	2	5	4	11	2	5	8	45	3	19	75	763										
新生児科	0	87	0	210	0	44	0	73	0	44	0	73	0	131	0	283	414							763				
他の内科系	1	13	1	29	1	16	0	2	1	16	0	2	2	29	1	31	63	763										
小計	8	186	9	355	11	100	3	91	11	100	3	91	19	286	12	446	763											
中計	194	364	111	94	146	405	763																					
合計	341	397	619	749	119	45							108	76	121	184	247	248	37	17	1244	2064	3308	763				
合計	2454												854						2064									

【2】 救急集中治療科 統計

1) 全体

2009年	来院患者							転棟	電話相談	計
	外来				入院					
	死亡	帰宅			他科入院	救急科入院				
		観察処置 後帰宅	院内他科 外来紹介	診察のみ		本館病棟				
				救急科 以外	救急集 中科					
初診	5	242	18	139	17	5	378	0	971	3495
再診	3	714	32	386	92	29	416	48		
小計	3	956	50	525	109	34	794	48		
		1640				828				
	1531				143		842		971	
	1682						842			
	1648					876				
計	2524							971		

2) 来院患者重症度別

重症度

	計	%
来院患者 最重症*	226	9.0
重症**	624	24.7
外来***	1674	66.3
計	2524	100

事故・疾病別 重症度

	事故	%	疾病	%	計	%
来院患者 最重症*	37	16.4	189	83.6	226	100
重症**	114	18.3	510	81.7	624	100
外来***	284	17.0	1390	83.0	1674	100
計	435	17.2	2089	82.8	2524	100

*最重症：救急センター入院最重症 + 外来死亡

**重症：【救急集中治療科入院患者（救急センター入院 + 本館入院救急科）】 - 【最重症 - 外来死亡】

***外来：外来帰宅 + 本館救急科以外入院

3) 連絡方法別

2009年	外来						救急科入院				電話相談のみ*	合計
	死亡		帰宅		他科入院		最重症		重症			
	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診		
患者から	0	1	139	892	4	72	0	38	17	215	1576	2954
小計	1		1031		76		38		232			
医療機関	1	1	91	62	13	8	83	31	199	84	88	661
小計	2		153		21		114		283			
救急隊	4	1	98	74	3	3	14	4	52	44	56	353
小計	5		172		6		18		96			
直接来院	0	0	68	61	0	1	0	0	1	2	0	133
小計	0		129		1		0		3			
院内外来	0	0	2	44	0	5	1	5	3	26	0	86
小計	0		46		5		6		29			
院内転棟**	0	0	0	0	0	0	0	42	0	15	0	57
小計	0		0		0		42		15			
中計	5	3	398	1133	20	89	98	120	272	386	1720	4244
合計	8		1531		109		218		658			
合計	2524											

*医師から・救急隊から 電話相談のみ；満床のため依頼を断った件数をふくむ

**院内他病棟から転棟 入院患者が重症化し該当病棟での管理が困難となり救急センターに転棟となった件数

4) 来院方法別

		小計	計	%	
来院患者	自家用車・タクシー・徒歩	1843	1843	73.0	
	救急車	公共	610	615	24.4
		当院	0		
		災害医療	4		
		中央市民	1		
		その他	0		
	ヘリ	7	7	0.3	
	転棟	59	59	2.3	
	計	2524		100	

ヘリでの搬送例

公立豊岡病院 2ヶ月 小脳腫瘍
 Drヘリ(加古川市) 9歳 多発交通外傷
 Drヘリ(中央区) 6歳 多発交通外傷
 Drヘリ(多可郡) 5歳 多発交通外傷
 公立豊岡病院 1歳 心外膜炎
 島根大学病院 0ヶ月 小脳腫瘍
 公立豊岡病院 13歳 心室細動

5) 特記すべき疾患

1. 頭部打撲 238名
(経過観察 192名、頭蓋骨骨折25名、頭蓋内出血19名 裂傷7名)
2. 被虐待児疑い 18名
(頭蓋内出血4名 頭蓋骨骨折7名 頭部打撲4名 四肢骨骨折3名)
3. 交通外傷 36名 (うち多発外傷 17名)
4. 熱傷 23名 (うち入院8名)
5. 腫瘍性疾患救急センター入院例 71名
(血液腫瘍31名、腹部腫瘍 10名、脳腫瘍 17名、頸部腫瘍4名 敗血症6名 縦隔腫瘍7名)

6) 外科系緊急協力科(含重複)

小児外科	172	泌尿器科	22
脳外科	140	放射線科	25
麻酔科	23	耳鼻科	19
形成外科	54	眼科	9
整形外科	44	精神科・指導相談	5
心外循環器	34	歯科	3

7) 最重症例 226名の内訳 (含重複)

死亡例 17名

	病態	基礎疾患他	初再診	連絡方法	治療内容	最終転帰	来院時間帯	医療圏
1	来院時心肺停止	グレン術後	再診	患者から	心肺蘇生	外来死亡	休日出勤	淡路
2	来院時心肺停止	なし	再診	医療機関	心肺蘇生	死亡	平日日勤	神戸
3	来院時心肺停止		初診	救急隊	心肺蘇生	死亡	休日日勤	東播
4	来院時心肺停止	なし	初診	救急隊	心肺蘇生	死亡	平日深夜	東播
5	来院時心肺停止	なし	再診	救急隊	心肺蘇生	死亡	平日準夜	神戸
6	来院時心肺停止	なし	初診	救急隊	心肺蘇生	死亡	平日日勤	神戸
7	肝不全	血球貪食リンパ組織球症	初診	医療機関	人工呼吸療法 血液浄化療法	死亡	平日日勤	西播
8	来院時心肺停止	脳性麻痺	再診	救急隊	人工呼吸療法 脳平温療法	死亡	休日日勤	神戸
9	敗血症	脳腫瘍	再診	院内転棟	人工呼吸療法 HFO	死亡	休日準夜	県外
10	敗血症	フォンタン術後	再診	院内転棟	人工呼吸療法 HFO ECMO NO吸入療法	死亡	休日日勤	神戸
11	敗血症	ミトコンドリア異常	再診	医療機関	血液浄化療法	死亡	平日日勤	淡路
12	急性脳症	インフルエンザ A	再診	医療機関	人工呼吸療法	死亡	休日準夜	阪神
13	多臓器不全	急性脳症	再診	患者から	人工呼吸療法	死亡	平日深夜	神戸
14	頭蓋内出血	頭部打撲	初診	医療機関	人工呼吸療法 緊急手術 脳常温療法	死亡	平日準夜	阪神
15	来院時心肺停止	なし	初診	救急隊	心肺蘇生	死亡	休日深夜	神戸
16	来院時心肺停止	なし	初診	災害 Dr car	心肺蘇生	死亡	平日日勤	阪神
17	誤嚥性肺炎	脳性麻痺	初診	院内転棟	人工呼吸療法 待機手術	死亡	休日日勤	但馬

脳低・平温療法 14名

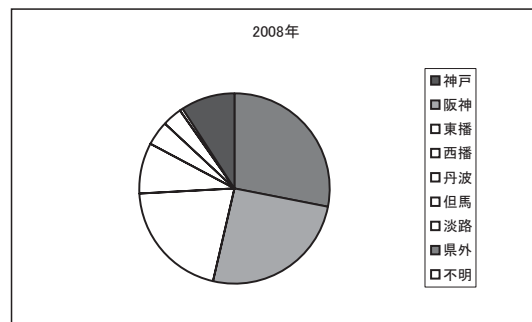
	病態	基礎疾患他	初再診	連絡方法	治療内容	最終転帰	来院時間帯	医療圏
1	痙攣重積		初診	救急隊	人工呼吸療法 脳平温療法	入院中	平日準夜	神戸
2	来院時心肺停止	脳性麻痺	再診	救急隊	人工呼吸療法 脳平温療法	死亡	休日日勤	神戸
3	急性脳症		初診	救急隊	人工呼吸療法 脳平温療法	入院中	平日準夜	神戸
4	急性脳症	インフルエンザ B	初診	医療機関	人工呼吸療法 脳平温療法	入院中	平日準夜	神戸
5	来院時心肺停止	溺水	再診	救急隊	心肺蘇生 人工呼吸療法 脳低温療法	入院中	休日準夜	神戸
6	頭蓋内出血・脳挫傷	交通外傷	初診	医療機関	人工呼吸療法 緊急手術 脳低温療法	入院中	平日準夜	東播
7	頭蓋内出血・脳挫傷	多発交通外傷	初診	救急隊	人工呼吸療法 緊急手術 脳低温療法	入院中	平日準夜	東播
8	急性脳炎	ムンプス	再診	医療機関	人工呼吸療法 脳平温療法	入院中	平日日勤	神戸
9	急性脳症	インフルエンザ A	初診	医療機関	人工呼吸療法 脳平温療法	軽快退院	休日準夜	神戸
10	急性脳症	インフルエンザ A	再診	患者から	人工呼吸療法 脳平温療法	軽快退院	平日準夜	神戸
11	頭蓋内出血	頭部打撲	初診	医療機関	人工呼吸療法 緊急手術 脳平温療法	死亡	平日準夜	阪神
12	急性脳症	インフルエンザ A	再診	医療機関	人工呼吸療法 脳平温療法	軽快退院	休日準夜	阪神
13	急性脳症	インフルエンザ A	初診	医療機関	人工呼吸療法 脳平温療法	軽快退院	休日日勤	神戸
14	急性脳症	てんかん	再診	患者から	人工呼吸療法 脳平温療法	軽快退院	平日深夜	神戸

血液・腹膜透析 7名

	病態	基礎疾患他	初再診	連絡方法	治療内容	最終転帰	来院時間帯	医療圏
1	肝不全	血球貪食リンパ組織球症	初診	医療機関	人工呼吸療法 血液浄化療法	死亡	平日日勤	西播
2	頭蓋内出血	急性白血病	初診	医療機関	人工呼吸療法 交換輸血	入院中	平日準夜	東播
3	肺炎	慢性腎不全	再診	患者から	人工呼吸療法 腹膜遺流	入院中	休日準夜	神戸
4	肺炎	慢性腎不全	再診	院内転棟	人工呼吸療法 腹膜遺流	入院中	休日日勤	神戸
5	ネフローゼ症候群		再診	院内転棟	血液浄化法	入院中	平日日勤	神戸
6	敗血症	ミトコンドリア異常	再診	医療機関	血液浄化療法	死亡	平日日勤	淡路
7	マクロファージ活性化症候群	若年性特発性関節炎	再診	院内転棟	人工呼吸療法 血漿交換	入院中	平日日勤	西播

8) 救急センター入院 最重症患者住所

	2009年		2008年		2007年	
	数	%	数	%	数	%
神戸	91	40.3	49	28.0	74	40.4
阪神	41	18.1	45	25.7	36	19.7
東播	48	21.2	36	20.6	41	22.4
西播	10	4.4	15	8.6	17	9.3
丹波	0	0.0	7	4.0	1	0.5
但馬	8	3.5	6	3.4	3	1.6
淡路	11	4.9	1	0.6	3	1.6
県外	17	7.5	16	9.1	8	4.4
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	226	100.0	175	100.0	183	100.0



【3】救急センター外来・入院患者の内訳 2009年1月～12月

外来患者	1690 (死亡8 本館入院142 帰宅1540)
------	---------------------------

入院患者	死亡	9	PICU	273
	最重症	208		
	重症	625	Q病棟	569
	計	842	計	842

6. 代謝内分泌科

代謝内分泌科は小児における大きな特性である成長と成熟にかかわる疾患を主として担当している。疾患としては、低身長症、肥満、糖尿病、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、思春期発来異常、性分化異常などを対象としている。また、当科では新生児マススクリーニング対象疾患である先天代謝異常、クレチン症および先天性副腎過形成も担当している。

近年、分子生物学の分野における技術的な進歩はめざましく、各種疾患における病態も分子レベルで理解されるようになった。当科では、遺伝子工学的手法を駆使して診療にあたることこそが社会的要請に合致することと考え分子生物学的技术の確立に努めている。本年度は、ガラクトース血症における病因遺伝子の解析、および先天性副腎過形成の出生前診断の面で、臨床に直結する成果が得られた。今後も、神戸大学小児科とも協力しながら、分子生物学的手法をもちいた解析、研究を臨床の場に役立てたいと考えている。

代謝内分泌科 2009年度

外来患者（新患）

	患者数
低身長症	65
甲状腺疾患	18
性腺疾患	33
副腎	2
糖代謝異常	8
肥満	8
マススクリーニング	21
クレチン症	8
先天代謝異常症	0
先天性副腎過形成	21
その他	
計	184

入院患者

	患者数
低身長症	14
糖代謝異常	9
性腺疾患	4
甲状腺疾患	7
副腎疾患	5
その他	13
計	52

7. アレルギー科

アレルギー科は部長の三好、医長の中岸、笠井 医員の安部、田中裕也の5人のチームで診療を行った。兵庫県で小児科でのアレルギー学会指導医、リウマチ学会専門医がいる病院は当院のみであり、県の中核施設として機能している。増え続けるアレルギー性疾患のこどもへより良い対応をするため、また治療が日進月歩であるリウマチ性疾患のこどもへより良い対応をするため、さらにそれらの疾患を診療していく専門医を育成するため、さらなる発展を遂げて行きたいと考えている。

【診療活動】

アレルギー科の対象疾患としては、以下のような内容である

- 1) アレルギー疾患；気管支喘息、アトピー 性皮膚炎、食物アレルギー 等
- 2) 膠原病・リウマチ性疾患；若年性特発性関節炎 (JIA)、全身性エリテマトーデス、若年性皮膚筋炎、自己炎症性疾患 等

アトピー性皮膚炎については、ドクターショッピングやアトピービジネス、民間療法などの果てに受診される患者さんも多く、スタンダードな治療の普及に努めた。食物アレルギーの確定診断および unnecessary な食事制限を解除するための食物負荷試験を行っているのも特徴のひとつで、2009年は延べ912名に実施した。気管支喘息については、乳児喘息の早期診断と長期管理薬による発作予防療法、思春期喘息の治療管理に力を尽くした。

膠原病・リウマチ性疾患の患者数も徐々に蓄積され、現在治療中の症例が約200名に達している。JIA に対する生物学的製剤の診療実績も積み重ねられてきており、地域の中心的病院としての役割を果たすよう努力を続けている。

- 1) 外来初診患者数 224
 1. アレルギー疾患 174

気管支喘息	24
アトピー性皮膚炎	47
好酸球性胃腸症	3
食物アレルギー	93
じんましん	5
その他のアレルギー疾患	2

2. リウマチ性疾患 43

若年性特発性関節炎	25
SLE	3
皮膚筋炎	2
その他のリウマチ性疾患	13

3. 予防接種 7

- 2) 入院患者数 62
 1. アレルギー疾患 26

アトピー性皮膚炎	6
気管支喘息	8
胃食道逆流症	3
アナフィラキシー	6
食物負荷試験	2
好酸球性胃腸症	1

2. リウマチ性疾患 36

若年性特発性関節炎	13
皮膚筋炎	8
SLE	8
不明熱	5
その他のリウマチ性疾患	2

8. 脳神経内科

【スタッフ・人事異動】

永瀬 裕朗
丸山 あずさ
藤田 杏子 (フェロー2009.4-)
中川 拓 (専攻医2009.4-)
中島 絵梨花 (専攻医2009.4-6)

本年は藤田杏子が当科でははじめてフェローとして着任した。現在出来る限りの指導を行っている。また丸山が小児神経専門医を取得したことを始め、診療レベルの向上にむけて日々研鑽している。

【診療活動】

診療活動は、脳神経内科外来初診231名・外来延べ総数2456人、発達行動小児科外来初診患者は48人・外来延べ人数195人であった。また入院患者数は1505人であった。

これまで神経内科の診療範囲は、神経疾患・発達障害・心身症であったが、米国の小児医療体制では、発達障害・心身症に関しては、主として発達行動小児科医が診療にあたり、今後日本の小児病院・大学病院でも専門外来が開設されつつある。当科では平成17年7月に発達行動小児科外来を開設したが、初診患者の受診待ちが平均2ヶ月程度となっている。

在宅医療が進む中、神経内科領域でも在宅人工呼吸・在宅酸素・在宅中心静脈栄養などを要する患児が増加しつつある。現在、一般外科にて、在宅外来が行われているが、関係他科とも協力した、専門外来が必要である。

その他小児神経疾患にも、集中治療を要する急性脳炎などの病態から、まれな先天性代謝異常の診断まで幅の広い疾患が含まれる。

一般的な診療は可能であるにしても、小児専門病院としてのより専門的な医療を満たすには外来スペース、人員の不足であり他の小児専門病院と比べても圧倒的に不足している。

また兵庫県では小児神経疾患の中核施設が存在せず、その医師の育成も困難である。当院が小児神経領域に対してどこまでの役割を担うのかというグランドデザインと、それに向けた対策が必要である。

【その他の活動】

学会活動としては米国小児科学会に3年連続採択された。論文の発表も出せるようになり、次第にコンスタントに学術発表が出来る基盤が整ってきている。

神経外来初診患者

けいれん性疾患

てんかん	97
ウエスト症候群	5
熱性けいれん	26
泣き入りひきつけ	4
その他の発作性疾患	7

感染性・炎症性疾患

急性脳炎・脳症	6
ADEM	2
MS	1

発達障害

精神遅滞	10
広汎性発達障害	2

心身症

摂食障害	5
------	---

その他

頭囲拡大	6	白質変性症	2	眼球運動失行	1
神経皮膚症	6	末梢神経症	2	SOTOS症候群	1
脳性麻痺	6	熱せん妄	2	橈骨神経麻痺	1
筋緊張低下	4	視力低下	2	ムコ多糖症	1
小頭症	3	ギランバレー症候群	1	コルネリアデランゲ症候群	1
不随意運動	3	ルピンスタインタイプ症候群	1	B e l l 麻痺	1
チック	2	家族性痙性対麻痺	1	その他	16
多小脳回	2	片麻痺性片頭痛	1		

発達行動小児科外来初診患者

発達障害

広汎性発達障害	14
精神遅滞	12
注意欠陥多動性障害	5
その他の発達障害	7
その他	10

9. 血液腫瘍科

【スタッフ・人事】

部長 小阪 嘉之

医長 川崎圭一郎

医長 長谷川大一郎

医長 竹田 洋樹

専攻医 林 耕平 平成21年4月京都第一赤十字病院へ転出

専攻医 岩谷 壮太 平成21年4月院内より転入

フェロー 奥野 啓介 平成21年7月鳥取大学より転入

*短期（3ヶ月以下）のローテーターは省略

2年間当科で研修して、頑張ってくれた林耕平医師が転出し、代わって岩谷壮太医師が専属の専攻医として赴任した。また7月からは奥野啓介医師が鳥取大学から1年間の予定で研修に来ていただき、スタッフに加わっている。

【診療状況】

入院

ほぼ例年通り多くの悪性腫瘍患者、および難治性血液疾患、さらには免疫不全症患者の診療にあたっている。今年特筆すべきは、表2に示すとおり、造血幹細胞移植を過去最高の20例に施行したことである。これは昨年（平成20年）に造血器悪性腫瘍が例年に比べて多かったことにも起因している。造血幹細胞移植の推進は、現在兵庫県がん医療推進事業の最重点項目にも挙げられており、今後も難治例や適応例については積極的に取り組んでいく予定である。悪性腫瘍の発生にはどうしても波があり、病棟は完全な満床状況で他病棟をお借りする時もあれば、比較的空いていることもある、といった状況であるが、平均的にはほぼ満床に近い状態で、総入院患者数は増加している。

外来

造血器悪性腫瘍患者増加を受けて、外来化学療法（対象の大半が急性リンパ性白血病）患者数が増加している。また患者総数も増加しており、患者さんの待ち時間が長くなることや、いわゆる専用の外来化学療法室がないことによる化学療法患者さんのアメニティ対策が今後重要となってきた。そこで平成21年12月からは外来枠を増設していただき、化学療法専門外来（火曜午後、金曜午前）とその他の一般血液・腫瘍外来（月曜午前・午後、金曜午後）を完全に分離することにより、これらに対応している。

表1 新患一覧

疾患	症例数	備考
急性リンパ性白血病	12	Ph1 3
急性骨髄性白血病	7	
脳腫瘍	12	Mb1 3 LGG 2 HGG2 上衣腫 3 胚細胞腫瘍 2
神経芽細胞腫	4	
非ホジキンリンパ腫	5	
ランゲルハンス細胞組織球症	3	
ウィルムス腫瘍	2	
卵黄嚢腫瘍	2	縦隔 1 精巣 1
横紋筋肉腫	2	
網膜芽細胞腫	2	
肝芽腫	1	
骨肉腫	1	
悪性ラブドイド腫瘍	1	
ユーイング肉腫	1	
軟部組織良性腫瘍	4	
血管腫	3	
成熟奇形腫	3	
リンパ管腫	1	
縦隔腫瘍	1	
直腸腫瘍	1	異所性子宮内膜症
小腸腫瘍	1	
血球貪食リンパ組織球症	2	
EBウイルス関連血球貪食症候群	2	
神経線維腫症	1	
非特異的リンパ節炎	11	
血友病	5	A 4 B 1
特発性血小板減少性紫斑病	4	
鉄欠乏性貧血	4	
遺伝性球形赤血球症	3	
再生不良性貧血	1	
先天性赤芽球ろう	1	
自己免疫性溶血性貧血	1	
出血傾向精査	3	すべて正常
好中球減少症	1	
血小板増多症	1	
免疫不全症疑い	4	
骨髄移植ドナー (候補)	28	
その他	3	
計	144	

表2 造血幹細胞移植一覧

疾患名	年齢/性	病期	移植の種類	転帰	備考
NbI	2/M	1st CR	APBSCT	無病生存	
SAA	11/F		RBMT	無病生存	
ALL	8/M	2nd CR	RBMT	無病生存	
MbI	6/M	1st CR	APBSCT	無病生存	
SAA	9/M		UBMT	無病生存	
ALL	10/M	2nd CR	RBMT	無病生存	
AT/RT	0/M	1st CR	APBSCT	合併症死	敗血症
NbI	1/F	1st CR	APBSCT	腫瘍死	
ALL	10/M	2nd CR	UBMT	腫瘍死	
ALL	9/F	2nd CR	UBMT	無病生存	
T-ALL	4/M	1st CR (寛解導入遅延)	RBMT	無病生存	
ALL	0/M	1st CR	UCBSCT	無病生存	
NbI	10/M	2nd CR	APBSCT	無病生存	
RMS	3/M	1st CR	APBSCT	無病生存	
Ph1-ALL	12/M	1st CR	RBMT	無病生存	
NbI	6/F	1st CR	APBSCT	無病生存	
ALL	12/F	1st CR (寛解導入遅延)	RBMT	無病生存	
PID	2/F		RBMT	無病生存	高IgM症候群
Ph1-ALL	10/F	1st CR	UBMT	無病生存	
B-ALL	5/M	2nd 再発期	UCBSCT	合併症死	HHV6脳炎

NbI: 神経芽細胞腫
 SAA: 重症再生不良性貧血
 MbI: 髄芽腫
 AT/RT; Atypical Teratoid Rhabdoid Tumor RMS: 横紋筋肉腫
 Phi: フィラデルフィア染色体
 PID: 原発性免疫不全症
 APBSCT: 自家末梢血幹細胞移植 RBMT: 血縁間同種骨髄移植
 UBMT: 非血縁間同種骨髄移植 UCBSCT: 臍帯血移植

表3 死亡例一覧 (血液腫瘍科関連分)

年齢/性	疾患名	死因	備考
3/F	神経膠芽腫	腫瘍死	
0/F	腎悪性ラブドイド腫瘍	腫瘍死	
0/F	急性リンパ性白血病	腫瘍死	
2/M	肝芽腫	腫瘍死	
2/F	神経芽腫	腫瘍死	
3/M	網膜芽腫	腫瘍死	
10/M	退行性脳室上衣腫	腫瘍死	
1/F	ピアソン症候群	原病死	
0/M	Atypical Teratoid Rhabdoid Tumor	合併症死 (感染症)	
3/F	ユーイング肉腫	腫瘍死	他院にて死亡
0/F	家族性血球貪食リンパ組織球症	原病死	

10. 循環器科

【スタッフ・人事異動】

城戸佐知子
 田中 敏克
 藤田 秀樹
 齋木 宏文
 富永 健太
 佐藤 有美 (フェロー)
 小川 禎二 (フェロー)

スタッフ5名、フェロー2名、他に専攻医数名。専攻医はほぼ3ヶ月ごとのローテーションで、主に入院患者管理、カテーテル検査の補助などに従事。心疾患患者の扱いに慣れ、心疾患の診断技術として主として心エコーの基礎を習得し、カテーテル検査の結果を読み、診断から手術適応の判断ができることを主たる目的とする。またフェローは1年単位の比較的長期間循環器診療に携わり、できる限りカテーテル検査、心エコー検査を自身の判断でこなせるように指導している。

【診療活動】

- (1) 外来：月曜日から金曜日まで週5日、基本1診。外来総患者数は7036名(再診のみ)、新規外来患者数は539名(うち393名に心疾患・不整脈など経過観察を要する疾患あり)であった。待ち時間短縮のため外来予約枠を設け1日の受診人数をいくらか制限した結果、特に長期休みなどは予約が入らないという問題が出ている。救急医師の協力で感染症や不整脈の初期対応をしてもらうことにより、何とか1診で進めているが、以前に比べて短くなってはいるもののやはり待ち時間は長めである。新患についてはできるだけ早期に受診していただくために、急ぎの症例で連絡を頂いた場合や患者希望により、早めの対応をさせていただいている。カテーテル治療相談外来(木曜午前、担当：田中医師)や成人先天性心疾患外来(月曜午後、経過観察、妊娠・分娩の相談など、担当：城戸)など専門外来を併せて行なっている。
- (2) 入院：1年間の総入院患者数は304名。217名がカテーテル検査・治療目的の入院。新生児・乳児期早期の先天性心疾患の入院は32名。大血管転位が4名、肺動脈狭窄・閉鎖を伴う两大血管右室起始/ファロー四徴症が4名、房室中隔欠損や比較的大きな心室中隔欠損のため早期に心不全を呈したものが7名、大動脈縮窄を伴う心室中隔欠損が2名、単心室型の複雑心奇形が6名、多脾症候群2名、そのほか弁疾患などバリエーションに富んだ疾患の患者を受け入れた。やはり昨年に引き続き胎児心エコーの充実により、母体搬送・院内出生の新生児の心疾患患者が増加しているという傾向があり、新生児科医との協力が欠かせないものとなっている。先天性心疾患以外では、川崎病急性期の冠動脈拡張・瘤が5名、また救急科の併設により不整脈(主に頻拍発作)の初発例の紹介が増加した印象があり、不整脈の入院15名中約半数が初診入院であった。そのほか、術後患者の感染症14名(特に循環器科で入院を要したのもののみ、基本は救急科・総合診療科で入院している)、心不全の管理入院のべ15名(複数回の入院があり)、その他、特に年少児の麻酔下MRIのための入院が10名、急性心筋炎、拡張型心筋症などである。死亡例は気胸やDICを伴った新生児の複雑心奇形2名、術後遠隔期の心不全死2名、総肺静脈還流異常術後の肺静脈閉塞1名、心疾患を伴う18トリソミー1名、ラステリ型手術後の肺出血1名、心内修復術後遠隔期患者の感染性心内膜炎1名。長期経過観察患者の心不全も多く経験するようになっており、先天性心疾患患者の長期管理の重要性を改めて感じさせられる。

- (3) 生理検査：総心電図件数4156件、Master 負荷心電図件数2161件、Holter 心電図件数136件、トレッドミル負荷心電図は70件。Holter やトレッドミル検査の件数が増加傾向である。心エコーは4865件(本年統計はICU や手術室でのエコー件数を除いている)、胎児心エコーは163件 (担当：齋木・佐藤医師、協力病院でも胎児心エコーの協力をしており実際の件数はさらに多い)。そのほか、カテーテル検査室・手術室での経食道心エコーは増加傾向。心エコー検査担当は外来では検査技師・担当医師が分担、入院では全て主治医の手により行なわれている。
- (4) カテーテル検査：総件数217件。2009年は11月から12月にかけてカテーテル検査室のアンギオ装置の入れ替えがあり、検査が施行できない期間があったため、幾分か減少傾向であった。12月末より新しい装置により検査・治療を行なっている。カテーテル治療の件数は79件で増加傾向にあり、2009年から心房中隔欠損に引き続き動脈管開存に対する Amplatzer 閉鎖術も開始した。これにより、比較的径の大きな動脈管に対してもカテーテルによる治療が可能となった。

【その他の活動】

- (1) カンファレンス：月曜日に心臓外科との合同カンファレンス、木曜日にカテーテル検査および心エコー検討会、木曜日朝隔週で抄読会を行い、討議の時間をもっている。
- (2) 学会参加：小児循環器病学会、JPIC 研究会、胎児循環器学会、成人先天性心疾患研究会、HOT 研究会、川崎病研究会などへの参加。

【新規患者内訳】

1. 新患総数589名 (443名に心疾患)	
A 新生児期・乳児期早期 (主に入院患者)	36
大動脈縮窄複合	2
心室中隔欠損・心内膜症欠損	7
大血管転位	4
肺動脈閉鎖・ファロー四徴症	3
両大血管右室起始	1
純型肺動脈閉鎖・重症肺動脈弁狭窄	2
多脾症候群	2
単心室・単心房・総肺静脈還流異常	4
総肺静脈還流異常	1
大動脈弁狭窄	1
僧帽弁狭窄・大動脈弁狭窄	2
大動脈縮窄	2
エプスタイン奇形	1
肺動脈弁欠損	1
動脈管開存・心不全	1
不整脈・心不全	1
心筋症	1
B 乳児期以後 (外来紹介の新生児含む)	
心室中隔欠損	118
心房中隔欠損	79
動脈管開存	19
心内膜床欠損	4
肺動脈弁狭窄	27
大動脈弁狭窄・閉鎖不全	5
ファロー四徴症	6
両大血管右室起始	4
大血管転位	1
部分肺静脈還流異常	1
僧帽弁閉鎖不全	3
大動脈縮窄(軽度)	2
川崎病 (うち入院患者)	16(5)
不整脈(うち入院患者)	40(8)
(機能性心雑音99)	

【カテーテル検査・治療内訳(総数251件)】

2. 心臓カテーテル検査(治療重複あり)	
心室中隔欠損(合併奇形・肺高血圧を伴う)	6
心房中隔欠損	47
心内膜床欠損	7
ファロー四徴症/肺動脈閉鎖・心室中隔欠損	35
両大血管右室起始	14
大血管転位	11
純型肺動脈閉鎖	4
いわゆるフォンタン適応症例	40
肺動脈弁狭窄	9
大動脈弁狭窄	5
大動脈縮窄(合併奇形あり)	2
大動脈弓離断・心室中隔欠損	7
部分肺静脈還流異常	2
総動脈幹症	1
動脈管開存	5
大動脈弁閉鎖不全	1
僧帽弁閉鎖不全	3
腎血管性肺高血圧	3
川崎病	9
心筋症	2
その他	5
3. カテーテル治療	79
弁形成 (大動脈弁・肺動脈弁) (うち PA/IVS に対する弁形成 1)	8
血管形成	34
fenestration に対するバルーン拡大術	1
肺動脈に対するステント留置術	1
コイル塞栓術(動脈管開存)	2
コイル塞栓術(側副血管)	10
バルーン心房中隔裂開術	2
心房中隔欠損閉鎖術(Amplatzer)	18
動脈管開存閉鎖術(Amplatzer)	2
異物回収	1

11. 腎臓内科診療統計

外来/入院診療については、下岡武史医師（フェロー、4月-12月）と神田杏子医師と田中亮二郎医師が担当した。また2009年度の外来初診患者数は237名、入院患者数は107名であった。

【活動状況】

ネフローゼ症候群、急性腎炎、IgA腎症、紫斑病性腎炎、遺伝性腎炎、その他慢性腎炎、全身性エリテマト-デス、溶血性尿毒症症候群などの急性腎不全、慢性腎不全、高血圧、尿路感染症、先天性尿路奇形、腎臓移植後のフォロー等を対象としている。本年度はネフローゼ症候群や腎炎などに対して36例の腎生検を施行した。またPICUにおいて3名の患児に（敗血症、ネフローゼ、血球貪食性リンパ組織球症）に急性血液浄化を施行した。また現在2名の慢性腎不全患児が外来維持腹膜透析を受けている。腎移植に関しては他院にお願いし、現在計5名の患者さんが外来にてフォロー中である。平成19年度より最新の持続血液透析濾過器が常備され、急性腎不全に対する透析や他の血液浄化療法に対して迅速に対応可能となった。今後急性腎不全に対する血液浄化や慢性腎不全に対する在宅腹膜透析を積極的に押し進めたいと考えている。一方平成15年度より厚生労働科学研究「小児難治性腎疾患に対する薬物療法ガイドライン作成のための多施設協同研究」に参加し、巣状メサンギウム増殖を示す小児IgA腎症、頻回再発型ネフローゼ症候群、ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群を対象とした多施設協同非盲検ランダム化比較試験、平成19年度から小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した多施設共同臨床研究と拡大臨床試験体制整備事業にも参加している。また平成20年度より小児期発症の難治性ネフローゼ症候群に対する IDEC-C2B8の多施設共同二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験を医師主導治験として開始し、これまで4例の登録を行った。新しいエビデンス構築に向けて貢献している。院内活動としては、週1回英文抄読会を行い、最新の情報の収集に努めている。さらに平成18年度より日本腎臓学会の研修教育施設にも指定されている。

平成21年度入院患者

ネフローゼ症候群	50
IgA腎症	13
膜性増殖性糸球体腎炎	2
巣状分節性糸球体硬化症	1
IgG/IgM腎症	2
Oligomeganephronia	2
ループス腎炎	5
紫斑病性腎炎	3
溶血性尿毒症症候群	2
尿細管間質腎炎	1
慢性腎不全	5
保存期腎不全	3
腎臓移植後	6
尿路感染症	8
その他	4
計	107名

12. 精神神経科

平成21年度のスタッフは常勤1名（前田宏章）と非常勤2名（長谷川弘子、松川悦之）であった。（平成21年3月まで非常勤で来ていただいていた伊東恵子先生、白瀧貞昭先生は退職されました。永年にわたり、誠に有難うございました。）

平成20年の春より、県立清水が丘学園（情緒障害児短期治療施設）へ、週に1度診療支援に行っている。ここは、虐待を受けて情緒的に不安定となり、家庭や地域では生活できない小中学生が大半を占めている。心理スタッフたちの治療を受けながら生活しているが、薬物療法を必要とする子ども達も多い。

また、被虐待児の数が少子化にかかわらず増加しており、治療が必要にもかかわらず、治療を受けられない子ども達が多く存在している。同様に、人口の数パーセントいるといわれる発達障害をもつ人々も、多くが治療に触れる機会が無く、普通以上に大きい生活の障害に苦しみながら暮らしている。毎年3万人を超える自殺者の中には、虐待や発達障害の影響から生活しづらさが続き、二次的な不眠やうつなどの精神症状を生じて人生をあきらめてしまうケースも多いと考えられる。その予防としても、子どもの心や発達に関する診療の重要性を感じている。

新患分布

疾 患	年 齢		乳児	幼児 前期	幼児 後期	学童 前期	学童 後期	中学 高校	18歳 以上	計
	男	女								
精神遅滞	10	9	0	1	4	6	3	3	2	19
学習障害	8	5	0	1	6	2	3	1	0	13
自閉症圏	34	10	0	4	15	5	10	9	1	44
多動性障害	16	8	0	0	3	12	5	4	0	24
行為障害	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
不安障害	6	5	0	0	3	1	2	4	1	11
強迫性障害	1	3	0	0	0	0	1	3	0	4
ストレス障害、適応障害	15	11	0	1	1	3	9	12	0	26
解離性障害	3	8	0	0	0	4	4	3	0	11
身体表現性障害	2	2	0	0	1	0	2	1	0	4
選択性緘黙	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2
愛着障害	0	2	0	0	1	1	0	0	0	2
チック障害	5	1	0	0	0	3	1	2	0	6
遺尿症、遺糞症	3	0	0	0	0	1	2	0	0	3
哺育障害、異食症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吃音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器質性精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
統合失調症圏	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1
気分障害	2	2	0	0	0	0	1	2	1	4
摂食障害	0	2	0	0	0	0	1	1	0	2
睡眠障害	3	4	0	1	1	1	0	2	2	7
抜毛症	0	2	0	0	0	0	1	1	0	2
てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
計	110	77	0	8	35	40	48	49	7	187

13. 小児外科

小児外科スタッフ

西島栄治 (昭和53年卒)
横井暁子 (平成2年卒)
中尾 真 (平成3年卒)
尾藤祐子 (平成5年卒)
荒井洋志 (平成7年卒)
岡本光正 (平成15年卒)
岡本竜弥 (平成14年卒 1月～3月)

小児外科フェロー・専攻医

田浦康明 (平成16年卒)
田村 亮 (平成16年卒 4月～)
前田健一 (平成16年卒 4月～)

【診療活動】

入院患者数882名(前年度812名)、日帰り手術患者数350名(前年度358名)、
全手術件数1238名(前年度1247名)、新生児患者数40名(前年度40名)、
手術件数,新生児患者数とも前年度とほぼ変わらず。

手術待ち時間は入院手術で2週～1ヶ月、日帰り手術で約4～6週間であった。

【教育活動】

例年通り神戸大学と熊本大学の5-6年生を臨床実習生として受け入れた。本年は海外からの留学生の受け入れはなかった。

【学会活動】

日本小児外科学会、太平洋小児外科学会、小児がん学会、日本胆道閉鎖研究会、日本小児呼吸器外科研究会等で発表した。発表論文は邦文5編、英文3編、計8編であった。

小児外科統計 2009年

(1) 入院患者数	882
(2) 日帰り手術患者数	350
(3) 手術件数	979
(4) 内視鏡検査治療件数	259
総数	
入院手術件数	626
内視鏡検査治療件数	252
日帰り手術件数	343
内視鏡検査治療件数	7

(5) 入院手術内訳

顔面 頸部	甲状舌管嚢腫摘出術		5	梨状窩瘻	1	
	側頸嚢胞		3	腫瘍生/切除	3	
胸部	気道	気管切開術	24	横隔膜	横隔膜ヘルニア閉鎖術	5
		気管切開口閉鎖術	3		横隔膜挙上術	1
		気管形成術	3	食道	先天性食道閉鎖症一期的根治術	1
		声門下腔形成術	2		食道嚢造設・食道延長術	3
		胸腔ドレナージ	5		食道バンディング・解除	2
		喉頭気管分離術	3		食道皮膚瘻閉鎖	1
		喉頭気管食道裂手術	3	胸壁	漏斗胸手術 Ravitch 変法	2
		腕頭動脈離断術	4		Nuss 法	3
	肺	肺葉切除術	8		Nuss bar 抜去	7
		胸膜剥皮術	1	縦隔	縦隔嚢胞摘出術	1
		ブラ切除術	1			
腹部	消化管	噴門形成術	15	肝胆膵脾	胆道閉鎖症手術	2
		胃瘻造設術	19		胆道拡張症手術	5
		胃瘻閉鎖術	1		胆嚢摘出術	1
		肥厚性幽門狭窄症手術	4		脾摘出術	3
		十二指腸閉鎖・狭窄手術	6	肝動脈瘤手術	1	
		十二指腸潰瘍部分切除	1	膵断裂ドレナージ	3	
		空腸・回腸閉鎖症手術	3	エコー下肝生検	8	
		腸回転異常症手術	5	腹壁	臍ヘルニア手術	6
		特発性消化管穿孔・NEC	1		臍肉芽・ポリープ	2
		腸重積症手術	4		白線ヘルニア手術	1
		腸管重複症手術	1		尿管・臍腸管切除術	3
		イレウス手術	16		臍帯ヘルニア	2
		虫垂切除術	14		腹壁破裂(サイロ形成・閉鎖術)	6
		Hirschsprung 病手術	9	腫瘍	卵巣腫瘍切除術	2
		直腸, 結腸生検	14		奇形腫群腫瘍摘出術	4
		鎖肛根治術	8		腎腫瘍摘出術・腎摘出術	3
		肛門形成術・拡張術	2		神経芽細胞腫摘出・切除術	4
		痔核・痔瘻手術	6		横紋筋肉腫摘出・切除術	4
		Gant-三輪	3		悪性腫瘍開胸・開腹生検	7
	人工肛門造設術	6	その他		6	
	人工肛門閉鎖術	8				
	Meckel 憩室	1				
	総排泄腔遺残	1				
総排泄腔外反症	1					
	その他	14				
鼠径部	鼠径ヘルニア手術	101		精巣固定術	2	
	腹腔陰嚢水腫	1				
軟部組織・四肢	ピシバニール注入	2		中心静脈カテーテル挿入	94	
	膿瘍穿刺・排膿	5				
その他	中心静脈カテーテル抜去	80		VP シャント挿入腹部	1	
	カットダウン	4		腹腔穿刺・ドレナージ	5	

(6) 内視鏡検査・治療内訳

気管支鏡	気管支鏡のみ	105	食道胃内視鏡	内視鏡的食道静脈瘤硬化療法	11
	気管内異物摘出術	6		食道バルーン拡張術	20
	気管バルーン拡張術	8		胃食道異物摘出術	2
	KTP レーザ肉芽焼灼術	13		食道ステント	12
	肉芽切除術	2		栄養チューブ挿入	1
	T-tube 挿入	3		止血術	2
	Y型・I型ステント挿入	5		ERCP	6
	BAL	1			
	内視鏡のみ	3			
ERCP	総胆管碎石術	3		内視鏡のみ	5
大腸内視鏡	大腸ポリープ切除術	2			
膀胱鏡		3			
計		878			

(7) 日帰り手術内訳

鼠径ヘルニア・類縁疾患手術	283
臍ヘルニア手術	31
舌小体短縮	3
リンパ管腫ピンバニール注入	1
皮膚皮下良性腫瘍摘出術	4
直腸ポリープ切除術	1
肛門拡張術	3
直腸脱手術	6
陰唇癒合剥離	6
切開排膿	3
内視鏡	7
食道胃内視鏡	
その他	2
計	350

(8) 新生児外科症例

病名	患者数
横隔膜ヘルニア	4
先天性食道閉鎖症	3
肥厚性幽門狭窄症	2
十二指腸閉鎖・狭窄症	5
空腸・回腸閉鎖症	2
腸回転異常症	5
ヒルシュスブルング病	3
鎖肛	4
総排泄腔外反症	1
胎便性腹膜炎	1
胎便病	1
特発性腸穿孔	2
腹壁破裂	2
臍帯ヘルニア	1
CCAM	1
声帯横隔膜症	1
卵巣嚢腫	1
臍肉芽	1
合計	40

14. 心臓血管外科

スタッフ紹介

部長（手術部長兼任） 大嶋 義博（昭和57年神戸大学卒）、
 神戸大学医学部臨床教授、心臓血管外科専門医、胸部外科指導医
 医長 吉田 昌弘（平成5年京都府立医科大学卒）、心臓血管外科専門医
 （ピッツバーグ小児病院留学中）
 医長 圓尾 文子（平成7年神戸大学卒）、心臓血管外科専門医
 医長 島津 親志（平成9年富山医科薬科大学卒）
 9月より福井県社会保険高浜病院外科へ転任
 医長 松久 弘典（平成11年神戸大学卒）、心臓血管外科専門医
 3月より富山大学医学部第1外科より転任
 医長 日隈 智憲（平成12年神戸大学卒）
 4月より富山大学第1外科へ転任
 医長 井上 武（平成12年神戸大学卒） 心臓血管外科専門医
 医長 河村 朱美（平成12年名古屋大学卒）
 7月より名古屋第一赤十字病院より転任
 後期研修医 門脇 輔（平成16年岡山大学卒）

2009年度の人事異動は、7月より吉田 昌弘医長が米国ピッツバーグ小児病院へ留学。12月には井上 武医長が心臓血管外科専門医を取得。

診療体制

外来：月、水、金の午後2診
 手術：月～金（開心術）、水または金（非開心術）

軽症例、重症例とも、全体の手術件数は前年度を下回った。2008年の体外循環を用いた手術は166例（新生児10例）、体外循環非使用の心臓手術は50例（新生児例）、その他30例で、手術死亡は2例（0.9%）であった。手術死亡率は低下したが、新生児の最重症例の救命から、QOLの向上を求めた術式への転換を模索している。また、胎児診断から、計画的な治療戦略を立てるため、産科・新生児科・循環器科との連携を深め、さらに成績向上に努めている。

学会活動：英文、邦文論文が掲載あるいは投稿中で、胸部外科学会、心臓血管外科学会、小児循環器学会、その他、多数の学会、研究会にて発表した。

術式 (疾患)	28日未満			～ 1歳未満			1歳～17歳			18歳以上			総数		
	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡
PDA															
CoA (simple)				1									1		
+VSD															
+DORV							1						1		
+AVSD															
+TGA															
+SV															
+others															
IAA (simple)				1			1						2		
+VSD															
+DORV															
+Truncus															
+TGA															
+SV															
+others															
Vascular ring				1									1		
PS				3									3		
PPA or critical PS															
TAPVR	1			2									3		
asplenia															
PAPVR ± ASD							3						3		
ASD				1			20						21		
Cor triatriatum															
AVSD (partial)							1						1		
AVSD (complete)				5		1	2						7		1
+TF or DORV															
+others				1									1		
VSD ()				2			4						6		
VSD (or)	2			31			2						35		
VSD + PS				2			2						4		
DCRV ± VSD															
Aneurysm of sinus Valsalva															
TF				3			3						6		
PA + VSD (Rastelli)							2						2		
(SP shunt)							1						1		
DORV							2						2		
TGA (simple)	5												5		
+ VSD	1												1		
+ VSD + PS															
corrected TGA							1						1		
Truncus arteriosus															
SV (SP shunt)															
(BDG)							1						1		
(Fontan)							2						2		
TA (SP shunt)															
(BDG)							3						3		
(Fontan)															
HLHS (Norwood)	2	2	2	1									3	2	2
(BDG)				1		1							1		1
(Fontan)							3						3		
Aortic valve lesion (形成)															
(弁置換)															
SAS															
supra AS							3						3		
Mitral valve lesion (MR 形成)	1			3			2						6		
(MR 弁置換)				1									1		
(MS 形成)															
(MS 弁置換)															
Ebstein															
Coronary disease															
その他				1			1			1			3		
再手術 VSD 再開鎖										1			1		
PS 解除							2						2		
RV-PA 導管再置換															
(PVR を伴う)							5			1			6		
その他	1		1	1			4						6		1
総数	13	2	3	61	0	2	71	0	0	3	0	0	148	2	5

術式 (疾患)	28日未満			～ 1歳未満			1歳～17歳			18歳以上			総数		
	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡
PDA			2									14			
CoA (simple) +VSD +DORV +AVSD +TGA +SV +others	1									2					
IAA (simple) +VSD +DORV +Truncus +TGA +SV +others			2									1			
Vascular ring															
PS										1					
PPA or critical PS															
TAPVR															
asplenia															
PAPVR ± ASD															
ASD															
Cor triatriatum									1						
AVSD (partial)			1												
AVSD (complete) +TF or DORV +others															
VSD ()															
VSD (or)															
VSD + PS															
DCRV ± VSD	1									1					1
Aneurysm of sinus Valsalva									1					2	
TF		1							3						
PA + VSD															
DORV															
TGA (simple) + VSD + VSD + PS			1	1			1					1			
corrected TGA		1													
Truncus arteriosus	1					1									1
SV (SP shunt) (PAB)															
TA (SP shunt) (BDG) (Fontan)					1						1				
HLHS (bil.PAB) (SP shunt 追加)															
Aortic valve lesion (形成) (弁置換) SAS supra AS															
Mitral valve lesion (MR 形成) (MR 弁置換) (MS 形成) (MS 弁置換)															
Ebstein															
Coronary disease															
その他															
再手術 VSD 再開鎖 PS 解除 RV-PA 導管再置換 (PVR を伴う) その他	0	0	3	0	0	0	0	0	31	1	0		1	0	9
総数	18			23	1		8			1			50	1	0

	症例数	死亡	在院死亡
皮下膿瘍	2		
ペースメーカー植え込み	1		
ペースメーカー電池交換	3		
心嚢ドレナージ	2		
横隔膜縫縮			
ショック (ECMO)	3	3	
二期的胸骨閉鎖	1		
腹膜透析チューブ留置	1		
気管腕頭動脈瘻	4		
リンパ管縫合	1		
胸骨ワイヤー抜去	1		
椎骨動静脈瘻	1		
総計	20	3	0

15. 脳神経外科

2009年度の脳神経外科スタッフは長嶋達也（部長）、河村淳史（医長）、山元一樹（医長）の指導医とローテーション医師1名の4名である。2008年10月1日～2009年3月31日の間は石井大嗣（専攻医）、4月1日～9月31日は中井友昭（医員）、10月1日～2010年3月31日は堀 達雄（専攻医）が着任した。

診療活動では兵庫県下のみならず他府県からの紹介例、セカンドオピニオン例が増加しており、小児救急医療センター（三次救急施設）に搬送される重症頭部外傷例が増加傾向にある。本施設の特徴としてはこども病院複数科との連携による特殊医療チームがあり、脳神経外科・血液腫瘍内科・放射線科・臨床病理部による集学的治療を必要とする脳腫瘍症例、脳神経外科・整形外科・泌尿器科による治療および管理が必要な二分脊椎症例、脳神経外科・形成外科による合同外科的治療を要する頭蓋顔面奇形症例、脳神経外科・救急部・脳神経内科をはじめ多数科の関与が必要な頭部外傷・多発外傷症例などの紹介・搬送例が増加し、発達など将来を見据えた集学的なアプローチを要する分野の手術を中心に取り組んでいる。手術前後に小児医療各方面と密な連携を保ち長期の追跡を行っている。来年度も神経奇形、頭部外傷、脳腫瘍を中心に国際的な水準を維持する手術成績を積み重ねていきたい。

学術活動としては、長嶋が第57回日本脳神経外科学会近畿支部学術総会会長、第69回近畿脳腫瘍研究会会長、第39回兵庫県脳神経外科医懇話会会長として各研究会を開催した。日本小児脳神経外科学会、日本脳神経外科学会を中心に発表を行った。

6			件 数
	1	脳神経外科の手術の総数	153
	2	脳腫瘍	
		摘出術	9
		経蝶形骨銅手術	1
	3	脳血管障害	
		バイパス手術	5
		開頭血腫除去術	1
	4	外傷	
		急性硬膜外血腫	5
		急性硬膜下血腫	3
		減圧開頭術	1
		慢性硬膜下血腫	9
	5	奇形	
		頭蓋・脳	13
		脊髄・脊椎	16
	6	水頭症	
		脳室シャント術	41
		内視鏡手術	4
	7	脊髄・脊椎	
		腫瘍	14
		脊髄空洞症	3
	8	その他	28

日本脳神経外科学会の分類による

16. 形成外科

2009年は4月に吉村友希医師が健和会病院に転出、住友病院より北村奈都子医師が転入した。手術内容に大きな変動はないが、手足の外傷による緊急手術が増加してきた。また非常勤の言語聴覚士1名という体制のため、一部口蓋裂患者の受け入れが不能となり、新患患者数の減少の一因となった。青あざ、茶あざの新患に関しては多数受診していただきながら他院を紹介せざるをえず、早期のレーザー装置の導入がのぞまれる。兵庫県下の病院に続々と形成外科が新設されてきているため、人的あるいは物的補強がない限り患者数減少は避けられないと思われる。

	入院手術	外来手術	計
新鮮熱傷	1		1
顔面骨骨折	1		1
口唇裂	46	10	56
口蓋裂	39		39
手足の先天異常	51	9	60
頭蓋顔面骨異常	8		8
その他の先天異常	37	47	84
母斑・血管腫・良性腫瘍	28	57	85
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	4	6	10
その他		17	17
計	215	146	361

		入院 全麻	外来 全麻	局麻	
新鮮熱傷	全身				0
	局所のみ	3			3
顔面骨骨折	顔面骨骨折	2			2
	顔面軟部組織損傷	2		3	5
口唇裂		51		4	55
口蓋裂		34			34
手足	先天異常	47			47
	外傷	8			8
その他の先天異常		46	62		108
母斑・血管腫・良性腫瘍		47	81	7	135
悪性腫瘍、再建		3			3
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド		17		3	20
褥創、難治性潰瘍		1			1
美容外科					0
その他		40	51	440	531
計		301	194	457	952

含外来処置室
含他科関連

17. 整形外科

2009年4月から竹内医師が神戸医療センターに転出した。4月より専攻医枠ではあるが1人の増員が認められ念願の4人体制となった。新しく来られたのは衣笠医師、布居医師の女性整形外科医師である。手術件数は昨年に比較して46件増の300件であった。それでも入院待ち日数はほぼ半年であり更なる手術枠の獲得、正規職員の人員増に向けて努力していきたい。

手術

	病名	術式	手術数	
頸椎	環軸椎脱臼(含む他疾患)	ハロー装着	1	
	環軸椎脱臼	頸椎固定術	1	
	環軸椎回旋位固定	整復	1	
	脊椎変形	固定術	2	
	転移性骨腫瘍	後方固定術	0	
体幹	斜頸	切腱術	2	
	側弯症	矯正術	0	
		グローイングロッド挿入(含むシーラ)	3	
		ロッド延長	3	
		イリザロフ	0	
股関節	先天性股関節脱臼	Ludloff	1	
		前方進入	0	
		全周解離	0	
		SA+OR+VO	1	
		SA+OR	1	
		内反減捻骨きり術	1	
	臼蓋形成不全	トリプル骨切り術	0	
	股遺残亜脱臼	ソルター	4	
		ソルター+OR	0	
	大転子高位ペルテス病	大転子下降術	0	
		大腿骨内反骨きり術	1	
	PFDD	骨頭遊離体切除	0	
		大腿骨外反骨きり術	0	
	内反股	大腿骨外反骨きり術	1	
		大腿骨転子下内反骨切り	0	
	化膿性関節炎後遺症	大腿骨屈曲骨切り術	0	
	骨頭すべり	ピンニング	4	
		麻痺性股関節脱臼	大腿骨頭切除術	0
		筋解離術	5	
		SA, OR, DVO など	2	
		観血的整復術(内側)	0	
		大腿骨内反骨切り術	0	
		観血的整復術(前方)	0	
骨盤骨切り		0		
膝関節	習慣性膝蓋骨脱臼	観血整復	0	
	JRA	鏡視下滑膜切除	0	
足部	先天性内反足	後方解離	2	
		アキレス腱切腱(Ponseti)	25	
		イリザロフ矯正(組換え含む)	2	
		距骨下関節全周解離	5	
		腱移行術(TAを外側)	0	
		Evans	2	
		PMR, PMR Evans	4	
		麻痺性変形(奇形性)	後方解離	0
			ATL	5
			PMLR	0
	Grice-Green		2	
	後内方解離		1	
	PMR, TA外側移行(with or without GG)		2	
	三関節固定術	1		
	足根骨矯正骨切り術	0		
	距骨摘出術	6		

	(踵 足)	下腿変形	0	
		腓移行 (TP を外側に)	0	
		腓移行 (TA を踵骨に)	1	
	垂 直 距 骨	観血的整復術	0	
		距舟関節ピンニング、アキレス腱切腱	2	
	足 趾 変 形	矯正術	0	
	尖 足	後方解離術	0	
	脛 骨 列 形 成 不 全	足関節形成術	0	
		脛骨、腓骨癒合術	0	
	外 脛 骨	摘出	1	
	外 反 母 趾	矯正術	0	
	先 天 性 外 反 母 趾	矯正術	0	
	上 肢	先 天 性 橈 骨 頭 脱 臼	観血的整復術	0
上 肢 短 縮		上肢骨延長術	1	
橈 尺 骨 癒 合 症		回旋骨切り術	0	
裂 手 , 裂 足		形成術	1	
前 腕 変 形		矯正骨切り術	1	
橈 側 列 形 成 不 全		矯正・延長	0	
足 根 骨 癒 合 症		癒合部切除	3	
膝 蓋 骨 脱 臼		整復術	2	
絞 扼 輪 症 候 群		形成術	1	
下 肢		先 天 性 偽 関 節	bone transport (イリザロフ)	0
			骨接合	1
			髄内釘	0
		脚 長 差	延長,矯正 (イリザロフ(含む Taylor Frame))	19
	成長抑止術		1	
	骨性架橋除去		1	
	骨移植		0	
	短管骨延長		0	
	脚延長 (EBI)		1	
	観血的整復術		0	
	膝 関 節 脱 臼	矯正骨切り術	2	
	変 形	下腿骨きり術	1	
	過 剰 肢	過剰肢切除	0	
絞 扼 輪 症 候 群	形成術	0		
上 腕 骨 外 顆 骨 折	整復固定術	1		
外 傷	上腕骨内顆(内上顆含む)	整復固定術	0	
	上 腕 骨 顆 上 骨 折	整復固定術	15	
	陳 旧 性 モ ン テ ジ ア	尺骨骨切り術、橈骨頭整復術	0	
	肘 関 節 脱 臼	徒手整復	0	
	大 腿 骨 骨 折	観血的整復術	0	
	肘 頭 骨 折	骨接合術	0	
	関 節 脱 臼	徒手整復ギプス固定	0	
	骨 折 後 偽 関 節	骨接合術	0	
	骨 折 な ど	鋼線牽引	6	
	内 反 肘	矯正骨切り術	2	
	その他骨折(徒手整復、観血的整復術)	整復固定術	10	
	腱 断 裂	腱縫合	0	
	炎 症	化 膿 性 関 節 炎	穿刺術	0
病巣搔爬、洗浄			6	
関 節 炎		滑膜切除	0	
骨 髄 炎 ,LCH, 病 態 不 明		生検術	7	
	切断術	1		
	病巣搔爬	0		
腫 瘍	腫 瘍	骨	14	
		軟部	3	
そ の 他	多 ・ 合 指 (趾) 症	余剩指(趾)切除	15	
		指(趾)間形成	8	
	手 指 変 形	矯正骨切り術	2	
	癍 痕 拘 縮	形成術	4	
	剛 直 母 指	腱鞘切開	6	
そ の 他		70		
年間手術件数		300		

検 査

	部 位	方 法	検査数
	股関節	アルト口	24
	その他	アルト口	5

理学療法実施延べ件数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
216	224	208	250	298	309	275	256	281	251	269	245	3076

疾患：脳性麻痺、低酸素虚血性脳症、新生児仮死、白血病、軟骨無形成症、頭部外傷、二分脊椎、他

18. 眼科

本年の眼科スタッフ異動は4月に辰巳医師に代わって福村美帆医師が医長として、また、永井専攻医に代わって河村真実医師がローテーション研修医として着任。10月に河村医師が6ヶ月間の研修を終えて異動、代わりに別所宣洋医師が研修医として着任した。

本年もクリニカルパス大会で眼科のパス運用がお褒めの言葉をいただいた。委員でもある福村医長が熱意をもって継続的にパス改善に努めた成果でもある。もともと入院日程が定型的な斜視の手術が多い眼科の場合、パスに馴染みやすいと言える。しかし、これにとどまらず、入院期間が固定しづらい先天緑内障など内眼手術疾患についてもアウトカムの見直し作業を経て、例えば入院期間の変更を一定範囲のバリエーションとして吸収出来るように工夫した結果、クリニカルパスの運用が可能な疾患を増やすことが出来た。今更、ではあるがパスは単なる省力化ではなく、看護や投薬、事務処理など総合的な患者対応の合理化を通して、医療の安全性や患者利益を高めることである。この認識が比較的、件数の少ない疾患についてもクリニカルパスを適応させようという原動力になっている。

【新患患者数】

病名	新生児	乳児		幼児		学童		思春期	合計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
屈折異常	4	8	16	114	146	75	32	13	408
斜視および疑い	2	13	31	133	108	47	19	4	357
未熟眼底	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未熟児網膜症	2	18	2	1	6	0	0	0	29
眼瞼疾患	1	18	12	48	44	19	11	0	153
涙器疾患	1	9	7	7	2	3	0	0	29
結膜疾患	0	3	2	9	3	1	2	0	20
角膜・強膜疾患	6	9	2	2	4	6	2	0	31
ブドウ膜疾患	0	4	3	2	4	1	2	1	17
網膜症・硝子体疾患	1	17	12	11	3	0	4	6	54
水晶体疾患	6	17	4	20	7	5	7	2	68
眼窩疾患	3	1	1	0	0	0	0	0	5
遺伝性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0
視神経および視路傷害 (眼振ほか)	4	3	13	27	17	12	14	1	91
緑内障	0	2	6	8	8	5	4	4	37
外傷	0	4	3	7	3	6	1	1	25
症候群	1	0	2	1	1	2	2	0	9
心因性視力障害	0	0	0	0	0	3	2	0	5
腫瘍	0	3	1	5	0	1	2	0	12
その他	1	4	3	4	1	4	3	1	21
小計	32	133	120	399	357	190	107	33	1371

入院手術

	新生児	乳児		幼児		学童		思春期	計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
斜視	0	2	4	28	60	104	76	31	305
内反症	0	0	0	1	15	15	2	2	35
眼瞼下垂	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼瞼・眼窩疾患	0	0	1	3	4	1	2	0	11
結膜疾患（腫瘍）	0	0	0	0	0	0	0	1	1
角膜疾患	0	0	0	0	1	0	0	0	1
網膜疾患（腫瘍）	0	0	0	2	0	0	0	0	2
硝子体	0	1	0	1	4	4	1	0	11
鼻涙管閉鎖及び異常	0	0	0	5	0	1	0	0	6
眼瞼形成	0	0	0	1	0	0	0	0	1
緑内障	0	1	1	5	6	1	0	2	16
白内障	0	6	5	1	10	3	3	2	30
未熟児網膜症	1	3	0	0	0	0	0	0	4
眼球振盪症	0	0	0	0	1	0	0	1	2
外傷・検査・その他	0	3	2	2	4	7	1	1	20
合計	1	16	13	49	105	136	85	40	445

日帰り手術

	新生児	乳児		幼児		学童		思春期	計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
内反症	0	0	0	0	6	7	4	1	18
霰粒腫	0	0	0	1	8	4	1	0	14
斜視	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	2
合計	0	0	0	2	15	12	5	1	35

屈折矯正・弱視訓練・斜視訓練	171
視野検査	157
合計	328

実習生受け入れ状況：（4校：13名）

学 校 名	人 数	期 間	実習場所
神戸総合医療専門学校	4名	5月7日～5月29日	外来および手術見学
大阪滋慶学園大阪医療福祉専門学校	1名	5月26日～6月29日	
九州保健福祉大学保健学部視機能療法学科	2名	6月8日～6月17日	
大阪医専・総合医療専門学校（見学実習）	2名	2月16日～2月20日	
	2名	3月2日～3月6日	
	2名	3月9日～3月13日	

19. 耳鼻咽喉科

診療内容充実への取り組み

1. 外来診療

今年度も常勤医師1名(大津)、兼任医師1名(火曜、金曜日、阪本)は変わらずで診療を行った。新患の内訳としては、例年同様、滲出性中耳炎、反復性中耳炎、扁桃・アデノイド肥大、慢性扁桃炎などが多い。他の医療施設で検査の難しい、いびきや睡眠時無呼吸の症例は引き続き増加傾向である。新生児聴覚スクリーニングによる精密聴力検査の依頼は約50例である。難聴や精神発達遅滞、自閉症を背景とした言葉の遅れの精査依頼が多いのも従来と同様である。診察室の耳鼻科診療ユニットは1台しかないため、1診体制での診療であり、外来の診察患者数はほぼ限界に達している。言語療法については後述する。

【新患者数】

年	総数	院内	他院	健診	紹介なし
2002	439				
2003	555				
2004	523	254	218	29	22
2005	632	263	298	40	28
2006	748	295	380	36	37
2007	779	303	422	17	37
2008	703	234	419	26	24
2009	661	200		52	

2. 手術・入院診療

手術は火曜日の日帰り手術を中心に、水曜日の入院全身麻酔手術も順調に増えてきている。常勤医着任により手術件数が増えていることが地域の医療機関に周知されてきたことによると考える。現在、日帰り手術では滲出性中耳炎・反復性中耳炎に対する鼓膜チューブ挿入術が大多数を占める。

入院手術は、年少児の重症睡眠時無呼吸症候群に対する扁桃摘出、アデノイド切除術が中心で、鼻副鼻腔疾患などが続く。特に前者は周術期の呼吸管理が重要であり、麻酔科各医師とHCU看護スタッフの多大の協力で支えられている。2006年まではひと月に0.5日×2回であった手術枠が他科の手術枠を融通していただくことにより、毎週0.5日入院手術が行えるようになったため手術症例数は増加している。今後も限られたスタッフであるが医療安全に十分配慮しつつ手術治療に取り組みたい。

手術統計以外に、入院治療として突発性難聴に対する点滴治療があった。

3. 診療内容充実への取り組み、地域連携への取り組み

補聴器外来を行い、引き続き聾学校と連携を取りながら、難聴児の福祉、療育にも寄与している。

睡眠時無呼吸に対する携帯式アプノモニターは予約貸出制としたため年間約170件の検査が行えている。現在2台で検査をおこなっているものの約2ヶ月待ちの状況である。

長期にわたる治療や経過観察が必要になる滲出性中耳炎、アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎の症例を中心に地域医療機関の先生方と連絡を取って患者紹介を行ない病診連携を進めた。限られた医療資源の活用のため、かかりつけ耳鼻科医との連携を深めて「日常診療はかかりつけ医で、検査・手術治療は当院で」という診療体制とともに、今後は連携パスの策定も視野に入れて病診連携を推進してゆきたい。

言語聴覚療法について

耳鼻科言語聴覚士は常勤1名、柏原病院兼任1名の計2名体制で、聴力検査および言語評価・訓練を実施している。

聴力検査

対象者の多くがダウン症や発達障害を持つケースであるため、開業医での聴力判定が難しい。聴性行動反応聴力検査や条件詮索反応聴力検査、遊戯聴力検査などをケースに合わせて実施している。また産院での新生児聴覚スクリーニング検査の普及により、早期からの補聴器装着ケースが増えている。週一度の補聴器外来では各人の予約時間を長めに設定し、慎重な評価、親への心理面を含めたサポート、通園施設や聴覚特別支援学校など適切な機関への橋渡ししがタイミングよく行えるように心がけている。

言語評価・訓練

外来では「ことばの遅れ」や「発音の異常」を主訴に来院されるケースが多い。三歳児検診からの精査目的が大半であるが、親が心配して自発的に来院されるケースもある。症状の多くは、全般的な発達遅滞によることばの遅れや器質的な異常を持たない機能性構音障害である。近年は、発達に偏りのある広汎性発達障害と考えられるケースも増えている。耳鼻科ではマンパワー不足によりこれらのケースを抱える余力がないため、特別な事情以外は各関連機関へ紹介させていただいている。

入院では脳外科や外科からの紹介ケースを受けている。脳損傷後の高次脳機能障害や構音障害の評価および訓練、気管切開カニューレ使用中（または抜管後）の発声・構音訓練を実施している。言語室の防音効果が乏しい、車椅子利用が困難などハード面の問題もさることながら、脳機能評価のためのテストバッテリーが乏しい状態にあり、言語評価・訓練への課題は山積みである。今後は課題を解決し、よりよい環境を整えてゆきたいと考えている。脳損傷者は、意識レベル改善後の早期リハビリが効果的であると考えられている。言語聴覚士が介入することで、現状把握、コミュニケーションのとり方、どのような経過をたどりそうか、転院するならどの方向かなどの情報が少しは提供できると考えている。

診療実績：

入院手術

口蓋扁桃摘出術	60
アデノイド切除術	55
鼓膜チューブ挿入術 (他科入院中を含む)	29
上顎洞性後鼻孔ポリープ摘出 (鼻内上顎洞手術並施)	2
深頸部膿瘍切開術	1
正中頸嚢胞摘出術	1
鼻骨骨折整復術	1

日帰り手術

鼓膜チューブ挿入術	160
鼓膜穿孔閉鎖術	2
鼓膜チューブ抜去	2
口唇粘液嚢胞摘出	2
舌小帯形成術	1
喉頭異物摘出	1

聴力検査・言語聴覚・補聴器外来統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
気導純音聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
標準純音聴力検査	25	27	39	42	20	38	70	73	25	27	26	32	444
標準語音聴力検査	2	0	0	1	2	1	2	2	1	0	1	2	14
遊戯聴力検査	157	185	183	211	121	212	169	194	166	164	157	147	2066
補聴器適合検査1回目	1	3	4	17	1	4	9	1	1	4	2	1	48
補聴器適合検査2回目以降	19	24	26	15	18	20	12	21	20	22	18	25	240
高度難聴指導管理料	2	0	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	10
音声機能検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達及び知能検査 容易	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
発達及び知能検査 複雑	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
心理検査 極複雑	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
聴力検査件数													2823
心理検査件数													6
検査総件数													2829

リハビリテーション料 (補聴)	11	16	14	10	10	15	15	15	10	16	6	11	149
リハビリテーション料 (言語)	25	69	67	46	29	28	39	33	24	20	20	37	437
言語総単位数													586

聴力検査人数 (人)	184	212	222	254	143	251	241	269	192	191	184	182	2525
補聴器外来人数 (人)	22	27	31	32	21	25	21	23	21	28	21	27	299
言語聴覚療法 (補聴器:人)	11	9	12	21	9	15	15	16	10	16	6	11	151
言語聴覚療法 (人)	15	30	28	20	18	16	21	13	13	11	10	13	208
延べ人数 (人)	232	278	293	327	191	307	298	321	236	247	221	233	3184
実人数 (人)	215	264	280	284	172	285	271	298	220	227	211	224	2951
言語新患者数 (人)	3	3	4	7	4	1	8	1	5	3	3	1	43
診療日数 (日)	19	18	19	21	18	19	22	19	17	21	18	20	359

2009年耳鼻科新患者・紹介元別内訳 (病名は重複計上)

病名	症例数	院内	耳鼻科	小児科	産科	検診	聾学校	なし	その他
言語発達遅滞	33	3	16	6	1	7	0	0	0
構音障害	7	3	2	1	0	1	0	0	0
難聴	230	47	100	40	17	22	0	3	1
心因性難聴	18	0	17	1	0	0	0	0	0
慢性中耳炎	6	0	6	0	0	0	0	0	0
急性中耳炎	17	10	5	1	0	0	0	1	0
滲出性中耳炎	185	38	120	16	1	8	0	2	0
外傷性鼓膜穿孔	1	0	1	0	0	0	0	0	0
耳垢栓塞	6	3	1	1	0	1	0	0	0
外耳炎	1	0	0	0	0	1	0	0	0
小耳症	13	2	3	4	4	0	0	0	0
先天性耳ろう孔	5	1	3	1	0	0	0	0	0
外耳道閉鎖症	10	3	3	1	3	0	0	0	0
外耳道異物	1	1	0	0	0	0	0	0	0
めまい	2	1	1	0	0	0	0	0	0
側頭骨骨折	2	2	0	0	0	0	0	0	0
顔面神経麻痺	1	0	1	0	0	0	0	0	0
アレルギー性鼻炎	42	11	21	5	0	2	0	1	2
副鼻腔炎	61	15	38	7	0	1	0	0	0
鼻出血	12	4	5	3	0	0	0	0	0
鼻異物	2	2	0	0	0	0	0	0	0
鼻骨骨折	1	0	1	0	0	0	0	0	0
舌小帯短縮症	2	1	1	0	0	0	0	0	0
下口唇粘液のう胞	3	0	0	3	0	0	0	0	0
アデノイド肥大	116	13	78	17	0	5	0	1	2
扁桃肥大等	24	1	15	6	0	1	0	0	1
慢性扁桃炎	11	2	6	3	0	0	0	0	0
睡眠時無呼吸症候群	69	10	42	12	0	3	0	0	2
咽頭異物	4	1	3	0	0	0	0	0	0
咽頭外傷	2	2	0	0	0	0	0	0	0
がま腫	1	0	1	0	0	0	0	0	0
唾石	1	0	1	0	0	0	0	0	0
喉頭軟化症	18	15	1	2	0	0	0	0	0
反回神経麻痺	12	9	1	1	0	0	0	0	1
声帯結節、ポリープ	4	0	3	1	0	0	0	0	0
嚥下障害	1	0	0	1	0	0	0	0	0
唾液腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頸部リンパ節炎	1	0	1	0	0	0	0	0	0
正中頸のう胞	3	0	3	0	0	0	0	0	0
リンパ管腫	2	0	0	2	0	0	0	0	0
合計	930	200	500	135	26	52	0	8	9

20. 泌尿器科

2009年度は人事異動がなく、4人体制（杉多、中川、高木、久松）で診療を行った。全身麻酔手術症例が初めて502例（入院278例、日帰り224例）と開院以来初めて500例を超えた。医療の標準化のためクリニカルパスを積極的に使用しており、2009年度の入院手術におけるクリニカルパス使用率は76%であった。昨年同様入院手術は約2ヶ月待ち、日帰り手術は約3ヶ月待ちとなっている。2010年度には膀胱尿管逆流症に対するデフラックスを用いた内視鏡的治療が厚生労働省から保険診療として認可され、非浸襲的な膀胱尿管逆流症に対する治療が可能となる。

2009年度は日本泌尿器科学会、日本小児泌尿器科学会、日本小児外科学会など主要な学会での発表を行うなど、学術的にも充実していた。2010年度も引き続き、診療および学術活動に専念したいと考えている。

(杉多記)

入院と日帰り手術
尿路系

うち日帰り手術は195例

VUR	Cohen	44
	(尿管形成あり)	*9
	(尿管瘤)	*2
	Lich-Gregoir	1
巨大尿管	UCN 尿管形成	1
VUR、巨大尿管、水腎症術後	DJカテーテル抜去	36
神経因性膀胱	膀胱拡大術	1
尿管瘤	経尿道の尿管瘤穿刺術	2
膀胱結石	経尿道の膀胱結石摘出術	1
腎後性腎不全	経皮的腎瘻造設	2
水腎症	経皮的腎瘻造設	1
VUR	経皮的腎瘻造設	1
無機能腎	腎尿管摘出術	2
水腎症	腎盂形成術	24
後部尿道弁	内視尿道切開術	1
尿道狭窄	内視尿道切開術	3
重複尿道	副尿道摘除術	1
横紋筋肉腫	膀胱鏡	1
子宮膣欠損	膀胱鏡 膣鏡	1
尿道狭窄	膀胱鏡	1
排尿時痛	膀胱鏡	1
水腎症	D-J留置	1
尿失禁	コラーゲン注入	2
	尿失禁防止手術	3
尿管遺残	腹腔鏡下尿管摘出術	1
重複腎盂尿管	RP 膀胱鏡	1
異所開口尿管	RP 膀胱鏡など	1
腎腫瘍	摘出術	1
膀胱腫瘍	TUR-B t	1
女児外尿道口腫瘤	腫瘤切除	2
腎盂内異物	腎盂内異物除去	1
重複腎盂尿管	右半腎切除	1
総排泄腔外反	尿管皮膚ろう	1
腹腔内腫瘤	腫瘤摘出 膀胱合切	1
双角子宮鎖肛	膀胱鏡 膣鏡	1
恥骨前瘻孔	瘻孔摘出	1
膀胱外反術後水腎症	膀胱拡大術	1
膀胱悪性腫瘍(8月)	腫瘍摘出 膀胱合切	1
尿道損傷	膀胱鏡	1
手術件数合計		147

性器系

AGS	女性化外陰部形成	1
BXO	包皮環狀切除	6
	減張切開	1
	包皮形成	1
chordee without hypospadias	包皮形成術	1
Cloaca	UVP	2
	TUM	1
	内視鏡検査	3
尿道下裂	free graft	34
	Koyanagi	10
	陰莖形成	5
	Thiersch-Duplay	1
	MAGPI	2
	外尿道口形成	3
	包皮形成	2
	口腔粘膜 tube	1
尿道狭窄 (下裂術後)	Johanson 手術	1
そけいヘルニア	ヘルニア手術	12
前置陰嚢	陰嚢形成術	3
陰嚢水腫	陰嚢水腫根治術	29
外尿道口嚢腫	外尿道口嚢腫摘除	14
精索静脈瘤	顕微鏡下精索静脈低位結紮術	13
	高位結紮	1
停留精巢	精巢固定術 (transinguinal)	116
	精巢固定術 (transscrotal)	11
精巢腫瘍	精巢腫瘍核出術	2
	精巢腫瘍高位摘除	1
精巢上体垂捻転	精巢上体垂摘除	1
精巢捻転	精巢摘除	2
	捻転整復	1
	精巢摘除	12
停留精巢 / vanishing	精巢摘除	12
陰莖縫線嚢腫	嚢腫摘除	1
停留精巢 / 腹腔内	腹腔鏡下精巢血管結紮 (F-S1期目)	5
	腹腔鏡下精巢固定術 (F-S2期目)	5
	腹腔鏡下精巢摘除	1
	精巢固定 (jones)	1
包皮環狀切除	包皮環狀切除	3
埋没陰莖	包皮形成術 (逆 Byars flap)	12
尿道下裂	瘻孔閉鎖術	8
遊走精巢	精巢固定術 (transscrotal)	13
尿道上裂	尿道上裂修復術	1
膻口狭窄	膻口形成	4
ovotestis	性腺摘除	1
尿道下裂術後狭窄	内視鏡	1
	外尿道形成術	3
陰莖腫瘍	腫瘍摘出	1
交叉性精巢転位	腹腔鏡 精巢固定	1
尿道下裂術後憩室	憩室切除	1
尿道部分欠損	尿道形成	1
手術件数合計		356

21. 小児歯科

診療内容として全身疾患を有する患児や心身障害児の齲蝕予防・治療を行うことが大きな柱となっていることに変化はない。それに加え形成外科と共同で取り組んでいる唇顎口蓋裂児のホツツ床、術前顎矯正治療の患児の成長により歯列矯正治療を受ける患者数が増加している。また、紹介患者による日帰り全身麻酔下での歯科処置も増加した。その結果、診療内容が齲蝕予防・治療、顎矯正、歯列矯正、口腔外科的処置、全麻下歯科処置、摂食嚥下指導と多様化している。

人事面に変わりはなく、現在小児歯科は常勤歯科医師一名の体制をとっているが、一人医長体制では患者数に限りがありまた引継ぎが困難で問題が生じやすいため、複数医師体制が望ましい。病院歯科としてより機能の幅を広げるためには口腔外科分野に秀でた歯科医師との2人体制が望まれる。

全身麻酔下処置	歯科単独	他科合同	計
入院手術	3	10	13
外来手術	55	1	56
計	58	11	69

歯科衛生士学校名	実習生数	実習期間	実習場所
兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科	2回生 4名	H21年7月15日～7月30日 H21年10月1日～10月29日	歯科外来・他

22. 麻酔科

1. 人事異動

常勤医では、吉澤医師が埼玉医大周産期センターへ、東医師が豊田厚生病院へ異動した。専攻医では、神戸大学は宮崎医師が大学に戻り、大井医師、岡田医師を迎えた。大阪医大からは間嶋医師が大学に戻り、浅野医師を迎えた。香川大学からは島田医師が異動した後派遣が途絶えたが、新たに大阪市立大学から池永医師、萩原医師を順次迎えた。公募で、香川大学より上北医師、松山赤十字病院より阪本医師を迎えた。千船病院から西田医師、当院小児科からは下川医師、中島医師をそれぞれ3ヶ月間の研修に迎えた。

村田医師は4月より非常勤となり、週2回日帰り手術の麻酔に従事している。

2009年12月の時点では香川、鈴木、高辻、大西、池島、野々村、鹿原、黒寄、上北、浅野、阪本、大井、岡田、萩原の14名および村田で業務を行っている。

2. 活動状況と反省

2009年の総麻酔件数は4756件となり、前年を若干上回っている。なかでも病棟での麻酔が590件と増加傾向にあることが特徴的であり、そのほとんどを占める血液腫瘍科患者への安定した麻酔の提供と安全確保が重要となっている。MRI検査時の麻酔は35件と件数は伸びているもののまだ余裕があり、鎮静に困ることがあれば麻酔を依頼していただければと考えている。

入院手術、日帰り手術、検査の麻酔、病棟麻酔、術前麻酔科診察の各業務において、大きな事故もなく一年を過ごせたことに安堵しており、看護部や外科系各科からは様々な協力をいただいたことにこの場を借りて感謝を申し上げたい。

3. 展望

多くの件数を抱える一方で、安全かつ快適に手術・麻酔を行うことは大命題である。麻酔科医の教育や知識技術の向上、十分なコミュニケーション、麻酔業務の効率化、そして麻酔科医の確保により手術件数の増加に対応し、安全・快適な麻酔を提供し続けたい。

麻酔科医の確保は今後も重要な課題であるが、各大学からの派遣および公募により、小児麻酔を志願するものに来ていただけるようにしたい。

総麻酔件数 2009. 1. 1 ~ 12. 31

4756件

上記に手術室で行われた局所麻酔症例を加えた
症例数：5218件

入院区分および麻酔の場所による内訳

入院手術および検査室での麻酔	2670
日帰り手術の麻酔	1182
病棟麻酔サービス	590
放射線部門 (アンギオ室、透視室) での麻酔	279
M R I 検査時の麻酔	35
計	4756

麻酔法による内訳

全身麻酔・吸入麻酔	4261
全身麻酔・静脈麻酔	103
全身麻酔・吸入麻酔 + 硬膜外麻酔	140
全身麻酔・静脈麻酔 + 硬膜外麻酔	4
硬膜外麻酔 + 脊椎麻酔	2
脊椎麻酔 (脊髄くも膜下麻酔)	237
その他	9
全身麻酔 小計	4508
合計	4756

年齢別内訳

1ヶ月まで	101
12ヶ月まで	797
5歳まで	1862
18歳まで	1687
65歳まで	309
66歳以上	0
計	4756

手術部位による内訳

開頭術	75
開胸・縦隔手術	90
先天性心疾患根治術	157
先天性心疾患姑息術	34
その他の心臓手術	30
胸腹部手術	5
上腹部手術	117
下腹部手術	180
帝王切開	257
頭頸部・咽喉頭手術	1305
胸壁・腹壁・会陰手術	1179
脊椎手術	43
股関節・四肢手術	377
検査、手術室内	157
検査、手術室外	376
その他	374
計	4756

23. 新生児科

1. 医師の異動

6月をもって、永く在勤し、日本初の分娩を経験した新生児専門医である吉形 真由美が勇退した。地域の中核的分娩機関に新設された施設で、新生児・小児医療を担われることになり、当科との連携の面でも寄与するところが大きい。替わって、秋田大輔医師が着任した。当科での研修経験もあり、即戦力として活躍が期待される。上田 雅章、坂井 仁美、溝淵 雅巳、芳本 誠司、中尾 秀人は引き続き在任した。4月に岡山大学に帰局した田淵和宏に続き、10月に岡山大学より妹尾 恵美が6ヶ月の研修予定で着任した。他に本年も多くの専攻医・後期研修医の往来があり、新生児・小児医療の展開にあたらしい息吹を吹き込んでいただいた。専攻医に対する教育・研修の工夫を重ね、着任する医師の要望にこたえていく努力も重要と認識している。周産期医療の従事者を再生産していくことは、総合周産期母子医療センターの重大な使命であり、そのためにもスタッフの確保は最重要案件となっている。

2. 診療活動

新生児病棟は変動はあるものの重症児、長期入院児が引き続き多く、業務は上限を超えつつある。Simple, Clear, Speedy を旨として医療の安全には充分留意して、全員の意志疎通を計り、患児の最善の利益が尊重できる診療行為の遂行に勤めている。NICU・GCUの両看護長をはじめ、看護部門の全面的な理解と協力は、年を経て洗練された新生児医療に反映している。入院患児の重症化を反映して、在宅患児を対象とする外来業務も重症児の管理が増加するため、担当医の負担はますます多岐にわたる。他の医療機関との連携、役割分担の相互理解も引き続き重要な案件である。本年も集学的治療を要する重症児の診療については、関連各科・関連病棟の御理解と御協力をいただき、厚く感謝するところである。地域医療連携部門との協力体制が確立し、長期入院児の在宅医療への移行も一段とスムーズになった。今後は、在宅の重症児に対するサポートを、病院全体の機能の中で如何に円滑に対応できるかの課題の解決にも、展望を開きたい。

3. 学会活動

多忙な診療の傍ら、国内外に渡って主要な学会での活発な活動がなされている。出来る限り、多くのスタッフが各学会に参加できるように県当局、病院の研修に対する支援を活用したい。

2009年新生児科統計

・ 新生児病棟統計

1) 月別入院数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
67	44	55	59	56	42	51	61	53	47	59	57	651

2) 診療科別入院数

新生児科入院	651	新生児科からの転科	42
		循環器内科	20
		一般外科	15
		脳神経外科	6
		脳神経内科	1

3) 入院形態と紹介医療機関地域

	神戸	阪神	南阪	神北	東播	磨中	播磨西	播磨北	淡路	丹波	但馬	県外
院外出生	196	121	16	3	42	1	0	0	5	1	3	4
一次搬送	159	98	15	3	41	0	0	0	1	1	0	0
(14日以上)	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二次搬送	37	23	1	0	1	1	0	0	4	0	3	4
院内出生	455	289	14	4	84	11	0	12	11	1	3	26
緊急母体	133	88	9	2	24	2	0	1	3	0	0	4
非緊急母体	319	198	5	2	60	9	0	11	8	1	3	22
院内出生	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日齢14未満一次搬送+院内出生	612	385	29	7	125	11	0	12	12	2	3	26

・ 新生児科統計

対象：新生児科入院（日齢14未満一次搬送入院及び院内出生症例，転科例を含む）

1) 院内出生と院外出生

出生体重	患者数	院内	率	帰院	産科
< 500 g	5	5	100.0%	0	0
500 ~ 749 g	15	15	100.0%	0	0
750 ~ 999 g	24	24	100.0%	0	0
1,000 ~ 1,499 g	36	35	97.2%	0	0
1,500 ~ 1,999 g	73	68	93.2%	0	1
2,000 ~ 2,499 g	175	145	82.9%	5	49
> = 2,500 g	284	163	57.4%	21	84
計	612	455	74.3%	26	134

週数	患者数	院内	率	帰院	産科
22, 23	4	4	100.0%	0	0
24, 25	8	8	100.0%	0	0
26, 27	28	28	100.0%	0	0
28, 29	14	13	92.9%	0	0
30, 31	23	23	100.0%	0	0
32, 33	34	34	100.0%	0	0
34 ~ 36	174	143	82.2%	6	33
> = 37	327	202	61.8%	20	101
計	612	455	74.3%	26	134

2) 分娩方法

出生体重	患者数	帝切例	率
< 500 g	5	4	80.0%
500 ~ 749 g	15	10	66.7%
750 ~ 999 g	24	23	95.8%
1,000 ~ 1,499 g	36	31	86.1%
1,500 ~ 1,999 g	73	62	84.9%
2,000 ~ 2,499 g	175	120	68.6%
> = 2,500 g	284	120	42.3%
計	612	370	60.5%

週数	患者数	帝切例	率
22, 23	4	0	0.0%
24, 25	8	7	88.0%
26, 27	28	28	100.0%
28, 29	14	12	85.7%
30, 31	23	18	78.3%
32, 33	34	28	82.4%
34 ~ 36	174	133	76.4%
> = 37	327	144	44.0%
計	612	370	60.5%

3) 生存率, 死亡率

出生体重	患者数	死亡数	生存率
< 500 g	5	0	100.0%
500 ~ 749 g	15	4	73.3%
750 ~ 999 g	24	1	95.8%
1,000 ~ 1,499 g	36	0	100.0%
1,500 ~ 1,999 g	73	2	97.3%
2,000 ~ 2,499 g	175	4	97.7%
> = 2,500 g	284	1	99.6%
計	612	12	98.0%

週数	患者数	死亡数	生存率
22, 23	4	0	100.0%
24, 25	8	1	87.5%
26, 27	28	3	89.3%
28, 29	14	1	92.9%
30, 31	23	2	91.3%
32, 33	34	1	97.0%
34 ~ 36	174	2	98.9%
> = 37	327	2	99.4%
計	612	12	98.0%

4) 多胎割合 (品胎 4 組)

出生体重	患者数	多胎率	品胎
< 500 g	5	2	40.0%
500 ~ 749 g	15	1	6.7%
750 ~ 999 g	24	10	41.7%
1,000 ~ 1,499 g	36	15	41.7%
1,500 ~ 1,999 g	73	24	32.9%
2,000 ~ 2,499 g	175	56	32.0%
> = 2,500 g	284	10	3.5%
計	612	118	19.3%

週数	患者数	多胎率	品胎
22, 23	4	0	0.0%
24, 25	8	0	0.0%
26, 27	28	9	32.1%
28, 29	14	6	42.9%
30, 31	23	9	39.1%
32, 33	34	14	41.2%
34 ~ 36	174	63	36.2%
> = 37	327	17	5.2%
計	612	118	19.3%

5) 人工呼吸管理の割合

出生体重	患者数	MV率	HFO	CPAP
< 500 g	5	5	100%	2
500 ~ 749 g	15	14	93%	8
750 ~ 999 g	24	23	96%	5
1,000 ~ 1,499 g	36	24	66.7%	3
1,500 ~ 1,999 g	73	24	32.9%	1
2,000 ~ 2,499 g	175	25	14.3%	1
> = 2,500 g	284	30	10.6%	1
計	612	145	23.7%	21

週数	患者数	MV率	HFO	CPAP
22, 23	4	4	100%	4
24, 25	8	8	100%	6
26, 27	28	26	92.9%	8
28, 29	14	13	92.9%	0
30, 31	23	16	69.6%	1
32, 33	34	13	38.2%	0
34 ~ 36	174	28	16.1%	1
> = 37	327	37	11.3%	1
計	612	145	23.7%	21

6) 特殊治療

PDA 閉鎖術	5 例 (+ 二次搬送 4 例)	生後ステロイド全身投与	15 例
NO 吸入療法	7 例	ステロイド吸入	29 例
ECMO	0 例	在宅酸素療法	3 例 (内 CLD1 例 + 二次搬送 CLD1 例)
		ROP レーザー	2 例

7) 新生児搬送出動回数

入院	89
転院	2

分娩立合い	7
時間外搬送	43

8) 双胎生存率, 死亡率

出生体重	患者数	死亡数	生存率
< 500 g	2	0	100%
500 ~ 749 g	1	0	100%
750 ~ 999 g	4	0	100%
1,000 ~ 1,499 g	11	0	100%
1,500 ~ 1,999 g	23	0	100%
2,000 ~ 2,499 g	56	0	100%
> = 2,500 g	10	0	100%
計	107	0	100%

週数	患者数	死亡数	生存率
22, 23	0	0	
24, 25	0	0	
26, 27	6	0	100%
28, 29	3	0	100%
30, 31	6	0	100%
32, 33	12	0	100%
34 - 36	63	0	100%
> = 37	17	0	100%
計	107	0	100%

24. 産 科

本年も大きなトラブルや事故もなく無事1年を終えることができ、産科スタッフ一同ならびに関連・関係各位に感謝しております。

2009年は5月から新型インフルエンザのoutbreakがありました。これに対応するため、兵庫県産科婦人科学会の「妊産婦新型インフルエンザ対策プロジェクト」がつくられ、船越はそのメンバーに選ばれましたので、情報収集や会議、通信会議を重ねました。院内でも診療部、看護部、薬剤部、事務部が的確に対応し、また、厚生労働省と日本産科婦人科学会が妊婦用の説明文書や行動指針を作成し必要時改訂してくれましたので、臨床現場では大きなトラブルもなく対応できたものと思われます。ただ、当初、ワクチンの配給数が不足してありましたので患者様や産科スタッフにご心配・ご迷惑をおかけしたかもしれません。当科では新型インフルエンザ合併妊婦は数名おられましたが、重症化することはありませんでした。

今年も病床稼働率は年間平均95.9%と高い数字を示すことができました。しかし、5月は新型インフルエンザの影響で入院患者が減少し病床稼働率が84.0%と低下しましたので、丸尾院長と船越がこれまで多数の患者様を紹介していただいた30施設を訪問しました。産科は入院患者数に波があります。特に当科のようなハイリスクに特化した総合周産期母子医療センターではその波が大きくなります（一日に緊急入院5人、緊急帝王切開5人等）。従って、オーバーベッドの日数も多く、産科スタッフには肉体的にも精神的にも負担をかけております。

診療統計は次ページ以降の表をご覧ください。

当科では本誌の学術活動の頁に掲載されておりますように、オンタイムの忙しい臨床と、平日時間外ならびに休日も宿直・日直・オンコールそして院外の第2産科当直医が来院するまでの居残りや院外当直医が早朝離院するための早出で実働し、また拘束される中で多数のoutputを行いました。

8月23日に神戸大学産科婦人科学教室同門会「位育会」の主催により、神戸市医師会館で開催されました「平成21年位育会臨床セミナー」におきまして「当科における超緊急帝王切開術 全32例の報告」を佐々木医長が発表し学術奨励賞を受賞しました。当科からの発表は過去5年の内3回学術奨励賞を受賞しております。

近年の超音波断層診断装置の進歩と普及に伴い、臨床的に進歩と普及が著しい出生前診断に関しまして、「第2回兵庫県胎児心エコー研究会」が7月18日神戸市医師会館で開催され、神奈川県立こども医療センターの川滝元良先生が「ガイドラインに基づいた先天性心疾患の胎児診断」を講演されました。

また、12月19日兵庫県主催で兵庫県医師会館にて開催されました「平成21年度兵庫県周産期研修会」におきまして、特別講演として神戸大学大学院医学研究科外科系講座産科婦人科学分野教授の山田秀人先生が「自己免疫疾患合併妊娠の管理」を講演されました。研修テーマとして「危機的状況にある母体の看護」を産科病棟の岸野早希看護師が、また、「胎盤早期剥離にて出生した児の周産期臨床像と予後」を上田雅章新生児内科医長が発表しました。

今年も臨床研修医（2年目）の、県立がんセンターから田尻晋也、神戸赤十字病院から田中 潤、時政雄平、伊賀真紀子、大橋秀基、藤本陽介、長澤 智（2010年3月）（敬称略）が各1ヶ月間当科に研修に訪れました。1ヶ月間という短い期間ですが、大学病院のBSLでは経験できない貴重な研修ができたことと思います。

2008年5月から始まった放射線科医師と胎児MRIを撮影した症例の経過とMRIの読影、その後の状態を検討する「MRIカンファレンス」を月1回隔月で開催しております。読影報告書からだけでは伺えないMRIの読み方についてリアルに研修することができます。

また、同6月より管理に難渋した症例のふりかえりと今後の対応について検討する「症例検討会」を月1回隔月で開催しております。

当院は兵庫県の唯一の総合周産期母子医療センターですので、兵庫県の周産期医療の最後の砦として診療レベルの維持・向上に努め、また、空床がある限り母体搬送入院を受け入れております。当科はこども病院に併設された周産期母子医療センターですので、他科のベッドを借りることができません。従って、当科が満床となれば搬送依頼をお断りし、他院を紹介せざるを得ないこともあります。そのため、病状が落ち着いた方や、紹介元で対応可能な妊娠週数となれば、紹介元へ戻っていただいております。また、産科以外の成人を診る常勤の専門医がおりませんので、母体合併症に関しては神戸大学病院や神戸医療センター中央市民病院をご紹介します。

近年の社会構造の変化（女性の高学歴化と社会進出の増加、経済や常識の格差の拡大に伴う未受診妊婦の増加）と医療の進歩（不妊治療、各種合併症の管理の進歩）、患者家族の要求水準や権利意識の増大と一部に見られるモラルの低下、マスコミの医療バッシング、医療訴訟の増加、国の医療費抑制政策等に伴い、高齢妊娠、多胎妊娠、各種合併症妊婦の増加、医療訴訟の増加、医師の過重労働等が産科医師不足、分娩取扱い施設の減少を招き周産期医療の崩壊が始まっております。

マンパワー不足、医療資源不足から、現在日本の総合周産期母子医療センターでは、総合周産期母子医療センターの必要条件である2人の産科医師の当直体制が一年中維持できている施設は約40%、また、超緊急帝王切開の場合、手術決定から30分以内の手術開始が24時間365日常時可能な施設は約50%といわれておりますが、当科では産科スタッフ、ならびに関連・関係各位のご努力とご協力により体制を維持しております。2人当直体制を維持することは院内の産科医師にとって負担が大きく、院外の第2当直医師の突然のキャンセルや、第2当直医がどうしても見つからないところを院内医師で埋めることもあります（院内の産科医師は第1当直とオンコールを行っています）。また、近畿ブロック周産期医療広域連携が行われこども病院は兵庫県の拠点病院として他府県からの母体搬送に対応しています。

当科も常にマンパワー不足の危険性があり、現在のスタッフの退職や病気・事故で長期休暇を取得すると、たちまち診療レベルや当直体制を維持することができなくなって崩壊してしまう可能性がありますので、神戸大学医学部産科婦人科学教室から医師の派遣と第2当直医のご協力をいただき、また、医師公募も行っております。

臨床上の変更点の主な部分を列挙します。

1) 帝王切開の名称変更と内容の整理

超緊急帝切（レッド帝切）：手術決定から可及的速やかな時の娩出をめざす（過去3年間の平均は15分）。
全身麻酔。

緊急帝切（オレンジ帝切）：手術決定から60分以内の（手術開始ではなく）児の娩出をめざす。腰椎麻酔。

臨時帝切（イエロー帝切）：予定手術例の陣痛発来や破水例に対し。腰椎麻酔。

予定帝切（グリーン帝切）：選択的帝切の予定手術。腰椎麻酔。

色分けすることにより、産科スタッフ以外の他部門の方々にもわかりやすくなったと思います。

2) 羊水検査入院を従来の日帰りから安全安心な医療を提供するため1泊入院に変更しました。

3) 既往帝王切開後の経膈分娩（VBAC）希望者の取り扱い中止：これまで、適応のある方でそのリスクを十分理解し同意された方にはVBACを行ってまいりましたが（年2～3人）、他施設での裁判事例の検討、社会情勢の変化、限られた医療資源の有効活用、またリスクマネジメントの観点から2009年9月末日からVBACの取り扱いを中止しました。

2009年人事

1月：1月1日付けで神戸大学医学部産科婦人科学教室より佐々木紘子医長が入職し、船越 徹周産期センター次長、産科科長兼産科部長、佐本 崇部長、喜吉賢二医長、高松祐幸医長、田中達也医長、笹原 淳医長、佐々木紘子医長、牧志 綾医長の8人体制で平成21年をスタートした。佐々木医長は子育て中のため宿直、オンコールができないが、休日の日直の対応は可能であるため、昨年8月1日からの医師7人体制から1人増えることによりマンパワー不足の危機的状態を脱することができました。

12月：12月10日より佐々木紘子医長が産休・育休取得で休職となり、再び船越、佐本、喜吉、高松、田中、笹原、牧志の医師7人体制にパワーダウンした。

(1) 平成21年産科診療状況

延べ入院患者数	642
うち母体搬送依頼電話によるもの	137
紹介元へ返送または他院紹介	211
分娩母体数 (22週以降)	402
正期産	192
早産	209
過期産児	1
多胎妊娠	56
うち双胎	52
うち品胎	4
うち要胎	0
経膈分娩	141
うち鉗子・吸引分娩	18
うち骨盤位牽出術	0
帝王切開術	261
出産児数 (22週以降、死産含む)	462
正期産児	201
早産児	260
過期産児	1
低出生体重児 (2500g未満)	300
巨大児 (4000g以上)	0
その他	
切迫流産	15
子宮内胎児死亡(22週以降)	7
産後出血・D I C	4
自己血貯血回数	33

入院患者数は2009.1-12入院したもの、分娩母体数、出産児数は2009.1-12に出産したものの紹介元へ戻すまたは他院紹介は、入院せず外来レベルで行われたものも含む。

(2) 紹介元施設所在地別入院件数

大分類	地区	件数	率	大分類	地区	件数	率
阪神南	尼崎市	4	1%	中播磨	姫路市	24	4%
	西宮市	9	1%		神崎郡	1	0%
	芦屋市	6	1%		小計	25	4%
阪神北	小計	19	3%	西播磨	相生市	0	0%
	宝塚市	1	0%		龍野市	0	0%
	三田市	2	0%		赤穂市	0	0%
	川西市	0	0%		揖保郡	0	0%
	伊丹市	4	1%		赤穂郡	0	0%
	川辺郡	0	0%		佐用郡	0	0%
神戸市	小計	7	1%	宍粟郡	0	0%	
	須磨区	126	20%	小計	0	0%	
	中央区	41	6%	豊岡市	6	1%	
	西区	82	13%	城崎郡	0	0%	
	垂水区	82	13%	出石郡	0	0%	
	灘区	16	2%	美方郡	0	0%	
	東灘区	20	3%	養父市	0	0%	
	北区	30	5%	朝来郡	0	0%	
	兵庫区	1	0%	小計	6	1%	
	長田区	11	2%	篠山市	1	0%	
小計	409	64%	丹波	丹波市	2	0%	
東播磨	明石市	85	13%	小計	3	0%	
	加古川市	13	2%	淡路	洲本市	13	2%
	高砂市	10	2%		淡路市	0	0%
	加古郡	0	0%		南あわじ市	1	0%
	小計	108	17%	小計	14	2%	
	北播磨	西脇市	6	1%	他府県	大阪府	12
三木市		0	0%	京都府		3	0%
小野市		14	2%	岡山県		3	0%
加西市		0	0%	神奈川県		3	0%
美嚨郡		0	0%	その他		6	1%
加東郡		0	0%	小計		27	4%
多可郡		0	0%	海外	1	0%	
小計		20	3%	院内紹介	1	0%	
			紹介なし	3	0%		
			計	642	100%		

救急隊はその所属地域にカウントした

(3) 入院時疾患名別 (重複あり)

疾患名	件数	率
切迫早産	263	41%
胎児異常	138	21%
高齢妊娠	125	19%
子宮内胎児発育遅延	124	19%
多胎	68	11%
うち双胎	63	10%
うち品胎	5	1%
羊水検査	65	10%
胎児機能不全	57	9%
前期破水	53	8%
妊娠高血圧症候群	50	8%
羊水過多・過少	49	8%
既往帝王切開	42	7%
胎位異常	34	5%
絨毛膜羊膜炎	24	4%
頸管無力症	23	4%
切迫流産	15	2%
B群溶連菌保菌者	19	3%
discordant twins	18	3%
胎盤早期剥離	18	3%
他科合併症	16	2%
前置胎盤	14	2%
糖尿病合併・GDM	13	2%
子宮筋腫合併	12	2%
胎盤機能不全	10	2%
双胎間輸血症候群	8	1%
胎児水腫	8	1%
自己免疫疾患	8	1%
甲状腺疾患	7	1%
子宮内胎児死亡	6	1%
染色体異常	6	1%
その他	114	18%
計	1502	261%

入院母体 1 人あたり平均2.3件の疾患名を有す。

(4) 入院時間帯

時間帯	件数	率
時間内	493	77%
平日日勤帯		
時間外	149	23%
平日夜勤帯	82	13%
休日日勤帯	40	6%
全日夜勤帯	27	4%
計	642	100%

(6) 帝王切開時間帯

時間帯	件数	率
時間内	195	75%
平日日勤帯		
時間外	66	25%
平日夜勤帯	36	14%
休日日勤帯	14	5%
全日夜勤帯	16	6%
計	261	100%

(5) 分娩時間帯 (流産、死産含む)

時間帯	件数	率
時間内	239	59%
平日日勤帯		
時間外	167	41%
平日夜勤帯	97	24%
休日日勤帯	30	7%
全日夜勤帯	40	10%
計	406	100%

(7) 出産時児体重 (流産、死産含む)

児体重	件数	率	累積率
~ 499 g	17	4%	4%
~ 999 g	39	8%	12%
~ 1499 g	35	8%	20%
~ 1999 g	67	14%	34%
~ 2499 g	146	31%	65%
~ 2999 g	106	23%	88%
~ 3499 g	43	9%	97%
~ 3999 g	13	3%	100%
~ 4499 g	0	0%	100%
計	466	100%	

(8) 入院時妊娠週数 (母)

週数	件数	率	累積率
~ 21週	111	17%	17%
22~ 24週	44	7%	24%
25~ 28週	81	13%	37%
29~ 32週	95	15%	52%
33~ 36週	157	24%	76%
37週~	149	23%	99%
不明	2	0%	99%
産後	3	0%	100%
非妊娠	0	0%	100%
計	642	100%	

(9) 分娩時妊娠週数 (流産死産含む)

週数	件数	率	累積率
~ 21週	4	1%	1%
22~ 24週	7	2%	3%
25~ 28週	36	9%	12%
29~ 32週	34	8%	20%
33~ 36週	132	33%	52%
37~ 41週	192	47%	100%
42週~	1	0%	100%
不明	0	0%	100%
計	406	100%	

(10) 妊娠延長期間

(37週未満の入院から分娩まで)

延長期間	件数	率	累積率
当日	49	23%	23%
~ 1日	23	11%	34%
~ 1週間	42	20%	54%
~ 2週間	25	12%	65%
~ 4週間	26	12%	77%
~ 8週間	30	14%	92%
~ 12週間	15	7%	99%
12週間~	3	1%	100%
計	213	100%	
平均	16.8日間		

(11) バックトランスファー

(紹介元医へ戻す)

および他院紹介件数

	件数
外来患者	171
入院患者	40
計	211

(12) 緊急母体搬送依頼電話受信状況

月	依頼件数	受け入れ不可件数	受け入れ不可率
1	18	5	28%
2	24	7	29%
3	19	2	11%
4	28	3	11%
5	23	1	4%
6	29	7	24%
7	20	13	65%
8	23	12	52%
9	20	6	30%
10	21	13	62%
11	24	9	38%
12	29	10	34%
不明	1	0	0%
計	279	88	32%

(13) 年次別搬送受け入れ不可状況

年	依頼件数	受け入れ不可件数	受け入れ不可率	備 考
平成6年	66	12	18%	10月開設 (22床)
平成7年	240	38	16%	阪神・淡路大震災
平成8年	312	76	24%	
平成9年	340	111	33%	
平成10年	324	105	32%	
平成11年	326	55	17%	フルオープン (32床)
平成12年	362	100	28%	総合周産期センターに指定
平成13年	328	60	18%	
平成14年	394	110	28%	
平成15年	367	140	38%	
平成16年	298	126	42%	
平成17年	285	120	42%	M F I C U 6床整備
平成18年	316	124	39%	空床情報ネットワーク整備
平成19年	285	91	32%	
平成20年	259	65	25%	
平成21年	279	88	32%	

(14) 搬送依頼施設所在地別受信件数

大分類	地区	件数	率	大分類	地区	件数	率
阪神南	尼崎市	1	0%	中播磨	姫路市	8	3%
	西宮市	4	1%		神崎郡	0	0%
	芦屋市	11	4%		小 計	8	3%
	小 計	16	6%	西播磨	相生市	0	0%
阪神北	宝塚市	3	1%		赤穂市	0	0%
	三田市	0	0%		宍粟市	0	0%
	川西市	0	0%		たつの市	0	0%
	伊丹市	2	1%		揖保郡	0	0%
	川辺郡	0	0%		赤穂郡	0	0%
小 計	5	2%	佐用郡		0	0%	
神戸市	須磨区	66	24%	小 計	0	0%	
	中央区	14	5%	但馬	豊岡市	0	0%
	西区	22	8%		養父市	0	0%
	垂水区	29	10%		朝来市	0	0%
	灘区	13	5%		美方郡	0	0%
	東灘区	5	2%		小 計	0	0%
	北区	12	4%	丹波	篠山市	1	0%
	兵庫区	1	0%		丹波市	4	1%
	長田区	17	6%		小 計	5	2%
	小 計	179	64%	淡路	洲本市	5	2%
東播磨	明石市	34	12%		南あわじ市	0	0%
	加古川市	5	2%		淡路市	0	0%
	高砂市	6	2%		小 計	5	2%
	加古郡	0	0%	大阪府	大阪府	1	0%
	小 計	45	16%		京都府	1	0%
北播磨	他府県	西脇市	1		0%	和歌山県	1
		三木市	0	0%	岡山県	1	0%
		小野市	6	2%	他	4	1%
	加西市	0	0%	小 計	8	3%	
	加東市	0	0%	海外	中国	1	0%
	多可郡	0	0%		不 明	0	0%
	小 計	7	3%	計	279	100%	

救急隊はその所属地域にカウントした

(15) 搬送依頼元施設種類別

施設種類	件数	率
総合周産期医療センター	3	1%
地域周産期医療センター	14	5%
一 般 病 院	135	48%
診 療 所	111	40%
助 産 院	7	3%
救 急 隊	7	3%
他	0	0%
不 明	2	1%
計	279	100%

(16) 搬送依頼電話受信時刻

勤務帯	件数	率	
時間内	平日・日勤帯	133	48%
時間外	平日・夜勤帯	67	24%
	休日・日勤帯	39	14%
	休日・夜勤帯	38	14%
不 明	2	1%	
計	279	100%	

(17) 搬送電話依頼時理由

搬送理由	件数	率
切 迫 早 産	116	42%
前 期 破 水	24	9%
胎 児 異 常	20	7%
妊娠高血圧症候群	21	8%
胎 盤 早 期 剥 離	13	5%
胎 児 機 能 不 全	13	5%
子宮内胎児発育遅延	8	3%
多 胎	8	3%
他 科 合 併 症	6	2%
前 置 胎 盤	5	2%
切 迫 流 産	3	1%
難 産	3	1%
胎 児 死 亡	2	1%
出 血 多 量	2	1%
未 受 診	2	1%
既 往 帝 切	2	1%
シ ョ ッ ク	0	0%
子 宮 外 妊 娠	0	0%
そ の 他	22	8%
不 明	9	3%
計	279	100%

(18) 搬送電話依頼時妊娠週数

妊娠週数	件数	率
22週以前	27	10%
22～24週	35	13%
25～28週	45	16%
29～32週	55	20%
33～36週	67	24%
37～40週	41	15%
41週以降	4	1%
分娩後	2	1%
不明	2	1%
非妊娠	1	0%
計	279	100%

(19) 受け入れ可否返事所要時間

所要時間	件数	累積率
～ 1 分	213	76%
～ 3 分	33	88%
～ 10 分	20	95%
～ 20 分	5	97%
～ 30 分	2	98%
～ 60 分	5	100%
～ 120 分	2	100%
不明	1	100%
計	279	100%

(20) 受け入れ不可理由

理由	件数	率
NICU 満床	10	11%
産科 満床	61	69%
両方 満床	2	2%
対象外	7	8%
その他	8	9%
不明	0	0%
計	88	100%

25. 放射線科

1. 人事異動

2009年度は、3/31にスタッフの山口善道医師が当院救急部に異動となり、神戸大学から専攻医として田中大輔医師が着任した。今年度は診断担当の赤坂好宣、板橋健太郎、田中大輔の3名と、放射線治療担当で副島俊典医師ががんセンターと兼務で週1回の診療にあたる。非常勤医師として西山章次医師に金曜午前に応援していただいている。

2. 2009年の動向

スタッフが1名減となったが、本年は小児科医の研修希望が多くあり、当院ローテーション専攻医3名、阪神北広域こども急病センターより藤本雄介医師（週3日）の研修を受け入れている。

本年に PACS 化と放射線オーダーリングが行われ、新しい読影システムの構築と超音波、透視検査の最適なオーダーリング運用の模索を現在も手掛けている。

3. 放射線科の取り組み

高度な小児診療の進歩に伴い放射線科検査件数は年々増加傾向で、それだけ放射線科医の働きが病院全体の診療の質に大きくかかわっている。一方、小児専門の放射線科医は全国的に少なく、読影や超音波検査などは小児科医が自分で行っている施設がほとんどである。こういった画像を使いこなして質の高い診療を行える小児科医を多く育てる試みが患者さまにとっては福音と考えている。

また、上記理由により画像診断に対する需要に放射線科医が応えられていないため成人領域に比べると小児ではまだまだ未開拓な分野が多い。1月より赤坂が毎週木曜日に塚口病院へ出張し、読影や透視検査、超音波検査、カンファレンスを行っており、徐々に隠れた需要が掘り起こされ、軌道に乗ってきている。今後は塚口病院はじめ県内の小児科医の研修を受け入れる予定である。

小児科専攻医

- ・ 2009/1/1-2009/5/31 下川祐子
- ・ 2009/7/1-2009/9/30 田村彰広
- ・ 2009/10/1-2009/12/31 中島絵梨花

放射線科読影件数 (2009年)

C T 3037件

単純 2406

造影 631 (心血管系3D構築:107)

M R I 2413件

単純 1957

造影 456

R I 445件

超音波 4108件

透視 287件

上部 196

下部 81

その他 10

I V R 9件

エコー下肝生検 7

腎瘻造設 1

肝静脈穿刺 1

単純写真 668件

放射線治療(照射) 44件

26. 検査・放射線部（放射線部門）

1. 人事異動

- (転出者) 小林 信郎 平成21年4月1日付 県立西宮病院へ
(転入者) 清水 俊文 平成21年4月1日付 県立尼崎病院から
木村 浩司 平成21年4月1日付 県立加古川病院から

2. 活動状況

1) 放射線検査業務実績

平成21年放射線検査実績は、総検査件数は35,858件であり、前年比（20年）103.6%（1,259件）の増加でありました。

- ・少子化の影響もあり、単純撮影・造影撮影が減少傾向にある。一方、CT・MRIに代表される高額医療機器の検査数は増加傾向である。今後もこの傾向が続くものと思われます。

2) 機器の設置、更新

- ・放射線検査システム（検査オーダーリング・RIS・PACS）の導入

放射線検査システムが導入され、10月より稼働いたしました。これにより患者基本情報・オーダ情報・画像情報・会計情報が電子媒体により正確で迅速に伝わり、業務の効率化と患者サービスにつながります。画像のフィルム出力が無くなり、他院から、また、当院からの紹介患者の画像情報も、電子媒体での処理が可能となりました。

- ・血管連続撮影装置（アンギオ装置）の更新。

12月、平成7年4月以降14年間使用してきた心臓血管連続撮影装置（DIGITEX2400CX 島津社製）が、最新の装置（Allura Xper 20/20 フィリップス社製）に更新されました。新装置はフラットパネル方式の装置で、I.I.方式に比べ経年変化による性能の低下が少なく、長期間にわたり高い診断能を維持できます。また、検査における患者及び術者の被ばく線量も低減されるようになりました。

3) 医療事故防止の取り組み

昨年に続き、月に一度、科内会議で「ヒヤリ・ハット」報告事例の分析、改善策の検討を行い、現場へフィードバックを行っています。その成果もあり、ヒヤリ・ハット事例は、前年度比35%の減少ができました。21年の重要取り組み項目も、昨年同様次のとおりであります。

- ・呼吸タイミング不良による再撮影の減少に努める。
- ・画像の左右間違いを防止する。
- ・MRI検査室内に磁性体（ハサミ等）の持ち込み防止。

4) 資質向上と教育

職員の資質の向上を図るため、学会・研修会に積極的な参加と発表を促進している。

- ・学会・研修会発表、雑誌投稿：4演題
- ・学会・研修会等への参加：延べ43人
- ・放射線部内勉強会の実施：7回9演題実施

3. 平成22年の課題

IT化の促進と機器更新を進め、こども病院の更なる発展に寄与する。

- ・放射線検査システムの積極的な活用を図り、画像診断の充実
- ・放射線治療装置（リニアック）の更新と安定稼働
- ・救急検査対応の充実

(1) 放射線検査人数

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
単 純 撮 影	胸部撮影	外 来	589	598	750	672	523	631	733	840	631	632	584	599	7,782
		入 院	159	134	217	173	108	160	194	158	99	100	88	114	1,704
		計	748	732	967	845	631	791	927	998	730	732	672	713	9,486
	外科撮影	外 来	521	471	694	594	394	581	640	704	615	520	459	483	6,676
		入 院	73	62	72	63	61	84	86	73	112	99	71	79	935
		計	594	533	766	657	455	665	726	777	727	619	530	562	7,611
	ポータブル	外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		入 院	644	599	597	511	541	510	533	456	529	621	648	644	6,833
		計	644	599	597	511	541	510	533	456	529	621	648	644	6,833
	パノラマ・ その他	外 来	24	19	44	37	21	20	33	33	19	18	41	39	348
		入 院	0	0	0	2	0	0	1	2	2	2	0	1	10
		計	24	19	44	39	21	20	34	35	21	20	41	40	358
単純撮影合計	外 来	1,134	1,088	1,488	1,303	938	1,232	1,406	1,577	1,265	1,170	1,084	1,121	14,806	
	入 院	876	795	886	749	710	754	814	689	742	822	807	838	9,482	
	計	2,010	1,883	2,374	2,052	1,648	1,986	2,220	2,266	2,007	1,992	1,891	1,959	24,288	
造 影 撮 影	消化器	外 来	14	17	13	15	14	17	22	14	12	13	11	15	177
		入 院	6	14	11	15	11	12	9	10	7	18	14	15	142
		計	20	31	24	30	25	29	31	24	19	31	25	30	319
	脳血管	外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		入 院	1	4	0	2	2	1	0	3	0	1	0	1	15
		計	1	4	0	2	2	1	0	3	0	1	0	1	15
	心臓血管	外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		入 院	17	16	23	22	18	21	21	29	21	18	7	5	218
		計	17	16	23	22	18	21	21	29	21	18	7	5	218
	その他の血管	外 来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		入 院	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	6
		計	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	6
泌尿器系	外 来	39	35	49	44	30	24	42	38	29	30	41	30	431	
	入 院	2	5	2	3	0	1	3	0	2	3	4	6	31	
	計	41	40	51	47	30	25	45	38	31	33	45	36	462	
その他の造影	外 来	1	1	1	2	0	0	0	0	2	2	1	1	11	
	入 院	4	3	2	2	2	5	5	3	1	4	3	5	39	
	計	5	4	3	4	2	5	5	3	3	6	4	6	50	
造影撮影合計	外 来	71	69	86	83	62	62	85	81	64	45	53	46	807	
	入 院	30	42	39	45	34	40	38	45	31	44	28	35	451	
	計	101	111	125	128	96	102	123	126	95	89	81	81	1,258	
C T 撮 影	外 来	121	94	150	121	131	136	155	160	131	124	108	128	1,559	
	入 院	103	101	108	124	107	146	97	91	97	107	98	108	1,287	
	計	224	195	258	245	238	282	252	251	228	231	206	236	2,846	
M R I 検 査	外 来	112	94	117	113	83	104	117	135	100	97	94	108	1,274	
	入 院	38	58	55	47	38	47	52	43	50	57	52	47	584	
	計	150	152	172	160	121	151	169	178	150	154	146	155	1,858	
核医学検査	外 来	31	21	41	26	16	18	48	76	25	20	23	28	373	
	入 院	5	9	3	7	7	4	8	3	8	7	4	7	72	
	計	36	30	44	33	23	22	56	79	33	27	27	35	445	
放射線治療	外 来	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	11	
	入 院	21	6	51	49	10	68	68	42	42	72	89	61	579	
	計	21	6	51	49	10	68	68	53	42	72	89	61	590	
超音波検査	外 来	261	193	317	258	235	236	392	415	269	244	261	249	3,330	
	入 院	55	48	47	68	55	59	67	53	34	60	71	56	673	
	計	316	241	364	326	290	295	459	468	303	304	332	305	4,003	
D U P 処 理	外 来	28	25	53	23	25	49	18	38	14	5	3	0	281	
	入 院													0	
	計	28	25	53	23	25	49	18	38	14	5	3	0	281	
P A C S 処 理	外 来									19	72	69	58	218	
	入 院													0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	19	72	69	58	218	
骨塩定量	外 来	4	4	10	1	4	11	5	9	5	5	3	4	65	
	入 院	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	6	
	計	5	6	11	1	5	11	5	9	5	5	4	4	71	
総合計	外 来	1,762	1,588	2,262	1,928	1,494	1,848	2,226	2,502	1,892	1,782	1,698	1,742	22,724	
	入 院	1,129	1,061	1,190	1,089	962	1,118	1,144	966	1,004	1,169	1,150	1,152	13,134	
	計	2,891	2,649	3,452	3,017	2,456	2,966	3,370	3,468	2,896	2,951	2,848	2,894	35,858	

(2) 時間外検査人数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ポータブル	235	182	176	151	178	136	162	190	175	198	188	195	2,166
一般撮影	66	47	109	80	79	87	60	80	88	60	69	81	906
C T	46	32	49	45	66	74	31	42	48	41	33	47	554
T V	3	4	2	5		3	4	1	1	2	2	1	28
アンギオ					2		1						3
M R I	1	1		1	1	1			1	1	2	2	11
エコー													0
その他													0
合計	351	266	336	282	326	301	258	313	313	302	294	326	3,668

(3) 機器別検査人数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
X線撮影装置 (胸部)	748	732	967	845	631	791	927	998	730	732	672	713	9,486
X線撮影装置 (外科)	594	533	766	657	455	665	726	777	727	619	530	562	7,611
泌尿器用X線TV装置	41	40	51	47	30	25	45	38	31	33	45	36	462
X線TV・断層撮影装置 (多目的)	5	4	3	4	2	5	5	3	3	6	4	6	50
X線C T撮影装置	224	195	258	245	238	282	252	251	228	231	206	236	2,846
磁気共鳴断層撮影装置	150	152	172	160	121	151	169	178	150	154	146	155	1,858
放射線治療	21	6	51	49	10	68	68	53	42	72	89	61	590
ガンカメラ装置 (R I)	36	30	44	33	23	22	56	79	33	27	27	35	445
デジタルX線TV装置	20	31	24	30	25	29	31	24	19	31	25	30	319
心臓血管連続撮影装置	18	20	24	25	21	22	21	32	21	19	7	9	239

(4) 使用フィルム枚数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
胸部撮影室	769	749	994	910	654	808	958	1,046	756	0	0	0	7,644
外科撮影室	1,171	1,008	1,479	1,286	882	1,310	1,414	1,471	1,262	0	0	0	11,283
ポータブル撮影	679	617	607	533	560	561	551	470	563	0	0	0	5,141
パノラマ撮影室	35	31	60	54	24	35	48	49	23	0	0	0	359
D R X線TV室	35	48	39	48	38	40	52	44	29	51	42	50	516
泌尿器X線TV室	51	49	53	58	41	27	58	46	47	0	1	0	431
多目的X線TV室	17	4	0	12	9	21	18	11	0	0	0	0	92
X線C T室	625	474	619	610	631	788	672	603	591	0	0	0	5,613
M R I室	858	871	974	950	690	883	978	1,009	880	0	0	0	8,093
核医学室	141	114	222	128	38	49	90	87	67	0	0	0	936
血管造影撮影室	66	93	59	97	68	68	55	106	63	58	18	0	751
放射線治療室	0	9	5	8	3	20	17	6	10	3	0	0	81
超音波検査室	332	280	376	333	299	306	484	475	308	2	0	0	3,195
D U P処理	164	84	180	106	94	160	92	140	32	25	17	0	1,094
合計	4,943	4,431	5,667	5,133	4,031	5,076	5,487	5,563	4,631	139	78	50	45,229

27. 検査・放射線部（検査部門）

1) 検査部門の人事異動

【転出者】技師長	竹田 富男	県立塚口へ	(平成21年4月1日付け)
課長補佐	伊藤 裕子	県立西宮へ	(平成21年4月1日付け)
主任	小島知位子	県立がんセンターへ	(平成21年4月1日付け)
【転入者】技師長	三村 仁志	県立柏原から	(平成21年4月1日付け)
課長補佐	入野 博文	県立がんセンターから	(平成21年4月1日付け)
主査	四元 寿江	県立加古川から	(平成21年4月1日付け)

2) 活動状況

院内感染対策活動

- ・感染対策チーム（ICT）事務局として ICT 会議を開催。委員として検出菌情報の提供と病棟ラウンドの実施と感染対策指導を実施。
- ・院内感染対策講習会で「耐性菌の検出状況」「院内感染対策と細菌検査の関わり」「感染経路と清掃」について講義を行った。
- ・院内細菌分離について、MRSA 発生状況・無菌材料からの検出菌・耐性菌情報・感受性情報などを定期的（毎週）に発信した。
- ・リンクナースとの合同ミーティング資料作成を行った。
- ・厚生労働省・神戸市の感染症サーベイランス資料を作成した。
- ・病棟感染対策として、水痘など院内流行性感染情報を感染症通報にて院内に発信した。

安全な輸血医療（輸血療法委員会事務局としての活動）

- ・こども病院輸血療法マニュアルの改訂を行った。
- ・緊急時の輸血療法について、緊急度に応じた対応マニュアルを作成した。

診療支援、患者サービスの向上

- ・検体検査オーダリングシステムを導入し、検査の迅速化、患者サービスの向上、検査過誤の防止、医事会計の請求漏れ防止を図った。

医療事故防止の強化

- ・検査部医療安全目標の作成と推進
「輸血・製剤管理業務におけるヒヤリハットの減少に努める」
- ・定例的に検査部内事故防止委員会を開催し、ニアミスを集計、4M - 4Eシートによる原因分析と改善を実施
- ・始業前の朝の会で準夜・深夜時間帯の検査実施状況の確認、ヒヤリハット情報の共有
資質向上と教育
- ・検査部内勉強会の充実（本年は14回）
- ・検査技術科学専攻学生臨地実習の受け入れと指導
神戸大学医学部保健学科（選択臨地実習：2名）
常盤短期大学衛生技術科（臨地実習：1名）

(1) 平成21年臨床検査実施状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
一 般	8,697	7,209	8,889	8,309	7,120	7,557	10,887	11,631	8,214	9,621	8,223	8,072	104,429
血 液	18,055	16,439	19,261	19,159	17,309	18,052	20,753	19,927	17,584	17,974	16,817	17,428	218,758
細 菌	3,045	2,794	3,093	3,022	2,844	2,620	2,969	3,029	2,707	2,974	3,439	3,211	35,747
血 清	4,995	4,340	5,200	5,207	4,881	5,289	5,683	5,471	4,916	4,868	4,762	4,809	60,421
生 化 学	32,688	30,446	30,919	35,370	31,685	33,800	35,409	37,472	32,296	33,918	31,805	32,300	398,108
病 理	157	199	176	153	217	247	195	145	237	274	279	236	2,515
生 理	1,142	1,017	1,515	1,309	902	1,238	1,374	1,592	1,269	1,286	1,039	1,188	14,871
内分泌・ウイルス	2,588	2,672	2,917	3,001	2,443	2,985	3,070	3,289	2,520	2,846	2,564	2,491	33,386
職員 検 診	73	73	67	82	79	154	157	157	157	154	78	79	1,310
合 計	71,440	65,189	72,037	75,612	67,480	71,942	80,497	82,713	69,900	73,915	69,006	69,814	869,545

(2) 平成21年時間外（日、当直）検査実施状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
項 目 数	1,645	1,877	1,619	1,689	1,813	1,826	2,032	2,475	1,945	1,878	1,498	1,572	21,869
対 前 年 比	104.3%	105.7%	112.7%	106.0%	113.6%	126.6%	157.0%	154.3%	111.1%	106.8%	97.5%	85.1%	115.1%
患 者 数	716	809	652	782	792	759	899	836	725	882	684	702	9,238
対 前 年 比	104.1%	104.1%	99.5%	110.5%	110.9%	111.9%	155.0%	114.8%	88.3%	112.6%	97.2%	85.4%	107.9%

(3) 平成21年血液製剤使用状況

製剤		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R C C	購入数 単位数	219	199	183	212	225	205	239	194	201	208	194	165	2,444
	使用量 単位数	201	186	170	201	201	201	222	175	186	198	176	150	2,267
	廃棄量 単位数	18	13	13	11	24	4	17	19	15	10	18	15	177
	廃棄率 %	8.2	6.5	7.1	5.2	10.7	2.0	7.1	9.8	7.5	4.8	9.3	9.1	7.3
FFP-LR	購入数 単位数	184	158	101	160.5	211	228	273	142	180	133	179	99	2,048.5
	使用量 単位数	178	154	99	151.5	201	216	273	140	173	121	170	93	1,969.5
	廃棄量 単位数	6	4	2	9	10	12	0	2	7	12	9	6	79
	廃棄率 %	3.3	2.5	2.0	5.6	4.7	5.3	0.0	1.4	3.9	9.0	5.0	6.1	4.1
P C	購入数 単位数	780	720	1095	835	780	785	720	765	505	1160	740	940	9825
	使用量 単位数	780	710	1095	835	780	785	710	765	495	1160	740	940	9795
	廃棄量 単位数	0	10	0	0	0	0	10	0	10	0	0	0	30
	廃棄率 %	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.4

(4) 細菌検査統計

材料別検査件数

材料	件数
喀痰	611
気管洗浄液	1168
咽頭粘液	1140
鼻腔粘液	1124
ソノ他 (呼吸器系)	69
口腔、気道又は呼吸器からの検体合計	4112
尿・カテ - テル尿	638
膣分泌物	1236
悪露	250
子宮腔内	260
ソノ他 (泌尿器系)	20
泌尿器又は生殖器からの検体合計	2404
便	275
G B S 増菌	530
ソノ他 (消化器系)	10
消化管からの検体合計	815
血液	1537
髄液	114
胸・腹水	35
その他 (穿刺液)	30
血液又は穿刺液検体合計	1716
IVH 先端	394
ドレーンチューブ	220
膿 (開放・非開放)	114
A ライン先端	87
耳漏	43
皮膚	86
眼脂	35
その他	201
その他の部位からの検体合計	1180
トリコモナス	54
培養合計	10281
感受性試験 1 菌種	1838
感受性試験 2 菌種	577
感受性試験 3 菌種	163
その他の検査	133
ウイルス迅速検査	1668
MRSA 検査	5514

病棟別検査件数

病棟	依頼件数
一般外科病棟 4 B	256
循環器 A 病棟 5 A	178
循環器 B 病棟 5 B	105
学童病棟 6 A	10
混合病棟 6 A	79
混合病棟 6 B	140
血液病棟 7 F	993
救急病棟	937
産科病棟	1748
I C U	474
H C U	354
N I C U	2459
G C U	1346
総合内科	2
アレルギー - 科	7
脳神経内科	2
循環器内科	2
腎臓内科	10
新生児科	3
血液内科	13
一般外科	39
形成外科	1
整形外科	3
泌尿器科	40
耳鼻科	53
産科外来	774

細菌分離菌内訳

菌種	菌名	総件数	感受性報告件数	
グラム陽性菌	ブドウ球菌	S.aureus	578	548
		S.aureus(MRSA)	501	498
		S.epidermidis	61	61
		S.epidermidis(MRSE)	1232	1230
		その他の CNS	1214	295
		Micrococcus sp.	52	50
	連鎖球菌	S.agalactiae	234	229
		S.pneumoniae	113	111
		Group G Strep	17	15
		S.mitis	13	11
		S.pyogenes	7	7
		その他の Viridans strep	1297	20
		Streptococcus	30	6
	腸球菌	Ec.faecalis	493	229
		Ec.faecium	148	27
		その他の腸球菌	14	6
	その他	Bacillus sp.	22	3
		Corynebacterium sp	396	2
		Lactobacillus sp	1249	
		嫌気性菌	2	
グラム陰性菌	腸内細菌	Kl.pneumoniae	479	479
		E.coli	197	173
		Ent.cloacae	146	146
		Ent.aerogenes	112	112
		Ser.marcescens	94	94
		Kl.oxytoca	45	45
		Prt.mirabilis	21	21
		その他の腸内細菌	46	44
	ブドウ糖非発酵菌	Ps.aeruginosa	806	763
		Ac.baumann/haem	212	212
		Burk.cepacia	106	106
		Steno.maltophilia	29	29
		その他の pseudomonas	10	7
		その他の非発酵菌	23	22
	その他	H.influenzae	118	111
		Haemophilus sp.	39	3
		Mor.(B)catarrhalis	53	53
		Neisseria sp.	784	
		G.vaginalis	308	
		その他の陰性菌	160	1
真菌	C.albicans	257		
	C.glabrata	65	3	
	C.parapsilosis	8		
	Aspergillus sp.	5		
	Candida sp.	3		

耐性菌検出状況

菌名	件数
S.epidermidis(MRSE)	1232
S.aureus(MRSA)	501
その他の MRCNS	297
St.pneumoniae(PISP)	40
St.pneumoniae(PRSP)	25
H.influenzae(BLNAR)	37
E.coli ESBL	22
K.oxytoca ESBL	1
K.pneumoniae ESBL	1

MRSA サーベイ

科・病棟	件数	陽性	陰性	陽性率
一般外科病棟4B	73	22	51	30.1
循環器 A 病棟5A	120	45	75	37.5
循環器 B 病棟5B	130	51	79	39.2
混合 A 病棟 6A	91	24	67	26.4
混合 B 病棟 6B	105	54	51	51.4
血液病棟 7F	156	13	143	8.3
救急病棟	11	2	9	18.2
I C U	57	15	42	26.3
H C U	142	56	86	39.4
N I C U	138	11	127	8.0
G C U	297	7	290	2.4

MRSA 発生報告書分類

科・病棟	院内	持込	発病	保菌
一般外科病棟4B	1	59		61
循環器 A 病棟5A	2			2
循環器 B 病棟5B	6	8		15
混合 A 病棟 6A	3	30	2	31
混合 B 病棟 6B	4	9	3	9
血液病棟 7F				
救急病棟	1	17		17
I C U	4	2		6
H C U	4	29		33
N I C U	7	2	4	5
G C U	7	10	2	15
産科病棟		2		2

無菌材料検出菌

材 料	件数	陽性数	陽性率
静 脈 血	1079	69	6.4
IVH 先 端	394	77	19.5
プロピアック血	297	30	10.1
動 脈 血	146	4	2.7
髄 液	114	10	8.8
A ライン先端	87	21	24.1
腹 水	22	5	22.7
穿 刺 液	15	4	26.7
胸 水	13	3	23.1
関 節 液	13	6	46.2
臍 帯 血	8	0	0.0
ポ ー ト 血	7	1	14.3
組 織	6	3	50.0
羊 水	2	2	100.0

材料別分離菌

血液培養検出菌	
S.epidermidis(MRSE)	15
S.aureus	7
S.aureus(MRSA)	6
その他 CNS	24
S.pneumoniae	7
S.mitis	4
その他連鎖球菌	7
腸球菌	5
K.pneumoniae	8
E.coli	6
その他腸内細菌	13
P.aeruginosa	4
その他非発酵菌	3
H.influenzae	3
Bacillus sp.	5
その他	1

IVH 先端培養検出菌	
S.epidermidis(MRSE)	46
S.aureus(MRSA)	9
S.aureus	3
その他 CNS	10
腸球菌	4
S.marcescens	4
その他腸内細菌	7
P.aeruginosa	7
その他非発酵菌	1
Corynebacterium sp	5
Candida sp	3
Bacillus sp.	1

髄液検出菌	
E.coli	4
S.aureus(MRSA)	3
H.influenzae	1
S.pneumoniae	1
CNS	1

細菌別薬剤感受性率

グラム陽性球菌

菌名	株数	PCG	ABPC	IPIPC	CEZ	CZOP	CFDN	CDTR	CMZ	IPM	MEPM	A/C	GM	AMK	ABK	EM	CAM	AZM	CLDM	MINO	LVFX	VCM	TEIC	ST	LZD
S.aureus	578	43%	43%	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	67%	100%	100%	69%	69%	69%	99%	100%	93%	100%	100%	100%	100%
S.aureus(MRSA)	502	0%	0%	-	0%	0%	0%	0%	-	0%	0%	0%	43%	76%	98%	6%	6%	6%	23%	46%	18%	100%	100%	100%	100%
S.epidermidis	61	34%	34%	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	97%	98%	-	80%	80%	80%	100%	100%	97%	100%	100%	100%	100%
S.epidermidis(MRSE)	1233	0%	0%	-	0%	0%	-	0%	0%	0%	0%	0%	71%	89%	-	40%	40%	60%	99%	99%	43%	100%	100%	96%	100%
Ec.faecalis	494	100%	100%	-	-	-	-	-	-	100%	87%	-	-	-	100%	16%	100%	100%	-	28%	98%	100%	100%	-	100%
Ec.faecium	150	21%	24%	-	-	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6%	0%	-	100%	71%	45%	100%	100%	-	96%

肺炎球菌

菌名	株数	ABPC	CEZ	FMOX	CTX	CFPM	CDTR	MEPM	EM	NFLX
St.pneumoniae(PSSP)	46	50%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	9%	50%
St.pneumoniae(PISP)	40	0%	100%	100%	85%	98%	93%	93%	5%	46%
St.pneumoniae(PRSP)	25	0%	100%	100%	56%	72%	60%	20%	0%	100%

グラム陰性桿菌

菌名	株数	ABPC	PIPC	CEZ	CTX	CAZ	CZOP	CFPM	CPDX	CETB	CDTR	CFPN	FMOX	MEPM	FRPM	A/C	P/T	GM	AMK	MINO	LVFX	CPFV	ST
E.coli	177	41%	43%	80%	93%	90%	99%	99%	0%	71%	82%	83%	88%	100%	94%	77%	97%	89%	99%	92%	92%	92%	74%
Kl.pneumoniae	478	2%	38%	55%	87%	72%	87%	88%	0%	40%	54%	52%	69%	89%	83%	55%	87%	100%	100%	88%	100%	100%	69%
Kl.oxytoca	44	2%	57%	52%	75%	75%	75%	80%	0%	50%	73%	68%	75%	77%	82%	68%	71%	100%	100%	91%	100%	100%	93%
Ent.cloacae	145	8%	77%	1%	76%	78%	88%	95%	0%	46%	65%	67%	34%	100%	50%	1%	82%	99%	100%	86%	100%	99%	97%
Ser.marcescens	95	6%	76%	0%	87%	86%	93%	100%	0%	90%	61%	49%	75%	100%	0%	1%	92%	99%	97%	97%	100%	96%	98%
Prt.mirabilis	21	75%	91%	100%	100%	100%	100%	100%	-	100%	100%	100%	95%	100%	25%	100%	100%	71%	95%	0%	100%	86%	71%

緑膿菌

菌名	株数	PIPC	CPZ	CAZ	CZOP	CFS	CFPM	IPM	MEPM	AZT	S/C	GM	TOB	AMK	MINO	LVFX	CPFV	ST	FOM
Ps.aeruginosa	808	98%	92%	96%	98%	82%	97%	86%	90%	83%	94%	93%	100%	99%	-	96%	98%	-	7%

28. 薬 剤 部

1 薬剤部員異動

(平成21年4月1日付)

【転出者】次 長	加古 学	県立がんセンター	(平成21年4月1日付)
職 員	山口 明恵	県立尼崎病院	(平成21年4月1日付)
【退職者】職 員	日隈絵里奈		(平成21年3月31日付)
【転入者】次 長	田中 雅子	薬務課	(平成21年4月1日付)
課長補佐	赤松 規子	県立塚口病院	(平成21年4月1日付)
職 員	井上 量代	新規採用者	(平成21年4月1日付)

2 平成21年活動報告

本年の主な取り組み概要を下記に記す。

(1) 病院機能評価受審に向けての取組

現状の業務について部員それぞれが日頃疑問に思っていることを出し合い、見直す点についてはその業務マニュアルの改訂と共に部員間での情報の共有を図った。

また法律等で規定されていることがらについて再度認識を新たにし、業務に向こうよう徹底した。

(2) 業務上知り得たことの部員間での情報の共有について

取りわけ薬剤管理指導業務については担当制を引いていることからややもするとそこで知り得た情報が特定の者のみになる。本来薬剤管理指導業務での情報は調剤業務等に反映されるべきで、そのため症例検討会を部内で頻繁に開催し、情報の共有を図った。

(3) 治験への取組

「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令の一部を改正する省令」(厚生労働省令24号)等に基づき、治験関連の手順書の一部改正と「治験審査委員会の手順書、委員名簿及び会議の記録の概要の公表」を当院ホームページ上で実施した。

(4) 薬剤管理指導業務の推進

4月からのDPC実施に伴い出来高算定となる本業務について、その対象疾患を順次拡大しているが、当院治療の特性上、出来高算定となる症例が多く、従来通り薬剤管理指導料の算定が包括となるケースが目立った。

(5) 薬剤部内での医薬品に係わるミス軽減への取組

従来から実施している業務環境の整備、鑑査体制の充実等と共に本年も部員間での情報の共有を徹底した。

3 来年の展望と予定

薬剤管理指導業務を推進すると共に22年度診療報酬改定に伴う退院時薬剤情報管理指導料や医薬品安全性情報等管理体制加算を着実に算定出来る体制を確立していく。

また22年度から開始される薬学生の長期実務実習においては県立病院としての使命を果たし部員の専門薬剤師等への取組を支援し仕事への意欲向上に努めつつ、今後とも医薬品に係わるミス軽減のために努めていく。

21年年報

(1) 調剤件数

区 分	処方箋枚数	合 計			内 用 薬			外 用 薬		
		処方数	調剤数	延調剤数	処方数	調剤数	延調剤数	処方数	調剤数	延調剤数
入 院	34,201	55,693	63,719	311,078	42,364	50,375	263,895	13,329	13,344	47,183
外 来	6,648	14,092	39,022	276,886	9,677	34,607	231,259	4,415	4,415	45,627
計	40,849	69,785	102,741	587,964	52,041	84,982	495,154	17,744	17,759	92,810
一日平均	169.5	289.6	426.3	2,439.7	215.9	352.6	2,054.6	73.6	73.7	385.1

(2) 注射薬取扱件数

区 分	注 射 薬	
	処方箋枚数	延本数
入 院	85,833	458,462
外 来	7,502	10,327
計	93,335	468,789
一日平均	387.3	1,945.2

(3) 薬剤管理指導料 件数

診療科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
産 科	115	134	120	124	92	118	138	129	99	134	103	92	1,398
心外・循内	0	5	7	30	9	30	25	41	25	24	23	14	233
血 内	11	11	13	33	59	75	74	67	43	54	51	41	532
腎 内	0	1	1	2	3	0	6	9	2	13	7	6	50
眼 科	0	0	0	20	35	19	31	25	27	20	32	30	239
計	126	151	141	209	198	242	274	271	196	245	216	183	2,452

(4) 退院指導料 件数

診療科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
産 科	46	37	41	41	35	19	36	32	26	33	27	42	415
心外・循内	0	1	0	2	0	0	6	5	1	5	8	3	31
血 内	0	0	0	1	3	1	1	1	5	2	0	1	15
腎 内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
眼 科	0	0	0	0	0	19	27	27	21	20	25	29	168
計	46	38	41	44	38	39	70	65	53	60	60	77	631

(5) 薬剤情報提供料 件数

診療科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
全 科	424	339	442	418	388	393	383	432	364	399	395	388	4,765

(6) 無菌製剤調製業務

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
抗がん剤	147	148	171	188	150	168	174	125	101	159	75	117	1,723
高力ロリー	90	118	92	99	93	86	91	65	86	86	43	153	1,102
計	237	266	263	287	243	254	265	190	187	245	118	270	2,825

(7) 薬物の血中濃度測定

		抗 て ん か ん 薬			ジゴキシン	メソトレキセート	総検体数
		フェニバル	カルバマゼピン	バルプロ酸			
21年		19	8	11	20	155	213
平成 21年 の月 別内 訳	1月	5	0	1	2	17	25
	2月	1	3	1	5	33	43
	3月	5	0	1	7	10	23
	4月	1	0	1	5	4	11
	5月	1	2	2	1	18	24
	6月	1	1	3	0	18	23
	7月	3	2	0	0	17	22
	8月	2	0	2	0	1	5
	9月	0	0	0	0	19	19
	10月	0	0	0	0	6	6
	11月	0	0	0	0	0	0
	12月	0	0	0	0	12	12

(8) 院内D I 業務

電子メールによる情報提供

送 信 日	件 名
2009. 1. 7	医薬品・医療機器等安全性情報 No.253
2009. 2. 6	医薬品・医療機器等安全性情報 No.254
2009. 3. 8	医薬品・医療機器等安全性情報 No.255
2009. 4. 8	医薬品・医療機器等安全性情報 No.256
2009. 6. 8	医薬品・医療機器等安全性情報 No.257
2009. 7. 2	ファンギゾンシロップの供給制限について
2009. 7.14	医薬品・医療機器等安全性情報 No.258
2009. 8. 1	医薬品・医療機器等安全性情報 No.259
2009. 8.27	医薬品・医療機器等安全性情報 No.260
2009. 9.29	メキサソ注の販売中止に伴う措置について
2009. 9.30	医薬品・医療機器等安全性情報 No.261
2009.10.14	食品と相互作用のある当院採用医薬品一覧について
2009.10.26	ピノルピン注の使用上の注意について
2009.10.29	医薬品・医療機器等安全性情報 No.262
2009.11.25	デキサート注の名称変更について
2009.11.29	医薬品・医療機器等安全性情報 No.263
2009.12. 5	ノベクタンLスプレーの販売中止について
2009.12.28	ペリダイア2号液の使用中止について

主な問い合わせ内容

問 い 合 わ せ 内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 注射薬配合変化について ・ 注射薬のフィルター透過性について ・ 内服薬の飲み易い飲み方について ・ 抗がん剤の適切な投与方法について ・ 血液製剤の投与方法について ・ 吸入補助具について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注射薬溶解後の安定性について ・ 食品と薬剤の相互作用について ・ 冷所保存医薬品の常温での安定性について ・ 医薬品の副作用について ・ 小児薬用量について

(9) 院内製剤

内用液剤

製 剤 名	製剤量 (単位 / ml)
内服用ルゴール液	150

軟 膏

製 剤 名	製剤量 (単位 / g)
バリアー	170,000
10%テストステロン軟膏	1,400
0.4%エストラジオール軟膏	2,200

外用液剤

製 剤 名	製剤量 (単位 / ml)
アセモトール	16,000
1/2カプトドロップ	800
0.5%アトロピン点眼	110
25%グリセリン液	8,300
耳垢水	120
20%硝酸銀	0
30%硝酸銀	170
40%硝酸銀	60
10%ピオクタニン青液	150
0.2%ピオクタニン青液	200
30%アルコール	360
50%アルコール	360
ツェンテール液	100

予製剤

製 剤 名	製剤量 (単位 / g)	製 剤 名	製剤量 (単位 / g)
(倍散 倍散)		インデラル散 (×100)	1,200
0.01%ジゴシン散	2,000	ワーファリン (×500)	9,000
(錠 散)		ボラキス散 (×100)	2,400
ダイクロトライド (×10)	175	ドルナー散 (×50000)	10,000
コートリル散 (×20)	900	ロンゲス散 (×100)	2,400
デカドロン散 (×1000)	200	グリチロン散	1,080

29. 栄養指導課

1. 栄養指導課員の異動

[転入者] 主任調理員 荻野 亮太 (平成21年4月1日付) (県立柏原病院から)

2. 平成21年の活動

平成21年度の主な活動報告として以下の点が上げられる。

- ・ N S T (チーム医療) の円滑な稼働
- ・ 適時適温給食の実施に向けての取り組み
- ・ 医療事故防止対策に関する取り組み (ひやりハット報告)
- ・ 褥瘡対策プロジェクト及びクリニカルパス委員会への積極的な参画
- ・ 患者給食サービスの向上を図るための給食イベントの開催「クリスマスバイキング食の提供」「バレンタインデー・デザートバイキング食の提供」
- ・ I T 化の推進 (栄養給食関係オーダーリングシステムの構築等)
- ・ アレルギー児の両親対象の勉強会「両親教室」への参画
- ・ 知識や技能の資質を向上させるための課内研修会の充実
- ・ 栄養管理業務に関する研究の成果として学会等への積極的な発表

3. これからの展望

平成22年度に向けては、引き続き「安全な食事の提供」という栄養指導課の基盤整備と患者サービスの向上のため、次の業務を中心に推し進める。

- ・ N S T (チーム医療) の円滑な稼働
- ・ 調乳機器更新準備に向けての取り組みの推進
- ・ 調乳機器のオーバーホール等による安定的な調乳の提供
- ・ I T 化の推進 (栄養給食関係オーダーリングシステムの構築等)
- ・ 医療事故防止対策に関する取り組み。(ひやりはっと報告)
- ・ 患者給食のサービス向上のための給食イベントの開催「クリスマスバイキング食の提供」「バレンタインデー・デザートバイキング食等の提供」
- ・ 褥瘡対策プロジェクト及びクリニカルパス委員会への積極的な参画
- ・ 知識や技能の資質を向上させるための調理・栄養関係研修会への参加と課内研修会の充実
- ・ 栄養管理業務に関する研究の成果として学会等への積極的な参加と発表

4. 給食

(1) 調製乳・食事月別延数

1) 患者

調製乳人員

(単位 人)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	%
調乳のみ人員		2,231	2,265	2,134	2,022	1,883	1,619	1,796	1,690	1,800	1,992	2,105	2,167	23,704	66.0
調乳・食事人員(調乳)		272	292	304	305	300	344	380	344	337	376	364	386	4,004	11.1
小計		2,503	2,557	2,438	2,327	2,183	1,963	2,176	2,034	2,137	2,368	2,469	2,553	27,708	77.1
調乳・食事人員(食事)		557	559	672	750	621	699	672	698	723	773	709	801	8,234	22.9
計		3,060	3,116	3,110	3,077	2,804	2,662	2,848	2,732	2,860	3,141	3,178	3,354	35,942	100.0

(注) 調乳・食事人員...調乳(人) 調製乳と食事が重複するもの

調製乳種類及び本数

(単位 本)

種類	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	%
13%レーベンスミルク		13,278	12,344	11,285	11,818	12,078	11,145	11,676	11,022	10,727	10,746	11,232	12,487	139,838	52.0
15% L W		3,781	4,707	5,135	4,426	3,638	4,016	3,616	3,976	4,555	5,297	5,755	5,944	54,846	20.4
6%レーベンスミルク									28	210	217	168		623	
7%レーベンスミルク												42	217	259	
8%レーベンスミルク				112	210	217	196	210	406	56				1,407	
9%レーベンスミルク				270	270	184	210	189						1,123	
10%レーベンスミルク		279	357	111										747	
14%レーベンスミルク		7												7	
15%レーベンスミルク		577	650	773	421	221	222	69			27	225	368	3,553	
16%レーベンスミルク			14					189	167	294	449	316	144	1,573	
17%レーベンスミルク		42	89	279	36	9		153				36	270	914	
18%レーベンスミルク						171	189	81	270	176	117		27	1,031	
20%レーベンスミルク														0	
13% L W														0	
17% L W		5												5	
18% L W														0	
4%滋養糖 + 13%レーベンスミルク							36							36	
20%滋養糖														0	
10%滋養糖		467	427	500	502	559	519	587	583	541	800	485	577	6,547	
50%滋養糖														0	
8% M A - 1					48									48	
10% M A - 1														0	
12% M A - 1														0	
14% M A - 1														0	
15% M A - 1		282	681	424	337	492	214	313	301	403	391	341	579	4,758	
16% M A - 1										36			116	152	
17% M A - 1		279	216	123	71					18	12			719	
18% M A - 1					148	465	411	394	372	369	458	155		2,772	
20% M A - 1					146						82	319	252	799	
22% M A - 1											14	126	217	357	
13% E 赤ちゃん		370	111	24	128	165	55	93	176	138	155	146	145	1,706	
15% E 赤ちゃん				48	18								117	183	
18% E 赤ちゃん														0	
17%エレメンタルフォーミュラ														0	
7%ラクトレス														0	
14%ラクトレス				105	150	209	252	126	6	66		232	252	1,398	
10%M C Tフォーミュラ						27								27	
14%M C Tフォーミュラ			63	77	100	168	45		21	418	651	340	238	2,121	
16%M C Tフォーミュラ													128	128	
17%M C Tフォーミュラ			72										90	162	
18%M C Tフォーミュラ												171	27	198	
20%M C Tフォーミュラ											32	24		56	
13%GL (無乳糖粉乳)														0	
7%GL (無乳糖粉乳)														0	
13%NA-20				14	56									70	
13%M M - 5低リン乳						10								10	
15%M M - 5低リン乳							19							19	
16%M M - 5低リン乳							60	45						105	
18%M M - 5低リン乳								110	155	104				369	
15%8006														0	
9%S-22														0	
15%S-22				56	150	155	55							416	

種類	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	%
15%S-22 + 8%滋養糖							95	110	55	150	179	24		613	
15%S-22 + 12%滋養糖												170	186	356	
15%S-23 (蛋白除去乳)														0	
12% S-23 + 3% S-22														0	
9% S-23 + 6% S-22														0	
8% S-23 + 8% S-22														0	
9% S-22 + 5% レーベンスミルク														0	
8% 8806 (低カウム中リンフォーミュラ)														0	
15% 8806 (低カウム中リンフォーミュラ)								153		16				169	
15% 低カウム低リンフォーミュラ				10	93	16								119	
15%508(高カリウム低リンフェォーミュラ)	279	45												324	
MC-2 (無乳糖粉乳)	20	15												35	
10% 206 + 4%レーベンスミルク														0	
7%206 7%レーベンスミルク														0	
14%206(ビタミンD無添加低Caフォーミュラ)														0	
20%必脂 MCT(721)													38	38	
7%エレンタール	186	138												324	
9%エレンタール														0	
10%エレンタール														0	
11%エレンタール													89	89	
12%エレンタール									6					6	
13%エレンタール					82	24				74	4			184	
14%エレンタール														0	
15%エレンタール				4										4	
16%エレンタール											6			6	
18%エレンタール			6	182	168				7		120	150	42	675	
20%エレンタール				14	77					35	18			144	
21%エレンタール												78		78	
25%エレンタール											18			18	
26%エレンタール									16					16	
27%エレンタール						115	26			14		6	5	166	
30%エレンタール											6			6	
5%エレンタールP	81													81	
7%エレンタールP									10	24				34	
8%エレンタールP														0	
10%エレンタールP	18		28					15						61	
12%エレンタールP	4	69	38	33	17	95			110	150	155	227	155	1,053	
13%エレンタールP	42	9		20	157	12					153	165	18	576	
14%エレンタールP	180	144	138	60	18			174	186	120	27	36	36	1,119	
15%エレンタールP	433	189	251	243	46			108	87		10			1,367	
16%エレンタールP	403	461	343	308	297	165					42	24		2,043	
17%エレンタールP	28	7	56											91	
18%エレンタールP		84				3			30		12	5		134	
20%エレンタールP	104	198	251					18			5	92		668	
21%エレンタールP						32								32	
22%エレンタールP														0	
23%エレンタールP		78												78	
25%エレンタールP								6	24		126			156	
26%エレンタールP	141	201	124	8							6			480	
27%エレンタールP								25	18				2	45	
マクトンオイル			5	273	168	186	162	206	233	240	263	281	326	2,343	
小計	4,227	4,323	4,434	4,006	4,173	3,073	3,374	3,267	3,652	4,555	4,384	4,661	4,661	48,129	17.9
濃厚流動食															
サンエット N3	716	716	964	691	778	1,027	1,171	1,038	715	820	736	815	10,187		
アイソカル	486	891	1041	1,131	1,091	1,311	1,322	1,108	1,313	1,330	1,478	993	13,495		
インパクト		46	35											81	
テルミール2.0														0	
小計	1,202	1,653	2,040	1,822	1,869	2,338	2,493	2,146	2,028	2,150	2,214	1,808	23,763	8.8	
牛乳	203	176	205	261	163	130	169	129	118	171	148	124	1,997		
滅菌水	71	73	60				4	36	98	156	42		540		
計	22,762	23,276	23,159	22,333	21,921	20,702	21,332	20,576	21,178	23,075	23,775	25,024	269,113	100.0	
空瓶 200 c c	2,968	3345	3435	3,387	3,658	3,294	3,554	3,948	3,625	4,055	4,114	4,084	43,467	44.4	
空瓶 100 c c	4,194	3744	4512	4,632	3,744	3,528	4,512	4,656	3,960	5,736	5,160	6,120	54,498	55.6	
計	7,162	7,089	7,947	8,019	7,402	6,822	8,066	8,604	7,585	9,791	9,274	10,204	97,965	100.0	

食事数

(単位 食)

食 種		月別												計	%
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
常食	学 童 食	715	651	1,302	699	612	773	1,367	1,695	650	878	660	883	10,885	
	妊 産 婦 食	1,968	2,164	2,105	1,829	1,776	2,256	2,584	2,407	2,058	2,180	1,924	1,905	25,156	
	小 計	2,683	2,815	3,407	2,528	2,388	3,029	3,951	4,102	2,708	3,058	2,584	2,788	36,041	30.0
軟菜・流動食 乳不幼児	幼 児 ・ 離 乳 食	1,452	1,595	1,442	1,602	1,544	1,420	1,058	1,009	1,228	1,443	1,575	1,247	16,615	
	軟 菜 ・ 流 動 食	142	119	137	105	87	103	146	89	91	89	152	141	1,401	
	小 計	1,594	1,714	1,579	1,707	1,631	1,523	1,204	1,098	1,319	1,532	1,727	1,388	18,016	15.0
非加算特別食	ペ ー ス ト 食	139	89	304	207	255	145	205	170	161	216	199	182	2,272	
	ア レ ル ギ ー 食	748	501	472	598	691	431	652	748	593	667	528	491	7,120	
	自 由 食	2,963	3,046	2,982	3,337	2,679	2,815	3,242	2,798	2,765	3,054	2,648	2,776	35,105	
	口 蓋 裂 食			52	27	12	18	17	129	1		9	52	317	
	扁 摘 術 後 食			122	113	4	149	146	154	71	147	57	118	1,081	
	移 植 対 応 食			185	224	262	222	270	315	218	236	237	307	2,476	
	ク ロ ー ン 病 食				23									23	
	低 残 査 食					3		1	2	4			7	17	
	肥 満 食	34	3	65	96	164	90	93	66	90	93	109	93	996	
	ヨ ー ド 制 限 食										5	16		21	
	そ の 他 特 別 食	1		174	157	202	287	342	305	192	153	195	329	2,337	
	小 計	3,885	3,639	4,356	4,782	4,272	4,157	4,968	4,687	4,095	4,571	3,998	4,355	51,765	43.1
	加算特別食	腎 臓 食	120	128	147	77	93	90	177	210	222	430	180	91	1,965
肝 臓 食		17	24	10	9	19	17	8			37	46	68	255	
糖 尿 病 食		21	34	33	42	104	16	92	37		50	101	231	761	
乳 及 び 胸 食		7	69	28	23		27	24	41	13	60			292	
心 臓 食		199	282	431	583	290	302	394	583	303	180	213	246	4,006	
潰 瘍 食													24	24	
低 ナ ト リ ウ ム 食				7	24				2					33	
検 査 食 (加)														0	
妊 娠 中 毒 症 食		173	116	201	384	121	143	186	105	356	311	161	165	2,422	
妊 産 婦 糖 尿 病 食		32	31											63	
妊 産 婦 肝 臓 病 食														0	
高 尿 酸 血 症 食													0		
小 計	569	684	857	1,142	627	595	881	978	894	1,068	701	825	9,821	8.2	
計	8,731	8,852	10,199	10,159	8,918	9,304	11,004	10,865	9,016	10,229	9,010	9,356	115,643		
保 存 食	保 存 食	186	168	186	180	186	180	186	186	180	186	180	186	2,190	
	検 査 食	187	169	186	180	186	182	188	188	182	188	182	188	2,206	
	小 計	373	337	372	360	372	362	374	374	362	374	362	374	4,396	3.7
合 計	9,104	9,189	10,571	10,519	9,290	9,666	11,378	11,239	9,378	10,603	9,372	9,730	120,039	100.0	

おやつ数

(単位 食)

区分		月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
おやつ数		4,397	4,561	4,012	4,233	3,477	3,906	4,012	3,860	3,368	3,986	3,579	3,377	33,798

(2) 栄養指導月別種類別件数

(単位 件)

種類	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
糖尿病食		38	37	36	43	36	34	49	41	37	39	34	32	456
肥満食		8	10	6	10	12	10	11	13	7	13	12	8	120
腎性尿崩症食		4	3	5	3	2	5	3	6	1	4	3	3	42
腎不全			1		1	1			1				1	5
フェニルケトン尿症食		2	8	7	1	4	8	5	9	2	7	5	2	60
リジン尿症食		1												1
ケトン食														0
胃婁食		3	1											4
胃食道逆流症										1		1		2
心疾患食														0
メチルマロン酸血症							1							1
高メチオニン血症食			1											1
高アンモニア血症食														0
高ガラクトース血症食		1			1			2						4
インスリン抵抗性												1		1
高インスリン血症食					1				2	1		1		5
高コレステロール血症					1			1			1			3
家族性高コレステロール血症				1			1							2
耐糖能異常		1	1	1	3	1	1	1	2	4		1		16
ネフローゼ症候群												1		1
高血圧食			1		1	1								3
高脂血症食						1				1				2
低尿酸血症食														0
高尿酸血症食		1		1				2	1					5
アレルギー食		25	17	10	33	18	27	32	38	40	31	30	12	313
腎臓病食											1			1
心臓病食		1						1	1					3
肝障害							1							1
脂肪肝		1												1
非アルコール性脂肪肝炎		1	1	1	1	1	2			2	1	1	3	14
総胆管拡張症											1			1
肝臓食					1									1
低血糖														0
シェーグレンラロソン症候群														0
ブラダーウイリー-症候群					2			1				2		5
貧血食														0
クローン病		1	2	1			1							5
腎移植後									1					1
空腸閉鎖術後									1					1
腸管切除後吸収不良			1				1							2
短腸症候群		1												1
乳び胸食		1												1
口蓋裂食		1												1
蛋白漏出性胃腸症														0
発育不良・食事摂取不良														0
体重増加・食事摂取不良			1			1		4						6
体重減少									1					1
低栄養						1								1
低身長														0
低身長・低体重			1		1				2					4
低カルシウム血症														0
高カルシウム血症														0
胆道閉鎖症														0
特殊調乳食				1	2	2		3	1				1	10
ヒルシエスプルング病													1	1
潰瘍性大腸炎													1	1

種類	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
特殊離乳食		2					2	1	1					6
調乳指導											5	3		8
離乳食											1			1
炎症性腸疾患														0
悪臭恐怖														0
くる病							2					1		3
くる病疑い														0
ビタミンD欠乏症		1		2		1	5	1	1	1	2		1	15
ターナー症候群									3	1				4
摂取・嚥下困難														0
ダンピング症候群														0
ヨード制限食														0
膵臓食												1		1
バセドウ病												1		1
膵炎													1	1
慢性膵炎														0
摂食障害									2		1			3
摂食不良		1		1								1		3
摂食機能障害		2												2
食欲不振						1			1	1				3
偏食														0
便秘		1												1
下痢								1						1
骨折・骨粗しょう症		1												1
経管栄養				2	1	3	2	2	1	2	3	3	2	21
栄養剤									1					1
栄養評価														0
妊産婦食														0
妊娠高血圧症候群食														0
妊娠糖尿病食							1							1
高血圧合併妊娠														0
件数 外来 (件)		71	66	65	73	55	81	87	97	94	97	92	65	943
人数 外来 (人)		133	122	121	148	110	146	163	176	183	181	172	127	1,782
件数 入院 (件)		15	13	4	18	20	16	28	26	5	7	8	3	163
人数 入院 (人)		36	25	10	36	42	29	54	48	8	9	14	4	315
件数 病棟訪問 (件)		13	7	5	15	11	7	5	7	2	6	2	0	80
人数 病棟訪問 (人)		22	14	8	27	20	16	9	16	4	10	3	0	149
合計 (件)		99	86	75	106	86	104	120	130	101	110	102	68	1,187
合計 (人)		191	161	139	211	172	191	226	240	195	200	189	131	2,246

集団指導 (アレルギー・リウマチ・産科)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	5	5	13	2	7	5	12	4	9	8		10	80
人数	19	40	134	21	20	92	92	91	77	101		22	709

5. 実習生の受け入れ

栄養指導課 (管理栄養士・栄養士)

病院名及び学校名	区 分	期 間	人 数
同志社女子大学	実習	平成21年 2月16日～2月27日	4名
神戸女子大学	実習	平成21年 3月16日～3月27日	4名
		平成21年 8月24日～9月4日	4名
		平成21年 8月10日～8月21日	5名
		平成21年 8月24日～9月4日	5名
		平成21年 10月5日～10月16日	5名
		平成21年 10月19日～10月30日	5名
		平成21年 11月9日～11月20日	5名
武庫川女子大学	実習	4週間コース 平成21年 7月13日～8月7日	3名
		平成21年 9月7日～10月2日	3名
		2週間コース 平成21年 5月11日～5月15日	3名
		平成21年 6月1日～6月12日	3名
		平成21年 7月6日～7月10日	3名
神戸松蔭女子学院大学	実習	平成21年 6月15日～6月26日	4名
計			52名

6. 研修生の受け入れ

武庫川女子大学	平成21年9月1日～平成21年12月31日	1名
神戸女子大学	平成21年1月1日～平成21年12月31日	1名

30. 指導相談・地域医療連携部

．組織

保健師 久布白歩の産休代替えに臨時職員保健師 明石明子を、臨床心理判定員 宮崎美知恵の産休代替えに臨時職員三木伸子を採用して運営した。

．平成21年活動状況

引き続き、患児、家族が安心して治療・療養に専念できるように様々な相談に応じ、個々のニーズに沿って問題解決に向け支援を行っている。小児医療救急センター開設後、被虐待児症候群の事例が増加している。また、看護師が配置されたことで高度医療を継続しながら在宅へ移行する重症心身障害児等の在宅療養支援がさらにきめ細かく行えるようになった。また相談活動では、積極的に指導相談室の活動報告を行うことで、院内各科からの相談依頼も増え、心理判定・心理療法件数も増加した。各科からの依頼に応じられるように発達外来を拡充させたことで、発達に問題をもった子どもと親への支援件数が増大した。

<今年重点的に実施した活動>

被虐待児症候群事例に対するソーシャルワーク等による支援
重症心身障害児、ターミナル患児に対する在宅療養支援のさらなる推進
地域医療連携室における、新たな紹介病院、診療所の登録
広報活動の推進（ホームページの更新・2007・2008年報作成・広報紙「げんきカエル」）
発達外来の拡充による発達支援・養育支援
院内各科間の連携支援
入院中の情緒不応児に対する対応
Hib ワクチン接種に対する相談窓口
苦情対応

<今年実施した新たな活動>

地域医療支援病院 承認の為の体制作り（マニュアル作成）
地域医療連携看護交流会の開催

．来年の展望

今後、さらに安定した地域の医療機関との連携が行えるよう、地域医療連携室の活動をさらに発展させていく必要がある。また、増え続けている虐待事例への取組等、これまで以上に地域との連携を密にするため、組織的なネットワークの構築も必要になってくるものと思われる。また、患児・家族の在宅療養生活支援を担う地域の看護師を対象に看護部が座学研修・病棟での見学・実習を計画しておりその窓口としても努力していく所存である。院内では、当部の各担当の役割をより明確にし、院内全体に支援を提供できるような体制作りがさらに必要と思われる。また、地域からのニーズに対し、当部が指導的な立場で活動を行うことも増えてくるものとする。現在、依頼数が増え続けているなか、質の高い支援を維持していくためにも、個々の部員の資質向上・教育育成の推進、マンパワーの増大を図っていかねばならないと考えている。

．指導相談部門

1．業務実績

(1) 職種別業務実績

業務実績	
医 師	283
心 理 判 定 員	2,903
保 健 師	248
精神保健福祉相談員	3,472
医療ソーシャルワーカー	601
地 域 連 携 看 護 師	680
計 (総件数)	8,187

(1)の職種別業務実績は、当部の活動の総件数を示す。(2)の依頼科経由のみの業務件数は、電話相談・メール相談・発達外来を除く、当部の活動件数を示す。(他機関經由による、直接患児に関連しない相談・調整業務が含まれているため)

(2) 依頼科別業務件数 (依頼科経由のみ)

依頼科別業務件数	
総 合 診 療 科	862
新 生 児 科	912
脳 神 経 内 科	763
循 環 器 科	375
腎 臓 内 科	22
代 謝 内 科	450
血 液 腫 瘍 科	338
ア レ ル ギ ー 科	52
小 児 外 科	515
心 臓 血 管 外 科	98
脳 神 経 外 科	737
形 成 外 科	39
眼 科	24
精 神 神 経 科	1,368
泌 尿 器 科	43
耳 鼻 咽 喉 科	208
整 形 外 科	40
産 科	25
発 達 行 動 外 来	132
救 急	271
そ の 他	710
計 (総件数)	7,984

2. 診療部門

(1) 発達外来

担当：山崎武美指導相談・地域医療連携部長、宅見晃子のじぎく療育センター小児科部長

受診患児の主な主訴：発達障害（言語発達遅滞、精神発達遅滞、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害等）

21trisomy における発達全般のフォロー 等

2007年新規患者（依頼科別）

年齢別延べ受診者数

依頼経路	患者数
総合診療科	34
新生児科	8
脳神経外科	7
循環器科	3
耳鼻科	3
血液腫瘍科	2
アレルギー	2
代謝内分泌科	2
救急	1
腎臓内科	1
整形外科	1
心臓外科	1
新規患者計	65

年齢	患者数(延)
新生児期	0
乳児前期	4
乳児後期	10
幼児前期	77
幼児後期	118
学童前期	56
学童後期	8
思春期	6
総件数	279

3. 治療関係部門

(1) 心理療法

心理療法対象者 依頼時の症状・状態：情緒障害、不登校、摂食障害、身体表現性障害、不安障害、
転換ヒステリー、場面緘黙、強迫状態、神経症、ターミナルケ
ア

心理療法・遊戯療法	
心理療法（精神神経科依頼）	88
心理療法（その他診療科依頼）	67
遊戯療法（精神神経科依頼）	264
遊戯療法（その他診療科依頼）	132
計（総回数）	551

(2) 心理検査

心 理 検 査		
発達検査	新版 K 式発達検査	284
	Bayley 乳幼児発達尺度	0
	津守式発達質問紙検査	222
	KIDS	4
	社会生活能力検査	9
	グッドイナフテスト	10
	フロスティグ視知覚検査	1
知能検査	WISC -	277
	田中ビネー知能検査	72
	WAIS - R	9
性格検査	YG 性格検査	16
	幼児・児童性格診断検査	2
	HTP	3
	バウムテスト	84
	人物画（コピッツ法）検査	1
	SCT 文章完成法	18
	P-F スタディ	38
	ロールシャッハテスト	3
その他の検査	絵画語彙発達検査	106
	TK 式診断的親子関係検査	7
	こども総研式育児支援質問紙	1
	CBCL	1
	ベンダーゲシュタルトテスト	2
	ベントン記銘力検査	1
K - ABC	4	
計		1175

・発達追跡群

(人)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
8	10	16	14	9	12	5	3	6	21	19	15

代謝内分泌科のクレチン症、一過性甲状腺機能低下症の患児を中心に、年齢に応じた発達・知能検査を誕生日月に行い、12才になるまで発達のフォローを行う。

4. 相談業務

相 談 業 務		
依頼科 経由相談	子どもの発達に関する相談・指導	1,087
	子どもの疾病・障害および社会生活に関する相談	117
	在宅療養に関する支援	219
	医療費、障害者手帳等の福祉サービスに関する相談	981
	被虐待児に関する支援・家族関係に関する相談	585
その他	家族、院内他部門、関連機関からの電話相談等	132
計（総件数）		3,121

5. 連携業務

連 携 業 務		
家	庭	301
外	来	351
病	棟	1,288
保	育	3
幼	稚	0
学	校	119
保	健	104
市町	保健センター	74
精	神保健センター	0
福	祉事務所	130
こ	どもセンター (児童相談所)	166
児	童福祉施設	75
病	院・医院	64
警	察	5
教	育委員会	5
訪	問看護・ヘルプステーション	243
そ	の	135
計（総件数）		3,063

6. 神戸市立友生養護学校 病弱児訪問教育部 わらび学級

当院では、治療や疾病の児童を考慮し、神戸市立友生養護学校 病弱児訪問教育部 わらび学級による訪問教育を行っている。入級・主治医面談等、学校との連携を指導相談部が担っている。

わらび学級のべ入級依頼患児数(人)	
血液腫瘍内科	28
整形外科	7
循環器科	1
脳神経内科	1
新生児科	2
小児外科	3
アレルギー科	1
計	43

(2009年新規依頼患児28名)

7. 被虐待児症例等養育支援に関する業務

1) 虐待症例検討会

症例人数	処遇			計
	児童相談所	保健所	外来のみ	
硬膜下血腫	3	1	1	5
硬膜下血腫、頭蓋骨折		1		1
頭蓋骨折		1	1	2
頭部打撲		1		1
頭部打撲、右上腕骨骨折	1			1
大腿骨骨折		1	1	2
計	4	5	3	12

2) 頭部外傷カンファレンス

症例人数	処遇			計
	児童相談所	保健所	外来のみ	
硬膜下血腫			3	3
硬膜下血腫、頭蓋骨折			3	3
頭蓋骨折		1	6	7
頭部打撲		1	6	7
全身打撲		1		1
顔面裂傷			1	1
計		3	19	22

今年は虐待防止症例検討会を12例について開催し、患児の処遇について検討を行った。児童相談所への通告が4例、保健所へ育児支援依頼を行ったのが5例であった。また、通告事例中2例においては警察通報を行った（死亡事例1例）。

4月より2歳以下の頭部外傷事例については、症例検討を全例において行うこととした。虐待と判断されない症例であっても、保護者の不注意による事故が目立つ。虐待症例を含め児の処遇をどう考えるかについては、今後更なる検討が必要と考えられる。

8. ひょうごユースケアネット

日 時	議 題	場 所	内 容	出 席 者
6月22日	平成21年度推進会議	神戸市	平成20年度事業実施報告および平成20年度の事業実施計画について	宅見晃子
6月22日	平成21年度対策研究会	神戸市	平成20年度事業実施報告および平成21年度の事業実施計画について	宮崎美知恵

9. 教育研修活動

(1) 小児精神・神経ネットワーク勉強会主催

日時：原則毎月第2（火）

参加者：指導相談・地域医療連携部長、指導相談室室長、脳神経内科医師、精神神経科医師、指導相談・地域医療連携部員

実施日	内 容	担 当（敬称略）
1月 13日	精神発達遅滞(MR)の内科的検査	脳神経内科医師 永瀬裕朗
2月10日	小児在宅支援に必要な社会資源の活用と地域医療連携	指導相談・地域医療連携部 精神保健福祉相談員 長岡美佐
3月10日	NICU で実施している皮膚ケアの紹介	指導相談・地域医療連携部 看護師 藤定睦子
9月15日	落ち着きのない子ども達の症例と解説	精神神経科医師 前田宏章
10月13日	ストレス対処法 PF スタディ実施と解釈	指導相談・地域医療連携部 心理判定員 藤井美有
11月10日	腰痛対策 腰痛を起さないようにする工夫	整形外科 理学療法士 中田潔樹
12月8日	急性脳症について	脳神経内科医師 永瀬裕朗

(2) 講師

8月24日

動物愛護監視員(狂犬病予防員)研修会 『子供のこころを知る』 臨床心理士 宮崎美知恵

地域医療連携部門

1. 初診患者件数

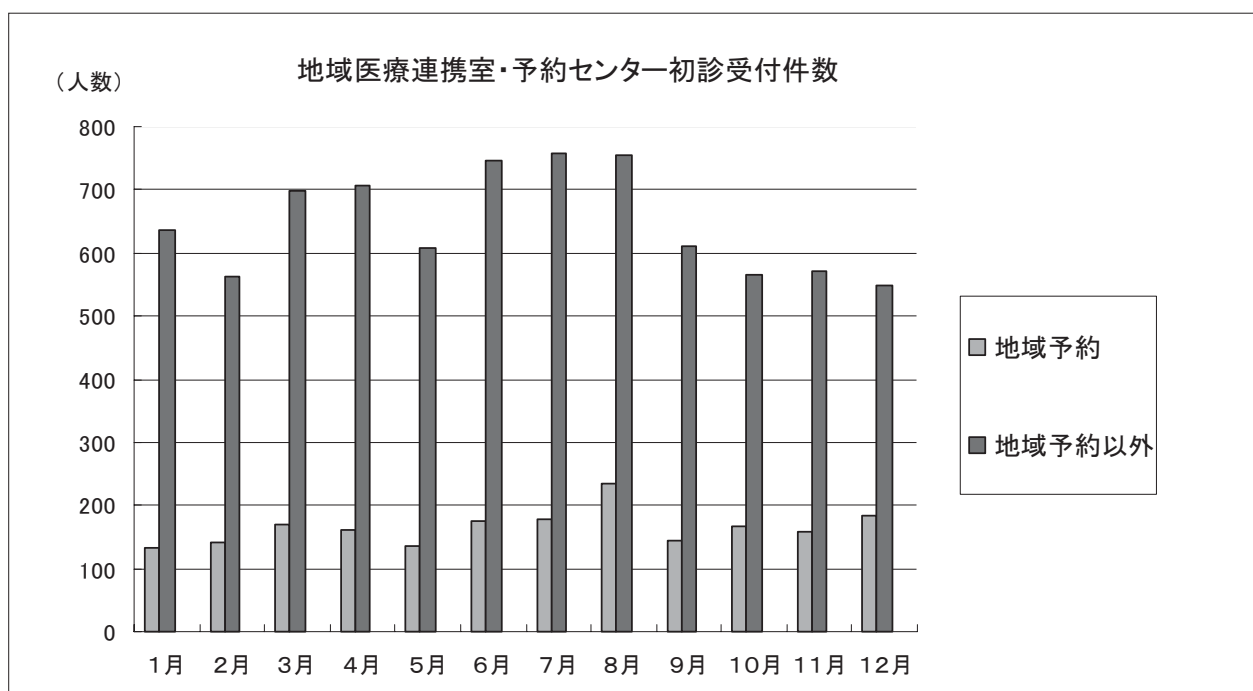
地域医療連携室・予約センター初診受付件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
地域予約	133	141	171	160	136	175	179	234	144	167	158	184	1,982
地域予約以外	636	562	698	707	609	746	758	754	611	566	572	547	7,766
計	769	703	869	867	745	921	937	988	755	733	730	731	9,748

地域予約・・・FAXによる病病・病診での予約

地域予約以外・・・電話予約・院内紹介・入院初診患者

2. 初診受付件数推移

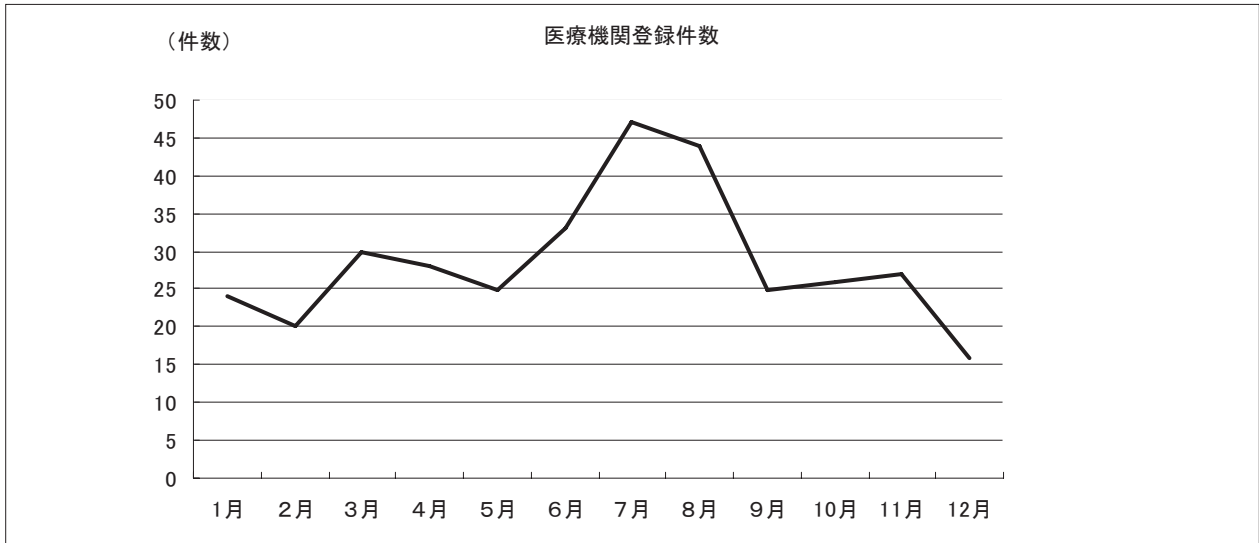


3. 平成21年新規登録件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
新規登録件数	24	20	30	28	25	33	47	44	25	26	27	16	2,848

平成20年12月末現在 2,503件

4. 新規医療機関登録件数推移



ボランティア部門の動き

兵庫県立こども病院 ボランティア部 2009年活動報告

ボランティア部の主な活動は、こども病院の患者さまが関係する患者・家族会のいろいろな活動の際の「保育ボランティア」と院内で入院中のこども達に楽しみを提供する「お楽しみ会」の開催、患者さまのご家族から寄付される花の植え替えです。

こども病院の患者・家族会は、胆道閉鎖症の「ひよこの会」、永久ストーマをもつ患児の「たんぼぼの会」、在宅中心静脈栄養管理を受けている患児の「かくれんぼの会」の3つが対象となっています。

院内の「お楽しみ会」では昨年同様に神戸大学の学生に来ていただき、人形劇の上演を行いました。

また今年は病院保育学会が神戸で開催され、お手伝いをすることができました。

月日	行事名	場所	主催
3月7・8日	かくれんぼの会	しあわせの村	患者会
6月27日	花の植え替え	正面玄関	部
7月30日	夏祭り	研修室A B	病院（保育士）
9月2日	人形劇	研修室A B	部
9月5・6日	病児保育学会	看護協会会館	保育士
12月26日	花の植え替え	正面玄関	部

一年の歩み

1年のあゆみ (2009. 1. 1 ~ 12.31)

- 2009. 2.4 ~ 6 病院機能評価訪問審査受審
- 3. 2 病院運営懇話会の開催
- 7.10 県監査委員による平成20年度本監査の実施
- 8.26 神戸市保健所による平成21年度医療監視の実施
- 12.19 第10回兵庫県周産期医療研修会開催

